

- 1 灰褐色砂土：洪水土。小礫を含む。
- 2 灰褐色砂土：洪水土。少量の小礫を含む。
- 3 暗褐色土：砂主体。微量の炭土粒子・小礫を含む。
- 4 黒褐色土：多量の炭化物ブロックを含む。
- 5 暗褐色土：焼土化しており、少量の炭化物が付着。少量の砂を含む。
- 6 暗褐色土：少量のロームブロック・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

- 1 灰褐色砂土：洪水土。小礫を含む。
- 2 黒褐色土：多量の炭化物ブロックを含む。
- 3 暗褐色土：多量の洪水砂土及び少量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

- 1 灰褐色砂土：少量の炭化物ブロックを含む。
- 2 黒褐色土：少量の洪水シルト土ブロック・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

- 1 暗褐色土：多量の砂・洪水シルト土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土：多量の炭土粒子・炭化物ブロックを含む。
- 3 灰褐色土：少量の洪水シルト土を含む。

- 1 黒色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 黒褐色土：よい黄褐色洪水土層を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 4 黒褐色土：少量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

- 1 灰褐色土：洪水砂土。小礫を含む。
- 2 黒褐色土：多量の炭化物ブロックを含む。
- 3 暗褐色土：多量の洪水シルト土ブロック及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。



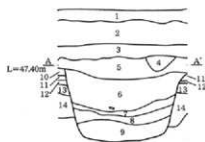
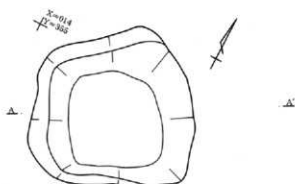
第274図 86・87・88・89・90・92・93号土坑

94号土坑

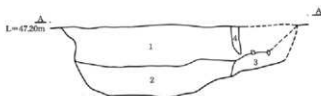


- 1 表土：現耕作土。(基本土層)
- 2 黒褐色土：少量の軽石 (As-B7) を含む。(基本土層)
- 3 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA)・焼土粒子・小礫を含む。(基本土層)
- 4 暗褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA)・焼土粒子・小礫を含む。
- 5 暗褐色土：多量の礫を含む。(基本土層)
- 6 暗褐色土：多量の礫及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 7 暗褐色土：砂礫主体。
- 8 暗褐色土：やや多量の礫を含む。
- 9 暗褐色土と黄褐色土の混合：ロームブロックを含む。
- 10 洪水礫層 (基本土層)
- 11 洪水砂層 (基本土層)
- 12 洪水シルト層 (基本土層)
- 13 暗褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(基本土層)
- 14 黒褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(基本土層)

96号土坑



95号土坑



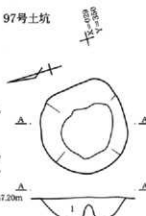
- 1 暗褐色土：少量の焼土粒子・ロームブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土と暗褐色土の混合。少量の焼土粒子を含む。
- 3 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA)・焼土粒子を含む暗褐色土ブロックを含む。
- 4 擾乱

- 1 暗褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の洪水シルト土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土：多量の洪水シルト土ブロック、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の焼土粒子・ロームブロックを含む。

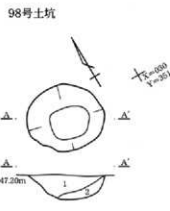
- 1 暗褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

- 1 暗褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：多量の砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

97号土坑



98号土坑

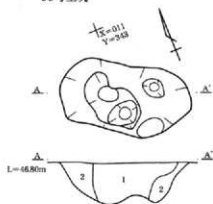


0 1 m

第275図 94・95・96・97・98号土坑

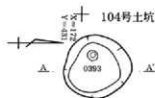
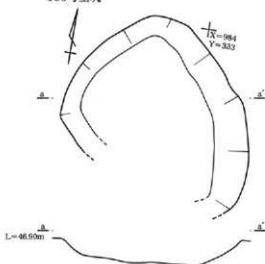
第II章 発見された遺構・遺物

99号土坑



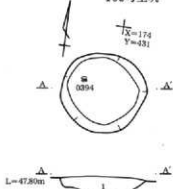
- 1 暗褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) 及び微量のローム粒子を含む。  
 2 暗褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) 及び少量のロームブロックを含む。

100号土坑



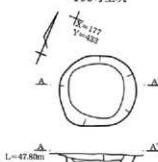
- 1 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
 2 黒褐色土：にぶい黄褐色洪水土斑を含む。  
 3 黒褐色土：少量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

105号土坑



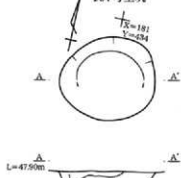
- 1 黒色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

106号土坑



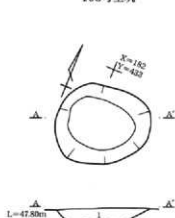
- 1 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
 2 暗褐色土：にぶい黄褐色洪水土斑を含む。  
 3 黒褐色土：にぶい黄褐色洪水土斑を含む。  
 4 暗褐色土：砂質硬粘土。

107号土坑



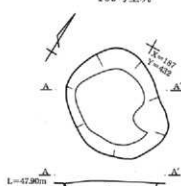
- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
 2 黒色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

108号土坑



- 1 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

109号土坑

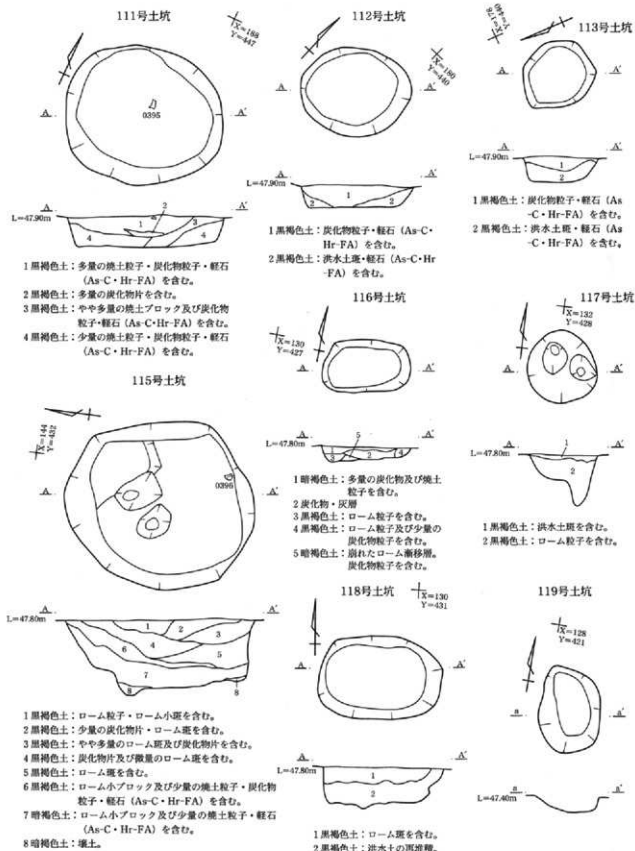


- 1 黒褐色土：洪水土斑・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
 2 褐色土：ロームの崩れ。  
 3 黒褐色土：炭化物粒子・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

0 1m

第276図 99・100・104・105・106・107・108・109号土坑

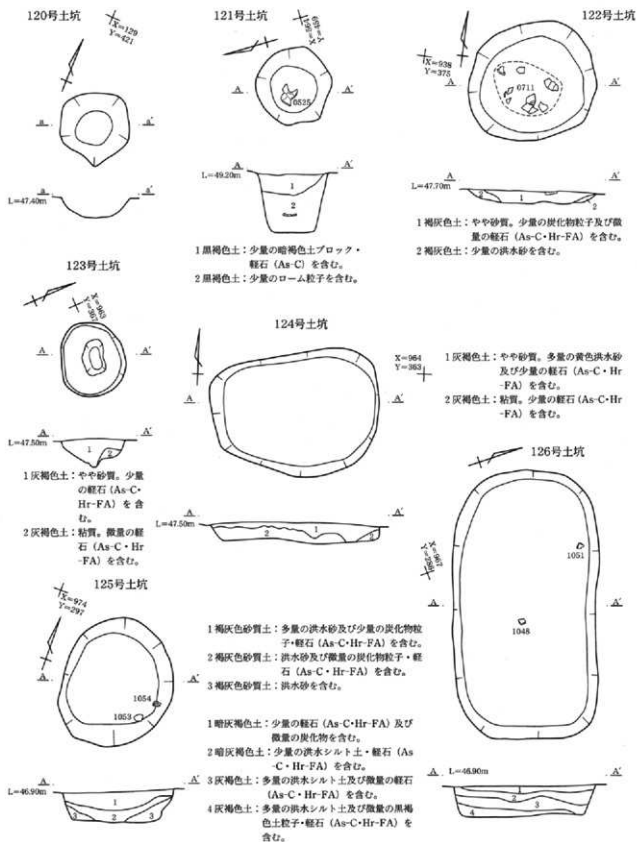
第5節 土坑



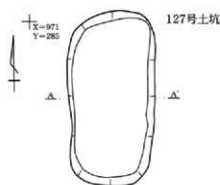
第277図 111・112・113・115・116・117・118・119号土坑



第二章 発見された遺構・遺物



第278図 120・121・122・123・124・125・126号土坑



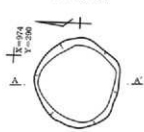
- 1 暗灰褐色土：少量の洪水シルト土及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 灰褐色土：多量の洪水シルト土及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

130号土坑

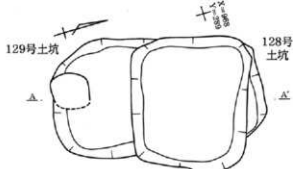


- 1 暗褐色土：少量の褐色土粒子及び微量の炭化物を含む。
- 2 暗褐色土：少量の炭化物及び微量のローム粒子を含む。

131号土坑

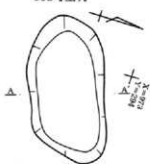


- 1 灰褐色土：多量の洪水砂を含む。



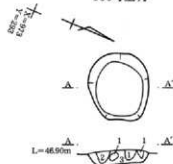
- 1 褐灰色砂質土：微量の炭化物・ローム粒子・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。(128号土坑)
- 2 褐灰色砂質土：炭化物・ローム粒子・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。(128号土坑)
- 3 灰褐色砂質土：微量のローム粒子・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。(128号土坑)
- 4 黄褐色砂質土：多量のローム粒子及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。(129号土坑)
- 5 暗褐色砂質土：微量のローム粒子・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。(129号土坑)
- 6 褐灰色砂質土：多量のローム粒子及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。(129号土坑)
- 7 褐灰色砂質土：微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。(514号ピット)

132号土坑



- 1 灰褐色土：少量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。
- 2 灰褐色土：多量の洪水砂を含む。

133号土坑

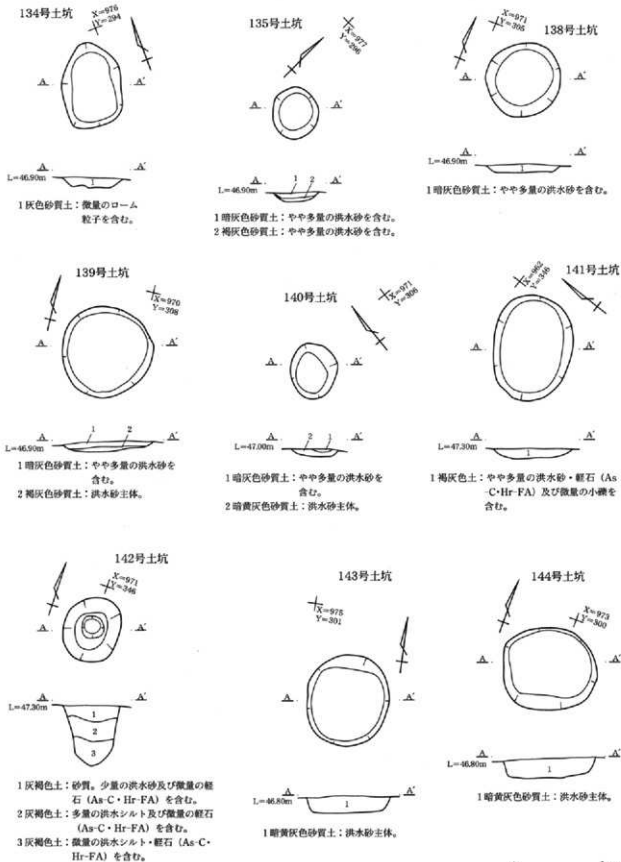


- 1 ロームブロック
- 2 灰褐色土：少量の洪水砂及び微量のローム粒子を含む。
- 3 黄灰色土：洪水砂主体。少量のローム粒子を含む。

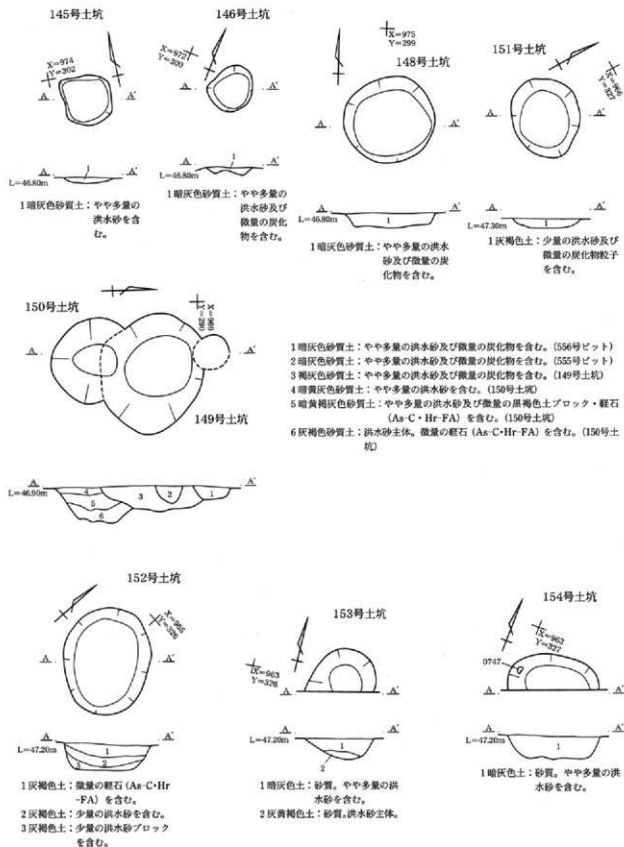
0 1m

第279図 127・128・129・130・131・132・133号土坑

第二章 発見された遺構・遺物



第280図 134・135・138・139・140・141・142・143・144号土坑

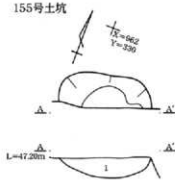


第281図 145・146・148・149・150・151・152・153・154号土坑

0 1 m

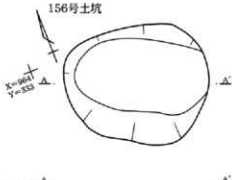
第二章 発見された遺構・遺物

155号土坑



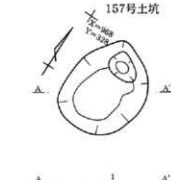
1 暗灰色土：砂質。やや多量の洪水砂を含む。

156号土坑



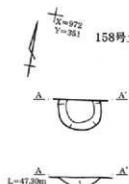
1 暗灰色土：砂質。やや多量の洪水砂、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の小礫を含む。

157号土坑



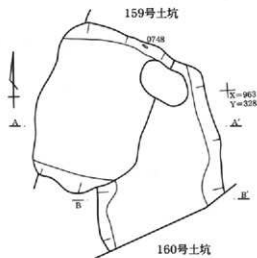
1 暗褐色土：軽石 (As-B) を含む。  
2 暗灰色土：砂質。洪水砂主体。微量の炭化物粒子を含む。  
3 灰褐色土：砂質。やや多量の洪水砂及び微量の炭化物粒子を含む。  
4 灰褐色土：砂質。やや多量の洪水砂を含む。

158号土坑

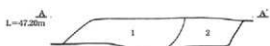


1 暗灰色土：砂質。少量の洪水砂・焼土粒子・炭化物粒子を含む。

159号土坑

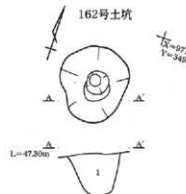


160号土坑



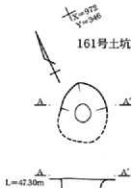
1 褐灰色土：砂質。洪水砂主体。(159号土坑)  
2 褐灰色土：砂質。洪水砂主体。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(160号土坑)  
3 褐灰色土：砂質。やや多量の洪水砂及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(160号土坑)

162号土坑



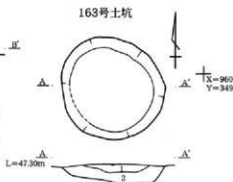
1 褐灰色土：洪水砂主体。微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

161号土坑



1 褐灰色土：やや多量の焼土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の洪水砂を含む。  
2 褐灰色土：やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の洪水砂を含む。

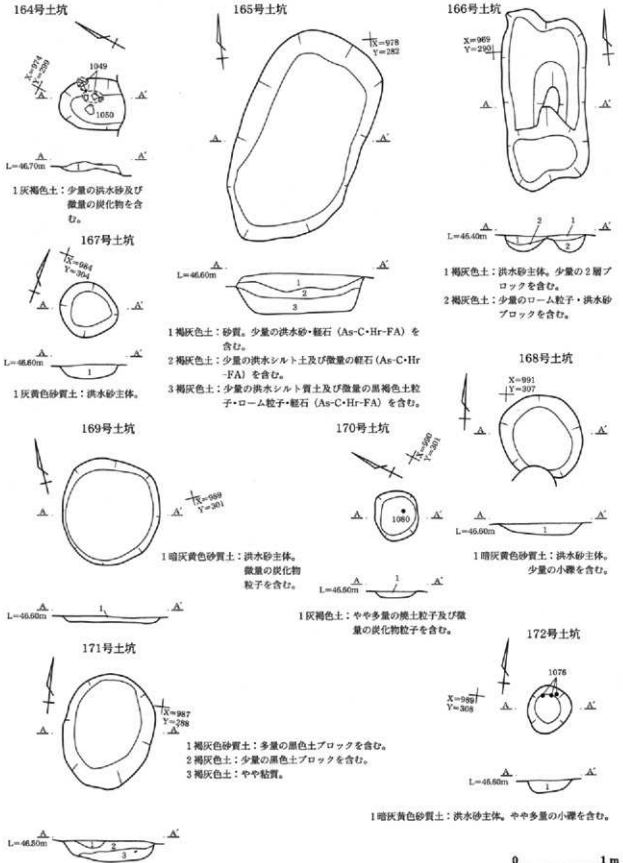
163号土坑



1 灰褐色土：多量の焼土粒子及び微量の黒褐色土ブロックを含む。  
2 褐灰色土：少量の黒褐色土粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

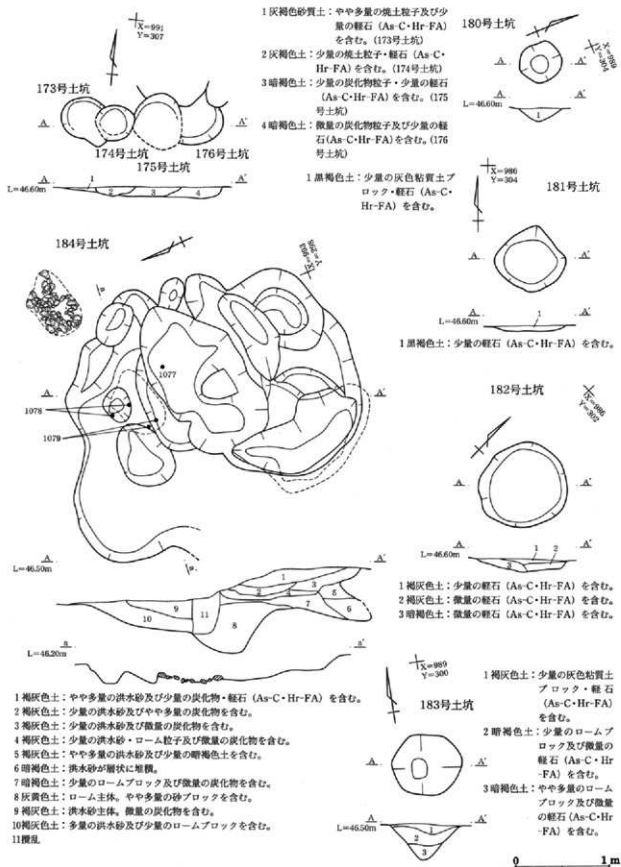
0 1m

第282図 155・156・157・158・159・160・161・162・163号土坑

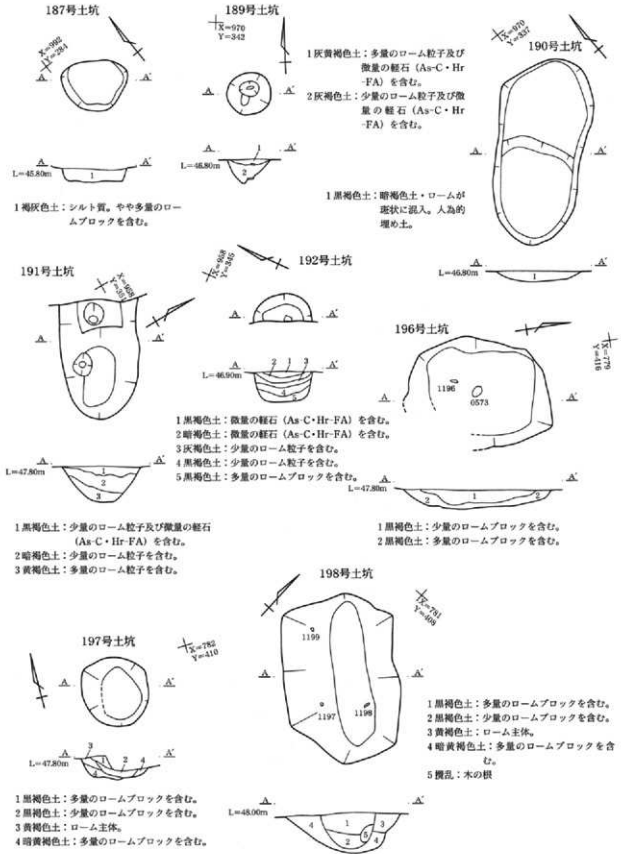


第283図 164・165・166・167・168・169・170・171・172号土坑

第II章 発見された遺構・遺物



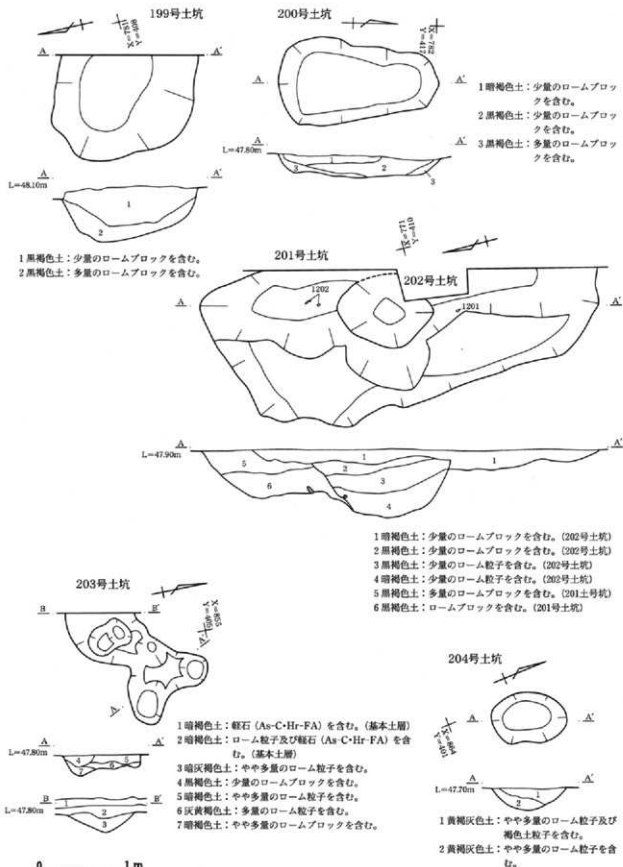
第284図 173・174・175・176・180・181・182・183・184号土坑



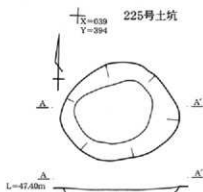
第285図 187・189・190・191・192・196・197・198号土坑



第二章 発見された遺構・遺物



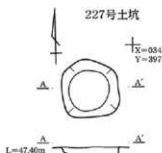
第286図 199・200・201・202・203・204号土坑



- 1 褐灰色土：砂質土。微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 暗褐色土：黄褐色土・褐色砂質土を含む。

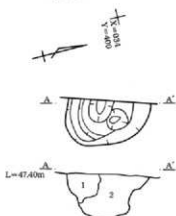


- 1 褐灰色土：灰褐色洪水土ブロック及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 暗褐色土：黄褐色土小ブロックを含む。

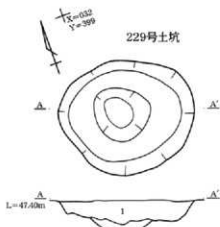


- 1 褐色土：ローム小ブロック及び微量の焼土粒子・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 暗褐色土：ロームブロック・黒褐色土ブロック・灰褐色洪水土ブロックを含む。

228号土坑

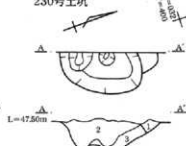


- 1 褐灰色土：洪水砂及び微量の焼土粒子を含む。  
2 暗褐色土：ロームブロック・黒褐色土ブロック・洪水砂ブロックを含む。



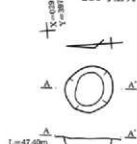
- 1 褐灰色土：洪水砂及び微量の暗褐色土・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 褐灰色土：暗褐色土小ブロックを含む。

230号土坑



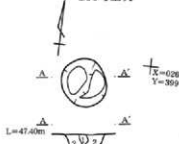
- 1 褐灰色土：砂質土。灰色シルト質土ブロックを含む。  
2 褐灰色土：焼土粒子・黒褐色土ブロック・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
3 黒褐色土：暗褐色土ブロック・褐灰色砂質土ブロックを含む。

231号土坑



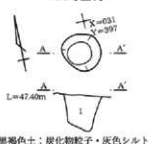
- 1 黒褐色土：褐灰色砂質土粒子・ローム粒子及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

233号土坑



- 1 黄褐色土：微量の暗褐色土粒子・黒褐色土粒子を含む。  
2 褐色土：黄褐色砂質土ブロック・暗褐色土ブロックを含む。

236号土坑

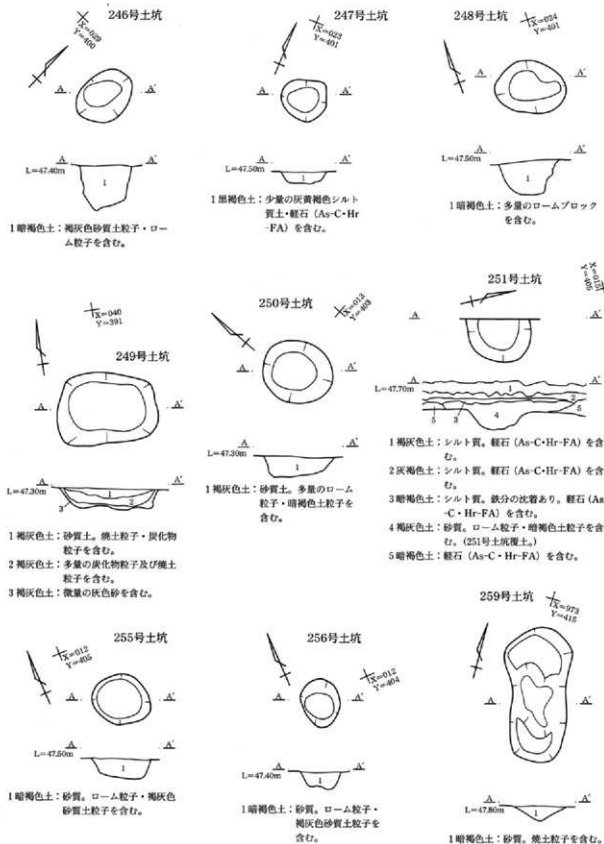


- 1 黒褐色土：炭化物粒子・灰色シルト質土・黒褐色土・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

0 1m

第287図 225・226・227・228・229・230・231・233・236号土坑

第2章 発見された遺構・遺物



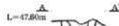
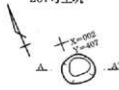
第288図 246・247・248・249・250・251・255・256・259号土坑

266号土坑



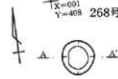
1 暗褐色土：ローム粒子・褐色砂質土・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

267号土坑



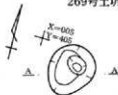
1 黒褐色土：褐色砂質土及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 暗褐色土：ローム小ブロック・褐色砂質土を含む。

268号土坑



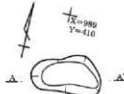
1 黒褐色土：褐色砂質土・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 黒褐色土：褐色砂質土粒子を含む。

269号土坑



1 暗褐色土：ローム粒子・褐色砂質土・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 暗褐色土：褐色砂質土粒子を含む。

271号土坑



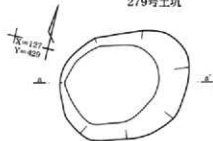
1 暗褐色土：多量の炭化物粒子及び微量の軽土粒子を含む。

275号土坑

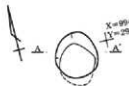


1 暗褐色土：ローム粒子を含む。  
2 褐色土：多量のローム粒子を含む。  
3 暗褐色土。

279号土坑

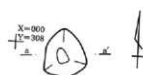


280号土坑



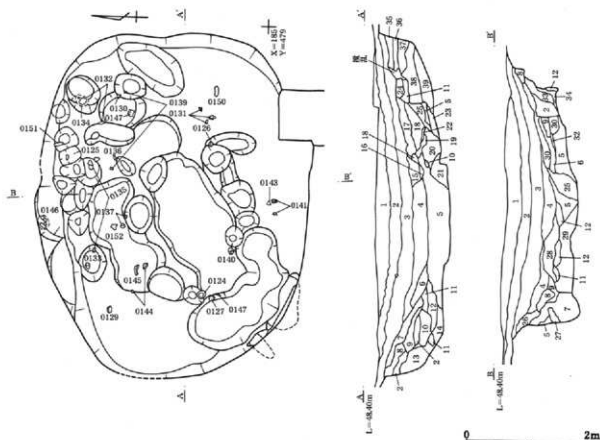
1 褐色土：シルト質。少量のロームブロックを含む。

281号土坑



第289図 266・267・268・269・271・275・279・280・281号土坑

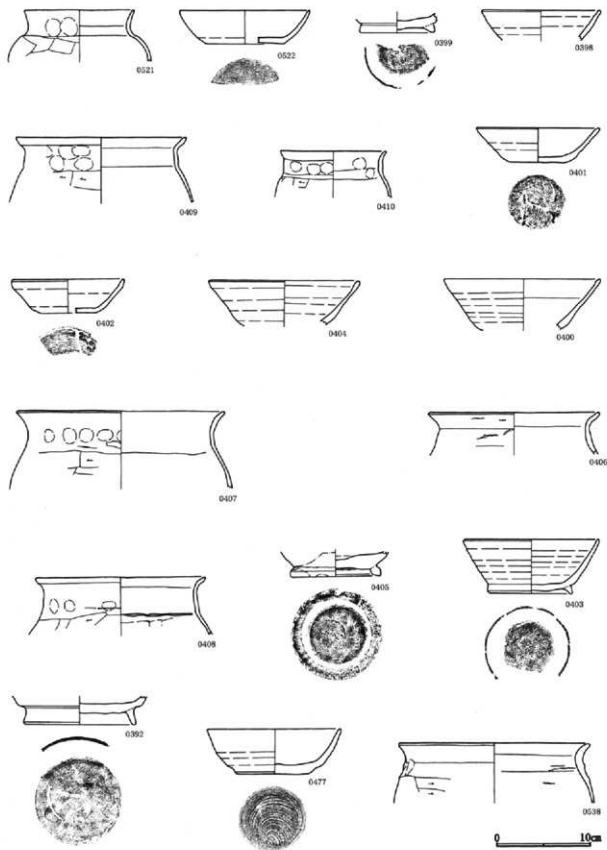
283号土坑



- 1 As-B層
- 2 黒褐色土主体。軽石 (Hr-FA・As-C) を含みや汚れている。
- 3 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。炭化物・焼土を含み汚れている。
- 4 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。ロームブロックを含み汚れている。
- 5 におい黄褐色土 (ローム層) 主体。汚れている。
- 6 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。ロームを含み汚れている。
- 7 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。やや汚れている。
- 8 暗灰黄色洪水層主体。やや汚れている。
- 9 暗灰黄色洪水層主体。汚れている。
- 10 褐色土：ローム漸移層主体。やや汚れている。
- 11 褐色土：ローム漸移層主体。汚れている。
- 12 暗灰黄色土：洪水層主体。汚れている。
- 13 地山ローム・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・黒褐色土・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土の混合。汚れている。
- 14 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土主体。やや汚れている。
- 15 ローム漸移層主体。ローム粒子を含む。
- 16 ローム漸移層主体。ロームを含む。汚れている。
- 17 暗灰黄色土 (洪水層) ・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・黒褐色土の混合。ローム粒子を含む。
- 18 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土の混合。汚れている。
- 19 暗灰黄色土 (洪水層) ・ローム漸移層の混合。ローム粒子を含む。
- 20 ローム主体：ローム漸移層・黒褐色土・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土・炭化物粒子を含む。
- 21 暗灰黄色土 (洪水層)：ロームブロックを含む。
- 22 暗灰黄色土 (洪水層) とローム漸移層の混合。
- 23 ローム主体。やや汚れている。
- 24 黒褐色土と軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土混合。汚れている。
- 25 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色土 (洪水層) ・暗灰黄色土 (洪水層) が横状に入る。
- 26 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。暗灰黄色洪水層の量や多く、やや汚れている。
- 27 ローム主体：地山ロームが別れたもの。汚れている。
- 28 ローム・ローム漸移層・黒褐色土・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土 (洪水層) の混合。
- 29 黒褐色土：ロームを横状に含む。
- 30 黒褐色土と暗灰黄色洪水層の混合。やや汚れている。
- 31 黒褐色土・軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土・暗灰黄色土 (洪水層) の混合。やや汚れている。
- 32 ロームと暗灰黄色洪水層の混合。炭化物粒子を含み、やや汚れている。
- 33 黒褐色土
- 34 黒褐色土：ロームブロックを含み、やや汚れている。
- 35 暗灰黄色土 (洪水層)：地山。やや汚れている。
- 36 軽石 (Hr-FA・As-C) を含む黒褐色土：地山。
- 37 黒褐色土：地山。
- 38 ローム漸移層：地山。
- 39 ローム：地山。

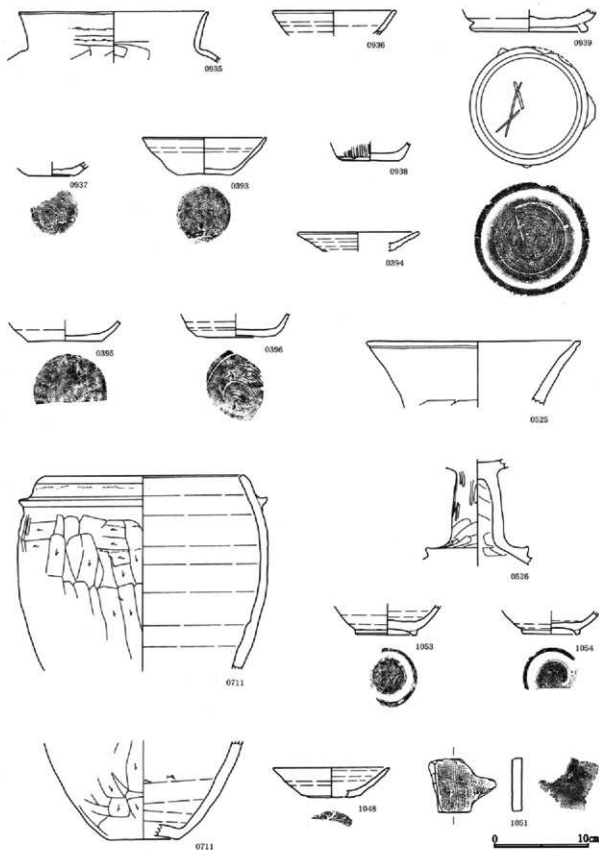
第290図 283号土坑

第5節 土 坑



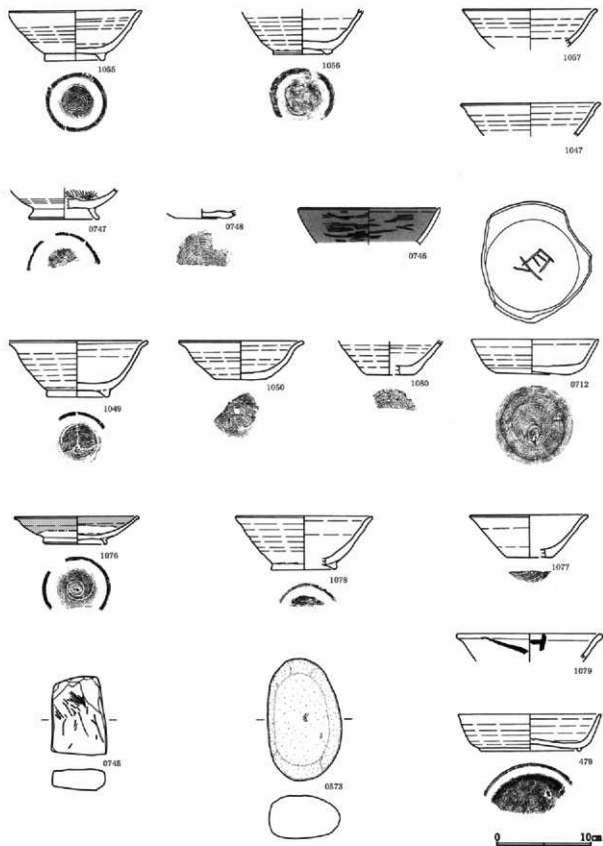
第291圖 2・7・10・28・29・30・31・32・33・34・35・36・37・38・39・40・41・42・  
44・74号土坑出土遺物

第二章 発見された遺構・遺物



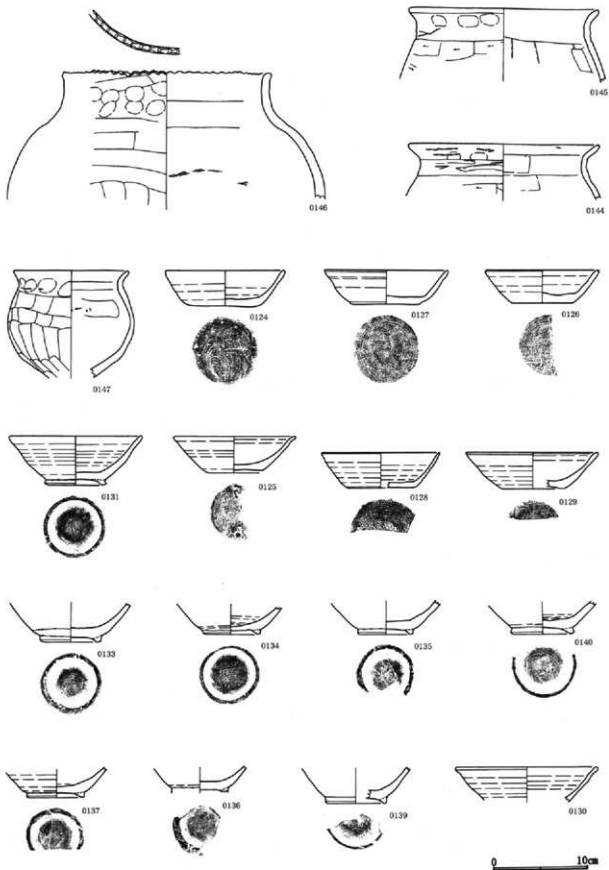
第292図 86・89・96・104・105・111・115・121・122・125・126号土坑出土遺物

第5節 土 坑

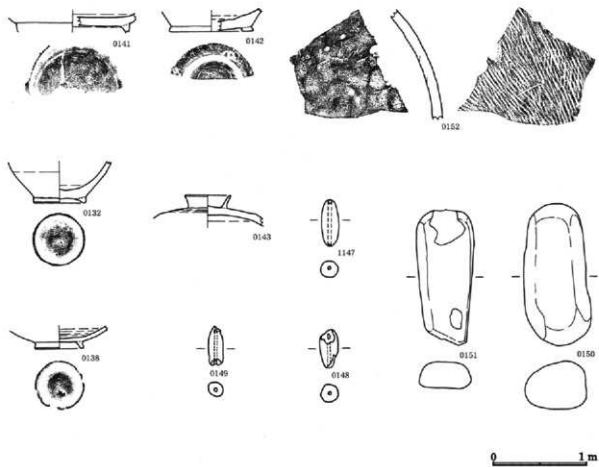


第293图 130・134・154・159・161・162・164・170・172・184・192・196・267号土坑出土遺物





第294図 283号土坑出土遺物(1)



第295图 283号土坑出土遗物(2)

## 第6節 ピット

東今泉鹿島遺跡からピットは、518基検出された。その分布は、偏りはなく、1区～6区・16区～22区の遺跡全体から検出されている。

そのうち、179号ピットからは、縄文時代の石鍬(1171)、このピット覆土には軽石(As-C・Hr-FA)が含まれており、古代(6世紀後半)以後のピットであり、縄文時代のピットではない。確実に縄文時代のピットと考えられる遺構はない。

その他のピットは、覆土に軽石(As-C・Hr-FA)が含まれるもの、軽石(As-C)が含まれるもの、軽石等が含まれず洪水土やロームで埋まったものがある。

軽石(As-C)が覆土に含まれるものは、4世紀以後の土坑であり、17区・18区から4世紀後半代の住居跡が検出されていることから、ほぼ同時期のピットと推定している。

と推定している。

軽石(As-C・Hr-FA)が含まれているものは、古代(6世紀後半)以後のピットであり、本遺跡の集落の本体をなす住居跡の時代が8世紀～10世紀前半であることから、ほぼ同時期のピットと推定している。この時期のピットの覆土には、焼土や炭化物を含むものが多くあり、周辺の集落のあり方に関係している可能性がある。352号ピットからは、大型の須恵器椀(523)、須恵器蓋(524)が出土しており、埋納したものと推定している。

覆土中に軽石を含まないものは、その時期の推定が困難であるが、覆土に洪水土やロームが含まれているピットが多く、集落の時期に近いものが多いと考えている。以下、東今泉鹿島遺跡検出のピットは、ピット一覧に示す。

第4表 ピット一覧

ピット番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(m)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
001	4	X=36.094 Y=-39.375		楕円形	50×45×50		
002	4	X=36.095 Y=-39.377		楕円形	55×40×58		
003	4	X=36.096 Y=-39.376		不整形楕円形	53×47×43		
004	4	X=36.098 Y=-39.378		不整形長方形	50×37×45		
005	4	X=36.098 Y=-39.379		不整形楕円形	50×40×52		
006	4	X=36.097 Y=-39.381		不整形楕円形	60×53×47		
007	4	X=36.095 Y=-39.391		不定形	39×36×65		
008	4	X=36.093 Y=-39.392		不整形楕円形	40×33×34		
009	4	X=36.092 Y=-39.393		不整形楕円形	34×30×46		
010	4	X=36.107 Y=-39.383		不整形円形	30×45		
011	4	X=36.126 Y=-39.350		不定形	72×60×50		
012	4	X=36.118 Y=-39.371		不整形楕円形	47×33×45		
013	4	X=36.119 Y=-39.372		不整形楕円形	36×32×43		

## 第6節 ビット

ビット番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模 (cm) 長辺・長軸 ×短辺・短軸×厚さ	出土遺物	年代・その他
014	4	$X=36.124$ $Y=-39.376$		不整楕円形	37×34×46		
015	4	$X=36.117$ $Y=-39.380$		不整楕円形	50×45×51	土師器小破片 3	古代以後。
017	4	$X=36.126$ $Y=-39.409$		不整楕円形	53×46×60		
018	4	$X=36.125$ $Y=-39.408$		不整円形	31×31		
019	4	$X=36.124$ $Y=-39.408$		楕円形	46×42×41		
020	4	$X=36.124$ $Y=-39.409$		楕円形	28×25×44		
021	4	$X=36.123$ $Y=-39.410$		不定形	43×35×49		
022	4	$X=36.123$ $Y=-39.411$		楕円形	31×25×28		
023	4	$X=36.121$ $Y=-39.413$		不整楕丸長方形	37×26×35		
025	4	$X=36.119$ $Y=-39.410$		楕円形	52×47×63	縄文土器破片 2	
027	4	$X=36.110$ $Y=-39.410$		不整楕丸方形	36×25		
029	4	$X=36.118$ $Y=-39.412$		不整楕丸長方形	66×46×47		2基のビットの集合
030	4	$X=36.117$ $Y=-39.412$		不整円形	37×45		
031	4	$X=36.118$ $Y=-39.413$		不整円形	35×42		
034	4	$X=36.111$ $Y=-39.401$		不整楕丸長方形	49×35×36		
035	4	$X=36.119$ $Y=-39.385$		不整楕円形	46×34×45		
036	4	$X=36.112$ $Y=-39.389$		不整楕円形	38×27×33		
037	4	$X=36.105$ $Y=-39.389$		不整円形	50×35		
038	4	$X=36.103$ $Y=-39.389$		不整楕円形	57×47×30		
039	5	$X=36.145$ $Y=-39.401$		楕円形	45×34×38	須恵器 (378)、土師器・須恵器小破片	9世紀以後。
040	5	$X=36.147$ $Y=-39.401$		不整楕円形	42×37×34		
041	5	$X=36.146$ $Y=-39.403$		不整楕円形	47×38×41		
042	5	$X=36.146$ $Y=-39.403$		楕円形	47×39×17		
043	5	$X=36.146$ $Y=-39.404$		不整楕円形	36×28×36		
044	5	$X=36.146$ $Y=-39.404$		楕円形	47×37×33		
045	5	$X=36.148$ $Y=-39.402$	46号ビット→不明	楕円形	49×40×47	土師器小破片 6、須恵器小破片 1	9世紀以後。
046	5	$X=36.148$ $Y=-39.402$	45号ビット→不明	不整円形	35×20		
047	5	$X=36.147$ $Y=-39.407$		不整楕円形	47×41×32	土師器小破片 1	古代以後。
048	5	$X=36.148$ $Y=-39.408$		楕円形	35×27×37		
049	5	$X=36.142$ $Y=-39.408$		楕丸長方形	43×37×55	土師器小破片 2、須恵器小破片 1	9世紀以後。

## 第II章 発見された遺構・遺物

ビット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規格 (cm) 長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
050	5	X = 36.142 Y = -39.408		隅丸長方形	40×31×52		
051	5	X = 36.145 Y = -39.396		楕円形	35×30×40		
052	5	X = 36.158 Y = -39.405		不整楕円形	43×31×18	須恵器小破片 1	9世紀以後。2基のビットの集合。
053	5	X = 36.158 Y = -39.407		不定形	35×33×22		
054	5	X = 36.158 Y = -39.409		楕円形	37×31×22	土師器小破片 2	古代以後。
055	5	X = 36.160 Y = -39.409		不整円形	38×18		
056	5	X = 36.160 Y = -39.405		楕円形	42×29×31	土師器小破片 1	古代以後。2基のビットの集合。
057	5	X = 36.162 Y = -39.400		不整楕円形	95×66×39	土師器小破片 2、須恵器小破片 3	9世紀以後。2基のビットの集合。
058	5	X = 36.160 Y = -39.398		楕円形	60×35×26		
059	5	X = 36.164 Y = -39.400		不整楕円形	76×67×8	須恵器杯 (375)、土師器小破片 1	9世紀以後。
060	5	X = 36.164 Y = -39.396		不整楕円形	58×48×32	須恵器杯 (376)、須恵器小破片 2	9世紀以後。
061	5	X = 36.138 Y = -39.411		楕円形	35×30×38		
062	5	X = 36.136 Y = -39.416		楕円形	32×20×29		
063	5	X = 36.136 Y = -39.418	64号ビット→不明	不整楕円形	(25)×20×35		
064	5	X = 36.136 Y = -39.418	63号ビット→不明	不整楕円形	(35)×33×40		
065	5	X = 36.138 Y = -39.417		隅丸方形	25×30		
066	5	X = 36.139 Y = -39.417		隅丸長方形	37×30×28		
067	5	X = 36.139 Y = -39.419		円形	24×26		
069	5	X = 36.140 Y = -39.421		円形	61×44	土師器小破片 1	古代以後。
071	5	X = 36.142 Y = -39.422		楕円形	53×35×18	土師器小破片 1	古代以後。
073	5	X = 36.144 Y = -39.420		不整楕円形	85×53×19		2基のビットの集合。
074	5	X = 36.143 Y = -39.419		楕円形	41×28×48	土師器小破片 1、須恵器小破片 1	9世紀以後。
075	5	X = 36.141 Y = -39.416	76号ビット→不明	楕円形	31×28×34		
076	5	X = 36.141 Y = -39.416	75号ビット→不明・77号ビット→不明	楕円形	52×45×22		
077	5	X = 36.141 Y = -39.416	76号ビット→不明	隅丸長方形	43×32×20		
078	5	X = 36.145 Y = -39.416		不定形	56×45×28	須恵器小破片 1	9世紀以後。2基のビットの集合。
079	5	X = 36.142 Y = -39.414		不整三角形	60×43×39		3基のビットの集合。
080	4	X = 36.117 Y = -39.408		不整楕円形	85×53×27		
083	5	X = 36.143 Y = -39.418		不整楕円形	70×48×54		2基のビットの集合。
084	5	X = 36.147 Y = -39.401		不整楕円形	56×53×67	土師器小破片 3、須恵器小破片 1	9世紀以後。2基のビットの集合。

## 第6節 ビット

ビット番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
085	5	X=36.148 Y=-39.405		不整形円形	87×43×14		
086	3	X=35.994 Y=-39.398		隅丸方形	35×52		2基のビットの集合。焼土粒子・炭化物を含む。
087	3	X=35.992 Y=-39.398		不整形円形	40×29×32		古代以後。焼土粒子を含む。
088	3	X=35.991 Y=-39.398		楕円形	45×34×29		古代以後。焼土粒子を含む。
089	3	X=35.992 Y=-39.401		隅丸方形	38×33	土師器小破片1、須恵器小破片1	9世紀以後。焼土粒子を含む。
090	3	X=35.995 Y=-39.402		不整形円形	47×39×37	土師器小破片4	焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。
091	3	X=35.996 Y=-39.402		不整形円形	47×26	土師器・須恵器小破片少量	焼土粒子を含む。9世紀以後。
092	3	X=35.997 Y=-39.402		楕円形	54×43×23		炭化物を含む。古代以後。
094	3	X=35.986 Y=-39.405		不整形円形	59×55×61	土師器・須恵器小破片少量	焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。
095	3	X=35.986 Y=-39.405		不整形円形	57×47×32	土師器小破片3、須恵器小破片1	焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。3基のビットの集合。
096	3	X=35.983 Y=-39.404		不整形円形	52×44×45	土師器・須恵器小破片少量	9世紀以後。
097	3	X=35.982 Y=-39.403		不整形円形	45×37×43	土師器・須恵器小破片少量	焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。
098	3	X=35.983 Y=-39.407		楕円形	69×58×58		炭化物を含む。古代以後。2基のビットの集合。
099	3	X=35.987 Y=-39.404		楕円形	59×45×85		焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。
100	3	X=35.989 Y=-39.398		楕円形	58×50×34		焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。
101	3	X=35.984 Y=-39.403		隅丸長方形	62×55×17		炭化物を含む。古代以後。
102	6	X=36.211 Y=-39.460	102号ビット→103号ビット	楕円形	35×30×40		
103	6	X=36.211 Y=-39.460	102号ビット→103号ビット	不整形円形	41×45		
104	6	X=36.210 Y=-39.461		不整形円形	44×45		
105	6	X=36.210 Y=-39.461		不整形隅丸方形	36×20		
106	6	X=36.209 Y=-39.463	106号ビット→107号ビット	不明	不明		
107	6	X=36.209 Y=-39.463	106号ビット→107号ビット	楕円形	79×50×33		
108	6	X=36.208 Y=-39.464	108号ビット→109号ビット	不明	(85)×(65)×35	土師器破片1、須恵器破片1(108・109号ビット)	9世紀以後。
109	6	X=36.208 Y=-39.464	108号ビット→109号ビット	不明	(85)×(50)×40		9世紀以後。
110	6	X=36.212 Y=-39.460	111号ビット→110号ビット	不整形円形	40×47	須恵器小破片2(110・111号ビット)	9世紀以後。
111	6	X=36.212 Y=-39.460	111号ビット→110号ビット	楕円形	(37)×38×25		9世紀以後。
112	6	X=36.213 Y=-39.457	113号ビット→112号ビット	楕円形	(64)×(35)×43	須恵器小破片2(112・113号ビット)	9世紀以後。
113	6	X=36.213 Y=-39.457	113号ビット→112号ビット	楕円形	(64)×(35)×11		9世紀以後。
114	6	X=36.214 Y=-39.456		楕円形	53×43×35		2基ないしは3基のビットの集合。

## 第II章 発見された遺構・遺物

ビット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・短辺 ×短辺・短辺×深さ	出土遺物	年代・その他
115	6	X=36.214 Y=-39.466		不整隅丸方 形	31×24	土師器小破片1、須恵 器小破片1	9世紀以後。
116	6	X=36.214 Y=-39.459		楕円形	25×23×31		
117	6	X=36.215 Y=-39.459		楕円形	40×27×35		
118	6	X=36.215 Y=-39.457		不整楕円形	66×49×19		
119	6	X=36.217 Y=-39.455		不整楕円形	41×30×35		
120	6	X=36.216 Y=-39.455	121号ビット→120号 ビット	不整円形	36×20		
121	6	X=36.216 Y=-39.455		不整円形	27×16		
122	6	X=36.216 Y=-39.452		楕円形	46×38×30	土師器小破片1	古代以後。
123	6	X=36.212 Y=-39.455		不定形	30×26×32		
124	6	X=36.210 Y=-39.452		楕円形	48×32×23		
125	6	X=36.208 Y=-39.452		不整楕円形	52×42×55		
126	6	X=36.208 Y=-39.452		楕円形	32×28×27		
127	6	X=36.210 Y=-39.449		楕円形	41×36×35		
128	6	X=36.214 Y=-39.442		円形	34×25		
171	6	X=36.212 Y=-39.461		不整楕円形	53×50×31		古代以後。
172	19	X=35.984 Y=-39.358		円形	47×42		
173	19	X=35.984 Y=-39.359		不整円形	48×64		古代以後。
174	19	X=35.990 Y=-39.363		不整楕円形	81×65×73		古代以後。
175	19	X=35.983 Y=-39.352		不整楕円形	37×32×33		古代以後。
176	19	X=35.982 Y=-39.352		楕円形	35×26×14		古代以後。
177	19	X=35.984 Y=-39.335		不整円形	31×52		古代以後。
178	19	X=35.984 Y=-39.334		不整円形	33×57		古代以後。
179	19	X=35.989 Y=-39.367		不整円形	37×29	織文石罫石罫(1171)	古代以後。
180	19	X=35.983 Y=-39.369		楕円形	32×27×41		古代以後。
181	19	X=35.982 Y=-39.369		不整楕円形	32×28×23		古代以後。
182	19	X=35.982 Y=-39.369		不整楕円形	32×28×20		古代以後。
183	19	X=35.982 Y=-39.369		不整隅丸長 方形	104×43×50		古代以後。
184	19	X=35.981 Y=-39.369		不整楕円形	27×22×34		古代以後。
185	19	X=35.993 Y=-39.365		不整円形	30×72		古代以後。
186	19	X=35.993 Y=-39.365		不整楕円形	37×29×28		古代以後。

## 第6節 ビット

ビット番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
187	19	$X = 35.992$ $Y = -39.364$		不整形円形	53×47	土師器小破片 1	古代以後。
188	19	$X = 35.991$ $Y = -39.365$		不整形丸方形	43×12		古代以後。
189	19	$X = 36.030$ $Y = -39.353$		不整形円形	51×44×4		古代以後。
190	19	$X = 35.982$ $Y = -39.355$		不整形円形	36×30×10		古代以後。
191	5	$X = 36.177$ $Y = -39.471$		楕円形	43×32×22		
192	5	$X = 36.176$ $Y = -39.472$		不整形円形	51×39×27		古墳時代以後。
193	5	$X = 36.177$ $Y = -39.474$		不整形円形	72×39×23		古墳時代以後。2基のビットの集合。
194	5	$X = 36.178$ $Y = -39.465$		不定形	40×31×17		古代以後。
195	5	$X = 36.179$ $Y = -39.464$		不整形丸方形	25×17		古墳時代以後。
196	5	$X = 36.178$ $Y = -39.463$		丸丸長方形	36×30×27		古墳時代以後。
197	5	$X = 36.177$ $Y = -39.464$		不整形円形	21×18×11		古墳時代以後。
198	5	$X = 36.174$ $Y = -39.473$		不整形円形	35×30×18		古墳時代以後。
199	5	$X = 36.171$ $Y = -39.464$		不整形円形	36×31×28		古墳時代以後。
200	5	$X = 36.167$ $Y = -39.463$		不整形円形	41×36×27		炭化物を含む。古墳時代以後。
201	5	$X = 36.166$ $Y = -39.464$		不整形円形	45×34×27		古墳時代以後。
202	5	$X = 36.162$ $Y = -39.462$		楕円形	37×23×19	須恵器椀 (382)	9世紀以後。
203	5	$X = 36.164$ $Y = -39.465$		不整形円形	26×30		古墳時代以後。
204	5	$X = 36.164$ $Y = -39.466$		不整形円形	33×28×25		古墳時代以後。
205	5	$X = 36.164$ $Y = -39.469$		不整形円形	40×34×33		古墳時代以後。
206	5	$X = 36.166$ $Y = -39.469$		不整形円形	53×25		古墳時代以後。
207	5	$X = 36.165$ $Y = -39.471$		不整形円形	54×33×18		古墳時代以後。
208	5	$X = 36.163$ $Y = -39.473$		不整形円形	34×43		古墳時代以後。
209	5	$X = 36.164$ $Y = -39.473$		楕円形	36×29×17		
210	5	$X = 36.160$ $Y = -39.474$		楕円形	37×29×24		古墳時代以後。
211	5	$X = 36.159$ $Y = -39.473$		楕円形	35×31×37		古墳時代以後。
212	5	$X = 36.157$ $Y = -39.473$		不整形円形	71×48×28		古墳時代以後。
213	5	$X = 36.158$ $Y = -39.471$		不整形円形	40×35×17		
214	5	$X = 36.157$ $Y = -39.469$		不整形円形	39×33×25		古墳時代以後。
215	5	$X = 36.157$ $Y = -39.468$		楕円形	60×50×46		古墳時代以後。
216	5	$X = 36.159$ $Y = -39.469$		不整形円形	40×45		古墳時代以後。



第Ⅱ章 発見された遺構・遺物

ピット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模 (cm) 長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
217	5	X = 36.158 Y = -39.467		不整楕円形	56 × 47 × 16		古墳時代以後。
218	5	X = 36.159 Y = -39.467		不整楕円形	49 × 37 × 20		古墳時代以後。
219	5	X = 36.159 Y = -39.467		不整楕円形	57 × 50 × 23		古墳時代以後。
220	5	X = 36.157 Y = -39.466		不整楕円形	47 × 40 × 23		古墳時代以後。
221	5	X = 36.155 Y = -39.452		不定形	52 × 50 × 57		古墳時代以後。
222	5	X = 36.160 Y = -39.469		不整円形	28 × 22		
223	5	X = 36.159 Y = -39.459		不整円形	43 × 26		古墳時代以後。
224	5	X = 36.160 Y = -39.458		不整楕円形	55 × 36 × 32		古墳時代以後。
225	5	X = 36.165 Y = -39.458		不整楕円形	70 × 56 × 38		古墳時代以後。
226	5	X = 36.169 Y = -39.459		楕円形	56 × 48 × 38		古墳時代以後。
227	5	X = 36.168 Y = -39.456		不整円形	49 × 45		炭化物を含む。古墳時代以後。
228	5	X = 36.164 Y = -39.472		不整隅丸方形	30 × 22		古代以後。
229	5	X = 36.164 Y = -39.472		不整楕円形	36 × 29 × 26		古代以後。
230	5	X = 36.167 Y = -39.471		不整楕円形	41 × 26 × 17		古墳時代以後。
231	5	X = 36.166 Y = -39.472		楕円形	44 × 33 × 32	須恵器杯 (381)	9世紀以後。
232	5	X = 36.166 Y = -39.434		不整円形	43 × 23		炭化物を含む。古代以後。
233	5	X = 36.167 Y = -39.433		楕円形	39 × 35.3 × 29		炭化物を含む。古代以後。
234	5	X = 36.167 Y = -39.432		不整円形	43 × 46	土師器小破片 3	炭化物を含む。古代以後。
235	5	X = 36.168 Y = -39.432		不整円形	42 × 31		炭化物を含む。古代以後。
236	5	X = 36.167 Y = -39.429		楕円形	51 × 41 × 53	須恵器小破片 1	炭化物を含む。9世紀以後。
237	5	X = 36.169 Y = -39.431		楕円形	49 × 45 × 26		炭化物を含む。古代以後。
238	5	X = 36.170 Y = -39.430		不整円形	43 × 24		炭化物を含む。古代以後。
239	5	X = 36.169 Y = -39.434		不整円形	32 × 32		炭化物を含む。古墳時代以後。
240	5	X = 36.171 Y = -39.435		不整楕円形	51 × 45 × 37		炭化物を含む。古代以後。
241	5	X = 36.171 Y = -39.435		不整円形	47 × 29		炭化物を含む。古代以後。
242	5	X = 36.173 Y = -39.435		不整円形	47 × 25		炭化物を含む。古代以後。
243	5	X = 36.172 Y = -39.432		不整円形	35 × 30		炭化物を含む。古代以後。
244	5	X = 36.173 Y = -39.433		不整円形	32 × 46		炭化物を含む。古代以後。
245	5	X = 36.173 Y = -39.432		不整円形	36 × 48		炭化物を含む。古代以後。
246	5	X = 36.172 Y = -39.432		不整円形	46 × 37		炭化物を含む。古代以後。

## 第6節 ビット

ビット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模 (cm) 長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
247	5	X=36.171 Y=-39.432		不整楕円形	59×45×32		古代以後。
248	5	X=36.171 Y=-39.431		楕円形	65×45×44		炭化物を含む。古代以後。
249	5	X=36.171 Y=-39.428		不整円形	43×36		炭化物を含む。古代以後。
250	5	X=36.174 Y=-39.430		不整円形	39×30		古代以後。
251	5	X=36.177 Y=-39.430		不整楕円形	37×32×25		古代以後。
252	5	X=36.175 Y=-39.431		不整楕円形	54×44×50		古墳時代以後。
253	5	X=36.176 Y=-39.431		不整楕円形	47×39×33		炭化物を含む。古代以後。
254	5	X=36.174 Y=-39.432		不整円形	55×55		古代以後。
255	5	X=36.174 Y=-39.432		不整円形	58×56		炭化物を含む。古代以後。
256	5	X=36.174 Y=-39.435		不整楕円形	43×40×53		古代以後。
257	5	X=36.175 Y=-39.437		不整円形	55×21		古代以後。
258	5	X=36.177 Y=-39.436		不整楕円形	43×36×58		古代以後。
259	5	X=36.179 Y=-39.431		不整円形	38×36	土師器小破片 1	古代以後。
260	5	X=36.180 Y=-39.430		不整円形	48×40		古代以後。
261	5	X=36.187 Y=-39.432		不整楕円長 方形	29×30×39		炭化物を含む。
262	5	X=36.184 Y=-39.433	263号ビット→262号 ビット	不整円形	33×36		炭化物を含む。古代以後。
263	5	X=36.184 Y=-39.433	263号ビット→263号 ビット	不整楕円形	46×(31)×35	須恵器小破片 1	焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。
264	5	X=36.186 Y=-39.434	264号ビット→265号 ビット	不定形	(96)×(58)×46		焼土小ブロック・炭化物を含む。古代以後。
265	5	X=36.186 Y=-39.434	264号ビット→265号 ビット	不定形	(96)×(58)×25		焼土小ブロック・炭化物を含む。古代以後。
266	5	X=36.190 Y=-39.441		楕円形	61×55×44		焼土粒子を含む。古代以後。
267	5	X=36.191 Y=-39.442		楕円形	70×63×17		炭化物を含む。古代以後。
268	5	X=36.194 Y=-39.446		不整円形	56×52	土師器小破片 7	焼土粒子・炭化物を含む。古代以後。
269	5	X=36.195 Y=-39.442		楕円形	58×53×30	土師器小破片 2、須恵 器小破片 2	焼土粒子・炭化物を含む。9世紀以後。
270	5	X=36.180 Y=-39.440		不整楕円形	72×61×30		炭化物を含む。古代以後。
271	5	X=36.177 Y=-39.440		不整円形	33×34		古代以後。
272	5	X=36.177 Y=-39.440		不整円形	32×25		炭化物を含む。古代以後。
273	5	X=36.153 Y=-39.431		不定形	54×25×19		焼土を含む。古代以後。 2基のビットの集合。
274	5	X=36.146 Y=-39.436		楕円形	41×36×46		古代以後。
275	5	X=36.147 Y=-39.436		不整楕円長 方形	53×47×13		炭化物を含む。古代以後。 2基のビットの集合。
276	5	X=36.151 Y=-39.436		不整円形	25×49		古代以後。

第二章 発見された遺構・遺物

ピット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
277	5	X=36.152 Y=-39.436		隅丸方形	32×30	土師器小破片 1	古代以後。
279	5	X=36.139 Y=-39.436		不整隅丸方 形	39×43		焼土粒子を含む。古代 以後。
280	5	X=36.137 Y=-39.436		不整楕円形	35×26×38		古代以後。
282	5	X=36.143 Y=-39.429		不整楕円形	57×49×43	須恵器小破片 1	焼土粒子・炭化物を含 む。9世紀以後。
283	5	X=36.143 Y=-39.426		不整楕円形	55×47×49		焼土粒子・炭化物を含 む。古代以後。
285	5	X=36.141 Y=-39.430	285号ピット→286号 ピット	不整楕円形	81×55×62		古代以後。
286	5	X=36.141 Y=-39.430	285号ピット→286号 ピット	不整楕円形	(51)×48×32		焼土粒子・炭化物を含 む。
289	5	X=36.140 Y=-39.426	289号ピット→不明	不整楕円形	43×34×22		焼土粒子を含む。古代 以後。
290	5	X=36.140 Y=-39.426	290号ピット→不明	不整楕円形	48×41×33		焼土粒子・炭化物を含 む。古代以後。
291	5	X=36.139 Y=-39.427		不整楕円形	43×39×27		炭化物を含む。古代以 後。
293	5	X=36.140 Y=-39.428		不整円形	43×42		焼土粒子・炭化物を含 む。
294	5	X=36.140 Y=-39.428		不整楕円形	61×52×48	須恵器小破片 1	焼土粒子・炭化物を含 む。9世紀以後。
295	5	X=36.139 Y=-39.429		楕円形	42×39×27		古代以後。
299	5	X=36.137 Y=-39.433		不整円形	26×17		焼土粒子を含む。古代 以後。
301	5	X=36.136 Y=-39.431		不整隅丸方 形	30×59	土師器小破片 3	古代以後。
302	5	X=36.137 Y=-39.431		不整隅丸方 形	35×28		焼土粒子・炭化物を含 む。古代以後。
305	5	X=36.137 Y=-39.429		楕円形	75×51×32		炭化物を含む。古代以 後。
306	5	X=36.138 Y=-39.427		不整隅丸長 方形	44×36×26		炭化物を含む。古代以 後。
308	5	X=36.136 Y=-39.424		不整楕円形	54×45×37	須恵器小破片 2	9世紀以後。
309	5	X=36.135 Y=-39.427		楕円形	40×35×53		焼土粒子・炭化物を含 む。古代以後。
310	5	X=36.135 Y=-39.426		不整隅丸方 形	29×48		炭化物を含む。
311	5	X=36.131 Y=-39.428		不整隅丸方 形	33×50		古代以後。
312	5	X=36.131 Y=-39.429		不整楕円形	55×45×71		古代以後。
314	5	X=36.139 Y=-39.423		不整円形	53×31	須恵器杯 (380)	9世紀以後。
316	5	X=36.139 Y=-39.433		不整隅丸方 形	22×18		
317	5	X=36.140 Y=-39.432		不整隅丸長 方形	26×29×36		古代以後。
322	5	X=36.184 Y=-39.479		不整楕円形	31×24×34		古墳時代以後。
323	5	X=36.183 Y=-39.479		不整楕円形	57×43×40		古墳時代以後。
324	5	X=36.181 Y=-39.478		不整楕円形	50×37×50		焼土粒子を含む。古墳 時代以後。
325	5	X=36.181 Y=-39.480		不整楕円形	54×47×50		古墳時代以後。

## 第6節 ビット

ビット番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
326	5	X=36.181 Y=-39.478		不整形円形	43×51		古代以後。
327	5	X=36.180 Y=-39.479		不整形円形	30×22		古墳時代以後。
328	5	X=36.180 Y=-39.478		不整形円形	46×40×58		古代以後。
340	19	X=35.983 Y=-39.357		不整形円形	50×34×33		古代以後。
341	19	X=35.984 Y=-39.357		不整形円形	38×30×29		古代以後。
342	19	X=35.984 Y=-39.362		不整形円形	30×30	須恵器小破片 2	9世紀以後。
343	19	X=35.982 Y=-39.366		不整形円形	40×31×42		古代以後。
344	19	X=35.984 Y=-39.367		楕円形	39×31×32	土師器小破片 1	古代以後。
345	19	X=35.982 Y=-39.368		楕円形	29×22×28		
346	19	X=35.982 Y=-39.368	346号ビット→347号ビット	不整形円形	(21)×16×27		
347	19	X=35.982 Y=-39.368	346号ビット→347号ビット	不整形円形	32×25×32		古代以後。
348	19	X=35.982 Y=-39.368		不整形円形	31×30		古代以後。
349	19	X=35.982 Y=-39.368		不整形円形	23×27		古代以後。
350	19	X=35.982 Y=-39.359		不整形丸長方形	36×31×52		
351	3	X=35.995 Y=-39.405		不整形円形	60×53×31		古代以後。
352	3	X=35.991 Y=-39.397		不整形円形	29×5	須恵器権(523)、須恵器蓋(524)	8世紀後半。
353	3	X=35.987 Y=-39.408		不整形丸長方形	27×24×29		古代以後。
354	3	X=35.987 Y=-39.405		不整形丸長方形	36×25×26		古代以後。
355	3	X=35.986 Y=-39.406		不整形円形	52×35×24		古代以後。
356	3	X=35.985 Y=-39.407		不整形円形	47×43×25		古代以後。
357	3	X=35.985 Y=-39.404		不整形丸長方形	25×23×9		古代以後。
358	3	X=35.983 Y=-39.403		不整形丸方形	28×22		古代以後。
359	3	X=35.983 Y=-39.404		不整形丸長方形	28×23×21		古代以後。
360	3	X=35.983 Y=-39.405		不整形丸方形	29×20		古代以後。
361	3	X=35.987 Y=-39.407		不整形丸方形	25×16		古代以後。
362	3	X=35.983 Y=-39.407		不整形円形	50×40×37		古代以後。
363	3	X=35.983 Y=-39.407		楕円形	49×30×27		古代以後。
364	3	X=35.981 Y=-39.405		楕円形	38×34×25		古代以後。
365	3	X=35.980 Y=-39.409		不整形丸方形	25×20		古代以後。
366	3	X=35.980 Y=-39.408		不整形丸四辺形	25×22×21		古代以後。

## 第II章 発見された遺構・遺物

ピット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
367	3	X = 35.979 Y = -39.406		不整楕円形	45×36×20		古代以後。
368	3	X = 35.978 Y = -39.406		不整楕円形	43×26×13		古代以後。
369	3	X = 35.978 Y = -39.407		不整楕円形	55×44×25		古代以後。
370	3	X = 35.977 Y = -39.407		不整楕円形	47×33×18		古代以後。
371	3	X = 35.977 Y = -39.405		不整楕円形	60×45×26		古代以後。
372	3	X = 35.977 Y = -39.404		不整楕円形	68×53×10		古代以後。
373	3	X = 35.976 Y = -39.406		不整楕円形	39×31×21		古代以後。
374	3	X = 35.976 Y = -39.403		不整楕円形	39×30×22		古代以後。
375	3	X = 35.974 Y = -39.404		不整楕円形	40×28×23		
376	3	X = 35.973 Y = -39.404		不整形	37×26		
377	3	X = 35.980 Y = -39.406		不整楕円長 方形	64×32×16		古代以後。
447	5	X = 36.138 Y = -39.425		不整楕円形	24×18×17		
448	5	X = 36.138 Y = -39.425		円形	50×21		
449	5	X = 36.136 Y = -39.427		不整形	40×30		
450	5	X = 36.138 Y = -39.428		楕円形	60×53×20		
451	5	X = 36.139 Y = -39.427		不整楕円形	35×25×20		
452	5	X = 36.140 Y = -39.426		楕円形	31×28×22		
453	5	X = 36.136 Y = -39.422		不整楕円形	33×25×21		
454	5	X = 36.131 Y = -39.426		不整楕円形	24×21×14		
455	5	X = 36.131 Y = -39.427		楕円形	33×23×17		
456	5	X = 36.127 Y = -39.425		楕円形	50×37×12		
457	5	X = 36.135 Y = -39.428		不整楕円形	48×40×25		
459	5	X = 36.187 Y = -39.433		楕円形	30×25×19	土師器小破片 1	古代以後。
460	5	X = 36.189 Y = -39.436		不整楕円形	56×48×34		
461	5	X = 36.189 Y = -39.441		不整楕円形	36×33×40	土師器小破片 3、灰土 器小破片 1	9世紀以後。
462	5	X = 36.191 Y = -39.442		円形	31×20		
463	5	X = 36.191 Y = -39.441		不整形	33×27		
464	5	X = 36.192 Y = -39.443		不整楕円形	45×37×17	土師器小破片 1	古代以後。
465	5	X = 36.195 Y = -39.447		不整楕円形	63×50×46		
466	5	X = 36.196 Y = -39.446		不定形	94×73×13		

## 第6節 ビット

ビット番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
467	5	$X=36.197$ $Y=-39.445$		不整形	45×23	土師器小破片1、須恵器小破片1	9世紀以後。
468	5	$X=36.197$ $Y=-39.445$		楕円形	65×54×15		
469	5	$X=36.195$ $Y=-39.440$		不整形楕円形	35×26×22		
470	5	$X=36.193$ $Y=-39.435$		不整形	30×19		
471	5	$X=36.182$ $Y=-39.429$		不整形楕円形	36×29×38		
472	4	$X=36.068$ $Y=-39.381$		不整形楕円形	29×24×42		
473	4	$X=36.069$ $Y=-39.380$		不整形楕円形	29×25×41		
474	4	$X=36.069$ $Y=-39.382$		不整形	35×28		
475	4	$X=36.069$ $Y=-39.378$		不整形	43×35		
476	4	$X=36.068$ $Y=-39.376$		不整形丸方形	36×32		
477	4	$X=36.089$ $Y=-39.384$		不整形丸長方形	27×23×31		
478	4	$X=36.073$ $Y=-39.383$		不整形丸長方形	37×30×38		
479	4	$X=36.072$ $Y=-39.389$		楕円形	43×33×29		
480	4	$X=36.074$ $Y=-39.381$		不整形丸方形	33×33		
481	4	$X=36.074$ $Y=-39.383$		不整形楕円形	37×32×42		
482	4	$X=36.075$ $Y=-39.381$		不整形丸長方形	42×38×25		
483	4	$X=36.075$ $Y=-39.383$		不整形丸長方形	54×40×36		2基のビットの集合。
484	4	$X=36.076$ $Y=-39.381$		不整形丸長方形	38×34×45		
485	4	$X=36.076$ $Y=-39.383$		不整形楕円形	48×32×40		
486	4	$X=36.077$ $Y=-39.392$		不整形楕円形	38×32×22		
487	4	$X=36.078$ $Y=-39.393$		不整形	32×36		
488	4	$X=36.078$ $Y=-39.393$		不整形	33×30		
489	4	$X=36.078$ $Y=-39.394$		不定形	35×34×24		
490	4	$X=36.079$ $Y=-39.392$		不整形楕円形	35×31×17		
491	4	$X=36.079$ $Y=-39.385$		不整形楕円形	48×40×26		
492	4	$X=36.083$ $Y=-39.382$		不整形丸方形	31×33		
493	4	$X=36.083$ $Y=-39.382$		不整形	33×32		
494	4	$X=36.084$ $Y=-39.394$		不整形楕円形	25×22×25		
495	4	$X=36.084$ $Y=-39.385$		楕円形	45×38×49		
496	4	$X=36.087$ $Y=-39.382$		不整形	36×37		

## 第II章 発見された遺構・遺物

ピット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模 (cm) 長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
497	4	X = 36,087 Y = -39,380		不整形円形	39×34×57		
498	5	X = 36,171 Y = -39,444		不整形円形	49×34×30		
499	5	X = 36,175 Y = -39,445		不整形円形	38×34		
500	5	X = 36,174 Y = -39,447		不整形円形	35×29×25		
501	5	X = 36,176 Y = -39,448		不整形円形	31×33		
502	5	X = 36,177 Y = -39,446		不整形円形	38×34×39		
503	5	X = 36,177 Y = -39,445		不整形円形	28×23×25		
504	5	X = 36,178 Y = -39,445		不整形円形	41×33×13		
505	5	X = 36,178 Y = -39,442		楕円形	45×36×23		
506	19	X = 36,052 Y = -39,343		不整形円形	68×54×37		古代以後。
507	19	X = 36,035 Y = -39,349		不整形円形	67×53×32		古代以後。
508	19	X = 36,034 Y = -39,348		楕円形	47×35×32		古代以後。
509	19	X = 36,034 Y = -39,346		不整形円形	40×23		古代以後。
510	19	X = 36,033 Y = -39,348		不整形円形	41×30×25		古代以後。
511	19	X = 36,031 Y = -39,351		不整形円形	77×36×39		古代以後。
512	19	X = 36,031 Y = -39,351		不整形円形	47×28×23		古代以後。
513	19	X = 36,028 Y = -39,346		楕円形	53×41×32		古代以後。
514	19	X = 36,017 Y = -39,358		不整形円形	42×30×20		古代以後。
515	19	X = 36,016 Y = -39,355		不整形円形	40×29×25		古代以後。
516	19	X = 36,009 Y = -39,355		不整形円形	52×43×31		古代以後。
517	19	X = 36,004 Y = -39,358		不整形円形	48×40×26		古代以後。
518	19	X = 36,003 Y = -39,360		不整形円形	64×43×30		
519	19	X = 36,000 Y = -39,360		不整形丸長 方形	59×48×31		古代以後。
520	19	X = 35,998 Y = -39,358		不整形円形	70×65×26		古代以後。
521	19	X = 35,996 Y = -39,355		不整形円形	40×33×26		古代以後。
522	19	X = 35,988 Y = -39,366		不整形円形	34×25×45		古代以後。
523	19	X = 35,987 Y = -39,366		不整形円形	45×33×34		古代以後。
524	19	X = 35,983 Y = -39,366		不整形丸方 形	40×25		古代以後。
525	19	X = 35,983 Y = -39,368		不整形円形	35×32×26		古代以後。
526	19	X = 35,982 Y = -39,367		不整形円形	34×29×30		

ビット番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
527	19	$X = 35,980$ $Y = -39,368$		不定形	49×45×33		古代以後。
528	19	$X = 35,980$ $Y = -39,367$		不整楕円形	49×37×31		古代以後。
529	19	$X = 35,980$ $Y = -39,368$		不定形	53×45×29		古代以後。
530	19	$X = 35,978$ $Y = -39,367$		不定形	61×37×25		古代以後。
531	19	$X = 35,982$ $Y = -39,357$		不整楕円形	40×32×27		古代以後。
532	19	$X = 35,986$ $Y = -39,357$		不整隅丸方形	42×22		古代以後。
533	19	$X = 35,988$ $Y = -39,354$		楕円形	53×29×32		
534	19	$X = 35,986$ $Y = -39,344$		不整楕円形	39×33×27		古代以後。
535	19	$X = 35,986$ $Y = -39,345$		不整隅丸台形	44×37×23		古代以後。
536	19	$X = 35,986$ $Y = -39,341$		不整隅丸方形	45×23		古代以後。
537	19	$X = 35,992$ $Y = -39,339$		不整円形	41×29		古代以後。
538	19	$X = 35,992$ $Y = -39,338$		不整円形	29×27		古代以後。
539	19	$X = 35,996$ $Y = -39,344$		不整楕円形	60×51×34		古代以後。
540	19	$X = 35,998$ $Y = -39,343$		不整楕円形	53×32×22		古代以後。
541	19	$X = 36,002$ $Y = -39,338$		楕円形	82×57×32		古代以後。
542	19	$X = 36,007$ $Y = -39,338$		不整楕円形	48×37×34		古代以後。
543	19	$X = 36,007$ $Y = -39,337$		不整楕円形	52×44×32		古代以後。
544	19	$X = 36,006$ $Y = -39,342$		不整楕円形	48×37×34		
545	19	$X = 36,007$ $Y = -39,341$		不整楕円形	56×45×42		
546	19	$X = 36,006$ $Y = -39,344$		不整楕円形	67×47×39		
547	19	$X = 36,010$ $Y = -39,344$		楕円形	47×37×29		古代以後。
548	19	$X = 36,012$ $Y = -39,343$		不定形	62×47×31		古代以後。
549	19	$X = 36,012$ $Y = -39,344$		楕円形	56×48×28		古代以後。
550	19	$X = 36,014$ $Y = -39,342$		楕円形	56×39×27		古代以後。
551	19	$X = 36,015$ $Y = -39,343$		不整隅丸五角形	45×34		古代以後。
552	19	$X = 36,012$ $Y = -39,340$		不整楕円形	57×45×25		古代以後。
553	19	$X = 36,002$ $Y = -39,353$		不整円形	42×26		
554	21	$X = 35,996$ $Y = -39,289$		不整楕円形	(45)×(40)×14		古代以後。
555	21	$X = 35,969$ $Y = -39,290$		不整円形	(28)×20		炭化物を含む。
556	21	$X = 35,969$ $Y = -39,290$		不整隅丸方形	(32)×15		炭化物を含む。



第二章 発見された遺構・遺物

ピット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
557	21	X = 35,964 Y = -39,291		円形	35×50		
558	21	X = 35,969 Y = -39,292		不整形円形	42×38×30	須恵器小破片 1	炭化物を含む。9世紀以後。
559	21	X = 35,965 Y = -39,288		不整形円形	44×37×63		
560	18	X = 35,963 Y = -39,329		不定形	56×36×22	土師器小破片 2、須恵器小破片 1	9世紀以後。
561	22	X = 35,989 Y = -39,289		(不整形円形)	35×18		焼土粒子・炭化物を含む。
562	22	X = 35,991 Y = -39,299		不整形円形	30×27×17		
563	22	X = 35,990 Y = -39,300		不整形円形	41×28×21		
564	22	X = 35,984 Y = -39,299		不整形円形	27×24		
565	22	X = 35,986 Y = -39,302		不整形円形	33×28×30		
566	22	X = 35,987 Y = -39,304		不整形円形	33×25×27		
567	22	X = 35,987 Y = -39,305		不整形円形	26×21×16		古代以後。
568	22	X = 35,989 Y = -39,306		不整形円形	34×30×26		多量の焼土ブロックを含む。
569	22	X = 35,991 Y = -39,306		不整形円形	32×28×9		炭化物を含む。
570	22	X = 35,987 Y = -39,271		不整形円形	33×18		古代以後。
571	22	X = 35,994 Y = -39,292		不整形円形	28×24×7		古代以後。
597	18	X = 35,966 Y = -39,334		不整形円形	76×37×39		古代以後。
598	18	X = 35,971 Y = -39,333		不定形	58×40×29		古代以後。
599	18	X = 35,970 Y = -39,345		不定形	140×60×51		古代以後。
600	18	X = 35,964 Y = -39,352		不定形	47×29×24		古代以後。
601	18	X = 35,964 Y = -39,352		不定形	45×30×22		古代以後。2基のピットの集合。
602	18	X = 35,965 Y = -39,346		不整形円形	72×37×18		多量の焼土粒子を含む。古代以後。
603	18	X = 35,965 Y = -39,347		不整形円形	58×38×29	土師器小破片 2	古代以後。2基のピットの集合。
604	18	X = 35,965 Y = -39,348		不整形円形	53×45×28		古代以後。2基のピットの集合。
605	18	X = 35,965 Y = -39,348		楕円形	56×35×22	須恵器小破片 1	9世紀以後。
606	18	X = 35,967 Y = -39,348		不定形	36×30×18		古代以後。3基のピットの集合。
607	18	X = 35,963 Y = -39,348		不整形円形	37×335×18		古代以後。
608	18	X = 35,963 Y = -39,342		楕円形	35×27×17	土師器台付壺小破片 4	古代以後。
609	18	X = 35,961 Y = -39,341		楕円形	28×25×31		
610	18	X = 35,962 Y = -39,343		不定形	50×32×29		古代以後。2基のピットの集合。
611	18	X = 35,964 Y = -39,328		不定形	143×85×35		4基のピットの集合。

## 第6節 ビット

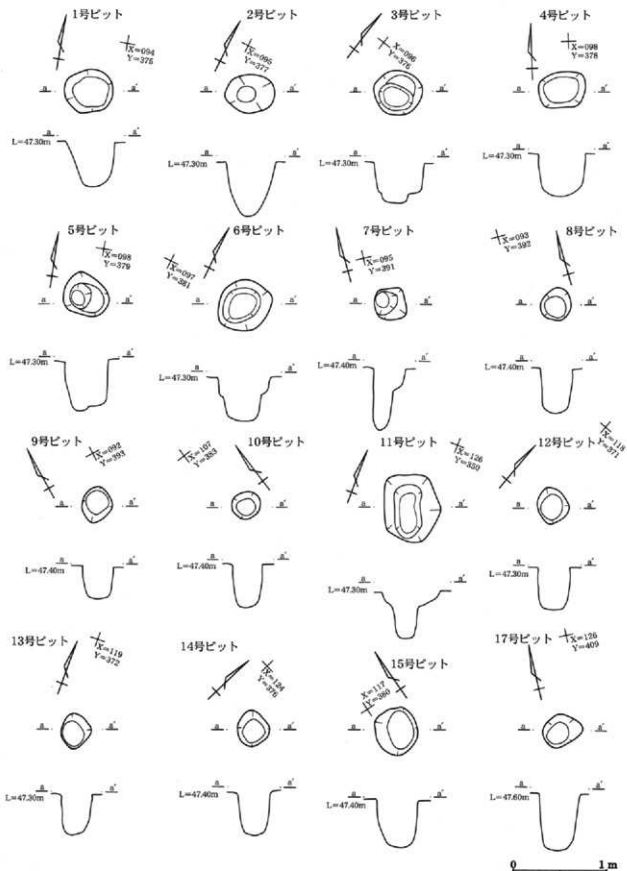
ビット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
612	18	$X = 35,966$ $Y = -39,328$		不整楕円形	53×48×35		
613	18	$X = 35,966$ $Y = -39,328$		不整楕円形	67×46×34		古代以後。
623	18	$X = 35,916$ $Y = -39,384$		不整楕円形	59×52×114		古代以後。
644	17	$X = 35,853$ $Y = -39,405$		(不整楕円形)	(50)×51×34		
645	17	$X = 35,848$ $Y = -39,399$		不整楕円形	33×27×25		
646	17	$X = 35,852$ $Y = -39,401$		不整楕円形	56×46×20		古代以後。
647	17	$X = 35,852$ $Y = -39,398$		不整楕円形	63×51×34		古代以後。
648	17	$X = 35,854$ $Y = -39,405$		不整楕円形	58×41×30		
649	17	$X = 35,855$ $Y = -39,401$		不整楕円形	67×43×24		
650	17	$X = 35,855$ $Y = -39,404$		不整楕円形	60×53×33		
651	17	$X = 35,855$ $Y = -39,403$		不定形	70×59×35		古代以後。
652	17	$X = 35,856$ $Y = -39,406$		不定形	(53)×40×18		
653	17	$X = 35,855$ $Y = -39,404$		不定形	70×32×35		
654	17	$X = 35,859$ $Y = -39,401$		不整円形	40×28		
655	17	$X = 35,859$ $Y = -39,401$		不整円形	35×24		古代以後。
656	17	$X = 35,860$ $Y = -39,405$		不定形	(21)×41×47		
657	17	$X = 35,865$ $Y = -39,400$		不定形	56×47×24		2基のビットの集合。
658	17	$X = 35,865$ $Y = -39,400$		不定形	55×40×33		2基のビットの集合。
659	17	$X = 35,861$ $Y = -39,392$		不定形	91×47×27		古代以後。3基のビットの集合。
660	3	$X = 36,032$ $Y = -39,400$		不整楕円形	32×24×12		
661	3	$X = 36,043$ $Y = -39,392$		不整楕円形	28×23×15		古代以後。
666	3	$X = 36,032$ $Y = -39,399$		不整円形	25×12		古代以後。
667	3	$X = 36,038$ $Y = -39,395$		不整楕円形	33×30×14		
668	3	$X = 36,010$ $Y = -39,405$		不整楕円形	30×25×31		古代以後。
669	3	$X = 36,009$ $Y = -39,406$		不整楕円形	30×27×16		古代以後。
670	3	$X = 36,007$ $Y = -39,406$		不整楕円形	32×26×37		古代以後。
671	3	$X = 36,007$ $Y = -39,407$		不整楕円形	33×28×51	須恵器小破片1	9世紀以後。
696	3	$X = 36,040$ $Y = -39,391$		不整楕円形	25×22×27		古代以後。
697	3	$X = 36,041$ $Y = -39,392$		楕円形	31×27×44		古代以後。
698	3	$X = 36,042$ $Y = -39,392$		円形	32×67		古代以後。

第II章 発見された遺構・遺物

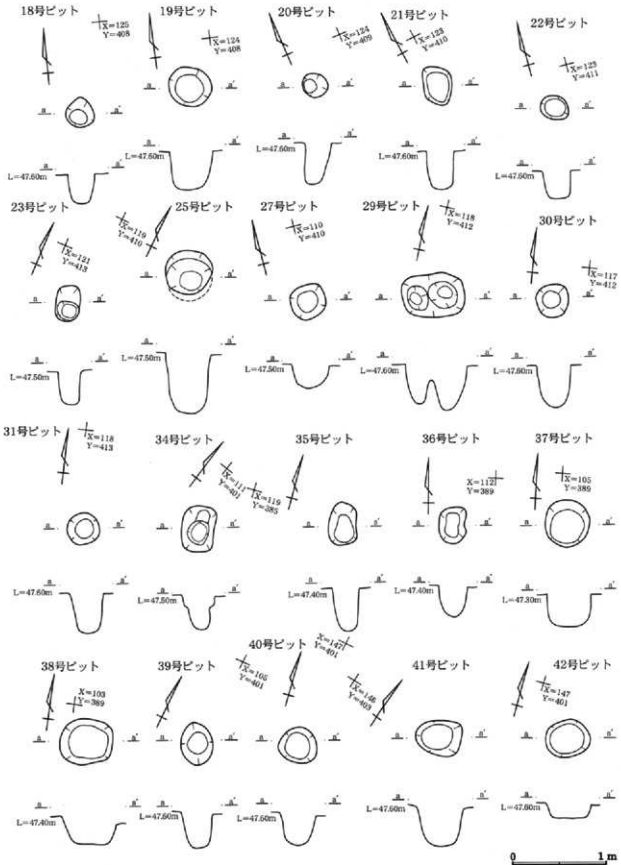
ピット 番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×深さ	出土遺物	年代・その他
705	3	X = 36.041 Y = -39.389		不整形円形	23×17×12		古代以後。
706	3	X = 36.041 Y = -39.389		不整形円形	43×32×22		古代以後。
707	3	X = 36.042 Y = -39.391		不整形円形	55×46×20		古代以後。
709	3	X = 36.037 Y = -39.393		不整形円形	24×33		古代以後。
710	3	X = 36.034 Y = -39.393	711号ピット→不明	不整形円形	26×8		古代以後。
711	3	X = 36.034 Y = -39.393	712号ピット→不明	不整形円形	60×49×25		古代以後。
712	3	X = 36.036 Y = -39.395		楕円形	32×26×23		古代以後。
713	3	X = 36.036 Y = -39.395		不整形楕円形	31×25×13		古代以後。
714	3	X = 36.034 Y = -39.394		楕円形	45×39×42		古代以後。
715	3	X = 36.029 Y = -39.398		不整形楕円形	37×27×15		
716	3	X = 36.028 Y = -39.399		不整形丸長 方形	61×45×26		
717	3	X = 36.023 Y = -39.340		楕円形	45×39×22		
718	3	X = 36.022 Y = -39.400		楕円形	37×30×20		古代以後。
719	3	X = 36.004 Y = -39.405		不整形楕円形	(51)×45×16		
720	3	X = 36.003 Y = -39.405		楕円形	30×27×15		
721	3	X = 36.002 Y = -39.406		不整形円形	34×19		
722	3	X = 36.001 Y = -39.408		不整形円形	27×21		古代以後。
723	3	X = 36.002 Y = -39.407		楕円形	32×28×11		
724	3	X = 36.001 Y = -39.408		楕円形	45×33×19		
725	3	X = 36.000 Y = -39.408		楕円形	44×32×19		
726	3	X = 35.998 Y = -39.407		楕円形	51×33×21		
727	3	X = 35.998 Y = -39.409		不整形楕円形	57×37×35		
728	3	X = 36.032 Y = -39.398		不整形楕円形	26×22×17		
729	3	X = 36.033 Y = -39.399		楕円形	38×32×14		
730	3	X = 36.031 Y = -39.400		不整形丸長 方形	57×42×37		古代以後。
731	3	X = 36.030 Y = -39.401		(不整形円形)	44×40		古代以後。
732	3	X = 36.029 Y = -39.340		不整形丸方 形	36×34		
733	3	X = 36.030 Y = -39.399	733号ピット→734号 ピット	不定形	75×39×42		
734	3	X = 36.030 Y = -39.399	733号ピット→734号 ピット	不定形	97×60×40		
736	3	X = 35.997 Y = -39.408		不整形楕円形	39×28×12		古代以後。

ビット番号	地区	出土位置	重複関係	平面形	規模(cm)長辺・長軸 ×短辺・短軸×厚さ	出土遺物	年代・その他
737	3	$X=35.996$ $Y=-39.408$		不整楕円形	39×24×18		
738	3	$X=35.996$ $Y=-39.411$		(不整楕円形)	(27)×43×57		古代以後。
740	3	$X=35.994$ $Y=-39.408$		不整楕円形	52×38×18		
744	3	$X=35.986$ $Y=-39.411$		不整楕円形	25×18×46		古代以後。
745	3	$X=35.986$ $Y=-39.410$		円形	48×25		
746	3	$X=35.985$ $Y=-39.412$		楕円形	44×35×23		
747	3	$X=35.984$ $Y=-39.410$		不整楕円形	48×37×23		古代以後。
748	3	$X=35.982$ $Y=-39.410$		不整楕円形	58×38×37		古代以後。
750	3	$X=35.980$ $Y=-39.415$		(不整楕円形)	(28)×35×50		古代以後。
751	3	$X=35.980$ $Y=-39.413$		不整楕円形	33×30×15	土師器小破片 1	
752	3	$X=35.979$ $Y=-39.413$		不整円形	23×20		
753	3	$X=35.978$ $Y=-39.414$		不整楕円形	43×30×28	土師器小破片 3	
754	3	$X=35.978$ $Y=-39.413$		不整楕円形	24×19×13		古代以後。
755	3	$X=35.977$ $Y=-39.413$		不整楕円形	35×28×25		
756	3	$X=35.977$ $Y=-39.413$		不整円形	35×17		
757	3	$X=35.977$ $Y=-39.414$		不整楕円形	32×28×11	土師器小破片 1	
758	3	$X=35.976$ $Y=-39.413$		不整楕円形	25×21×17		
759	3	$X=35.975$ $Y=-39.416$		不定形	55×30×25		古代以後。
760	3	$X=35.975$ $Y=-39.415$		不整楕円形	68×43×50		
761	3	$X=35.973$ $Y=-39.414$		不整円形	21×14		
762	3	$X=35.973$ $Y=-39.414$		不整円形	24×14		
763	3	$X=35.972$ $Y=-39.415$		楕円形	38×26×14		
764	3	$X=35.971$ $Y=-39.415$		不整楕円形	39×30×13		
765	3	$X=35.971$ $Y=-39.414$		不整楕円形	34×29×8		
766	3	$X=35.970$ $Y=-39.414$		楕円形	28×25×33		
767	3	$X=35.969$ $Y=-39.413$		不整楕円形	44×35×29		

第II章 発見された遺構・遺物



第296図 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・17号ビット



第297図 18・19・20・21・22・23・25・27・29・30・31・34・35・36・37・38・39・40・41・42号ビット

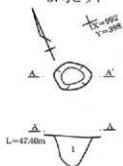






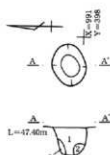
第二章 発見された遺構・遺物

87号ピット



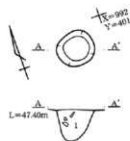
1 暗褐色土：焼土粒子及び少量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

88号ピット



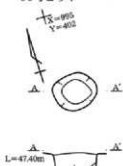
1 暗褐色土：焼土粒子及び少量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 褐色土：黄褐色土粒子を含む。

89号ピット



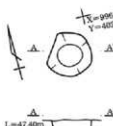
1 暗褐色土：焼土粒子・褐色土ブロック・軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

90号ピット



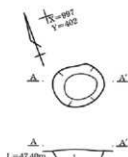
1 暗褐色土：焼土粒子・炭化物粒子・軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 暗褐色土：少量の黄褐色土粒子を含む。

91号ピット



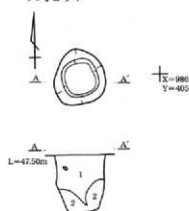
1 暗褐色土：焼土粒子及び少量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

92号ピット



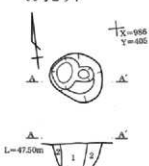
1 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物粒子を含む。  
2 暗褐色土：少量の黄褐色土ブロックを含む。

94号ピット



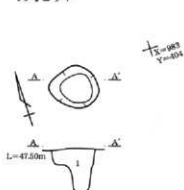
1 暗褐色土：焼土粒子・炭化物粒子・軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 暗褐色土：黄褐色土小ブロックを含む。

95号ピット



1 暗褐色土：焼土粒子・炭化物粒子・軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 暗褐色土：黄褐色土小ブロックを含む。

96号ピット

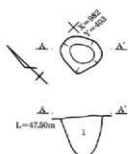


1 暗褐色土：少量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。



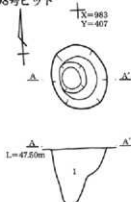
第300図 87・88・89・90・91・92・94・95・96号ピット

97号ビット



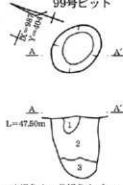
1 暗褐色土：焼土粒子・炭化物粒子及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

98号ビット



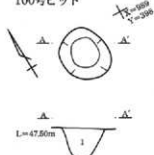
1 暗褐色土：炭化物粒子及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

99号ビット



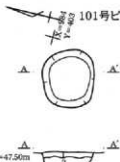
1 暗褐色土：黄褐色土ブロックを含む。  
2 暗褐色土：焼土粒子・炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
3 暗褐色土：焼土粒子・黄褐色土ブロックを含む。

100号ビット



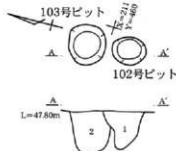
1 暗褐色土：焼土粒子・炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

101号ビット



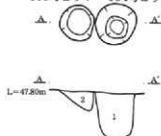
1 暗褐色土：多量の炭化物及び軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
2 暗褐色土：黄褐色土小ブロックを含む。

103号ビット



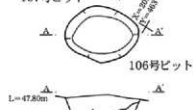
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。(102号ビット)  
2 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性弱い。(103号ビット)

105号ビット 104号ビット



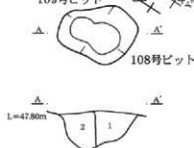
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。(104号ビット)  
2 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性弱い。(105号ビット)

107号ビット



1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。(107号ビット)  
2 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性弱い。(106号ビット)

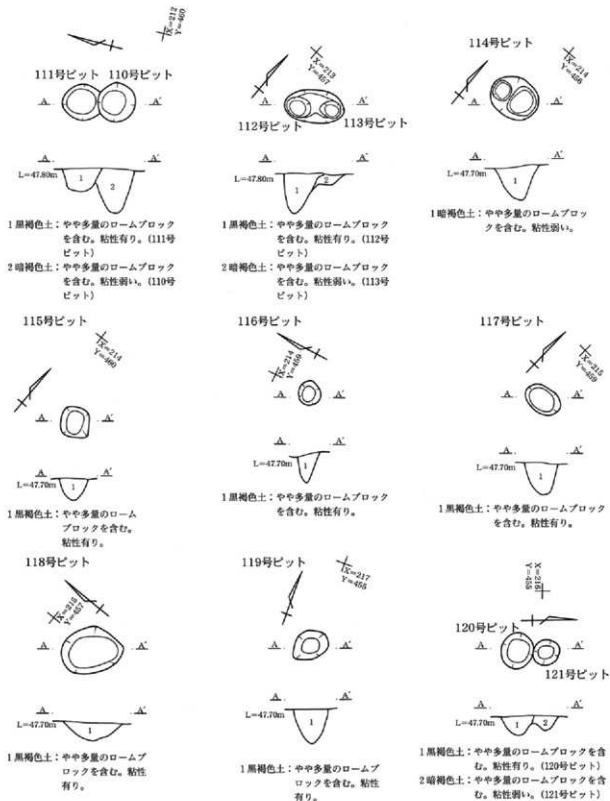
109号ビット



1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。(108号ビット)  
2 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性弱い。(109号ビット)

0 1m

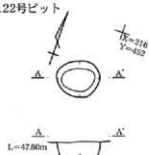
第二章 発見された遺構・遺物



第302図 110・111・112・113・114・115・116・117・118・119・120・121号ビット

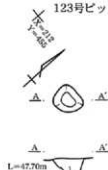
第6節 ビット

122号ビット



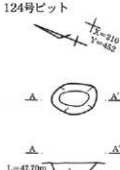
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

123号ビット



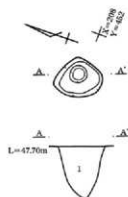
1 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性弱い。

124号ビット



1 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性弱い。

125号ビット



1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

126号ビット



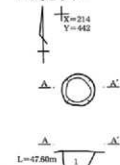
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

127号ビット



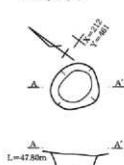
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

128号ビット



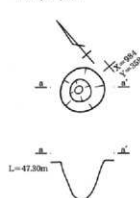
1 黒褐色土：やや多量のロームブロックを含む。粘性有り。

171号ビット



1 黒褐色土：少量の軽石 (As・C・Hr-Fa)を含む。粘性弱い。

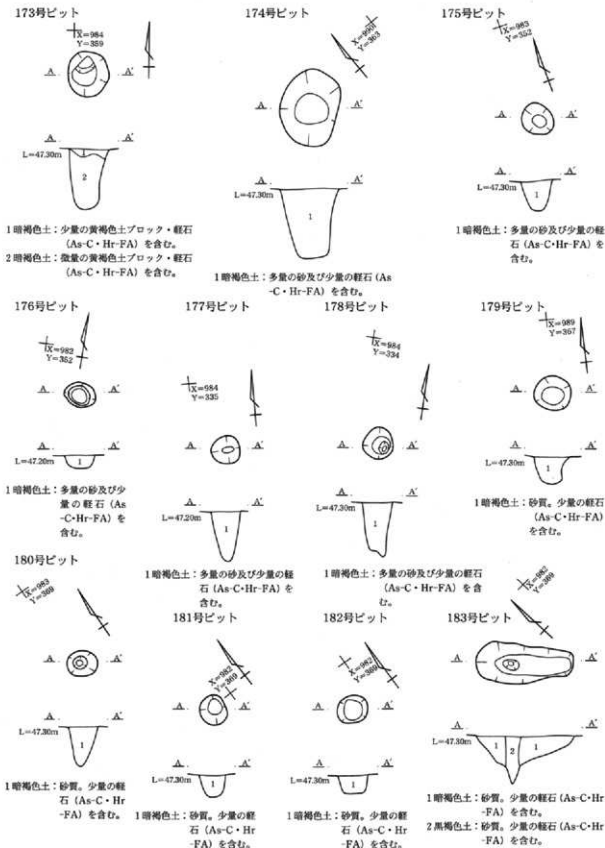
172号ビット



0 1m

第303図 122・123・124・125・126・127・128・171・172号ビット

第二章 発見された遺構・遺物



第304図 173・174・175・176・177・178・179・180・181・182・183号ビット

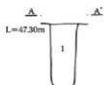
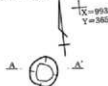
第6節 ビット

184号ビット



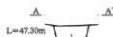
1暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

185号ビット



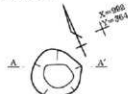
1暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

186号ビット



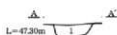
1暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

187号ビット



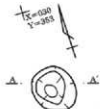
1暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

188号ビット



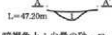
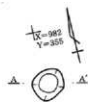
1暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

189号ビット



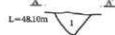
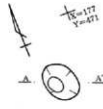
1暗褐色土：少量の砂・ロームブロック・軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

190号ビット



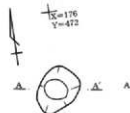
1暗褐色土：少量の砂・ロームブロック・軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

191号ビット



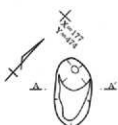
1黒褐色土：砂質堆積土。

192号ビット



1黒褐色土：少量の浜水土斑を含む。  
2暗褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。  
3黒褐色土：砂質堆積土。

193号ビット



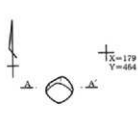
1黒褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。  
2黒褐色土：浜水土斑を含む。

194号ビット



1黒褐色土：少量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。  
2黒褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。  
3暗褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。

195号ビット

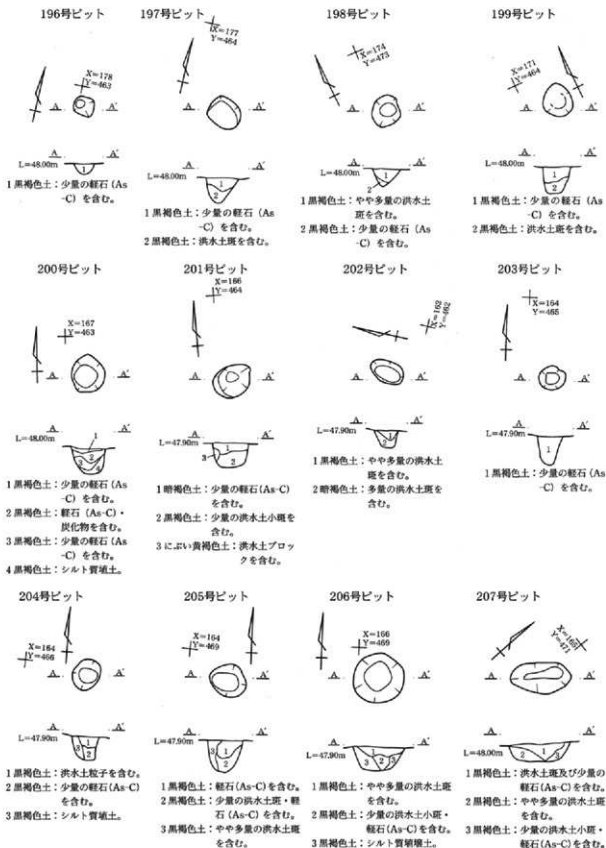


1暗褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。  
2黒褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。



第305図 184・185・186・187・188・189・190・191・192・193・194・195号ビット

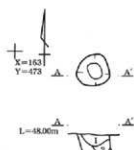
第二章 発見された遺構・遺物



306図 196・197・198・199・200・201・202・203・204・205・206・207号ビット

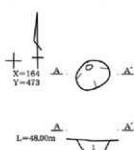
0 1m

208号ビット



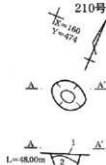
- 1 暗褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：洪水土斑を含む。
- 3 暗褐色土：少量の洪水土斑を含む。

209号ビット



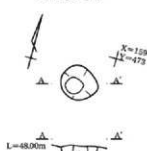
- 1 黒褐色土：洪水土斑を含む。

210号ビット



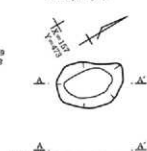
- 1 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質壤土。

211号ビット



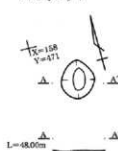
- 1 黒褐色土：洪水土斑主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

212号ビット



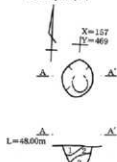
- 1 黒褐色土：洪水土斑主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：汚れた洪水土。

213号ビット



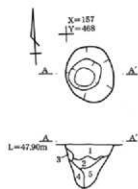
- 1 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

214号ビット



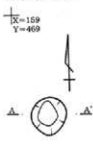
- 1 黒褐色土：洪水土斑主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

215号ビット



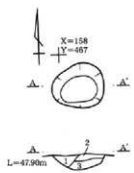
- 1 黒褐色土：洪水土斑主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 灰黄褐色土：洪水土ブロック。
- 4 原褐色土：汚れた洪水土。
- 5 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

216号ビット



- 1 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

217号ビット



- 1 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 2 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：やや多量の洪水土斑を含む。

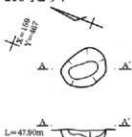
0 1 m

第307図 208・209・210・211・212・213・214・215・216・217号ビット



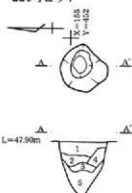
第二章 発見された遺構・遺物

218号ピット



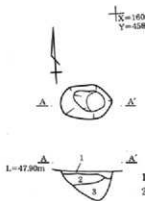
- 1 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石（As-C）を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

221号ピット



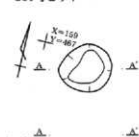
- 1 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石（As-C）を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石（As-C）を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 4 黒褐色土：洪水土ブロックを含む。
- 5 黒褐色土：洪水土由来のシルト質壤土。

224号ピット



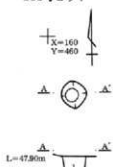
- 1 黒褐色土：少量の軽石（As-C）を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石（As-C）を含む。
- 3 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

219号ピット



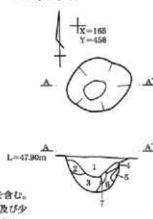
- 1 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石（As-C）を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：洪水土ブロック・洪水土斑を含む。
- 4 黒褐色土：洪水土斑を含む。

222号ピット

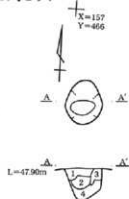


- 1 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。

225号ピット

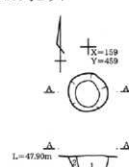


220号ピット



- 1 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石（As-C）を含む。
- 2 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 3 黒褐色土：洪水土主体。少量の軽石（As-C）を含む。
- 4 黒褐色土：シルト質壤土。

223号ピット



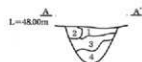
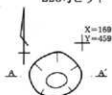
- 1 黒褐色土：少量の洪水土斑を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量の洪水土斑及び少量の軽石（As-C）を含む。

- 1 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石（As-C）を含む。
- 2 黒褐色土：多量の暗褐色土小斑及び少量の黒色土小斑を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質壤土。少量の軽石（As-C）を含む。
- 4 黒褐色土：多量の暗赤褐色土斑を含む。
- 5 褐色土：洪水土ブロック。
- 6 黒褐色土：砂質壤土。少量の軽石（As-C）を含む。
- 7 攪乱：木の根。

0 1m

第308図 218・219・220・221・222・223・224・225号ピット

226号ビット



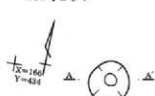
- 1 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：多量の暗褐色土小斑及び少量の黒色土小斑を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質堆積土。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 4 黒褐色土：埋戻り砂土。少量の軽石 (As-C) を含む。

229号ビット



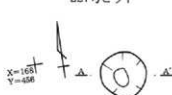
- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：暗褐色重粘土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 暗オリーブ褐色土：黒褐色土を含む。

232号ビット



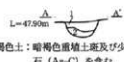
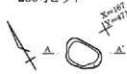
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

227号ビット



- 1 暗褐色土：暗オリーブ褐色土小斑及び少量の炭化物・軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質堆積土。少量の軽石 (As-C) を含む。

230号ビット



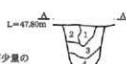
- 1 黒褐色土：暗褐色重粘土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 2 黒褐色土：多量の暗褐色土小斑及び少量の黒色土小斑を含む。

233号ビット



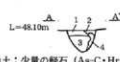
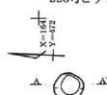
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

234号ビット



- 1 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) 及び少量の炭化物を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。
- 4 黒褐色土：混入物なし。

228号ビット



- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：シルト質堆積土。
- 4 暗オリーブ褐色土：黒褐色土斑を含む。

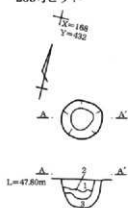
231号ビット



- 1 黒褐色土：やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：暗褐色重粘土斑及び少量の軽石 (As-C) を含む。
- 4 黒褐色土：シルト質堆積土。
- 5 オリーブ褐色土：黒褐色土斑を含む。

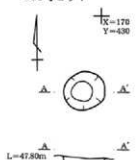
第二章 発見された遺構・遺物

235号ピット



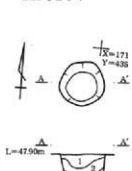
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

238号ピット



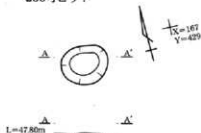
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

241号ピット



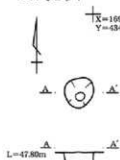
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

236号ピット



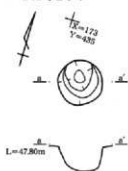
- 1 黒褐色土：やや多量の洪水土壌を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 3 黒褐色土：洪水土壌及び少量の炭化物を含む。
- 4 黒褐色土：混入物なし。

239号ピット

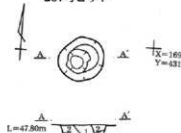


- 1 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

242号ピット

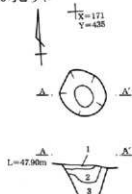


237号ピット



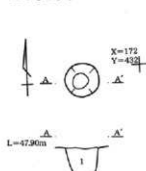
- 1 黒褐色土：暗褐色土小斑・軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

240号ピット



- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：混入物なし。

243号ピット

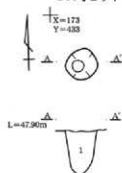


- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

0 1 m

第310図 235・236・237・238・239・240・241・242・243号ピット

244号ビット



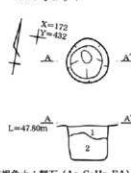
1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

245号ビット



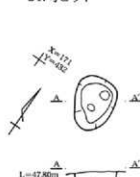
1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。

246号ビット



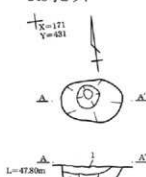
1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量の炭化物を含む。  
2 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

247号ビット



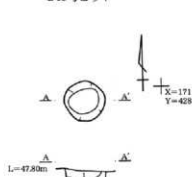
1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

248号ビット



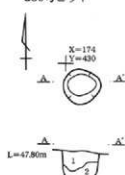
1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA)・炭化物を含む。  
3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。  
4 黄褐色土：ロームブロック。

249号ビット



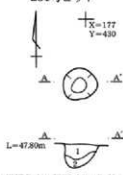
1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA)・炭化物を含む。  
3 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

250号ビット



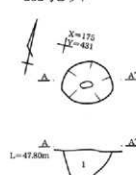
1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

251号ビット



1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

252号ビット



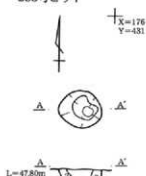
1 黒褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C) を含む。

第311図 244・245・246・247・248・249・250・251・252号ビット

0 1 m

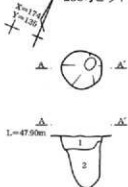
第II章 発見された遺構・遺物

253号ビット



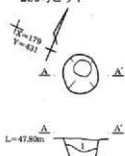
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA)・炭化物を含む。
- 3 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

256号ビット



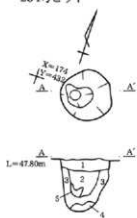
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

259号ビット



- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

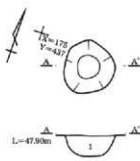
254号ビット



- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：混入物少ない。
- 3 黒褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C) を含む。
- 4 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

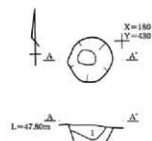
5 攪乱

257号ビット



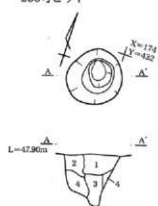
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

260号ビット



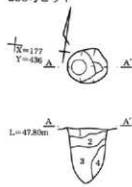
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

255号ビット



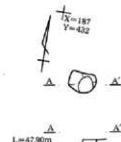
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA)・炭化物を含む。
- 4 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。

258号ビット



- 1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：ロームブロック・軽石 (As-C) を含む。
- 4 暗褐色土：汚れたローム。少量の軽石 (As-C) を含む。

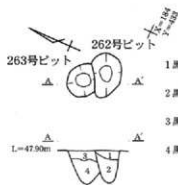
261号ビット



- 1 黒褐色土：炭化物粒子・ローム班・軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：多量の炭化物粒子及び軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

0 1m

第312図 253・254・255・256・257・258・259・260・261号ビット

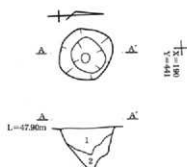


- 1 黒褐色土：焼土小ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(262号ビット)
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA)・洪水土壌及び少量の炭化物を含む。(262号ビット)
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の焼土粒子を含む。(263号ビット)
- 4 黒褐色土：炭化物及び少量の焼土粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(263号ビット)



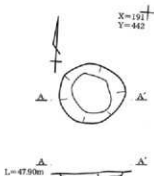
- 1 黒褐色土：焼土小ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(264号ビット)
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含む。(264号ビット)
- 3 黒褐色土：焼土小ブロック・炭化物・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(265号ビット)

266号ビット



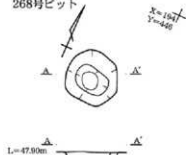
- 1 黒褐色土：焼土粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：やや多量のローム斑を含む。

267号ビット



- 1 黒褐色土：炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 暗褐色土：ローム漸移層の崩れ。少量の軽石 (As-C) を含む。
- 3 黒褐色土：ローム斑・軽石 (As-C) を含む。

268号ビット



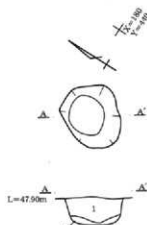
- 1 黒褐色土：焼土粒子・炭化物・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：炭化物・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 暗褐色土：少量の軽石 (As-C) を含む。

269号ビット



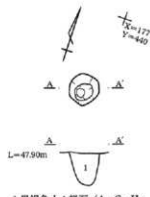
- 1 黒褐色土：多量の焼土粒子・炭化物及び軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

270号ビット



- 1 黒褐色土：炭化物粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：少量のローム斑を含む。

271号ビット



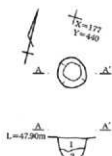
- 1 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

0 1m

第313図 262・263・264・265・266・267・268・269・270・271号ビット

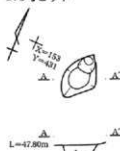
第II章 発見された遺構・遺物

272号ピット



- 1 黒褐色土：炭化物粒子・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

273号ピット

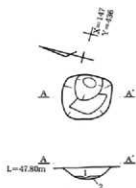


- 1 黒褐色土：焼土粒子・ローム小斑・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。



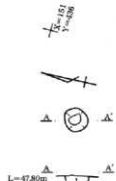
- 1 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 黒褐色土：ローム小ブロック・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 3 黒褐色土：多量のロームブロックを含む。

275号ピット



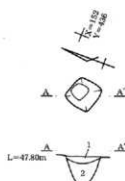
- 1 黒褐色土：多量の炭化物及び軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 暗褐色土とロームの強土。

276号ピット



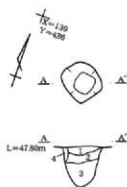
- 1 黒褐色土：軽色土。軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 暗褐色土：ローム斑を含む。

277号ピット



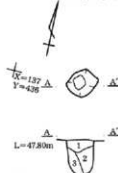
- 1 黒褐色土：砂質壤土。軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 暗褐色土：ローム斑を含む。

279号ピット



- 1 黒褐色土：砂質壤土。焼土粒子。軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽色土。焼土粒子・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 3 暗褐色土：ローム斑を含む。
- 4 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含み硬く締まる。

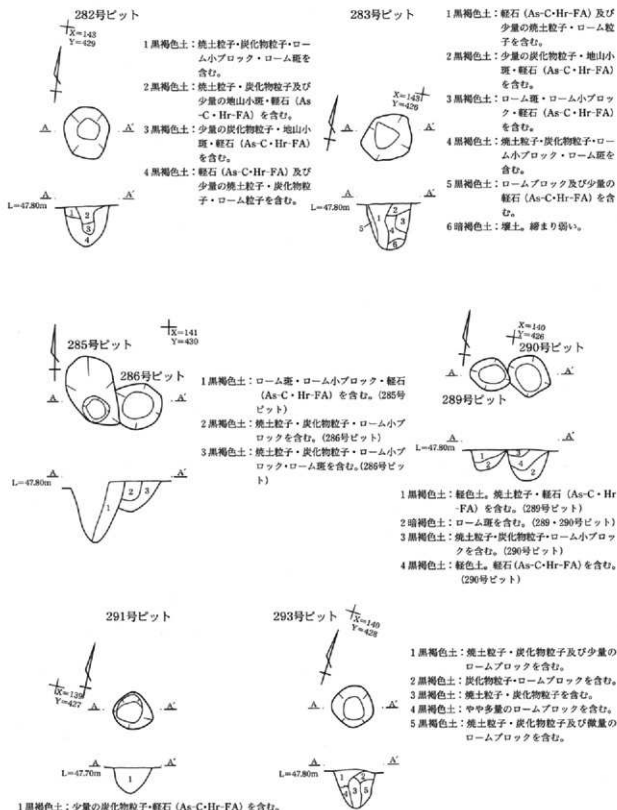
280号ピット



- 1 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽色土。軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 3 暗褐色土：ローム斑を含む。

0 1m

第314図 272・273・274・275・276・277・279・280号ピット



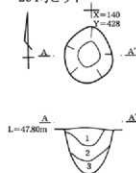
第315図 282・283・285・286・289・290・291・293号ビット

0 1 m



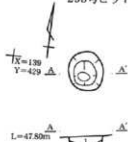
第二章 発見された遺構・遺物

294号ピット



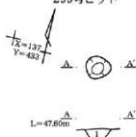
- 1 黒褐色土：多量のローム斑及び焼土粒子・軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr-FA) 及び微量の焼土粒子・炭化物粒子を含む。
- 3 黒褐色土：微量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

295号ピット



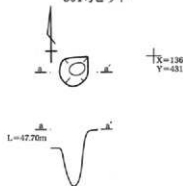
- 1 黒褐色土：多量のローム斑及び軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：微量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。
- 3 攪乱

299号ピット



- 1 黒褐色土：多量のローム斑及び焼土粒子・軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

301号ピット



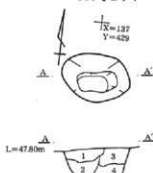
- 1 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr-FA) 及び微量の焼土粒子・炭化物粒子を含む。
- 2 黒褐色土：微量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

302号ピット



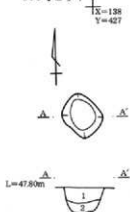
- 1 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr-FA) 及び微量の焼土粒子・炭化物粒子を含む。
- 2 黒褐色土：微量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

305号ピット



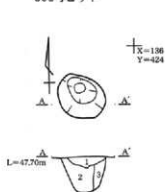
- 1 黒褐色土：炭化物粒子・ロームブロック・軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。
- 2 褐色土：褐色重積土の斑・ブロック中心。
- 3 黒褐色土：軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。
- 4 黒褐色土：微量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

306号ピット



- 1 黒褐色土：炭化物粒子・クロボタ土を含む。
- 2 黒褐色土：炭化物粒子・軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。

308号ピット

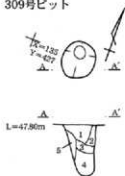


- 1 黒褐色土：ローム粒子・軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：多量のローム斑及び少量の軽石 (As・C・Hr-FA) を含む。
- 3 暗褐色土：ローム漸移層の崩れ。

0 1m

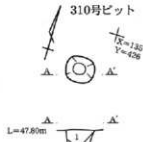
第316図 294・295・299・301・302・305・306・308号ピット

309号ビット



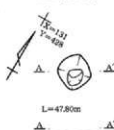
- 1 黒褐色土：ローム粒子及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の焼土粒子・炭化物粒子を含む。
- 4 黒褐色土：微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 5 暗褐色土：ローム漸移層の崩れ。

310号ビット



- 1 黒褐色土：洪水土粒子及び少量の炭化物粒子を含む。
- 2 黒褐色土：ローム粒子を含む。

311号ビット



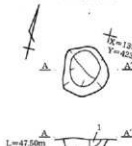
- 1 黒褐色土：洪水土起原の土。やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：粘質。洪水土起原の土。
- 3 黒褐色土：ローム粒子を含む。

312号ビット



- 1 黒褐色土：洪水土起原の土。やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：粘質。洪水土起原の土。
- 3 黒褐色土：ローム粒子を含む。

314号ビット



- 1 褐色土：ロームブロック。
- 2 黒褐色土：クロボク土主体。ローム斑・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 黒褐色土：クロボク土主体。ローム斑を含む。

316号ビット



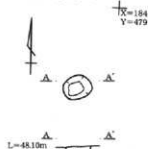
- 1 黒褐色土：粘質。洪水土起原の土。

317号ビット



- 1 黒褐色土：洪水土起原の土。やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2 黒褐色土：粘質。洪水土起原の土。

322号ビット

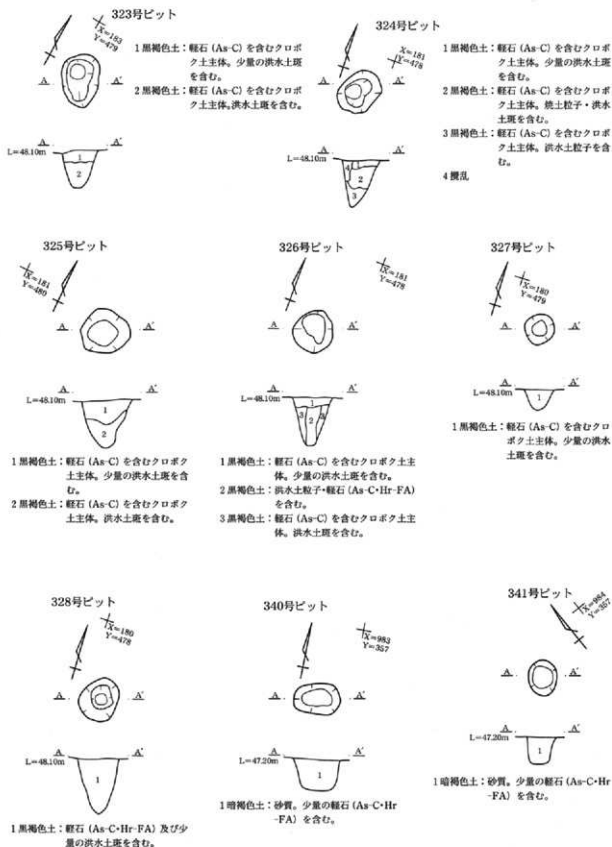


- 1 黒褐色土：軽石 (As-C) を含むクロボク土主体。少量の洪水土斑を含む。
- 2 黒褐色土：軽石 (As-C) を含むクロボク土主体。洪水土粒子を含む。

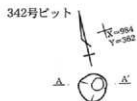
0 1m

第317図 309・310・311・312・314・316・317・322号ビット

第二章 発見された遺構・遺物



第318図 323・324・325・326・327・328・340・341号ピット



1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



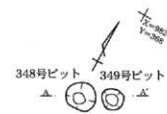
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



1 黒褐色土：砂質。少量の小礫を含む。



1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(347号ビット)  
2 黒褐色土：砂質。少量の小礫を含む。(346号ビット)



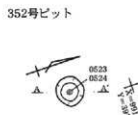
1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(348号ビット)  
2 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。(349号ビット)



1 黒褐色土：砂質。少量の小礫を含む。



1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

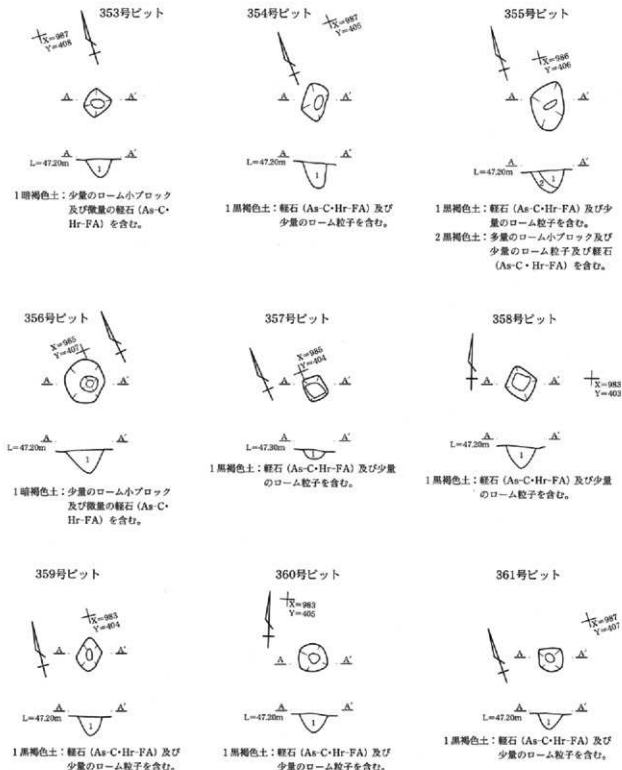


1 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

0 1m

第319図 342・343・344・345・346・347・348・349・350・351・352号ビット

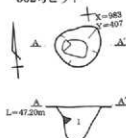
第二章 発見された遺構・遺物



0 1m

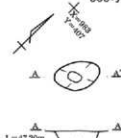
第320図 353・354・355・356・357・358・359・360・361号ビット

362号ビット



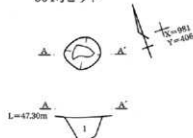
1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量のローム粒子を含む。

363号ビット



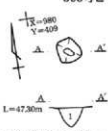
1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

364号ビット



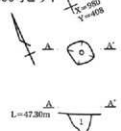
1 黒褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量のローム粒子を含む。

365号ビット



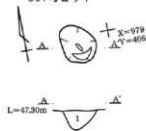
1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

366号ビット



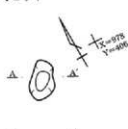
1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

367号ビット



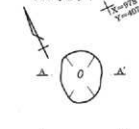
1 黒褐色土：やや多量の軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量のローム小ブロックを含む。

368号ビット



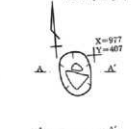
1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

369号ビット



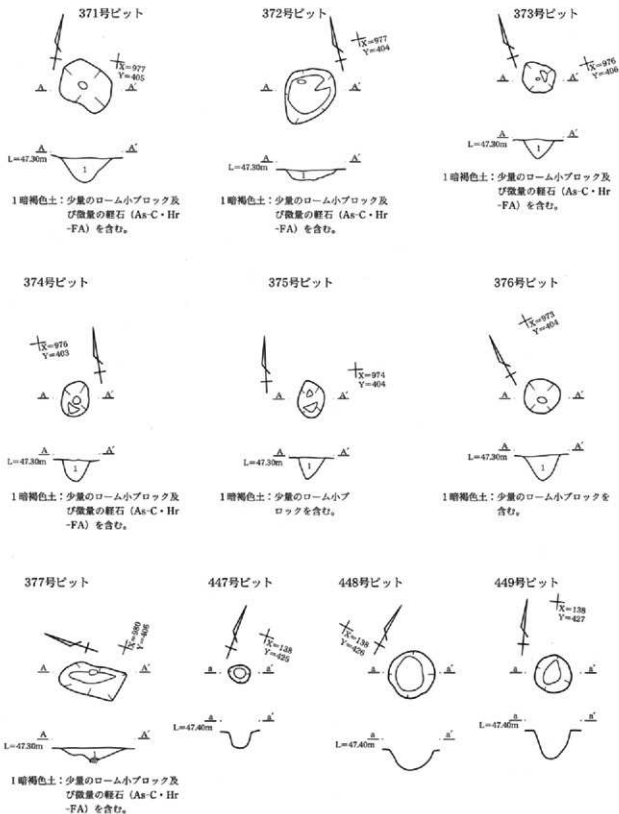
1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

370号ビット



1 暗褐色土：少量のローム小ブロック及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

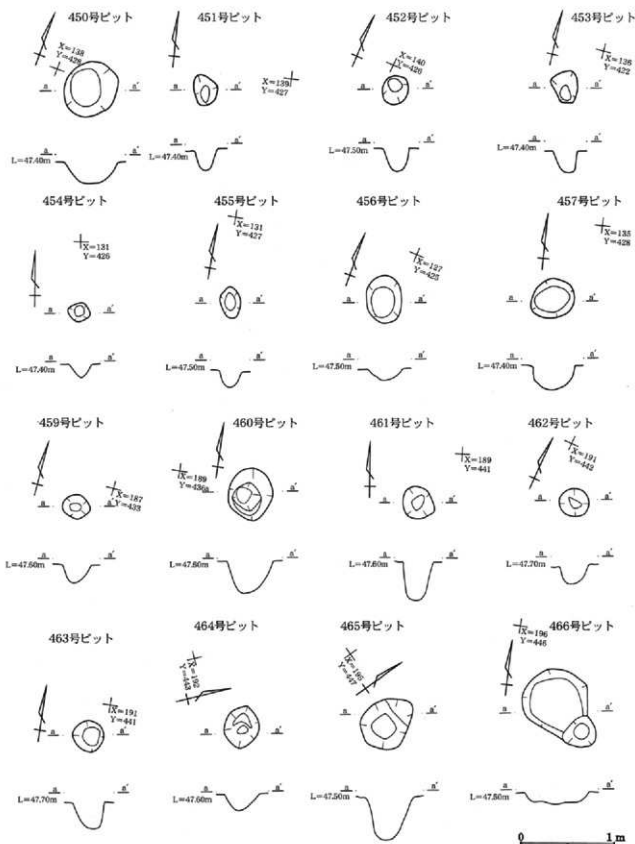
第二章 発見された遺構・遺物



0 1m

第322図 371・372・373・374・375・376・377・447・448・449号ビット

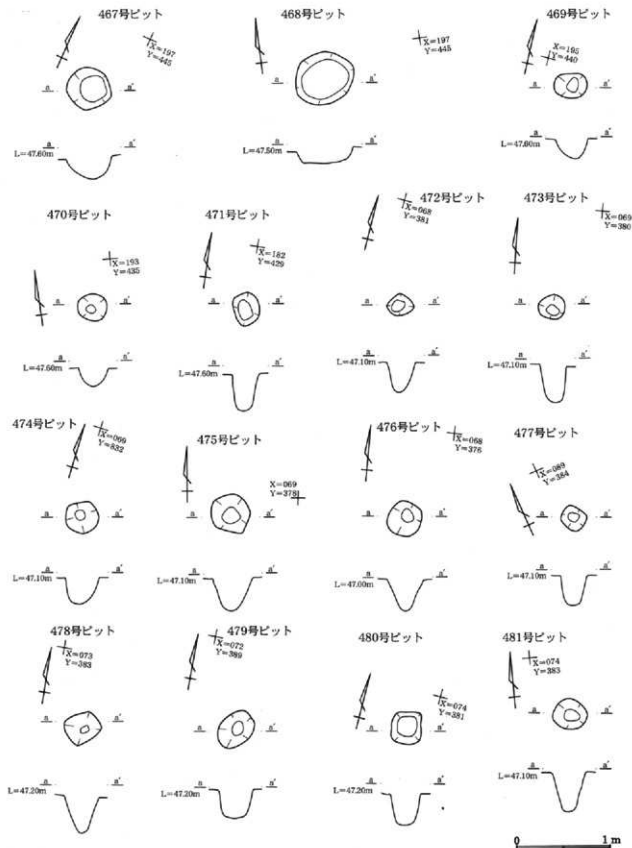
第6節 ビット



第323図 450・451・452・453・454・455・456・457・459・460・461・462・463・464・465・466号ビット

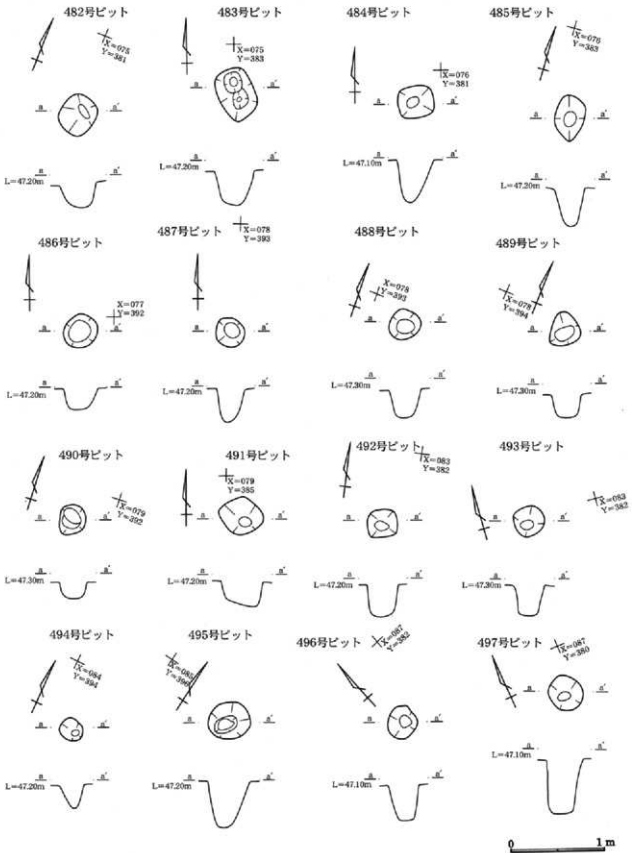


第二章 発見された遺構・遺物



第324図 467・468・469・470・471・472・473・474・475・476・477・478・479・480・481号ビット

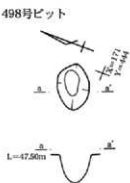
第6節 ビット



第325図 482・483・484・485・486・487・488・489・490・491・492・493・494・495・496・497号ビット

第二章 発見された遺構・遺物

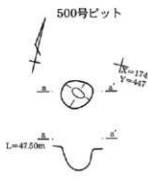
498号ビット



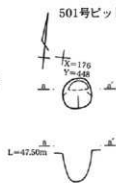
499号ビット



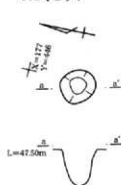
500号ビット



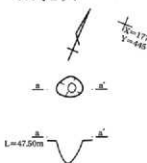
501号ビット



502号ビット



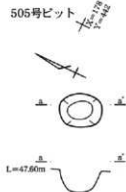
503号ビット



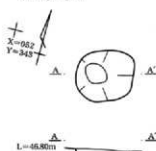
504号ビット



505号ビット



506号ビット



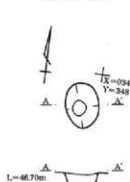
- 1 黒褐色土：多量の軽石 (As・C・Hr・FA) 及び微量の黄褐色土を含む。  
2 黒褐色土と黄褐色土の混土。

507号ビット



- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 黒褐色土：多量の軽石 (As・C・Hr・FA) 及び微量の黄褐色土を含む。  
3 黒褐色土と黄褐色土の混土。

508号ビット



- 1 暗褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) 及び少量のロームブロックを含む。

0 1m

第326図 498・499・500・501・502・503・504・505・506・507・508号ビット

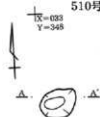
第6節 ビット

509号ビット



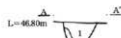
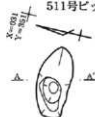
1暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

510号ビット



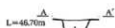
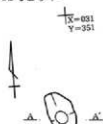
1暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。  
2暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。

511号ビット



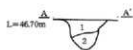
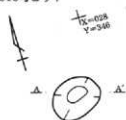
1暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

512号ビット



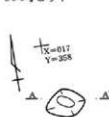
1暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

513号ビット



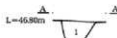
1暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

514号ビット



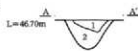
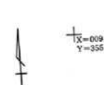
1黒褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黄褐色土を含む。

515号ビット



1暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

516号ビット



1暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

517号ビット

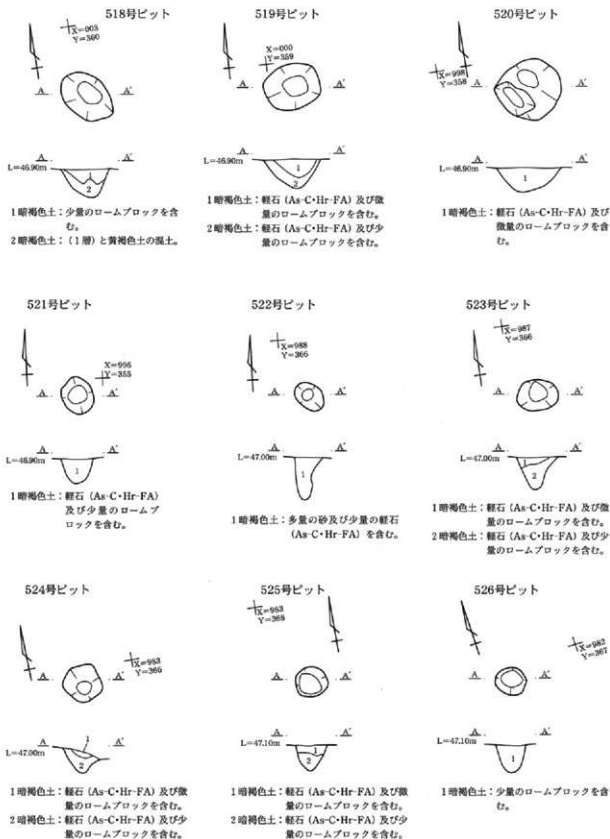


1暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2暗褐色土：軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

0 1m

第327図 509・510・511・512・513・514・515・516・517号ビット

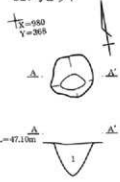
第二章 発見された遺構・遺物



0 1m

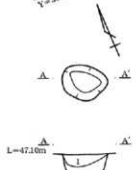
第328図 518・519・520・521・522・523・524・525・526号ピット

527号ビット



1 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。

528号ビット



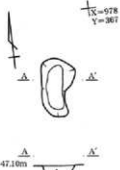
1 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

529号ビット



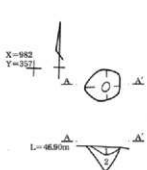
1 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

530号ビット



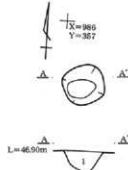
1 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

531号ビット



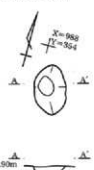
1 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

532号ビット



1 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。

533号ビット



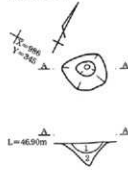
1 少量のロームブロックを含む暗褐色土と黄褐色土の混土。

534号ビット



1 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。

535号ビット

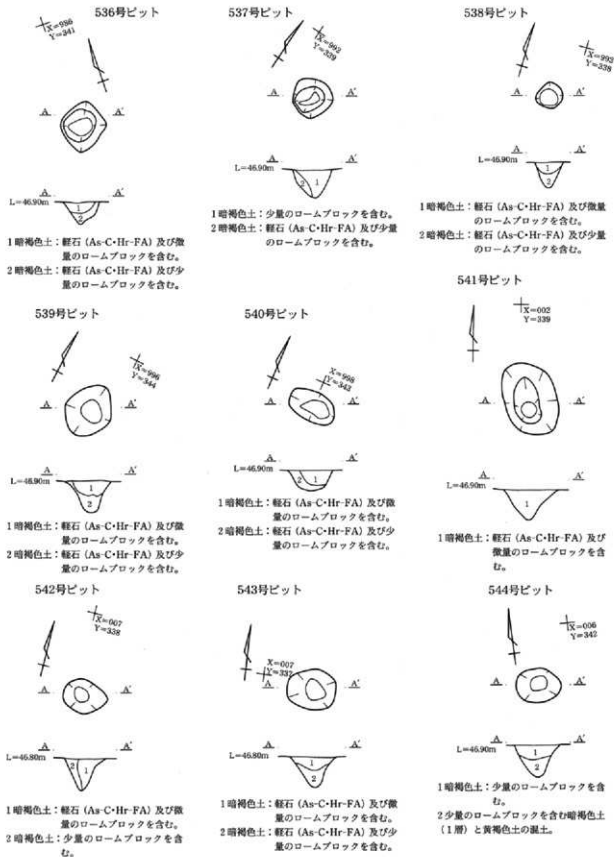


1 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び微量のロームブロックを含む。  
2 暗褐色土：軽石 (As-C-Hr-FA) 及び少量のロームブロックを含む。



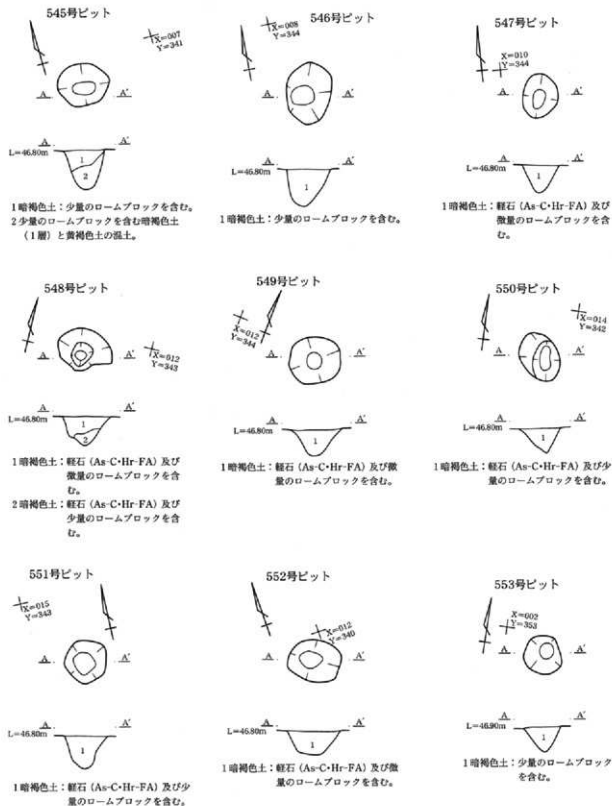
第329図 527・528・529・530・531・532・533・534・535号ビット

第II章 発見された遺構・遺物



0 1m

第330図 536・537・538・539・540・541・542・543・544号ピット



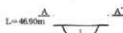
0 1m

第331図 545・546・547・548・549・550・551・552・553号ビット



第II章 発見された遺構・遺物

554号ピット



1 褐灰色砂質土：微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

555号ピット



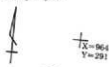
1 暗灰色砂質土：やや多量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。

556号ピット



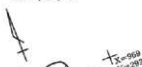
1 暗灰色砂質土：やや多量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。

557号ピット



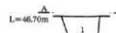
1 灰褐色土：少量の洪水砂を含む。  
2 灰褐色土：多量の洪水シルト土を含む。

558号ピット



1 暗褐色土：多量の洪水シルト土ブロック及び少量の炭化物を含む。  
2 褐灰色土：少量の洪水シルト土ブロック及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

559号ピット



1 灰褐色土：少量の洪水砂を含む。  
2 灰褐色土：多量の洪水シルト土を含む。

560号ピット



1 灰褐色砂質土：洪水砂主体。  
2 暗褐色砂質土：少量の洪水砂・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

561号ピット



1 灰褐色砂質土：少量の焼土粒子・暗褐色土ブロック及び微量の炭化物・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 灰褐色砂質土：やや多量の暗褐色土ブロックを含む。

562号ピット



1 暗灰黄色土：洪水砂主体。少量の暗褐色土ブロックを含む。



第332図 554・555・556・557・558・559・560・561・562号ピット

第6節 ビット

563号ビット



1 灰黄色土：多量の洪水砂を含む。

564号ビット



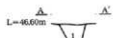
1 暗灰黄色土：洪水砂主体。

565号ビット



1 暗灰黄色土：やや多量の洪水砂・暗褐色土ブロックを含む。

566号ビット



1 暗灰黄色土：やや多量の洪水砂・暗褐色土ブロックを含む。

567号ビット



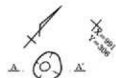
1 灰褐色土：少量の洪水砂・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

568号ビット



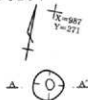
1 灰褐色土：多量の焼土ブロックを含む。

569号ビット



1 灰褐色土：やや多量の洪水砂及び微量の炭化物を含む。

570号ビット



1 黒褐色土：やや粘質。微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

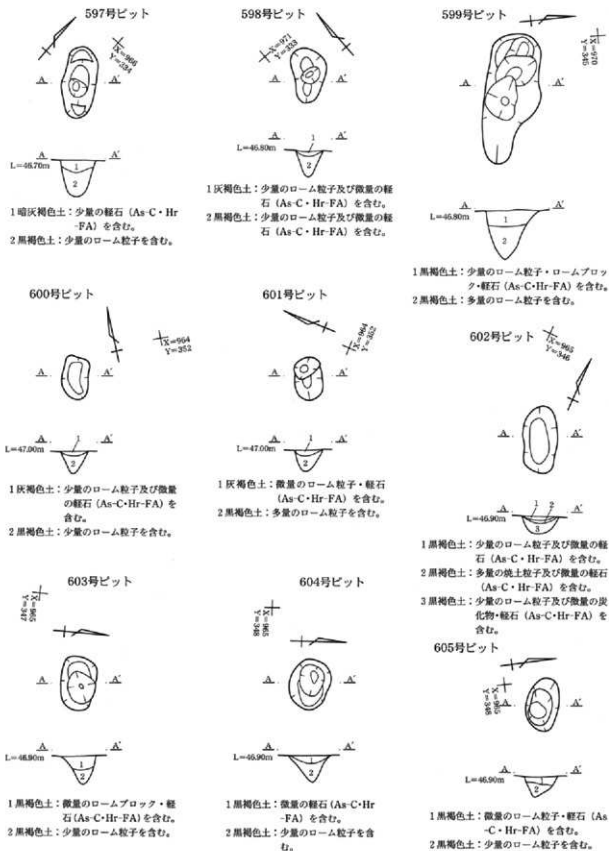
571号ビット



1 褐色土：少量の暗褐色土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



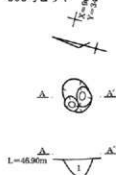
第333図 563・564・565・566・567・568・569・570・571号ビット



第334図 597・598・599・600・601・602・603・604・605号ピット

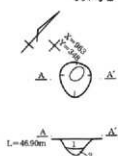
第6節 ビット

606号ビット



1 黒褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

607号ビット



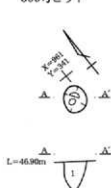
1 黒褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 黒褐色土：少量のローム粒子を含む。

608号ビット

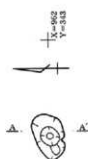


1 黒褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

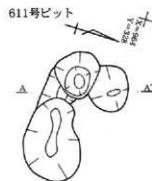
609号ビット



1 黄褐色土：多量のロームブロックを含む。

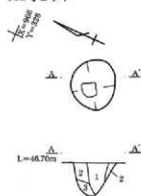


1 黒褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。



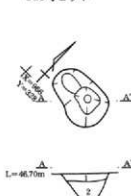
1 黒褐色土：少量のローム粒子を含む。  
2 黒褐色土：少量のロームブロックを含む。  
3 黒褐色土：多量のローム粒子を含む。

612号ビット



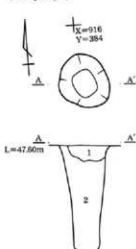
1 黒褐色土：少量のロームブロックを含む。  
2 黄褐色土：汚れたローム。  
3 黄褐色土：ロームブロック主体。

613号ビット



1 黒褐色土：微量のローム粒子・軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 黒褐色土：少量のローム粒子を含む。

623号ビット

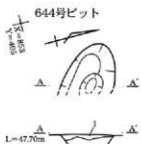


1 灰褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。  
2 黒褐色土：微量のローム粒子・軽石 (As-C-Hr-FA) を含む。

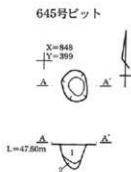
0 1m

第335図 606・607・608・609・610・611・612・613・623号ビット

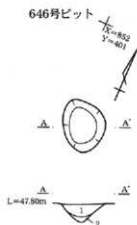
第二章 発見された遺構・遺物



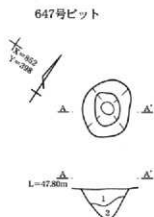
- 1 暗褐色土：微量の小礫を含む。  
2 黒褐色土：少量のローム粒子を含む。  
3 黒褐色土：膠及び少量のローム粒子を含む。



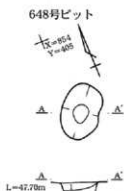
- 1 暗褐色土  
2 黄褐色土：やや多量のロームブロックを含む。



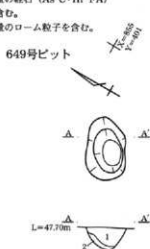
- 1 暗褐色土：少量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 暗褐色土：少量のローム粒子を含む。



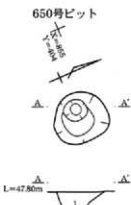
- 1 暗褐色土：微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 暗褐色土：やや多量のロームブロックを含む。



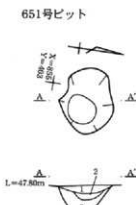
- 1 暗褐色土  
2 暗褐色土：少量のロームブロックを含む。



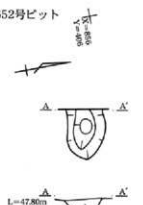
- 1 暗灰褐色土  
2 黄褐色土：多量のロームブロックを含む。



1 暗灰褐色土



- 1 暗灰褐色土：微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 暗灰褐色土  
3 暗灰褐色土：少量のロームブロックを含む。

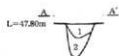


1 暗褐色土：少量のローム粒子を含む。

0 1m

第336図 644・645・646・647・648・649・650・651・652号ビット

653号ビット



- 1 黒褐色土：微量のローム粒子を含む。
- 2 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

654号ビット



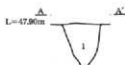
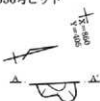
- 1 暗褐色土
- 2 黒褐色土：少量の暗褐色土を含む。
- 3 黄褐色土：やや多量のローム粒子を含む。

655号ビット



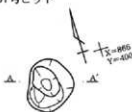
- 1 黒褐色土：少量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 暗褐色土：少量のローム粒子を含む。

656号ビット



- 1 暗褐色土：少量の小礫・ローム粒子を含む。

657号ビット



- 1 灰褐色土：少量のローム粒子を含む。
- 2 黄褐色土：多量のローム粒子を含む。
- 3 黄褐色土：やや多量のローム粒子を含む。

658号ビット



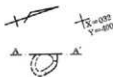
- 1 黄褐色土：多量のロームブロックを含む。
- 2 褐色土：少量のローム粒子を含む。

659号ビット



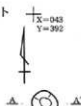
- 1 暗褐色土：少量のロームブロック及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。
- 2 黄褐色土：多量のロームブロックを含む。

660号ビット



- 1 褐色土：灰色シルト質土ブロックを含む。

661号ビット

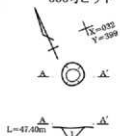


- 1 褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。



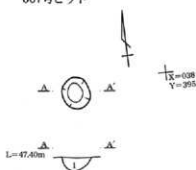
第二章 発見された遺構・遺物

666号ピット



1 褐色土：黄灰色シルト質土及び少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

667号ピット



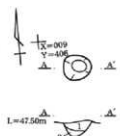
1 暗褐色土：灰色シルト質土を含む。

668号ピット



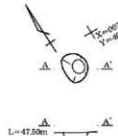
1 暗褐色土：褐色色砂質土・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
2 暗褐色土：ローム粒子を含む。

669号ピット



1 暗褐色土：褐色色砂質土・ローム粒子・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
2 褐色土：多量のローム粒子を含む。

670号ピット

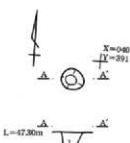


1 暗褐色土：ローム小ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
2 暗褐色土：ローム粒子を含む。

671号ピット

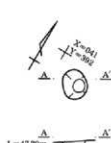


696号ピット



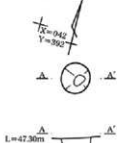
1 褐色土：砂質。洪水土主体。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

697号ピット



1 褐色土：砂質。洪水土主体。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。

698号ピット

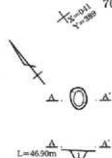


1 褐色土：砂質。洪水土主体。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。



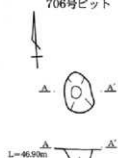
第338図 666・667・668・669・670・671・696・697・698号ピット

705号ビット



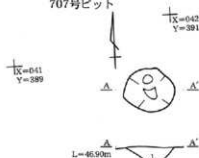
1暗褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

706号ビット



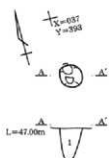
1暗褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

707号ビット



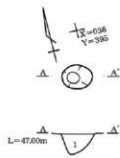
1暗褐色土：ロームブロック・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

709号ビット



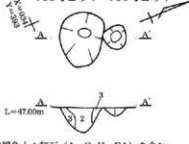
1暗褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

712号ビット



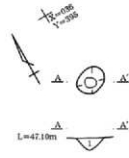
1暗褐色土：ロームブロック・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

711号ビット 710号ビット



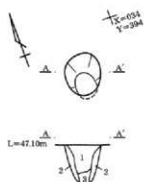
1暗褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
(710号ビット)  
2暗褐色土：ロームブロック・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。(711号ビット)  
3褐色土：多量のロームブロックを含む。  
(711号ビット)

713号ビット



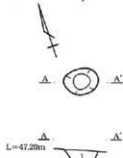
1暗褐色土：ロームブロック・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

714号ビット



1暗褐色土：ローム粒子及び上位に軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2褐色土：ロームブロックを含む。  
3褐色土：多量のロームブロックを含む。

715号ビット

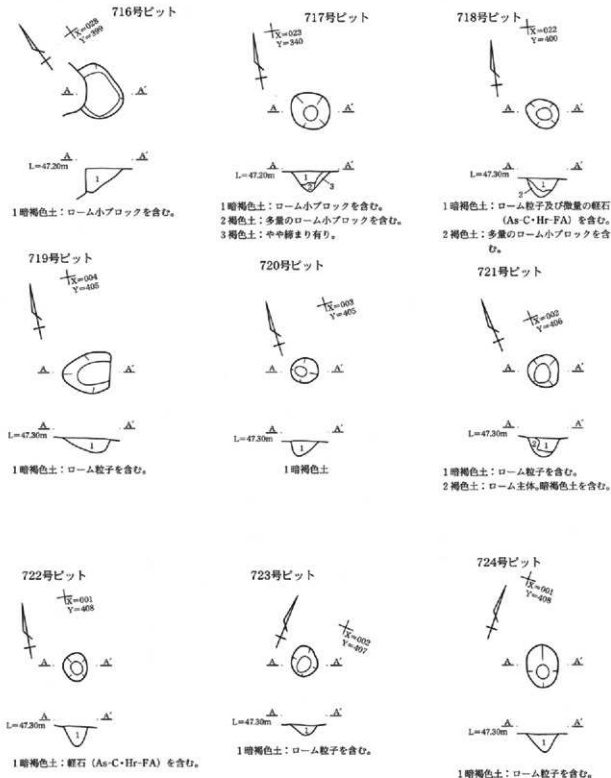


1暗褐色土

0 1m



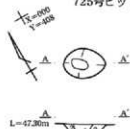
第二章 発見された遺構・遺物



0 1m

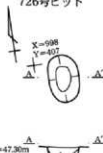
第340図 716・717・718・719・720・721・722・723・724号ビット

725号ビット



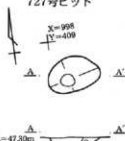
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。  
2 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。

726号ビット



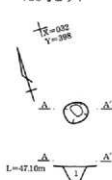
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。  
2 褐色土：ローム粒子を含む。

727号ビット



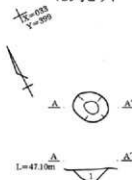
- 1 暗褐色土：褐色土ブロックを含む。  
2 暗褐色土：多量の褐色土粒子を含む。  
3 暗褐色土：褐色土粒子を含む。

728号ビット



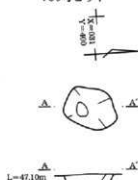
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

729号ビット



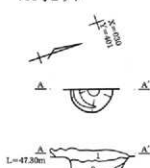
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

730号ビット



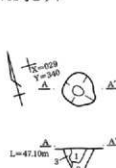
- 1 暗褐色土：ローム粒子及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 褐色土：ローム粒子を含む。

731号ビット



- 1 暗褐色土：軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。地山。  
2 暗褐色土：ローム粒子を含む。  
3 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

732号ビット



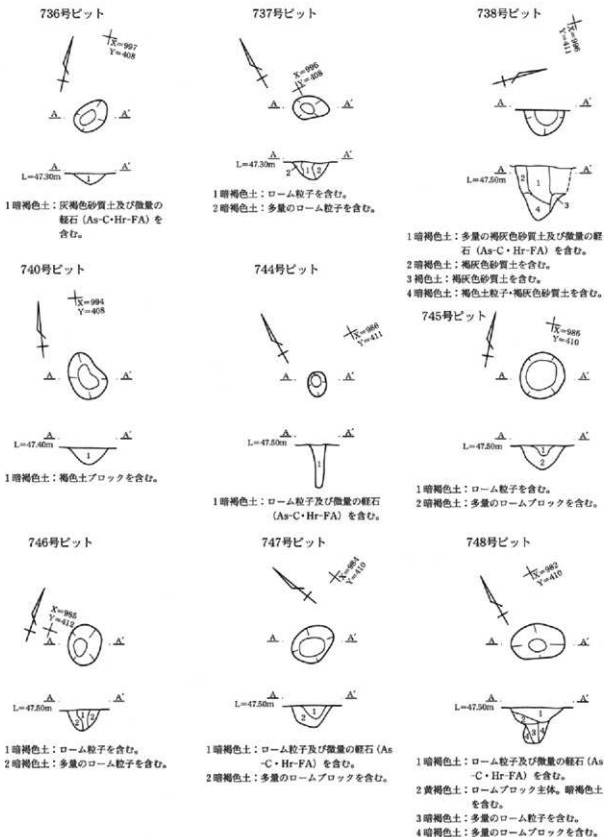
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。  
2 褐色土：多量のローム粒子を含む。  
3 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。



- 1 褐色土：ローム粒子を含む。(734号ビット)  
2 褐色土：多量のローム粒子を含む。(734号ビット)  
3 暗褐色土：少量のローム粒子を含む。(734号ビット)  
4 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。(733号ビット)  
5 褐色土：多量のローム粒子を含む。(733号ビット)

0 1m

第II章 発見された遺構・遺物

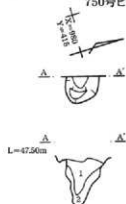


0 1m

第342図 736・737・738・740・744・745・746・747・748号ビット

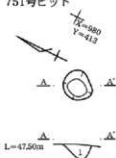
第6節 ビット

750号ビット



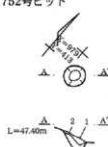
- 1 暗褐色土：ローム粒子・軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。  
2 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

751号ビット



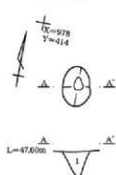
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

752号ビット



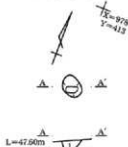
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。  
2 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。

753号ビット



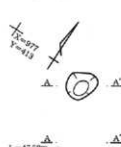
- 1 暗褐色土：ロームブロックを含む。

754号ビット



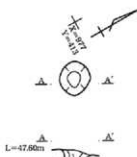
- 1 暗褐色土：ローム粒子及び微量の軽石 (As・C・Hr・FA) を含む。

755号ビット



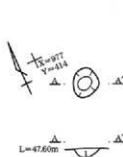
- 1 暗褐色土：多量のローム粒子を含む。

756号ビット



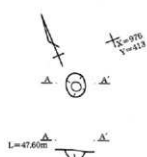
- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。  
2 暗褐色土：多量のロームブロックを含む。

757号ビット



- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

758号ビット

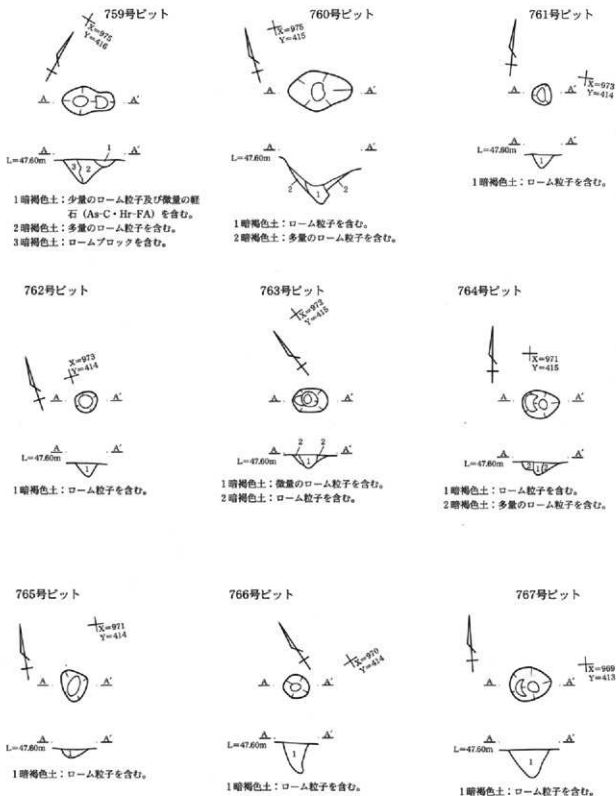


- 1 暗褐色土：ローム粒子を含む。

0 1m

第343図 750・751・752・753・754・755・756・757・758号ビット

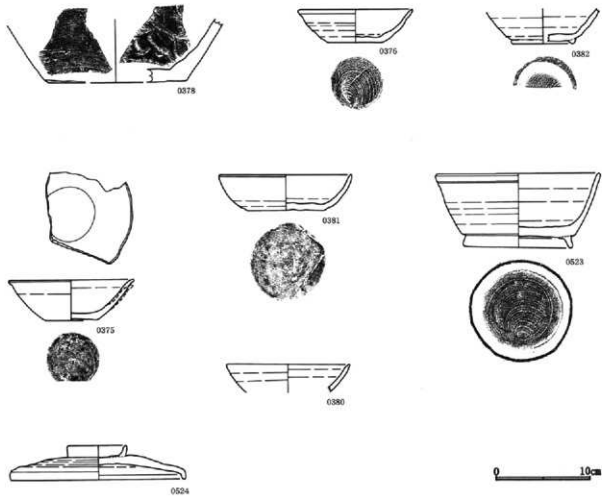
第II章 発見された遺構・遺物



0 1 m

第344図 759・760・761・762・763・764・765・766・767号ビット

第6節 ビット



第345図 39・59・60・202・231・314・352・393・741号ビット出土遺物

## 第7節 水田・畠

## 水田

本遺跡から水田は2面検出されている。上面の水田は、3区・20区・21区より部分的に検出された。また、部分的にはあるが、直上に火山灰が堆積しており、火山灰分析により堆積しているテフラは、浅間B軽石であることが確認できた。従って、本水田は平安時代末の水田である。下面の水田は、4区・18区・19区から検出された。洪水砂層直下の水田である。

## (1) 浅間B軽石層下の水田

浅間B軽石層下の水田は、3区の $X = 35.980 \sim 36.040 \cdot Y = -39.390 \sim -39.412$ 付近、21区の $X = 35.960 \sim 35.977 \cdot Y = -39.285 \sim -39.312$ 付近、20区の $X = 36.116 \sim 36.132 \cdot Y = -39.300 \sim -39.312$ 付近で畦畔の一部及び畦畔の痕跡が確認できたが、残存状態は悪い。17区東壁断面から、テフラ層直下の層から畦畔と考えられる高まりを検出することができた。この軽石は、前述のように浅間軽石であることが確認できた。浅間B軽石は、天仁元年(1108)の浅間山の爆発で噴出したテフラと考えられている。

本遺跡の存在する太田市の東今泉町は、足尾の鉱毒公害で圃場整備が実施された地区であり、表土はすべて客土である。その圃場整備は、浅間B軽石が確認できる深さまで多くの地点で達している。従って、水田の残存状態は悪く、一枚の水田が全面的に残っていた地点はない。従って、水田の規模等を確認することはできなかった。また、17区東壁の畦畔と推定される高まりから採取した土壌で実施した、プラントオパール分析で多量のイネのプラントオパールが検出された。従って、プラントオパール分析でも、水田であることが確認できた。

## (2) 洪水層下の水田

洪水層下の水田は、4区の $X = 36.055 \sim 36.108 \cdot Y = -39.334 \sim -39.352$ 付近、18区の $X = 35.899 \sim 36.975 \cdot Y = -39.323 \sim -39.394$ 付近、19

区の $X = 35.977 \sim 36.054 \cdot Y = -39.327 \sim -39.367$ 付近から大畦、小畦、水路、水口等良好な状態で検出できた。特に、4区の東端から19区で検出できた水田の残存状態は良好であった。

本遺跡からは191枚の洪水層下水田を検出することができた。周囲の畦畔がほぼ確認できた水田は、畦畔の位置等から推定できたものを含めて87枚ある。各水田の規模は、最大面積は32.3㎡、最小で3.4㎡、平均で15.7㎡であった。これは、高崎市の芦田貝戸遺跡、御布呂遺跡、同道遺跡等から発見されている小区画水田の規模と同じである。

本水田跡の土壌も水田耕作を確認するために、プラントオパール分析を実施した。

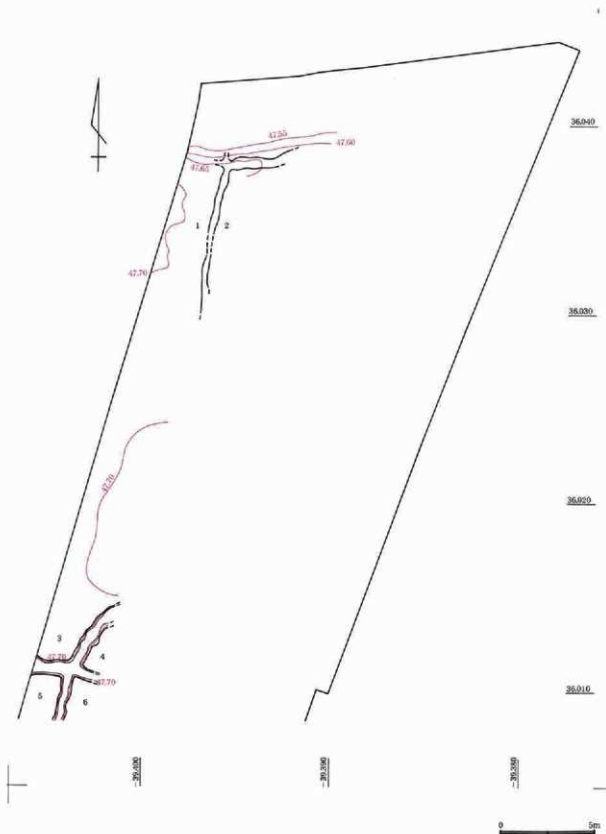
資料は4区東壁の畦畔、18区西壁の水田層から採取した。いずれの土壌からもイネのプラントオパールが検出でき、水田耕作が確認できた。

下面の水田は、洪水層で埋まっている水田であり、火山灰のように覆土から時期の判定はできない。しかし、19区で住居跡と重複している。住居跡の一部は、水田覆土の洪水層上から、水田面を破壊して築かれている。水田面を破壊して築かれている住居跡のうち、最も古い住居跡の時期は、8世紀中葉から後半である。また、水田面下の層から検出された住居跡の時期は、4世紀後半である。従って、本水田の時代は、4世紀後半以後、8世紀中葉～後半以前の水田跡となる。

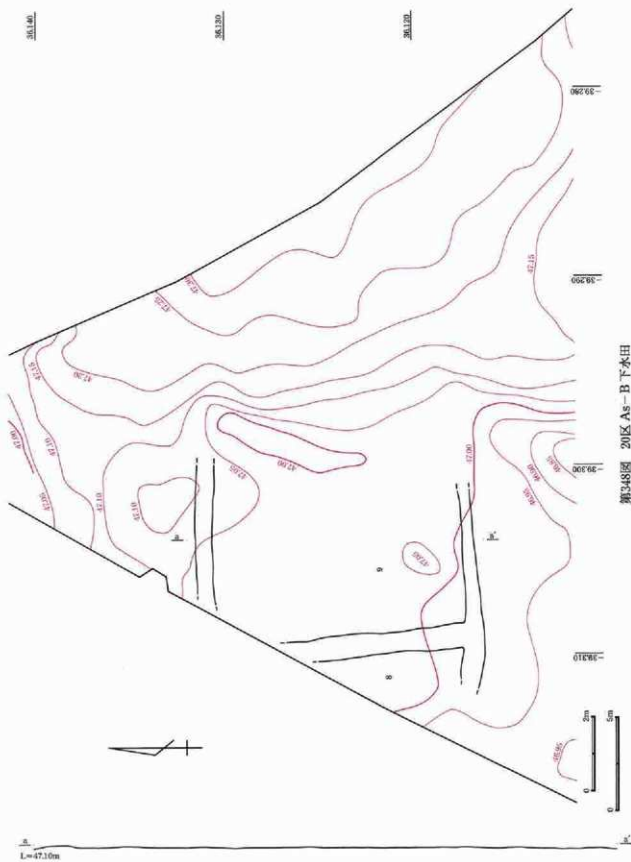
高崎市の芦田貝戸遺跡、御布呂遺跡、同道遺跡等で発見されている小区画水田の時代は、水田面がHr-FA直下であることから、時期は5世紀末～6世紀初頭と考えられている。しかし、本水田の耕作土、畦畔の土にはHr-FAが含まれており、芦田貝戸遺跡・御布呂遺跡・同道遺跡等の水田より新しいこととなる。従って、本遺跡の水田の時代は古墳時代後期後半(6世紀後半)以後、奈良時代前半(8世紀前半)以前の水田と推定できる。







第347図 3区As-B下水田(2)

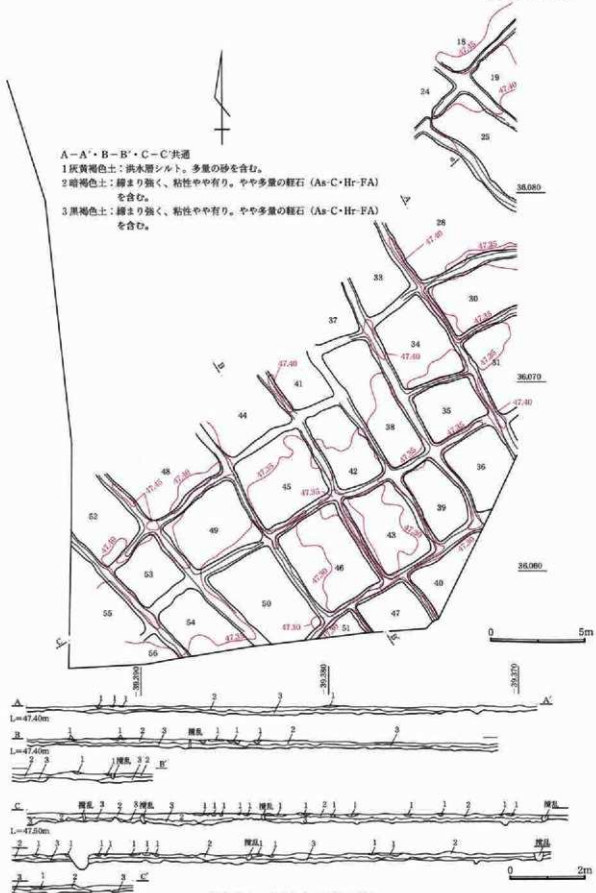




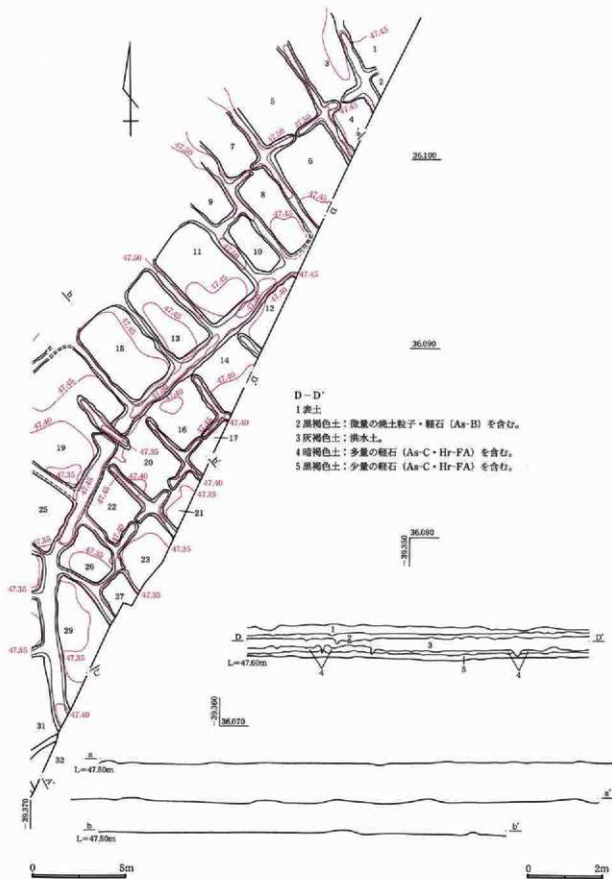
- A-A'  
 1 灰色土：粘質、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
 2 灰白色土：粘質、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の黒褐色土粒子を含む。  
 3 暗灰色土：粘質、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び少量の黒褐色土粒子を含む。  
 4 黒褐色土：粘質、少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
 5 暗褐色土：漸移層。

- B-B'  
 1 暗灰色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び下部に微量の灰水シルトを含む。  
 2 暗灰色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
 3 暗褐色土：粘質、少量の黒褐色土・ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
 4 暗褐色土：粘質、少量の黒褐色土・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
 5 暗褐色土：粘質、少量の黒褐色土・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
 6 暗褐色土：粘質、少量の黒褐色土・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。  
 7 暗褐色土：漸移層。  
 8 暗褐色土：D-A。  
 9 灰水シルト

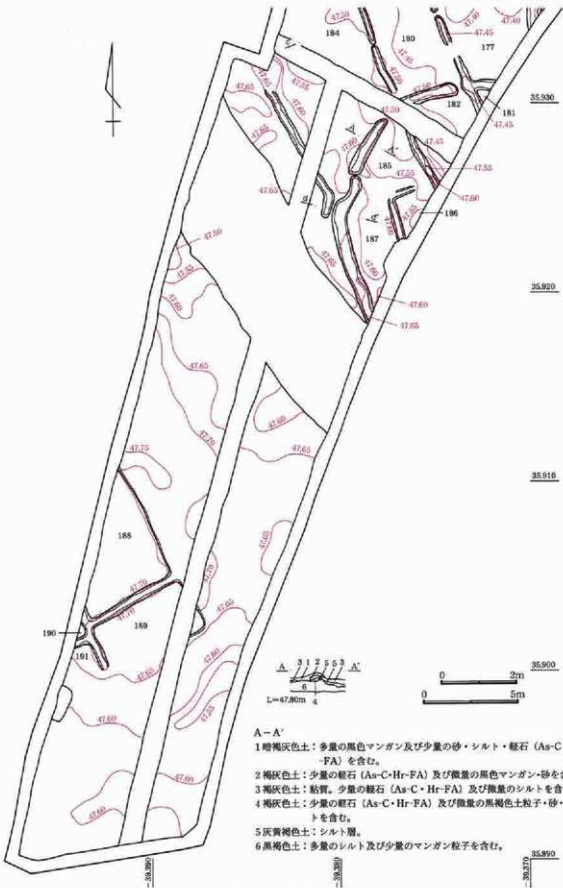
第349図 2区AS-B下水田



第350図 4区洪水層下水田(1)



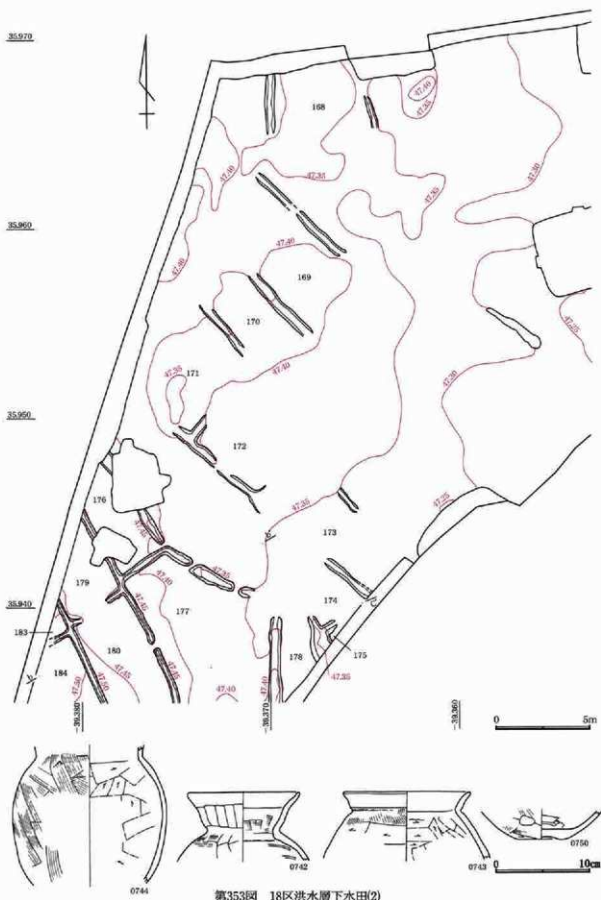
第351図 4区洪水層下水田(2)



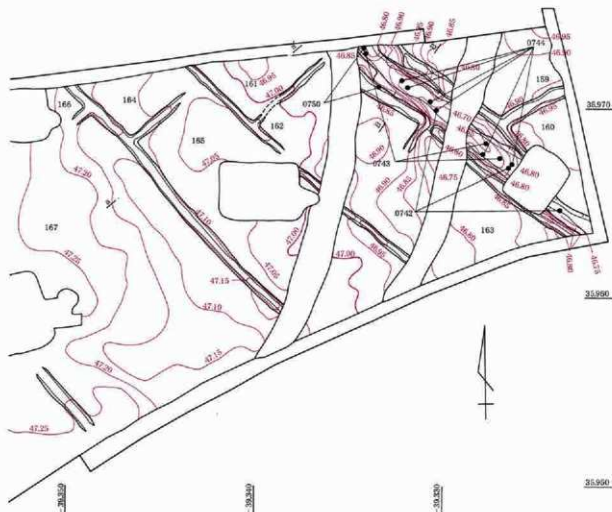
A-A'

- 1暗褐色土：多量の黑色マンガン及び少量の砂・シルト・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 2褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黑色マンガン・砂を含む。
- 3褐色土：粘質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量のシルトを含む。
- 4褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黒褐色土粒子・砂・シルトを含む。
- 5灰黄褐色土：シルト層。
- 6黒褐色土：多量のシルト及び少量のマンガン粒子を含む。

第352図 18区洪水層下水田(1)

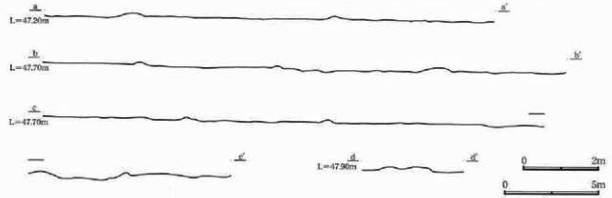
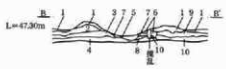


第353図 18区洪水層下水田(2)



B-B'

- 1 暗褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の砂・シルトを含む。
- 2 暗褐色土：多量の黒褐色土ブロック・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 暗褐色土：微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 4 黄褐色土：漸移層。
- 5 暗褐色土：少量の砂及び微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 6 暗褐色土：微量の砂・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 7 灰色土：多量の灰白色シルトを含む。
- 8 暗褐色土：少量の灰白色シルトを含む。底面に薄い砂層有り。
- 9 黒褐色土：少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 10 暗褐色土：少量のローム粒子及び微量の軽石 (As-C) を含む。



第354図 18区洪水層下水田(3)



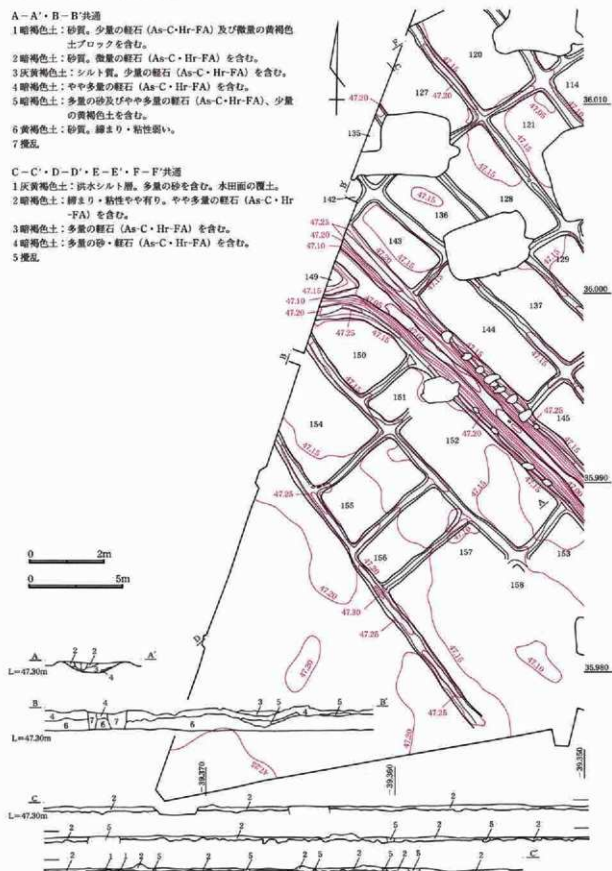
## 第II章 発見された遺構・遺物

### A-A'・B-B'共通

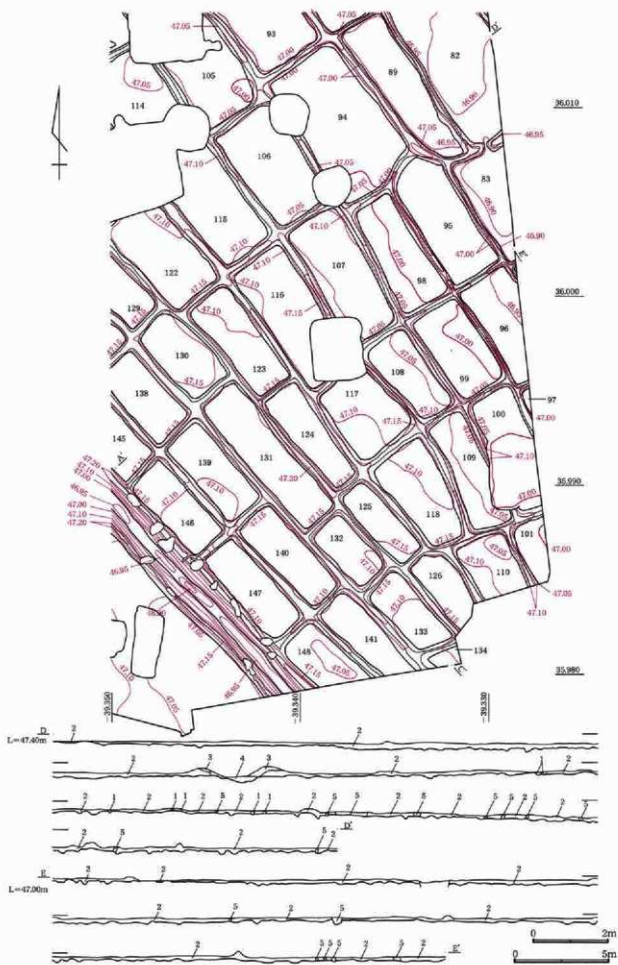
- 1 暗褐色土：砂質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) 及び微量の黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土：砂質。微量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 灰黄褐色土：シルト質。少量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 4 暗褐色土：やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 5 暗褐色土：多量の砂及びやや多量の軽石 (As-C・Hr-FA)、少量の黄褐色土を含む。
- 6 黄褐色土：砂質。締まり・粘性弱い。
- 7 雑乱。

### C-C'・D-D'・E-E'・F-F'共通

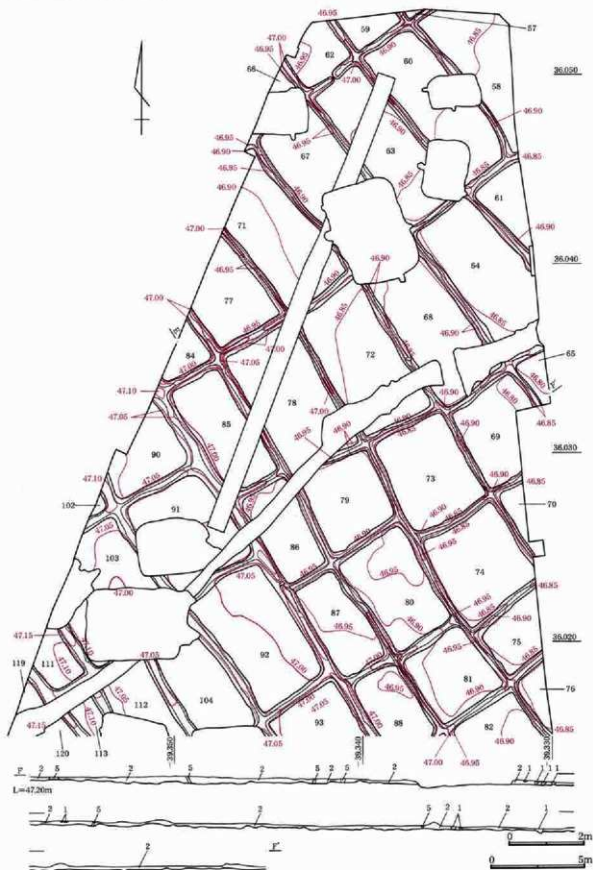
- 1 灰黄褐色土：洪水シルト層。多量の砂を含む。水田面の覆土。
- 2 暗褐色土：締まり・粘性やや有り。やや多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 3 暗褐色土：多量の軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 4 暗褐色土：多量の砂・軽石 (As-C・Hr-FA) を含む。
- 5 雑乱。



第355図 19区洪水層下水田(1)



第356图 19区洪水层下水田(2)



第357図 19区洪水層下水田(3)

第5表 As-B下水田計測値一覧

地区	水田No	長辺(m)	短辺(m)	面積(m <sup>2</sup> )	備 考	地区	水田No	長辺(m)	短辺(m)	面積(m <sup>2</sup> )	備 考
3	1	—	—	(18.3)		3	2	—	—		
3	3	—	—			3	4	—	—		
3	5	23.1	—	(43.5)		3	6	—	—		
3	7	—	—	(20.4)		20	8	—	—		
20	9	—	13.2			21	10	—	—	(26.4)	
21	11	—	—	(24.2)		21	12	—	—	(28.8)	
21	13	13.8	7.8	(71.1)		21	14	—	—	(24.4)	
21	15	6.2	(5.7)	(32.9)		21	16	—	(6.5)	(45.7)	

※長辺、短辺は畦の内側までの長さであり、面積は畦の内側部分の面積である。( ) は遺存の長さ、面積である。

第6表 洪水層下水田計測値一覧

地区	水田No	長辺(m)	短辺(m)	面積(m <sup>2</sup> )	備 考	地区	水田No	長辺(m)	短辺(m)	面積(m <sup>2</sup> )	備 考
4	1	—	—	(9.7)		4	2	—	—	(3.3)	
4	3	—	2.6	(12.4)		4	4	—	1.8	(3.1)	
4	5	—	3.6	(12.0)		4	6	—	3.2	(11.9)	
4	7	—	1.8	(5.2)		4	8	4.6	1.8	7.8	
4	9	—	1.7	(3.6)		4	10	3.2	1.3	3.8	
4	11	4.9	2.2	15.5		4	12	4.1	—	(3.5)	
4	13	4.8	2.0	9.2		4	14	3.2	—	(7.3)	
4	15	4.7	3.1	12.9		4	16	2.9	2.7	7.4	
4	17	2.9	—	(2.1)		4	18	—	—	—	
4	19	5.8	5.6	26.6		4	20	3.4	2.6	7.4	
4	21	—	2.7	(2.6)		4	22	2.6	2.5	5.8	
4	23	—	3.4	(4.8)		4	24	—	—	—	
4	25	6.6	2.8	16.5		4	26	2.5	2.2	4.9	
4	27	1.8	—	(2.4)		4	28	5.6	7.3	(33.2)	
4	29	3.0	—	(11.8)		4	30	5.0	2.7	12.7	
4	31	3.5	4.5	13.6		4	32	—	—	(1.8)	
4	33	—	2.7	(7.7)		4	34	3.3	4.5	14.0	
4	35	3.2	2.8	(8.4)		4	36	4.0	3.1	(9.9)	
4	37	—	—	(3.4)		4	38	7.1	2.2	15.3	
4	39	3.9	2.3	8.6		4	40	—	—	(6.2)	
4	41	—	2.3	(6.1)		4	42	4.3	2.8	10.2	
4	43	4.5	2.8	12.4		4	44	4.0	—	(9.9)	
4	45	4.1	3.8	16.1		4	46	5.0	3.5	17.1	
4	47	—	3.0	(6.8)		4	48	4.8	—	(13.6)	
4	49	4.3	3.3	13.9		4	50	5.5	3.4	(17.1)	
4	51	—	—	(1.8)		4	52	—	2.9	(9.2)	
4	53	2.7	2.7	7.5		4	54	—	2.8	(10.1)	
4	55	—	—	—		4	56	—	—	—	
19	57	—	—	—		19	58	7.7	—	(17.8)	
19	59	—	2.8	(3.7)		19	60	8.5	3.1	25.7	
19	61	—	—	(6.6)		19	62	—	3.2	(7.4)	
19	63	8.6	3.1	26.3		19	64	8.5	3.8	(27.8)	
19	65	—	—	(2.5)		19	66	—	—	(3.5)	
19	67	(8.4)	3.5	29.5		19	68	(8.5)	3.6	29.1	
19	69	4.6	4.1	(14.7)		19	70	—	—	(2.7)	
19	71	8.4	3.5	(26.4)		19	72	7.7	3.8	29.3	
19	73	5.3	4.1	22.6		19	74	4.8	4.6	22.6	
19	75	—	2.6	(8.3)		19	76	—	—	(2.6)	

第II章 発見された遺構・遺物

地区	水田№	長辺(m)	短辺(m)	面積(m <sup>2</sup> )	備 考	地区	水田№	長辺(m)	短辺(m)	面積(m <sup>2</sup> )	備 考
19	77	—	4.0	(15.3)		19	78	7.2	3.8	27.5	
19	79	4.3	4.0	16.9		19	80	5.7	3.7	20.4	
19	81	4.0	3.8	15.3		19	82	8.6	4.0	(30.0)	
19	83	5.8	—	(10.0)		19	84	—	2.9	(3.8)	
19	85	6.4	2.9	27.6		19	86	5.2	2.8	13.3	
19	87	5.3	2.6	13.2		19	88	4.2	2.6	10.5	
19	89	8.6	2.2	15.5		19	90	—	5.1	(11.0)	
19	91	5.3	4.7	20.1		19	92	7.1	4.2	28.0	
19	93	5.0	3.7	18.1		19	94	7.8	4.3	31.4	
19	95	6.8	2.6	17.3		19	96	5.8	2.6	(10.6)	
19	97	—	—	(0.4)		19	98	6.1	2.5	13.9	
19	99	5.0	2.7	13.6		19	100	6.4	2.3	(14.0)	
19	101	—	—	(4.1)		19	102	—	—	(0.5)	
19	103	(6.5)	5.3	(29.0)		19	104	(6.6)	2.9	18.6	
19	105	(5.6)	3.3	18.6		19	106	6.0	3.4	20.1	
19	107	6.8	3.0	19.7		19	108	5.0	2.4	10.9	
19	109	6.2	1.9	13.0		19	110	—	2.6	(8.5)	
19	111	—	2.0	(5.6)		19	112	(6.3)	2.8	17.1	
19	113	(6.1)	1.5	7.5		19	114	(5.7)	3.7	20.6	
19	115	(6.0)	3.2	18.6		19	116	7.3	2.8	20.6	
19	117	4.3	3.2	13.6		19	118	5.5	3.0	13.6	
19	119	—	—	(2.0)		19	120	(6.0)	3.3	19.3	
19	121	(6.3)	3.2	20.1		19	122	5.7	3.1	16.3	
19	123	6.0	2.3	12.7		19	124	5.8	2.0	9.8	
19	125	4.7	1.7	7.2		19	126	—	1.9	(6.8)	
19	127	—	3.4	(16.3)		19	128	6.8	2.9	18.6	
19	129	5.4	2.1	10.5		19	130	4.8	2.6	11.2	
19	131	8.5	2.2	18.9		19	132	3.8	1.9	7.2	
19	133	4.7	1.9	8.5		19	134	—	1.1	(0.8)	
19	135	—	(2.3)	(4.5)		19	136	(5.0)	2.3	11.9	
19	137	(8.0)	2.3	17.7		19	138	4.6	2.3	10.1	
19	139	5.2	2.3	11.1		19	140	4.8	2.1	11.6	
19	141	—	2.0	(8.9)		19	142	—	—	(0.7)	
19	143	4.7	2.3	9.7		19	144	8.0	2.4	18.4	
19	145	5.1	2.3	9.9		19	146	5.2	2.0	9.6	
19	147	5.7	1.8	9.9		19	148	—	2.0	(7.2)	
19	149	—	—	(1.8)		19	150	(4.8)	3.4	12.9	
19	151	3.4	1.6	4.4		19	152	9.1	3.4	30.0	
19	153	—	3.3	—		19	154	—	4.3	(19.9)	
19	155	5.2	2.9	15.4		19	156	5.6	2.3	12.8	
19	157	5.9	2.8	—		19	158	—	—	—	
18	159	—	—	(25.8)		18	160	—	—	(9.7)	
18	161	—	—	(12.2)		18	162	6.2	5.5	—	
18	163	—	5.3	—		18	164	—	4.6	(11.4)	
18	165	—	5.2	(82.8)		18	166	—	—	—	
18	167	—	—	—		18	168	—	5.0	—	
18	169	—	3.7	—		18	170	—	2.5	—	
18	171	—	5.2	—		18	172	—	4.3	—	
18	173	—	2.6	—		18	174	—	2.5	—	
18	175	—	—	—		18	176	—	2.5	(11.7)	
18	177	5.7	12.7	(82.4)		18	178	—	1.8	—	
18	179	—	3.2	(9.4)		18	180	10.2	3.4	32.3	
18	181	—	—	(0.2)		18	182	—	3.5	(9.2)	
18	183	—	—	(0.9)		18	184	10.5	5.3	(49.1)	
18	185	3.1	3.3	(8.1)		18	186	—	2.2	(2.7)	
18	187	—	2.4	(10.1)		18	188	—	4.8	(17.8)	
18	189	5.5	2.9	15.6		18	190	—	—	(0.3)	
18	191	—	—	—							

※長辺、短辺は畦の内側までの長さであり、面積は畦の内側部分の面積である。( )は遺存の長さ、面積である。

## 畠

畠は、3区・19区・22区から検出されている。また、3区の18号～21号溝も、溝の形態等から畠と考えられる。

## (1) 3区検出の畠

畠は、3区の $X=35.976 \sim X=36.038 \cdot Y=-39.399 \sim Y=-39.415$ 付近で検出された。畠はほぼ東西方向の畝が20条と東北東から西南西方向の畝が9条発見されている。18号～21号溝も東西方向である。

畠の規模は、東西方向の畠が、畝間の距離0.7～1.5m、畝の幅約0.3～0.5m、確認面からの深さ約0.05～0.15mである。

東北東から西南西方向の畝の規模は、畝間の距離約2.0m、畝の幅約0.4～0.6m、確認面からの深さ約0.1～0.15mである。

畝覆土には、As・C・Hr・FAが含まれている。従って、本畠は古墳時代後期（6世紀）以後の畠であるが、8世紀後半～10世紀前半の住居跡と同じ面から出土しており、集落とほぼ同時期の畠と推測している。

## (2) 19区検出の畠

畠は、19区1号～28号耕作痕として $X=35.994 \sim X=36.032 \cdot Y=-39.336 \sim Y=-39.360$ 付近で検出された。北西から南東方向の畝23条と北東から南西方向の畝5条が検出されている。

畠の規模は、北西～南東方向の畠が、畝間の距離約1.7～2.3m、畝の幅約0.2～0.4m、確認面からの深さ約0.05～0.08mである。北東から南東方向の畠は、畝間の距離約1.0～1.5m、畝の幅約0.2～0.4m、確認面からの深さ約0.05mである。

畝覆土には、As・C・Hr・FAが含まれている。従って、古墳時代後期（6世紀）以後の畠である。また、畠は33・35・37・38号住居跡と重複している。新旧関係は、住居跡に畝が破壊されていることから、畠の方が古い。重複する住居跡の最も古いものは、8世紀中葉～後半と考えられる。更に、下層より検出された水田より新しい。従って、畠の時代は6世紀後半以後、水田の後、8世紀中葉以前と考えられる。

住居跡とほぼ同時期の畠と推測している。

19区の畠では、作物を調べるため西壁の耕作痕採取の土でプラントオパール分析を実施した。検出されたプラントオパールは、スキ属とタク亜科のものであり、イネのプラントオパールは一点も検出できなかった。従って、陸稲が栽培されていた可能性は非常に少ないと推測される。

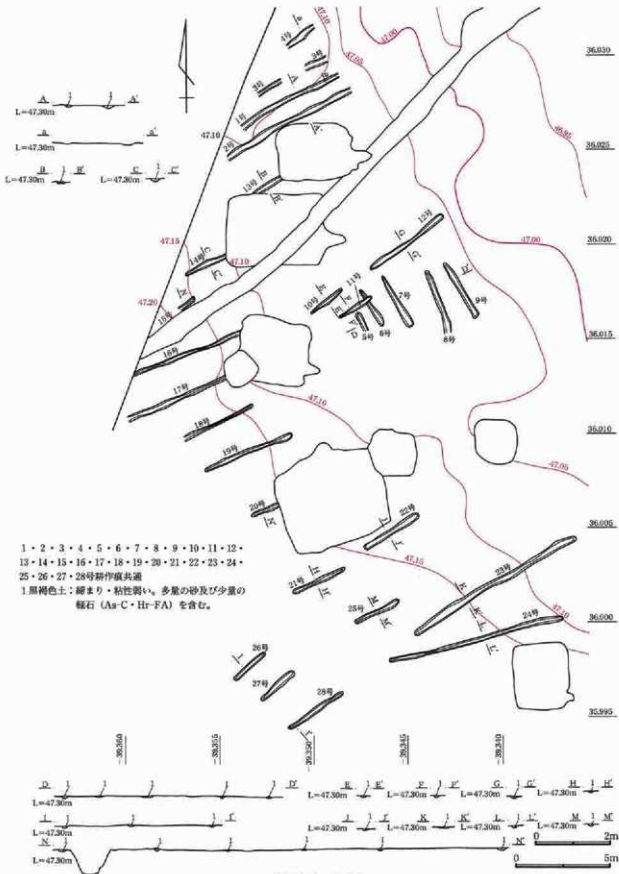
## (3) 22区検出の畠

畠は、22区の $X=36.028 \sim X=36.040 \cdot Y=-39.285 \sim Y=-39.291$ 付近で検出された。西北西から南東方向の畝が6条検出できた。

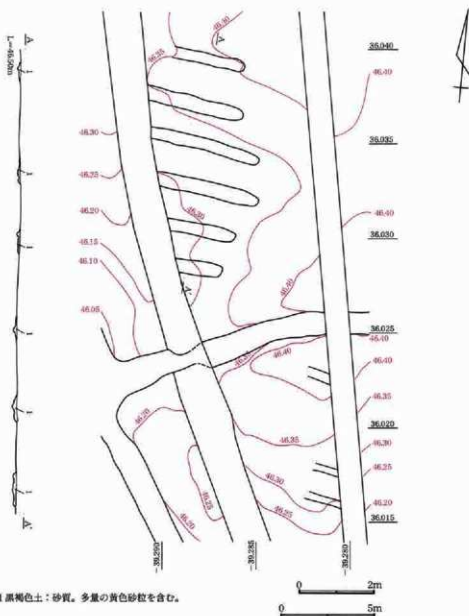
畠の規模は、畝間の距離約1.8～2.5m、畝の幅約0.5～0.8mである。

本畠は、痕跡の検出であり、薄い黄褐色砂粒層に薄く覆われていた。軽石等の年代を示す土壌は混入していなかった。砂粒は洪水土と考えられるが、本遺跡では多くの洪水層があり、時代は不明である。

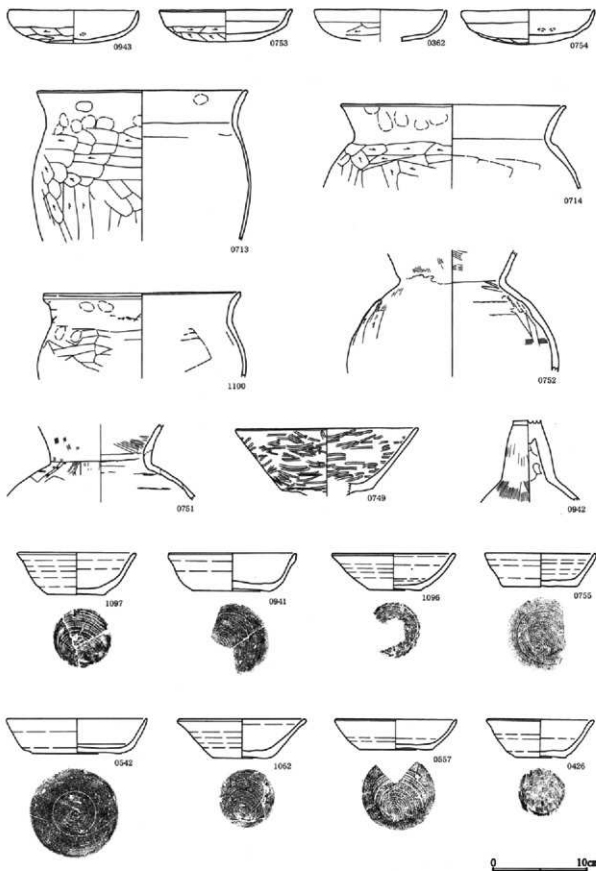






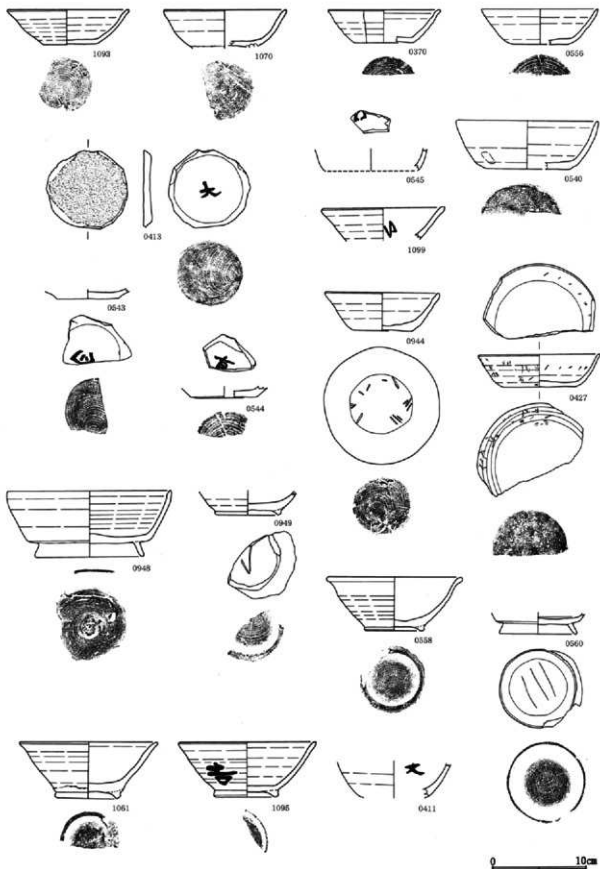


第360図 22区畠

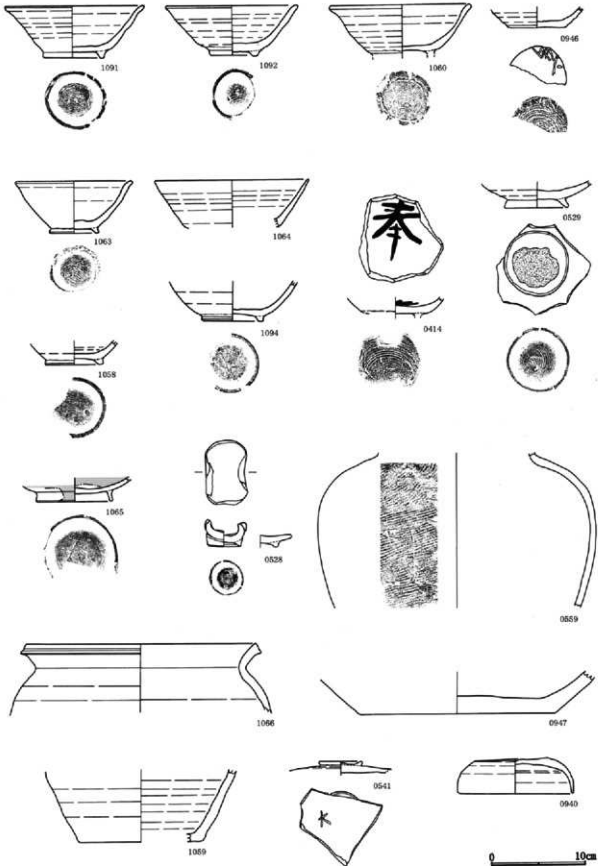


第361図 表土・遺構外出土遺物(1)

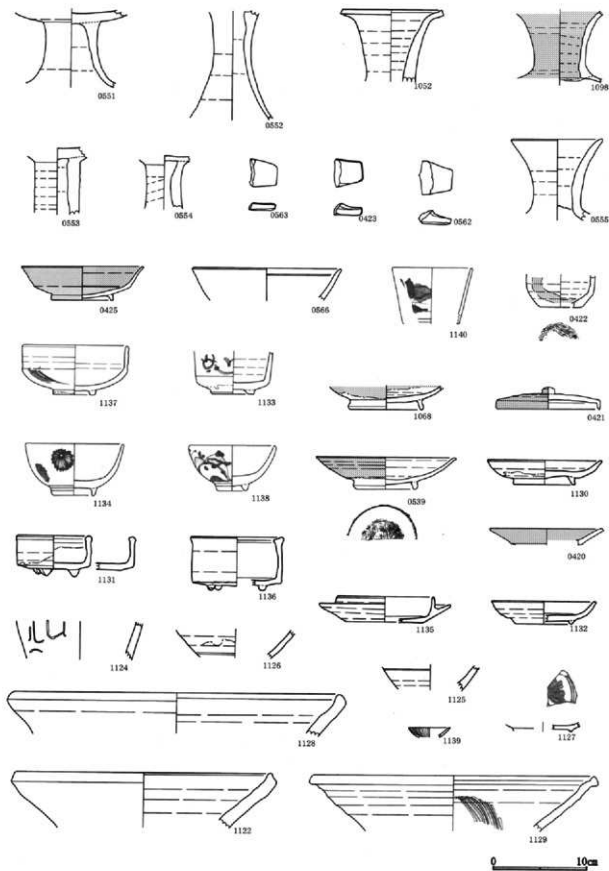
第II章 発見された遺構・遺物



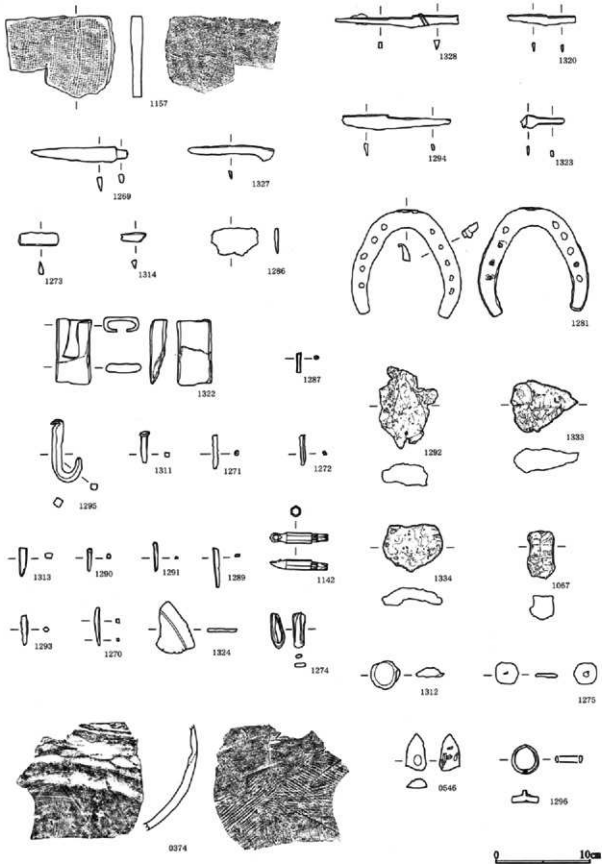
第362図 表土・遺構外出土遺物(2)



第363図 表土・遺構外出土遺物(3)

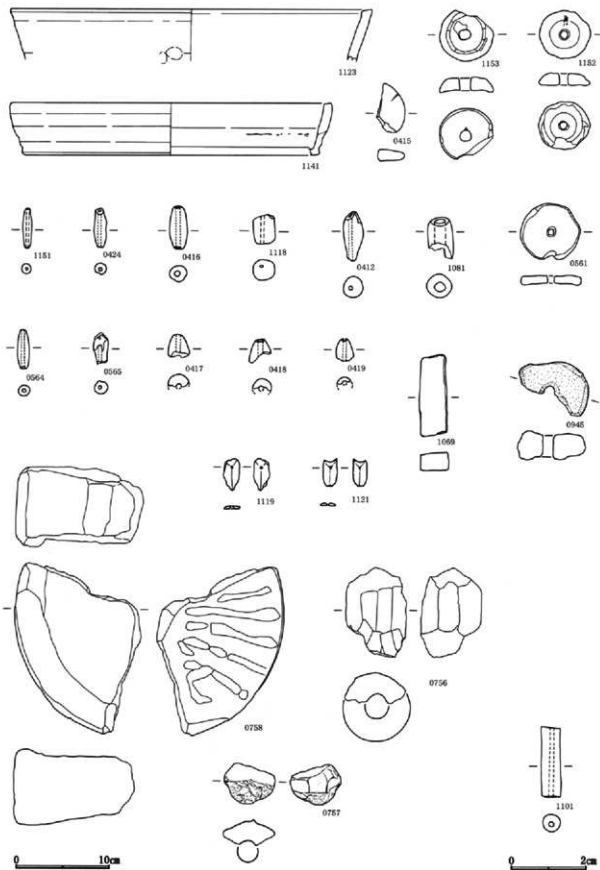


第364図 表土・遺構外出土遺物(4)



第365図 表土・遺構外出土遺物(5)

第二章 発見された遺構・遺物



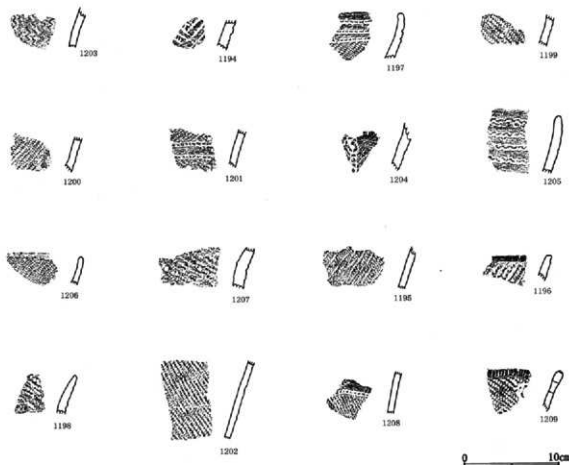
第366図 表土・遺構外出土遺物(6)

## 第9節 縄文時代の遺構と遺物

縄文時代の遺構は、16区において土坑4基が検出されたのみである。それらはすべて前期に比定でき、黒浜式ないし諸磯式（おそらく諸磯a式）に帰属する。住居跡は検出されなかったが、16区以南に広がる微高地上が、前期黒浜式～諸磯a式の生活域であった可能性が考えられる。

遺物は、早期押型文土器から晩期に至る土器群が包含層中から出土している。全体で遺物収納箱8箱分を数えるが、中期末葉加曾利E3～E4式がほとんどであり、さらに後期前半称名寺式、堀之内式を含めると出土量全体の9割以上を占める。出土地点は前述した16区以南に広がる微高地と2～6区、17区北半～19、21、22区に広がる微高地であるが、前述したとおり前者の微高地は前期が主体であり、包

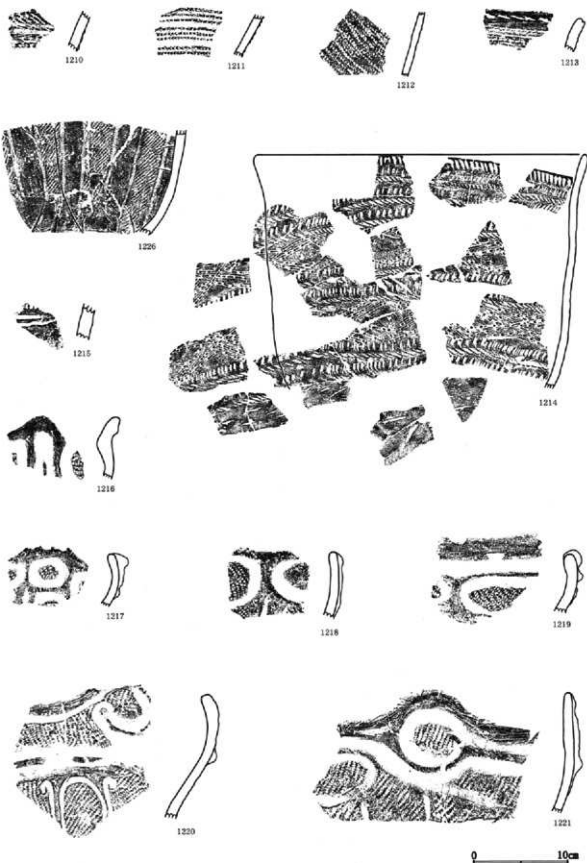
含層遺物のほとんどは後者の微高地から出土している。16区以外では確実に縄文時代に比定できる遺構は検出されなかったため、流れ込み等の要因を考えざるを得ないが、時期によって出土地点が異なる傾向が認められる。4、5区から加曾利E式の、18、19、22区から称名寺式の出土が顕著であり、同じ微高地上でもさらに地点差としてとらえられる可能性を示唆している。また出土量は少ないものの、黒浜式、諸磯a式は前述した1、16区と18、21区から出土し、諸磯b式、浮島式は4、5区から出土している。このことは単なる流れ込みではなく、廃棄行動等何らかの人為的要因も考えられよう。石器についても土器と同様な傾向が認められ、各出土地点における土器型式との関連が考えられよう。



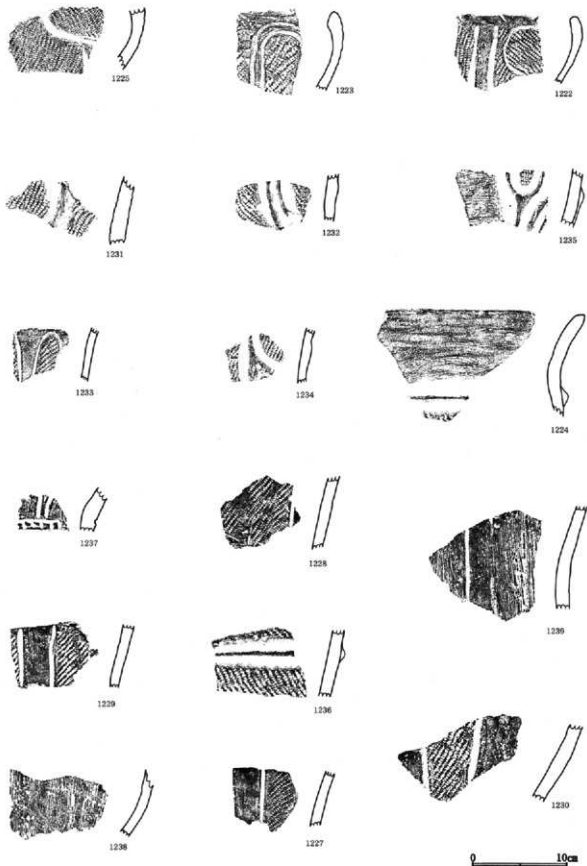
第367図 出土縄文時代土器(1)



第二章 発見された遺構・遺物

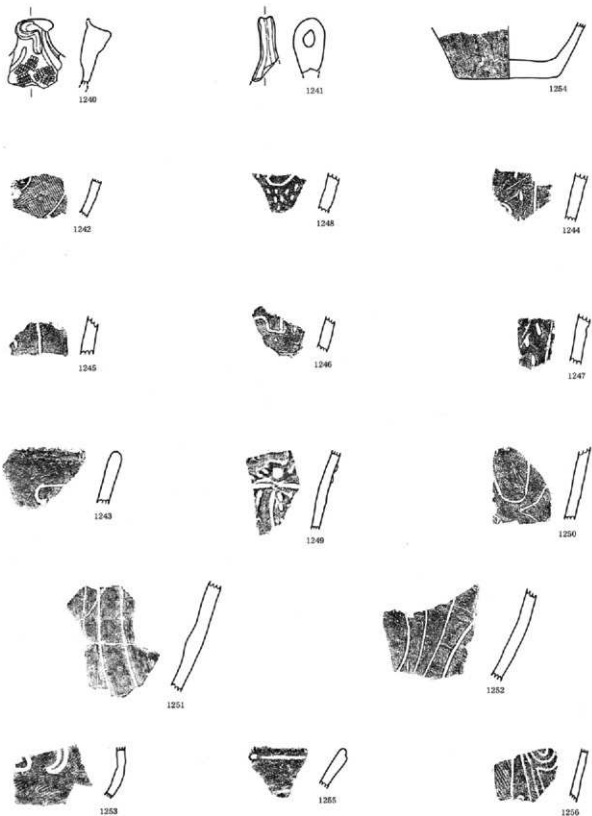


第368図 出土縄文時代土器(2)



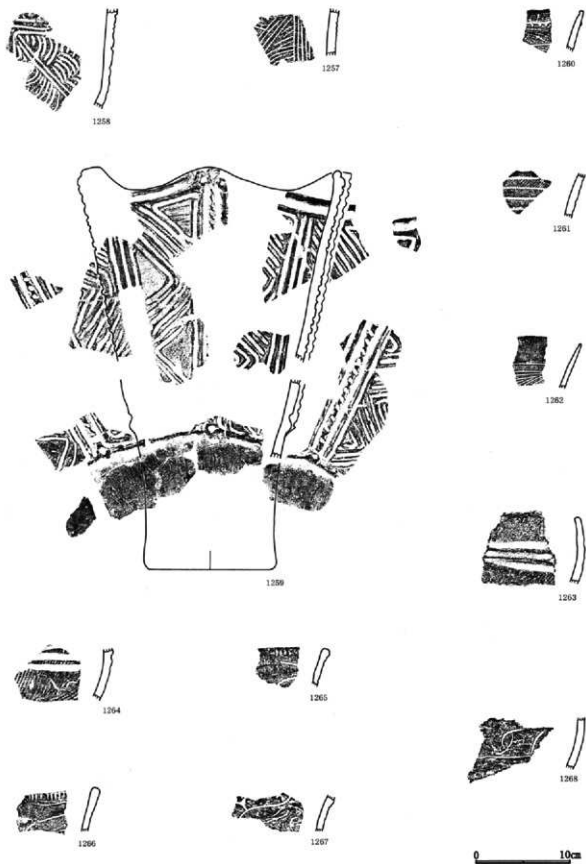
第369図 出土縄文時代土器(3)

第二章 発見された遺構・遺物



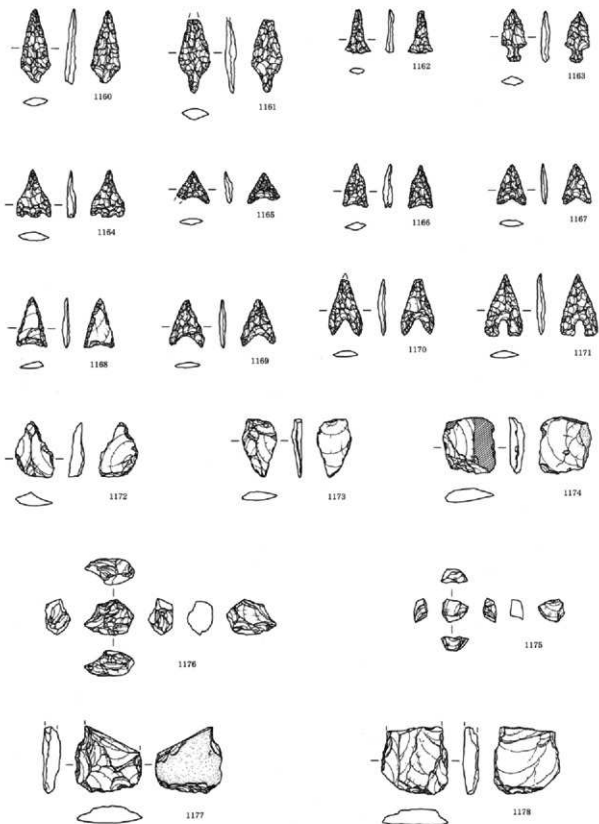
0 10cm

第370図 出土縄文時代土器(4)

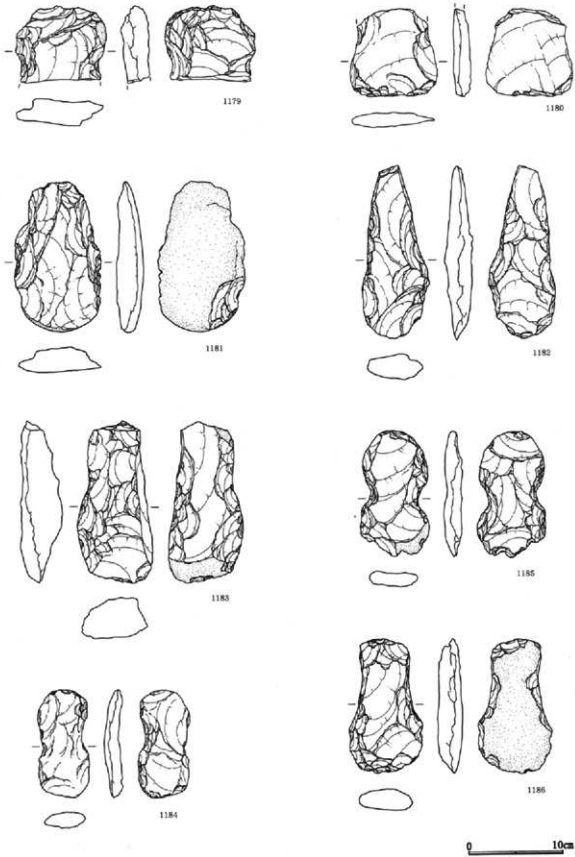


第371図 出土縄文時代土器(5)

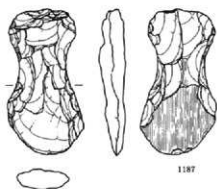
第II章 発見された遺構・遺物



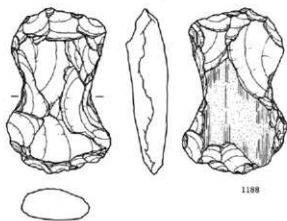
第372図 出土縄文時代石器(1)



第373図 出土縄文時代石器(2)



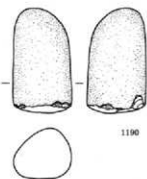
1187



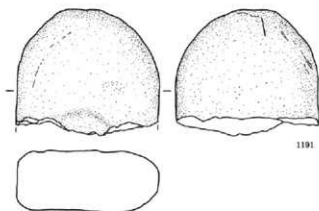
1188



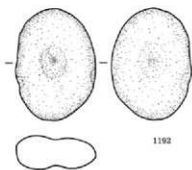
1189



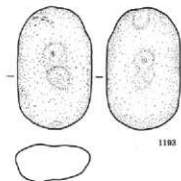
1190



1191



1192



1193



第374図 出土縄文時代石器(3)

### 第Ⅲ章 遺物観察表





遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	図形・技法の特徴他
0001 第7図	須恵器 碗	2住覆土	器(30) 口(140) 台一 口縁部~胴部破片	砂・白色鉱物 還元 灰黄	楕圓形。内外面口縁部~胴部回転で。
0002 第9図 PL-90	須恵器 碗	3住№34・36 ・38	器54 口(144) 台62 口縁部~高台部2/5	砂・白色鉱物 半還元 に ぶい褐	楕圓形。右回転。外口縁部~胴部回転で、底 部回転後高台貼付。内口縁部~底部回転で。 で。
0003 第9図 PL-90	須恵器 碗	3住№34・覆 土	器(54) 口(144) 台一 口縁部~底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外口縁部~胴部回転で、 胴部一部巻上気、底部回転後高台貼付。内 口縁部~底部回転で。
0004 第9図	須恵器 杯	3住№32・35	器(46) 口(140) 底一 口縁部~胴部破片	砂・白色鉱物 還元 灰黄	楕圓形。内外面口縁部~胴部回転で。内外面 に油煙付着。
0005 第9図 PL-89	土師器 壺	3住№19・覆 土	器(128) 口218 底一 頸194 最大(226) 口縁部~胴部上半3/4	砂・小石・白色鉱物 酸化 赤褐	外口縁部横で、一部指頭痕・巻上気、胴部上 端横貫削り。胴部中央斜め削り。内口縁部横 で、胴部横で。内外面一部油煙付着。
0006 第9図 PL-89	土師器 壺	3住№22・覆 土	器(174) 口(200) 底一 頸(188) 最大(223) 口縁部~胴部1/4	砂・小石 酸化 ぶい赤 褐	外口縁部横で、一部指頭痕、胴部上半横貫削 り。胴部下半縦貫削り。内口縁部横で、胴部 横で。内外面油煙付着。
0007 第9図 PL-90	土師器 壺	3住№41・42 ・43・覆土	器(79) 口(200) 底一 頸(182) 最大一 口縁部~胴部上端1/4	砂・小石・白色鉱物 酸化 明赤褐	外口縁部横で、一部指頭痕・巻上気、胴部上 端横貫削り。内口縁部横で、胴部横で。内 外面一部油煙付着。
0008 第22図 PL-92	土師器 台付壺	9住№1・覆 土	器(154) 口122 脚一 頸112 最大134 口縁部~胴部上端4/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 赤褐	外口縁部横で、一部指頭痕、胴部上半横貫削 り。胴部下半縦貫削り、脚部貼付。内口縁部横 で、胴部横で。内外面油煙付着。
0009 第9図 PL-89	土師器 台付壺	3住覆土	器(41) 口(110) 底一 頸(104) 最大一 口縁部~胴部上端1/3	砂・白色鉱物 酸化 赤褐	外口縁部は横で、胴部上端は横貫削り。内 口縁部は横で、胴部上端は横で。内外面油煙 付着。
0010 第18図 PL-91	土師器 杯	7住掘り方	器35 口123 底99 口縁部~底部4/5	砂 酸化 ぶい橙	外口縁部横で、胴部~底部縦貫削り。内口縁 部~胴部横で、底部で。
0011 第18図 PL-91	須恵器 杯	7住覆土	器40 口(130) 底(68) 口縁部~底部1/4	砂 酸化 赤褐	楕圓形。右回転。外口縁部~胴部回転で、 底部回転後貼付。内口縁部~胴部回転で。外 面油煙付着。
0012 第18図	須恵器 杯	7住覆土・掘 り方	器 37 口(120) 底(68) 口縁部~底部1/6	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 橙	楕圓形。外口縁部~胴部回転で、底部上半 回転削り。内口縁部~底部上半回転で。
0013 第18図	須恵器 壺	7住№21・覆 土	器(22) 口一 台114 胴部下端~高台部4/5	砂・小石 還元 灰黄	楕圓形。外口縁部~胴部回転で、底部は高台 貼付後回転で。内口縁部~底部回転で。
0014 第18図	須恵器 杯	7住№25・覆 土	器37 口(130) 底(72) 口縁部~底部1/5	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。外口縁部~胴部回転で、底部上端 回転削り。内口縁部~底部上端回転で。
0015 第18図	須恵器 蓋	7住№15	器(14) 口(160) 積み 一 天井部~口縁部破片	砂・白色鉱物 半還元 に ぶい黄	楕圓形。天井部上半回転削り、天井部下半~ 口縁部回転で。天井部~口縁部回転で。
0016 第18図 PL-91	土師器 壺	7住№7・8 ・19・31・覆 土	器(199) 口(207) 底 一 頸(185) 最大(208) 口縁部~胴部1/4	砂・小石・白色鉱物 酸化 明赤褐	外口縁部横で、一部巻上気・指頭痕、胴部上 端横貫削り。胴部下半縦貫削り。内口縁部横 で、胴部横で。内外面油煙付着。
0017 第18図	土師器 壺	7住掘り方 №9	器(56) 口(182) 底一 頸(160) 最大一 口縁部~胴部上端破片	砂・白色鉱物 酸化 赤褐	外口縁部横で、一部指頭痕、胴部上半横貫削 り。内口縁部横で、胴部上端横で。
0018 第18図	土師器 壺	7住№7・覆 土	器(79) 口(200) 底一 頸(166) 最大一 口縁部~胴部上端1/6	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 赤褐	外口縁部は横で、一部指頭痕、胴部上端は横 貫削り。内口縁部横で、胴部上端横で。
0019 第18図 PL-91	土師器 台付壺	7住掘り方 №2・4・覆 土	器(59) 口(107) 脚一 頸(106) 最大(126) 口縁部~胴部上半1/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 赤褐	外口縁部は横で、胴部上半は横貫削り。内 口縁部は横で、一部巻上気、胴部上半は横 で。内外面油煙付着。
0020 第18図	須恵器 壺	7住掘り方 №5・18	器(100) 口一 底一 頸部一 最大一 頸部~胴破片	砂 還元 灰白	頸部は貼付。外口縁部~胴部上半は叩き目。内口縁部上 半は横で、一部巻上気。
0021 第20図 PL-91	須恵器 碗	8住№5・7 ・9	器62 口136 台75 ほぼ完形	砂・小石 酸化 ぶい橙	楕圓形。外口縁部~胴部回転で、底部高台 貼付後で。内口縁部~底部回転で後へ磨 き。内周。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種 ・器種	遺構名称・遺構 番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0022 第20図	須恵器 杯	8住Ⅷ方	器(42) 口(164) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 色	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で。外面油 埋付着。
0023 第20図	灰釉陶器 椀	8住Ⅷ土	器(13) 口一 台(68) 胴部下端～高台部破片	細砂 還元 灰白	輪軸整形。外：胴部下端回転で、底部高台貼付 後回転で。内：胴部下端～底部回転で。
0024 第20図 PL-91	土師器	8住№15	器(13) 口(56) 底(40) 孔縁(7) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 色	焼成前穿孔。外：口縁部横で、胴部～底部範囲 り。内：口縁部～底部範囲き。
0025 第20図	土師器 壺	8住Ⅷ№7・ Ⅷ土	器(75) 口(200) 底一 頸(184) 最大200 口縁部～胴部上端破片	砂・小石・白色鉱物 酸化 赤褐	外：口縁部横で、胴部上端横削り。内：口縁 部横で、胴部上端直で。
0026 第21図 PL-91	瓦 平瓦	8住Ⅷ№6	長(200) 幅(135) 厚28	砂・小石・白色鉱物 酸化 赤褐	凹面粗い布目肌 凸面タテナデ 面取りなし 側端 部を斜めに切っている
0027 第21図 PL-91	瓦 平瓦	8住Ⅷ№3・ 5・Ⅷ土	長(207) 幅(160) 厚36	砂・小石 酸化 赤褐	凹面粗い布目肌 凸面タテナデ 面取りなし きわ めて厚い
0028 第21図 PL-91	瓦 平瓦	8住Ⅷ№8・ Ⅷ土	長(156) 幅(139) 厚36	砂・小石 酸化 赤褐	凹面粗い布目肌、横脊痕らしい段差がある 凸面タ テナデののち正格子印さ 面取りなし 中央部きわ めて厚い
0029 第20図 PL-91	瓦 平瓦	8住Ⅷ№8・ 9・Ⅷ土	長(88) 幅(80) 厚23	砂・小石・赤色鉱物 酸化 赤褐	凹面粗い布目肌 凸面ナデ 面取りなし
0030 第20図 PL-91	石製品	8住Ⅷ№3	長115 幅85 厚44 重 664.5g	粗粒輝石安山岩	表面は全体に磨かれていて滑らか。
0031 第20図	須恵器 壺	8住Ⅷ№13	器(78) 口一 底一 頸一 最大一 胴部上半破片	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。内外面胴部上半は回転で。外面に自 然釉。
0032 第20図	須恵器 杯	9住Ⅷ方	器(34) 口(126) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0033 第23図 PL-92	土師器 壺	16住Ⅷ内土 坑№6	器(70) 口(206) 底一 頸(184) 最大一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 色	外：口縁部横で、一部指頭肌、胴部上端横削り り。内：口縁部横で、一部巻上肌、胴部上端直 で。内外面油埋付着。
0034 第25図	土師器 壺	11住№3・4 ・5	器(48) 口(192) 底一 頸(174) 最大一 口縁部破片	砂・小石・白色鉱物 酸化 赤褐	内外面口縁部は横で、油埋付着。
0035 第29図	須恵器 杯	13住Ⅷ蔵六	器(24) 口(130) 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色鉱物 還元 灰褐	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0036 第29図	土師器 壺	13住№2	器(60) 口(200) 底一 頸(182) 最大一 口縁部～胴部上端破片	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横で、一部巻上肌、胴部上端横削り り。内：口縁部横で、一部巻上肌、胴部上端直 で。内面油埋付着。
0037 第29図 PL-92	石製品	13住№4	長101 幅84 厚35 重 353.4g	粗粒輝石安山岩	表面は全体に磨かれている。
0038 第30図 PL-92	須恵器 椀	14住№2	器 67 口(155) 台(85) 口縁部～高台部1/6	砂・小石・白色鉱物 半還 元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転余切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 で。
0039 第30図 PL-92	須恵器 杯	14住№1	器40 口(130) 底(65) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で。 底部回転余切。内：口縁部～底部回転で。
0040 第30図	須恵器 杯	14住Ⅷ方	器40 口(140) 底一 口縁部～胴部1/8	砂・白色鉱物 半還元 灰 黄	輪軸整形。内外面口縁部～胴部は回転で。
0041 第27図 PL-92	須恵器 杯	12住№38 他	器37 口(126) 底56 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転余切。内：口縁部～底部回転で。
0042 第27図 PL-92	土師器 杯	12住№6・ 8・33・Ⅷ土	器61 口(170) 底(80) 口縁部～底部1/5	砂 酸化 ぶい色	外：口縁部横で、胴部～底部範囲り。内：口縁 部～底部へる磨き。

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0043 第27回	須恵器 椀	12住№14・覆 覆土	器(30) 口一底(60) 胴部～高台部1/3	砂・白色鉱物 半還元 に よい黄	楕圓整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 未切後高台貼付。内：胴部～底部回転で、内面 に大量の油煙付着。
0044 第27回 PL-92	土師器 甕	12住№30	器(104) 口(160) 底一 頸(146) 最大一 口縁部～胴部上半1/6	砂・白色鉱物 酸化 黒褐	外：口縁部横で、一部指面痕、胴部上端横割り、 胴部上半たて見削り。内：口縁部横で、胴 部上半横で、内外面油煙付着。
0045 第27回 PL-92	須恵器 壺	12住№1・2 ・3・5・10・ 23・25・26・ 27・覆土	器(153) 口一底一 頸一最大168 胴部～底部3/5	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。内外面胴部は回転で、外面一部自然 釉。
0046 第50回 PL-94	須恵器 杯	25住№29・ 30・35・覆土	器39 口128 底63 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部は回転未切後で。内：口縁部～底部回転 で。
0047 第50回 PL-94	須恵器 椀	25住№27	器63 口(148) 台75 口縁部～高台部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転未切後高台貼付。内：口縁部～底部 回転で。
0048 第50回 PL-94	須恵器 杯	25住№4・8 ・覆土	器36 口(126) 底65 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰オ リーブ	楕圓整形。右回転。外：口縁部～底部回転で、 底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。
0049 第50回 PL-94	須恵器 杯	25住№27・35	器43 口(140) 底57 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。外：口縁部～胴部回転で、底部 回転未切後高台貼付。内：口縁部～底部 回転で。
0050 第50回 PL-94	須恵器 杯	25住№9・10 ・11・12・13、 掘り方	器38 口130 底64 口縁部～底部3/5	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転未切。内：口縁部～胴部回転で。
0051 第50回 PL-94	須恵器 杯	25住№7	器30 口(124) 底(60) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：口縁部～底部回転で、 底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。
0052 第50回	須恵器 椀	25住№5	器29 口一 台(76) 胴部～高台部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。外：胴部回転で、底部回転未切後 高台貼付。内：胴部～底部回転で。
0053 第50回	須恵器 椀	25住№21	器(49) 口一 台(98) 胴部～高台部1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。外：胴部回転で、底部高台貼付後 回転で。内：胴部～底部回転で。
0054 第50回 PL-94	須恵器 盤	25住覆土	器35 口(130) 台(88) 口縁部～高台部1/8	砂・赤色鉱物 酸化 によ い褐	楕圓整形。外：口縁部～胴部回転で、高台部は 貼付。内：口縁部～胴部回転で。
0055 第50回	土師器 甕	25住№32	器(51) 口(200) 底一 頸(180) 最大一 口縁部～胴部上端破片	砂・白色鉱物 酸化 によ い褐	外：口縁部横で、一部指面痕・巻上痕、胴部上 端横割り。内：口縁部横で、胴部上端横 で。内外面油煙付着。
0056 第50回	土師器 台付甕	25住№33・掘 り方	器(40) 口一 台一 胴部下端～脚部上端2/3	砂・小石・白色鉱物 酸化 によい赤褐	脚部は貼付。外：胴部下端にて見削り、脚部上端 横で。内：胴部下端～底部横で、脚部上端 横で。内外面油煙付着。
0057 第50回	須恵器 鉢	25住№6	器(47) 口(200) 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。内外面口縁部～胴部上端は回転 で。
0058 第50回 PL-94	土製品 紡錘車	25住№31	直64 孔8.5 厚13 重56.4g	砂・白色鉱物 半還元 褐 灰	焼成前穿孔。表面は荒で、油煙付着。
0059 第50回 PL-94	土製品 紡錘車	25住№15	直52 孔7 厚18 重46.9g	砂・白色鉱物 酸化 によ い黄褐	焼成前穿孔。表面は荒で、油煙付着。
0060 第53回 PL-94	須恵器 椀	26A住№1 ・2	器65 口51 台(71) 口縁部～高台部1/6	砂・小石 白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高 台貼付後で。内：口縁部～底部回転で。
0061 第53回 PL-95	須恵器 杯	26A住№2・ 覆土	器48 口(130) 底(64) 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転 で、底部回転未切。内：口縁部～底部 回転で。
0062 第53回	須恵器 椀	26A住№7	器(31) 口一 台一 胴部～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：胴部回転で、底部 回転未切後高台貼付。内：胴部～底部 回転で。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0063 第53図	須恵器 杯	26A住№4	器(14) □—底65 胴部下半～底部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰黄	輪軸整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部回転未切。内：胴部下半～底部回転で。
0064 第53図 PL-95	灰胎陶器 皿	26A住№18	器23 □144 台73 口縁部～高台部5/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：口縁部～底部回転で。内面筋面釉、外面施釉なし。
0065 第53図 PL-94	土師器 壺	26A住№12・ 13・覆土	器(187) □(206) 底一 類(187) 最大(244) 口縁部～胴部1/3	砂・小石・白色鉱物 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部唇上段・指頭直、胴部上半横貫削り、胴部下半縦貫削り。内：口縁部横で、胴部直で、一部唇上段。内外面油埋付着。
0066 第53図 PL-94	土師器 壺	26A住№16・ 電覆土・覆土	器(178) □(210) 底一 類(178) 最大(230) 口縁部～胴部1/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い褐	外：口縁部は横で、一部指頭直、胴部上半横貫削り、胴部中央斜め貫削り、胴部下半縦貫削り。内：口縁部横で、胴部直で、一部唇上段。内外面油埋付着。
0067 第53図 PL-95	土師器 壺	26A住№5	器(32) □(200) 底一 類(171) 最大一 口縁部～胴部上端破片	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部上端横貫削り。内：口縁部横で、胴部上端直で。
0068 第53図 PL-95	須恵器 杯	26B住№5・ 覆土	器36 □124 底58 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。
0069 第53図 PL-95	須恵器 杯	26B住№7・ 覆土	器38 □130 底62 口縁 部～底部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。
0070 第53図 PL-95	須恵器 杯	26A住№23・ 26A住覆土	器32 □(130) 底(55) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。
0071 第53図 PL-94	須恵器 杯	26A住№24	器34 □(114) 底(54) 口縁部～底部2/5	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。
0072 第53図 PL-95	須恵器 椀	26B住№22・ 51・57	器65 □(150) 台(90) 口縁部～高台部1/4	砂・小石 還元 灰	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転未切後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
0073 第53図 PL-95	須恵器 椀	26B住№18	器(41) □—台(78) 胴部～高台部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。外：胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：胴部～底部回転で。
0074 第53図 PL-95	須恵器 皿	26B住№20・ 掘り方覆土	器(17) □130 台—口 縁部～高台部上端2/5	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部は回転で、底部は回転未切後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
0075 第53図 PL-95	須恵器 椀	26B住№14・ 15	器(18) □—台74 胴部下端～高台部1/1	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。外：胴部短回転で、底部高台貼付後で。内：胴部下端～底部回転で。周囲を丁寧に打ら欠いている。転用品。
0076 第53図	須恵器 椀	26B住№1	器(21) □—台82 胴部下端～高台部1/1	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。外：胴部下端は回転で、底部は高台貼付後回転で。内：胴部下端～底部回転で。
0077 第53図 PL-95	土師器 壺	26B住№35・ 覆土	器(135) □(210) 底一 類(190) 最大(236) 口縁部～胴部1/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 明黄褐	外：口縁部横で、一部指頭直、胴部上半横貫削り、胴部中央～胴部下半斜め貫削り。内：口縁部横で、胴部直で。内外面油埋付着。
0078 第53図 PL-95	土師器 壺	26B住№2・ 38・覆土	器(85) □(184) 底一 類(169) 最大一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横で、一部指頭直、胴部上端貫削り。内：口縁部横で、胴部上端直で。
0079 第53図	土師器 壺	26B住№32・ 覆土	器(44) □(212) 底一 類(190) 最大一 口縁部1/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い褐	外：口縁部は横で、頸部は直で。内：口縁部は横で。
0080 第53図	土師器 壺	26B住№2・ 覆土	器(52) □(191) 底一 類(178) 最大一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 ぶい赤褐	外：口縁部横で、胴部上端横貫削り。内：口縁部横で、胴部上端直で。内外面油埋付着。
0081 第53図 PL-95	土師器 台付壺	26B住№52・ 59	器(139) □—脚(164) 頸径—最大径一 胴部下半～胴部2/3	砂・小石・白色鉱物 酸化 赤褐	外：胴部下半縦貫削り、胴部貼付・横で、一部指頭直。内：胴部下半直で、胴部横で。内外面油埋付着。
0082 第53図	土師器 台付壺	26B住覆土	器(41) □—脚(86) 頸径—最大径一 底部～脚部1/3	砂・白色鉱物 酸化 橙	脚部は貼付。外：脚部は横で。内：底部～脚部で。内外面油埋付着。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0083 第55図	土師 甕 台付 甕	26日住№19・ 21	胴(32) □一 胴(96) 頸径一 最大径一 胴部2/5	砂・白色胎物 酸化 による赤褐	胴部は貼付。内外胴部は横なで、内外面油煙付着。
0084 第57図 PL-95	須恵 器 杯	27住№3	器36 □132 底64 ほぼ完形	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	罐腹整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0085 第57図 PL-95	須恵 器 杯	27住№8	器32 □(123) 底(60) 口縁部～底部1/3	砂・白色胎物 還元 灰	罐腹整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0086 第57図	須恵 器 杯	27住№1・覆 土	器35 □(130) 底(80) 口縁部～底部1/8	砂・白色胎物 還元 灰白	罐腹整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 寛削り。内：口縁部～底部回転なで。
0087 第57図	須恵 器 甕	27住№9・覆 土	器(61) □(150) 底一 頸径(116) 最大一 口縁部～頸部1/5	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	罐腹整形。頸部は貼付。内外面口縁部～頸部は回 転なで。
0088 第57図	須恵 器 碗	27住№11	器(20) □一 台(78) 胴部下端～高台部1/3	砂・白色胎物 還元 灰	罐腹整形。外：胴部下端は回転なで、底部は高台 貼付後回転なで。内：胴部下端～底部回転なで。
0089 第58図 PL-95	須恵 器 杯	28住№2	器45 □134 底77	砂・小石・白色胎物 半還元 黄灰	罐腹整形。口縁部～胴部回転なで、底部静止糸切 後なで。内：口縁部～底部回転なで。二次灰を受け ている。
0090 第58図	土師 器 甕	28住№4・15	器(130) □一 底一 頸径一 最大一 胴部1/3	砂・小石・白色胎物 酸化 赤褐	外：胴部上半横削り、胴部下半縦削り。内： 胴部寛なで。外面油煙付着。
0091 第61図 PL-95	須恵 器 杯	29住№135	器36 □136 底83 ほぼ完形	砂・白色胎物 半還元 灰 黄	罐腹整形。外：口縁部～底部回転なで、底部回転 糸切後なで。外：口縁部～底部回転なで。
0092 第61図 PL-96	須恵 器 杯	29住№92・ 134・覆土	器36 □128 底73 ほぼ完形	砂・小石・白色胎物 還元 灰	罐腹整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 寛削り。内：口縁部～底部回転なで。
0093 第61図 PL-96	須恵 器 杯	29住№129・ 132・覆土	器32 □122 底75 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色胎物 還元 灰	罐腹整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。内面 一部油煙付着。
0094 第61図 PL-96	須恵 器 杯	29住№77	器34 □128 底77 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色胎物 半還元 による黄褐	罐腹整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部なで。 内：口縁部～底部回転なで。内外面一部油煙付着。
0095 第61図 PL-96	須恵 器 杯	29住№118	器34 □134 底83 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色胎物 半還元 黄灰	罐腹整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転寛削り後、書いて名削り。内：口縁部 ～底部回転なで。
0096 第61図 PL-96	須恵 器 杯	29住№109	器36 □(130)底80 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色胎物 還元 灰	罐腹整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 糸切後削り。内：口縁部～底部回転なで。
0097 第61図 PL-96	須恵 器 杯	29住№108	器32 □128 底78 口縁部～底部2/3	砂・白色胎物 還元 灰	罐腹整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転寛削り。内：口縁部～底部回転なで。外面に 油煙付着。
0098 第61図 PL-96	須恵 器 杯	29住№63	器38 □(128) 底68 口縁部～底部1/2	砂・白色胎物 還元 灰白	罐腹整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0099 第61図 PL-96	須恵 器 杯	29住覆土・掘 り方	器40 □(125) 底78 口縁部～底部2/5	砂・小石 還元 灰白	罐腹整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転寛削り。内：口縁部～底部回転なで。内外 面油煙付着。
0100 第61図 PL-96	須恵 器 杯	29住№37・掘 り方	器33 □126 底78 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色胎物 還元 灰	罐腹整形。右回転。外：口縁部～底部回転なで、 底部回転糸切後なで。内：口縁部～底部回転なで。
0101 第61図	須恵 器 杯	29住№87	器(26) □一 底74 胴部下端～底部3/5	砂・白色胎物 還元 灰	罐腹整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部 回転糸切後上半回転削り。内：胴部下半～底部 回転なで。
0102 第61図 PL-96	須恵 器 碗	29住№126・ 127	器44 □121 底78 ほぼ完形	砂・小石・白色胎物 還元 灰	罐腹整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部はな で後高台貼付。内：口縁部～底部回転なで。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	透視名称・透視番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0103 第61回 PL-96	須恵 壺 瓶	29住廻り方	器48 □122 底82 口縁部～底部4/5	砂・半還元 ぶい黄	縦軸整形。外：口縁部～底部回転で、底部高台貼付後など。内：口縁部～底部回転で、外面横し。
0104 第61回 PL-96	須恵 器 杯	29住廻り方	器37 □(148) 底85 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物 酸化 明赤褐	縦軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後削り。内：口縁部～底部回転で、外面横し。
0105 第61回 PL-96	須恵 器 杯	29住№105	器37 □(130) 底(74) 口縁部～底部2/5	砂・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後削り。内：口縁部～底部回転で、外面横し。
0106 第61回	須恵 器 杯	29住廻り方	器50 □(172) 底(104) 口縁部～底部上半1/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部上半回転削り。内：口縁部～底部上半回転で、外面横し。
0107 第61回	須恵 器 杯	29住№65	器49 □(170) 底(120) 口縁部～底部上端1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	縦軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部上端回転削り。内：口縁部～底部上端回転で、外面横し。
0108 第62回 PL-96	須恵 器 杯の転用	29住№122	器(10) □(89) 底80 胴部下端～底部1/1	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。底部は回転後切後回転削り。須恵器杯の転用品。周囲は打ち欠いている。
0109 第62回 PL-96	須恵 器 杯の転用	29住覆土	器(19) □(93) 底(70) 胴部～底部3/5	砂・白色鉱物 還元 灰オリーブ	縦軸整形。須恵器杯の転用品。周囲は打ち欠いた後磨いている。
0110 第61回 PL-96	須恵 壺 盤	29住覆土	器(10) □一 台(110) 胴部下端～高台上端 1/6	砂・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。外：胴部下端は回転で、底部は回転削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で、外面横し。
0111 第61回 PL-96	須恵 壺 蓋	29住№75・111 ・他	器42 □182 柄42 口縁部～隅み5/6	砂・小石 還元 灰	縦軸整形。外：隅みは貼付。天井部上半回転削り、天井部下半～口縁部回転で、内：天井部～口縁部回転で、外面横し。
0112 第61回 PL-96	須恵 壺 蓋	29住№33・覆 土	器18 □(134) 天井部～口縁部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。右回転。外：天井部上半回転削り、天井部中央回転削り。天井部下半～口縁部回転で、内：天井部～口縁部回転で、外面横し。
0113 第61回 PL-96	須恵 壺 蓋	29住№82	器18 □(132) 天井部～口縁部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。右回転。外：天井部上半～天井部中央回転削り、天井部下半～口縁部回転で、内：天井部～口縁部回転で、外面横し。
0114 第60回 PL-95	土師 器 壺	29住№136・覆 土	器(89) □142 底一 脚132 最大(164) 口縁部～胴部3/5	砂・小石 酸化 褐	外：口縁部横で、一部指環痕、胴部上端横削り。胴部中央斜め削り。内：口縁部横で、胴部横で、内外面油煙付着。
0115 第60回 PL-95	土師 器 壺	29住№128・ 130・覆土	器(75) □(183) 底一 脚(164) 大一 口縁部～胴部上端1/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶい黄褐	外：口縁部横で、一部指環痕・巻上痕、胴部上端横削り。内：口縁部横で、胴部上端横で、内外面に油煙付着。
0116 第61回 PL-95	土師 器 壺	29住№51・102	器(82) □(208) 底一 脚(183) 大一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部指環痕・巻上痕、胴部上端横削り。内：口縁部横で、胴部上端横で、内外面油煙付着。
0117 第60回 PL-95	土師 器 壺	29住覆土	器(90) □(180) 底一 脚(164) 大一 口縁部～胴部上端1/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 褐	外：口縁部横で、一部指環痕、胴部上端斜め削り。内：口縁部横で、胴部上端横で、外面横し。
0118 第61回 PL-95	土師 器 壺	29住№43・覆 土	器(45) □(140) 底一(130) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部指環痕、胴部上端横削り。内：口縁部横で、一部巻上痕、胴部上端横で、外面横し。
0119 第61回 PL-95	土師 器 台付 壺	29住№6・覆 土	器(38) □一 脚一 最大一 脚(112) 底部～脚部3/5	砂・白色鉱物 酸化 ぶい赤褐	脚部は貼付。外：脚部は横で、内：底部は横で、脚部は横で、内外面油煙付着。
0120 第61回 PL-96	須恵 壺 蓋	29住覆土	器(22) □(100) 底一 最大一 底一 口縁部～頸部破片	砂・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。内外面口縁部～頸部は回転で、自然粘。
0121 第104回	須恵 器 杯	46住電掘	器(34) □140 底一 口縁部～胴部1/6	砂・白色鉱物 還元 灰白	縦軸整形。内外面口縁部～胴部回転で、外面横し。
0122 第104回	須恵 器 瓶	46住№4	器(24) □一 台58 胴部下端～高台部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転後切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で、外面横し。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0123 第1038段	土器 甕	46仕覆土	器(60) □(230) 頸(210) 底— 口縁部→胴部上端1/8	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部削削痕、胴部上端削削痕あり。内：口縁部横なで、一部色上痕、胴部上端削削なで。
0124 第294段 PL-124	須恵器 杯	2839№.16	器37 □126 底72 完形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	罐腹整形。右回転。外：口縁部→胴部回転なで、底部回転余切。内：口縁部→底部回転なで。
0125 第294段 PL-124	須恵器 杯	2839№.78・覆土	器38 □130 底57 口縁部→底部2/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	罐腹整形。右回転。外：口縁部→胴部回転なで、底部回転余切。内：口縁部→底部回転なで。
0126 第294段 PL-124	須恵器 杯	2839№.82・覆土	器35 □(120) 底63 口縁部→底部2/5	砂・白色鉱物 還元 灰	罐腹整形。右回転。外：口縁部→胴部回転なで、底部回転余切。内面：口縁部→底部回転なで。
0127 第294段 PL-124	須恵器 杯	2839№.15・覆土	器36 □(130) 底72 口縁部→底部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐腹整形。右回転。外：口縁部→胴部回転なで、底部回転削削痕あり。内：口縁部→底部回転なで。
0128 第294段 PL-124	須恵器 杯	2839坑覆土	器37 □(124) 底(70) 口縁部→底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	罐腹整形。右回転。外：口縁部→胴部回転なで、底部回転余切後回転削削痕あり。内：口縁部→底部回転なで。
0129 第294段 PL-124	須恵器 杯	2839№.20	器38 □(140) 底(65) 口縁部→底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰黄	罐腹整形。右回転。外：口縁部→胴部回転なで、底部回転余切。内：口縁部→底部回転なで。
0130 第294段	須恵器 杯	2839№.67・覆土	器(36) □(150) 底— 口縁部→胴部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐腹整形。内外面口縁部→胴部回転なで。
0131 第294段 PL-124	須恵器 椀	2839№.84・ 85・86、覆土	器50 □(140) 台64 口縁部→高台部2/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰白・浅黄	罐腹整形。右回転。外：口縁部→胴部回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：口縁部→底部回転なで。
0132 第294段 PL-125	須恵器 椀	2839№.52・55	器(43) □— 台57 胴部→高台部3/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐腹整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：胴部→底部回転なで。内面燻し。
0133 第294段 PL-124	須恵器 椀	2839№.33	器(41) □— 台65 胴部→高台部3/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	罐腹整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：胴部→底部回転なで。
0134 第294段 PL-124	須恵器 椀	2839№.52	器(33) □— 台61 胴部→高台部1/1	砂・白色鉱物 半還元 灰 黄褐	罐腹整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切後、高台貼付。内：胴部→底部回転なで。内外面一部燻し付着。
0135 第294段 PL-124	須恵器 椀	2839№.34・79	器(35) □— 台58 胴部→高台部3/5	砂・白色鉱物 酸化 によ い橙	罐腹整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：胴部→底部回転なで。
0136 第294段 PL-124	須恵器 椀	2839№.76	器(28) □— 台— 胴部→高台部上半3/5	砂・白色鉱物 酸化 によ い橙	罐腹整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：胴部→底部回転なで。内外面一部燻し付着。
0137 第294段	須恵器 椀	2839№.42・43	器(32) □— 台61 胴部→高台部2/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 によい黄橙	罐腹整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：胴部→底部回転なで。
0138 第294段	須恵器 椀	2839№.45・覆土	器(24) □— 台52 胴部→高台部2/3	砂・白色鉱物 還元 灰	罐腹整形。外：胴部下平回転なで、底部高台貼付後回転なで。内：胴部下平→底部回転なで。
0139 第294段	須恵器 椀	2839№.66・ 77・覆土	器(38) □— 台67 胴部→高台部3/5	砂・白色鉱物 酸化 によ い橙	罐腹整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：胴部→底部回転なで。
0140 第294段	須恵器 椀	2839№.12	器(34) □— 台(64) 胴部→高台部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	罐腹整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：胴部→底部回転なで。
0141 第294段	須恵器 盤	2839№.6・7	器(21) □— 台— 胴部下端→高台部上半 1/2	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐腹整形。外：胴部下端回転なで、底部高台貼付後なで。内：胴部下端→底部回転なで。
0142 第294段 PL-124	須恵器 甕	2839坑覆土	器(25) □— 台78 胴部下端→高台部上半 1/2	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐腹整形。外：胴部下端回転なで、底部高台貼付後回転なで。内：胴部下端→底部回転なで。内外面に一部自然釉。
0143 第294段	須恵器 蓋	2839№.8	器(32) □— 横(48) 胴部→天井部上半1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	罐腹整形。胴部貼付。外：天井部上半回転削削痕あり。内：天井部上半回転なで。



第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0144 第294図	土師 器 壺	283坑No.29・ 30、覆土	器(57) 口(200) 頸(174) 底一 口縁部～胴部上端1/8	砂・赤色胎土 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部唇上・指頭痕、胴部上端横削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで。
0145 第294図	土師 器 壺	283坑No.28	器(77) 口(200) 頸(182) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色胎土・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横なで、一部唇上・指頭痕、胴部上端横削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで。
0146 第294図 PL-124	土師 器 壺	283坑No.90、覆 土	器(132) 口(220) 頸(218) 底一 口縁部～胴部中央1/8	砂・白色胎土・赤色胎土・ 雲母 酸化 ぶい橙	外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上半横削り、胴部中央横削り。内：口縁部横なで、胴部横なで、一部唇上痕。外面割部油埋付着。
0147 第294図 PL-124	土師 器 台付 壺	283坑No.72、覆 土	器(112) 口(122) 頸(110) 台一 口縁部～胴部1/4	砂・白色胎土・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上半横削り、胴部下半横削り。内：口縁部横なで、胴部横なで。内外面油埋付着。
0148 第295図 PL-125	土 製品 鉢	283坑覆土	長(40) 径20 孔3 重10.4 g	砂・白色胎土・赤色胎土 酸化 明赤褐	中心部縦に径3mmの穿孔。
0149 第295図 PL-125	土 製品 鉢	283坑覆土	長(40) 径16 孔3 重8.6 g	砂・白色胎土・赤色胎土 酸化 明赤褐	中心部縦に径3mmの穿孔。
0150 第295図 PL-125	石 製品	283坑No.88	長150 幅71 厚51 重964.3 g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。
0151 第295図 PL-125	石 製品	283坑No.51	長(143) 幅60 厚28 重416.3 g	ホルンフェルス	周囲は磨れている。
0152 第295図 PL-124	須 恵 器 壺	283坑No.41	器(一) 口一 底一 頸一 最大一 胴部破片	砂・小石・白色胎土 還元 灰	外面に磨削、内面に善土痕。外：甲目目。内：当て具痕。
0153 第108図 PL-105	須 恵 器 杯	48住No.23・24、 覆土	器33 口124 底72 ほぼ正六角形	砂・白色胎土 還元 灰	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後回転削り。内：口縁部～底部回転なで。外面底部に墨書「子」。
0154 第114図 PL-106	須 恵 器 杯	49住No.54	器30 口(120) 底76 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色胎土 還元 灰	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0155 第108図 PL-104	須 恵 器 杯	48住No.7・電 No.25	器38 口(130) 底78 口縁部～底部2/5	砂・白色胎土 半還元 灰 白・ぶい黄褐	輪縁整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0156 第108図 PL-105	須 恵 器 杯	48住No.72・電 No.	器37 口124 底70 口縁部～底部2/5	砂・白色胎土 還元 灰白	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0157 第108図 PL-105	須 恵 器 杯	48住No.70・覆 土	器38 口(124) 底74 口縁部～底部2/5	砂 半還元 灰白・橙	輪縁整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0158 第108図 PL-105	須 恵 器 杯	47住No.45・覆 土	器39 口(128) 底(84) 口縁部～底部1/4	砂・小石・白色胎土 還元 灰	輪縁整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0159 第108図 PL-104	須 恵 器 杯	48住No.7・ 8・22、覆土	器31 口131 底(8) 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色胎土 還元 灰白	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。内外面に一部油埋付着。
0160 第108図 PL-105	須 恵 器 杯	48住No.16	器33 口(100) 底(60) 口縁部～底部1/6	砂・小石・白色胎土 還元 灰	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0161 第108図 PL-104	須 恵 器 壺	48住No.28	器64 口(160) 台106 口縁部～高台部2/3	砂・白色胎土 還元 灰白	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り後高台貼付。内：口縁部～底部回転なで。
0162 第108図 PL-105	須 恵 器 壺	48住No.18・19	器(39) 口一 台一 胴部～高台部上半3/5	砂・小石・白色胎土 還元 灰黄	輪縁整形。外：胴部回転なで、底部高台貼付後回転なで。内：胴部～底部回転なで。

遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺構番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0163 第108回 PL-165	須恵器 把手付碗	48住№50・64 ・65	器47 □(134) 台(90) 口縁部～高台部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰	輪埴整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、把手部貼付、寛削り、底部回転削り後高台貼付。内：口縁部～底部回転などで。
0164 第108回	須恵器 碗	48住№60	器(19) □— 高台 胴部下端～高台部1/1	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪埴整形。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：胴部下端～底部回転などで。
0165 第109回 PL-165	須恵器 蓋	48住№66・67、 覆土	器43 □170 柄41 天井部～口縁部5/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪埴整形。胴部貼付。外：天井部上半回転削り、天井部下～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。
0166 第109回 PL-165	須恵器 杯	48住№62	器(10) □— 底70 胴部下端～底部1/1	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	転用形態。胴部下端で丁寧に打ち欠き。外面底部磨れ。(輪埴整形。右回転。外：底部回転削り後回転削り。内：底部回転などで。)
0167 第109回 PL-165	須恵器 杯	48住№14	器(7) □— 底72 胴部下端～底部1/1	砂・白色鉱物 還元 灰	転用形態。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内外面底部磨れ。(輪埴整形。右回転。外：底部回転削り。内：胴部下端～底部回転などで。)
0168 第109回 PL-165	須恵器 杯	48住№51	器(6) □— 底70 底部1/1	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白・にぶい黄緑	転用形態。底部丁寧に打ち欠いてある。(輪埴整形。右回転。外：底部回転削り。内：回転などで。)
0169 第109回 PL-165	須恵器 鉢	48住№6・5 覆土、S2住覆 土	器(6) □— 底70 口縁部～胴部1/2	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 橙	輪埴整形。外：口縁部～胴部上半回転などで、胴部下半回転削り。内：口縁部～胴部回転などで。内外面油煙付着。
0170 第109回 PL-165	須恵器 鉢	48住覆土、電 線	器53 □(180) 底(126) 口縁部～底部上端1/3	砂・白色鉱物 酸化 橙	輪埴整形。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下端～底部上端回転削り。内：口縁部～底部上端無回転などで。内外面に一部油煙付着。
0171 第109回	須恵器 蓋	48住№13、 覆土	器(17) □(150) 換一 天井部～口縁部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 にぶい褐	輪埴整形。外：天井部上半回転削り、天井部下～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。外面に一部油煙付着。
0172 第109回	須恵器 皿	48住№9、覆 土	器(17) □(200) 台一 口縁部～胴部1/8	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 明赤褐	輪埴整形。内外面口縁部～胴部回転などで。内外面に一部油煙付着。
0173 第109回	須恵器 盤	48住覆土	器(17) □(118) 台一 口縁部～高台部上端 1/8	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	輪埴整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台貼付。内：口縁部～底部回転などで。内外面に一部油煙付着。
0174 第108回 PL-164	土器器 杯	48住覆土、電 線	器27 □(110) 底(70) 口縁部～底部2/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、胴部寛削り後などで、底部寛削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで、一部指痕。内外面油煙付着。
0175 第108回	土器器 杯	48住覆土、電 線	器(30) □(110) 底(70) 口縁部～底部上半1/6	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横などで、胴部寛削り後などで、底部上半寛削り。内：口縁部横などで、胴部～底部上半などで。
0176 第108回 PL-165	土器器 壺	48住№44・覆 土、電線№10 ・14・19	器(170) □200 頸178 底— 口縁部～胴部3/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指痕、胴部上半横削り、胴部中央～下半横削り。内：口縁部横などで、胴部などで、一部指痕。内外面油煙付着。
0177 第108回 PL-165	土器器 壺	48住覆土、電 線	器(75) □(200) 頸(180) 底— 口縁部～胴部上端1/2	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指痕、胴部上半横削り。内：口縁部横などで、胴部上端横削り。内外面一部油煙付着。
0178 第108回 PL-165	土器器 付台	48住№71・ 覆土、電線	器128 □109 頸94 台(85) 口縁部～台部3/4	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横などで、胴部上半横削り、胴部下半横削り、台部などで。内：口縁部横などで、胴部横などで、台部などで。内外面油煙付着。
0179 第114回	須恵器 碗	49住№97	器(21) □— 台104 胴部下端～高台部1/1	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 明赤褐	輪埴整形。右回転。外：胴部下端回転などで、底部高台貼付後回転などで。内：胴部下端～底部回転などで。高台部に油煙付着。
0180 第114回	須恵器 碗	49住№32	器(21) □— 台128 底部～高台部1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 明赤褐	輪埴整形。外：底部高台貼付後回転などで。内：底部回転などで。外面一部油煙付着。
0181 第113回	土器器 壺	49住№13・ 14・15・17・ 18・24	器(163) □— 頸一 底— 胴部1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：胴部上半横削り、胴部下半横削り。内：胴部横などで、一部巻上痕・指痕。内外面一部油煙付着。
0182 第113回	土器器 壺	49住№85	器(67) □(210) 頸(180) 底— 口縁部～胴部上端破片	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横などで、一部指痕、巻上痕、胴部上半横削り。内：口縁部横などで、胴部上端横削り。内面に油煙付着。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0183 第113回	土師 器 台付 甕	49住№105	器(30) 口一 底41 台一 底部～台部上端1/1	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい橙	台部貼付。外：台部横なで。内：底部なで、台部横なで。
0184 第113回	土師 器 台付 甕	49住№122	器(33) 口一 底48 台一 底部～台部上端2/3	砂・白色鉱物 酸化 橙	台部貼付。外：台部横なで。内：底部なで、台部横なで。
0185 第125回 PL-108	須恵 器 杯	51住№1・2	器38 口130 底74	砂・白色鉱物 酸化 にぶい 褐	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。内外 面に油煙付着。
0186 第125回 PL-108	須恵 器 杯	51住№6、覆 土	器31 口(96) 底(60) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転縦削り。内：口縁部～底部回転なで。
0187 第125回 PL-108	須恵 器 皿	51住№9、覆 覆土	器24 口(134) 台(76) 口縁部～高台部1/3	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部高台 貼付後回転なで。内：口縁部～底部回転なで。 内面に一部油煙付着。
0188 第125回 PL-108	須恵 器 皿	51住№12・覆 土、覆№4	器26 口136 台86 口縁部～高台部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 なで。内面一部油煙付着。
0189 第125回 PL-108	土師 器 甕	51住№3	器(60) 口132 頸121 底一 口縁部～胴部上端1/1	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横なで、一部巻上横・指頭痕、胴部上 端横削り。内：口縁部横なで、一部巻上横、胴 部上端横なで。内外面に油煙付着。
0190 第125回 PL-108	土師 器 甕	51住№20	器(75) 口(200) 頸(180) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横なで、一部巻上横・指頭痕、胴部上 端横削り。内：口縁部横なで、胴部なで、一部 指頭痕。
0191 第125回 PL-108	須恵 器 羽 釜	51住№8	器(87) 口一 最大一 底90 胴部下半～底部3/4	砂・小石・白色鉱物 半還 元 灰黄褐・にぶい橙	輪軸整形。外：胴部下半回転なで、胴部下端削り 。内：胴部下半回転なで、一部巻上横・指頭痕、 底部回転なで。
0192 第125回 PL-108	土師 器 台付 甕	51住№15	器(55) 口一 頸一 台(120) 胴部下端～台部1/2	砂・小石・白色鉱物・雲 母 酸化 明赤褐	台部貼付。外：胴部下端削り後なで、台部横な で、一部指頭痕。内：胴部下端～台部横なで。内 外面一部油煙付着。
0193 第125回 PL-108	須恵 器 甕	51住№5	器(135) 口一 頸一 底(200) 胴部下半～底部1/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	外面叩き目。内面当り具痕、一部巻上横。
0194 第125回 PL-108	須恵 器 椀	53住№4	器(33) 口一 台70 胴部～高台部2/3	砂・白色鉱物 酸化 橙	輪軸整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。
0195 第125回	須恵 器 椀	53住覆土	器(26) 口一 台74 胴部下半～高台部1/2	砂・白色鉱物 酸化 橙	輪軸整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転な で。
0196 第125回 PL-108	土師 器 甕	53住№4	器(110) 口(190) 頸(170) 底一 口縁部～胴部上半1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい橙	外：口縁部横なで、一部巻上横、胴部上半横削り 。内：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上半横 なで、一部指頭痕。
0197 第125回	土師 器 台付 甕	53住覆土	器(50) 口一 頸一 台一 胴部下端～台部 上端2/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	台部貼付。外：胴部下端削り後、台部上端なで、 内：胴部下端～底部横なで。内外面に油煙付着。
0198 第125回	須恵 器 椀	52住覆土	器(18) 口一 台一 胴部下端～高台部上半 1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：胴部下端回転なで、底部 高台貼付後回転なで。内：胴部下端～底部回転な で。
0199 第125回	須恵 器 椀	52住覆土	器45 口(150) 台(95) 口縁部～高台部破片	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部高台 貼付後回転なで。内：口縁部～底部回転なで。外 面横し。
0200 第114回 PL-106	須恵 器 杯	49住№5	器37 口130 底73 ほぼ完形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰黄褐	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転縦削り。内：口縁部～底部回転なで。内 面横し。
0201 第114回 PL-106	須恵 器 杯	49住№68	器36 口120 底80 完形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転縦削り。内：口縁部～底部回転なで。

遺物番号	土器器 器種	遺物名称・遺構 番号・出土状態	計測値 (mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0202 第11482 PL-106	須恵器 杯	49住№85・覆 土	器37 口126 底79 ほぼ完形	砂・白色鉱物 還元 灰	縦罐形。右回転。外：口縁部へ胴部回転で、 底部回転糸切後、回転寛削り。内：口縁部へ底部 回転で。
0203 第11482 PL-106	須恵器 杯	49住№12・30	器51 口(160) 底(80) 口縁部へ底部2/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	縦罐形。外：口縁部へ胴部回転で、底部回転 寛削り。内：口縁部へ底部回転で。
0204 第11482	須恵器 杯	49住№42	器(25) 口一底80 胴部へ底部3/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	縦罐形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 糸切。内：胴部へ底部回転で。
0205 第11482 PL-106	須恵器 杯	49住№5、電 №7、覆土	器32 口(130) 底78 口縁部へ底部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰	縦罐形。右回転。外：口縁部へ胴部回転で、 底部回転糸切後回転寛削り。内：口縁部へ胴部回 転で。
0206 第11482 PL-106	須恵器 杯	49住№23・覆 土	器30 口(120) 底(78) 口縁部へ底部1/5	砂・白色鉱物 還元 灰	縦罐形。右回転。外：口縁部へ胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部へ底部回転で。
0207 第11482 PL-106	須恵器 杯	49住覆土	器39 口(130) 底76 胴部下端へ底部1/1	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	縦罐形。右回転。外：口縁部へ胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部へ底部回転で。
0208 第11482 PL-106	須恵器 杯	49住№102・ 112・113・覆 土	器39 口(134) 底84 口縁部へ底部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	縦罐形。右回転。外：口縁部へ胴部回転で、 底部回転糸切後回転寛削り。内：口縁部へ胴部回 転で。
0209 第11482	須恵器 椀	49住№40・ 48・覆土	器(36) 口一台88 胴部へ高台部3/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	縦罐形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 寛削り後高台貼付。内：胴部へ底部回転で。外 面一部油漣付着。
0210 第11482 PL-106	須恵器 杯	49住№7、電 №26・覆土	器50 口(120) 台72 口縁部へ高台部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	縦罐形。右回転。外：口縁部へ胴部回転で、 高台貼付後回転で。内：口縁部へ底部回転 で。
0211 第11502 PL-106	須恵器 杯	49住№66	器(10) 口一底80 胴部下端へ底部1/1	砂・白色鉱物 還元 灰	転用形類。胴部下端で丁寧に打ち欠いてある。(縦 罐形。右回転。外：底部は回転糸切後回転寛削り 。内：底部回転で。)
0212 第11482	須恵器 椀	49住№114	器(28) 口一(台)84 胴部下半へ高台部3/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	縦罐形。外：胴部下半回転で、高台貼付 後回転で。内：胴部下半へ底部回転で。外面 焼し。
0213 第11482 PL-106	須恵器 椀	49住覆土	器(65) 口(150) 台(96) 口縁部へ高台部1/6	砂・白色鉱物 還元 灰白	縦罐形。外：口縁部へ胴部回転で、高台貼 付後回転で。内：口縁部へ底部回転で。
0214 第11482 PL-106	須恵器 蓋	49住№1	器(20) 口136 揃み一 天井部へ口縁部1/1	砂・白色鉱物 還元 灰	縦罐形。右回転。外：天井部上半回転寛削り、 天井部下半へ口縁部回転で。内：天井部へ口縁 部回転で。
0215 第11398 PL-106	土師器 鉢	49住№19	器56 口162 底一 ほぼ完形	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部へ底部寛削り。内： 口縁部横で、胴部へ底部で。
0216 第11502 PL-106	須恵器 杯	49住№60	器(9) 口一底90 胴部下端へ底部1/1	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	転用形類。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内外面底 面磨れ。(縦罐形。右回転。外：底部は回転糸切 後回転寛削り。内：底部回転で。)
0217 第11482 PL-106	須恵器 鉢	49住№5・6 ・8・25・30・ 33・覆土	器145 口(236) 底122 口縁部へ底部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦罐形。右回転。外：口縁部へ胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部へ胴部回転で、底部 で。
0218 第11482 PL-106	須恵器 蓋	49住電類	器(18) 口(140) 天井部へ口縁部1/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 濁	縦罐形。右回転。外：天井部上半回転寛削り、 天井部下半へ口縁部回転で。内：天井部へ口縁部 回転で。外面一部油漣付着。
0219 第11398 PL-105	土師器 斐	49住№87・ 97・101・102、 電№1・2・ 3・5・6・ 9	器(191) 口218 頸192 底一 口縁部へ胴部3/4	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、一部巻上直・指頭痕、胴部上 半横削り、胴部下半寛削り。内：口縁部横で 、胴部横で。内外面一部油漣付着。
0220 第11398 PL-105	土師器 斐	49住№58・106 ・107・108・ 覆土	器(127) 口130 頸129 底一 口縁部へ胴部1/2	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい濁	外：口縁部横で、一部巻上直・指頭痕、胴部上 半横削り、胴部下半寛削り。内：口縁部横で 、一部指頭痕、胴部下半寛で。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0221 第113図 PL-105	土師 器 壺	49住 №8.3・ 90・覆土	器(62) 口(210) 頸(190) 底— 口縁部 下端～胴部上端2/5	砂・白色胎土・赤色胎物 酸化 概	外：口縁部横なで、一部指面直、胴部上端微撻削り。内：口縁部横なで、胴部上端撻なで。
0222 第113図 PL-106	土師 器 壺	49住 №115・ 117・118・119 ・121・覆土	器(252) 口— 第一 底(58) 胴部～底部1/3	砂・白色胎土・雲母 酸化 明赤褐	外：胴部縦削り、一部巻上直、底部撻削り。内：胴部～底部撻なで、一部巻上直。内外面油煙付着、内面多量。
0223 第114図 PL-106	須恵 器 別 釜	49住 №18	器(68) 口— 最大一 底102 胴部下半～底部2/3	砂・白色胎土・赤色胎物 酸化 濃い赤褐	輪縁整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部回転糸切。内：胴部下半～底部回転なで。
0224 第114図 PL-106	須恵 器 把手付椀	49住 覆土	器— 口— 台— 胴部～把手部破片	砂・白色胎土 還元 灰白	把手部は貼付後なで。
0225 第114図 PL-106	須恵 器 杯	49住 №45	器38 口(120) 底(60) 口縁部～底部1/4	砂・白色胎土 半還元 灰 白・明黄褐	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0226 第114図 PL-106	須恵 器 杯	49住 №124	器34 口(130) 底(60) 口縁部～底部1/6	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転撻削り。内：口縁部～底部回転なで。
0227 第115図	須恵 器 壺	49住 №29	器(26) 口— 底一 類— 最大一 胴部下端 ～底部1/2破片	砂・白色胎土 還元 青灰	輪縁整形。外：胴部下端回転なで、底部撻削り。内：胴部下端～底部回転なで。
0228 第115図 PL-107	鉄 滓	49住 №57	長(112) 幅(88) 厚(42) 重468.1g		板型滓の一部。
0229 第115図 PL-107	石製 品	49住 №75	長155 幅61 厚36 重622.1g	ホルンフェルス	周囲は磨れている。
0230 第115図 PL-107	石製 品	49住 №53	長124 幅117 厚42 重734.6g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。
0231 第115図 PL-107	石製 品	49住 №17	長127 幅102 厚49 重734.7g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。一部に擦痕有り。
0232 第115図 PL-106	石製 品	49住 №44	長111 幅87 厚40 重553.9g	石英斑岩	周囲は磨れている。
0233 第115図 PL-106	石製 品	49住 №52	長50 幅50 厚32 重100.4g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。
0234 第104図 PL-104	須恵 器 杯	46住 №.6	器35 口126 底63 ほぼ兜形	砂・白色胎土 還元 青灰	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0235 第104図 PL-104	須恵 器 杯	46住 №.26	器37 口127 底78 兜形	砂・小石・白色胎物 半還元 灰・にょろ	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。外面胴部・底部に墨書「母」・「丁」。
0236 第104図 PL-104	須恵 器 杯	46住 №.8・覆 土	器37 口135 底58 ほぼ兜形	砂・小石・白色胎物 半還元 灰白・灰黄	輪縁整形。右回転。外：口縁部～底部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0237 第104図 PL-104	須恵 器 杯	46住 №.13・15 ・覆土	器37 口126 底65 口縁部～底部4/5	砂・白色胎土 還元 灰	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0238 第104図 PL-104	須恵 器 杯	46住 №.22	器35 口124 底58 兜形	砂・小石・白色胎物 還元 灰・灰黄褐	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0239 第104図 PL-104	須恵 器 杯	46住 №.21	器34 口127 底79 兜形	砂・小石・白色胎物 還元 灰	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後上端回転撻削り。内：口縁部～底部回転なで。外面底部墨書「本」。

遺物番号	土器種 器種	遺物名称・遺物 番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0240 第104区 PL-104	須恵器 杯	46住№3	器36 □(123) 底(60) 口縁部～底部3/4	砂・小石・白色鉱物 還元 青灰	輪軸整形。右回転。口縁部破状。外：口縁部～側 部回転で、底部回転未切。内：口縁部～底部回 転で。
0241 第104区 PL-104	須恵器 杯	46住№14	器34 □(118) 底60 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物 半還元 青 灰・にぶい黄褐色	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。
0242 第104区 PL-104	須恵器 杯	46住№19	器33 □(106) 底60 口縁部～底部3/5	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 底部回転寛削り。内：口縁部～底部回転で。
0243 第104区 PL-104	須恵器 杯	46住№9・10	器33 □(126) 底72 口縁部～底部3/5	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。
0244 第104区 PL-104	須恵器 杯	46住№7・覆 土	器37 □126 底73 ほぼ完形	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 半還元 灰白・に ぶい橙	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 底部回転未切後回転寛削り。内：口縁部～底部回 転で。
0245 第104区 PL-104	須恵器 杯	46住№5・覆 土	器37 □126 底78 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 半還元 灰白・に ぶい黄褐色	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 底部回転寛削り。内：口縁部～底部回転で。
0246 第104区 PL-104	須恵器 杯	46住№1・覆 土・掘	器38 □134 底80 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰黄	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 底部回転寛削り。内：口縁部～底部回転で。
0247 第104区 PL-104	須恵器 椀	46住№18	器56 □156 台90 ほぼ完形	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 底部回転未切後高台貼付。内：口縁部～側部回 転で、内外面横し。
0248 第104区 PL-104	須恵器 皿	46住№37	器27 □(150) 台92 口縁部～高台部2/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰白・にぶい橙	輪軸整形。外：口縁部～側部回転で、高台部 貼付後回転で。内：口縁部～底部回転で。外 面底部垂着「?」。内外面一部油煙付着。
0249 第104区	須恵器 蓋	46住覆土	器(35) □(168) 縁一 天井部～口縁部1/4	砂・小石・白色鉱物 半還 元 灰白・にぶい黄褐色	輪軸整形。外：天井部上半部回転で、天井部下 半～口縁部回転で。内：天井部～口縁部回転 で。
0250 第103区 PL-104	土師器 杯	46住覆土	器(34) □(124) 底一 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、側部～底部寛削り。内： 口縁部～側部横で、内面一部油煙付着。
0251 第104区 PL-104	須恵器 鉢	46住№20	器100 □206 底一 ほぼ完形	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物・雲母 酸化 橙	輪軸整形。丸底。口縁部4箇所人為的欠け。外： 口縁部～側部上端回転で、側部～底部回転寛削 り。内：口縁部～底部回転で、内面底部油煙付 着。
0252 第104区 PL-104	土師器 台付壺	46住№1	器152 □117 頸106 台85 ほぼ完形	砂・白色鉱物・雲母 酸化 赤褐色	台部貼付。外：口縁部横で、一部巻上痕・指頭 痕、胴部上半横削り、胴部下半横削り、台部 横で、一部指頭痕。内：口縁部横で、胴部横 で、台部横で。内外面油煙付着。
0253 第103区 PL-104	土師器 台付壺	46住№11	器一 口一 頸一 台105 底部～台部1/1	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐色	台部貼付。外：台部横で。内：台部横で、一 部巻上痕・指頭痕。内外面油煙付着。
0254 第118区 PL-107	須恵器 杯	50住№73	器34 □118 底67 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 底部回転未切後回転寛削り。内：口縁部～底部回 転で。
0255 第119区 PL-107	須恵器 杯	50住№23	器36 □(126) 底67 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 底部回転寛削り。内：口縁部～底部回転で、内 面に線刻。
0256 第118区 PL-107	須恵器 杯	50住覆土	器38 □(112) 底72 口縁部～底部1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～側部回転で、 側部下端回転寛削り、底部回転未切後回転寛削り。 内：口縁部～底部回転で、外側一部垂着。
0257 第118区 PL-107	須恵器 杯	50住№19・28	器(37) □(126) 底(98) 口縁部～底部上端1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。外：口縁部～側部回転で、底部上端 回転寛削り。内：口縁部～側部回転で。
0258 第119区 PL-107	須恵器 杯	50住№17	器(46) □(146) 底(78) 口縁部～底部1/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 灰(78)	輪軸整形。外：口縁部～側部回転で、底部回転 寛削り。内：口縁部～底部回転で、寛削り。内 面。

第3章 遺物観察表

遺物番号	土器種 ・器種	遺物名称・透視 番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0259 第1188回 PL-107	須恵器 杯	50住№13	器(30) □(132) 底(80) 口縁部～底部1/4	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 痕有り。内：口縁部～底部回転などで。
0260 第1188回	須恵器 碗	50住№37	器(30) □一 台(50) 胴部～高台部1/3	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 未切後高台貼付。内：胴部～底部回転などで。
0261 第1188回 PL-107	土師器 杯	50住№52・53 ・59・61・62・ 63・覆土	器(34) □121 底一 口縁部～底部3/4	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 明赤褐	丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部旋削り。内： 口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部などで。
0262 第1188回 PL-107	土師器 杯	50住№11・33 ・35	器(40) □(130) 底(78) 口縁部～底部1/4	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横などで、胴部～底部旋削り。内：口縁 部～胴部横などで、底部などで。
0263 第1188回	土師器 杯	50住覆土	器(26) □(120) 底一 口縁部～底部上端1/5	砂・白色胎物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部上端部に削 り。内：口縁部～胴部横などで、底部上端などで。
0264 第1190回 PL-107	須恵器 碗	50住№75	器(21) □一 台84 胴部下端～高台部1/1	砂・小石・白色胎物 還元 灰	転用形器。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内面底部 磨れ。(輪軸整形。右回転。外：胴部回転などで、底部高 台貼付後回転などで。内：底部回転などで。)
0265 第1190回 PL-107	須恵器 杯	50住№3・49	器(12) □一 底67 胴部下端～底部1/1	砂・白色胎物 還元 灰	転用形器。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内面底部 磨れ。(輪軸整形。右回転。外：底部回転未切後回 転旋削り。内：底部回転などで。)
0266 第1190回 PL-107	須恵器 杯	50住№16	器(10) □一 底74 胴部下端～底部1/1	砂・小石・白色胎物 還元 灰	転用形器。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内面底部 磨れ。(輪軸整形。右回転。外：胴部回転などで、底部は 回転未切。内：底部回転などで。)
0267 第1188回	土師器 罌	50住№58・覆 土	器(60) □(190) 頸(150) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端旋削り 有り。内：口縁部横などで、胴部などで。
0268 第1188回	土師器 罌	50住№5	器(61) □(220) 頸(188) 底一 口縁部～胴部上端1/6	砂・白色胎物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端旋削り有り。内：口縁部横などで、胴部上端などで。 内外面油塗付着。
0269 第1190回	須恵器 罌	50住№5	器(21) □(198) 携一 天弁部～口縁部1/8	砂・白色胎物 還元 灰	輪軸整形。外：天弁部上半回転削り。天弁部下 半～口縁部回転などで。内：天弁部～口縁部回転 などで。
0270 第1190回 PL-107	土製品 罌	50住№8	長42 径20 孔3 重14.2g	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 浅黄	中心部に径3mmの穿孔。
0271 第1190回 PL-107	石製品	50住№82	長125 幅61 厚30 重298.1g	ホルンフェルス	周囲は磨れている。
0272 第1190回 PL-107	石製品	50住№41	長106 幅74 厚38 重414.1g	滑結凝灰岩	周囲は磨れている。
0273 第1190回 PL-107	石製品	50住№84	長62 幅69 厚16 重109.4g	滑結凝灰岩	周囲は磨れている。
0274 第1190回 PL-107	須恵器 碗	50住№48	器(20) □一 台88 胴部下端～底部1/1	砂・白色胎物・赤色胎物 半還元 灰白・にぶい褐	転用形器。胴部下端で丁寧に打ち欠き。内外面底 部磨れ。(輪軸整形。右回転。外：底部は回転未切 後高台貼付。内：底部回転などで。)
0275 第128回 PL-108	須恵器 杯	54住№3	器(50) □(165) 底(105) 口縁部～底部1/4	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 旋削り。内：口縁部～胴部回転などで。
0276 第128回	須恵器 杯	54住№4	器(17) □一 底(74) 胴部下半～底部1/2	砂・小石・白色胎物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：胴部下半回転などで、胴部 下端部旋削り。底部回転未切後回転旋削り。内： 胴部下半～底部回転などで。
0277 第128回	須恵器 杯	54住№6・覆 土	器(37) □(142) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色胎物・雲母 酸化 にぶい橙	輪軸整形。外：口縁部回転などで後旋削り。胴部回 転などで。内：口縁部～胴部旋削り。内風。
0278 第128回	須恵器 碗	54住№11	器(17) □一 台(102) 胴部下端～高台部1/2	砂・小石・白色胎物 還元 灰	輪軸整形。外：胴部回転などで、底部高台貼付 後回転などで。内：胴部回転～底部回転などで。

遺物番号	土器種・形種	遺構名・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状況	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0279 第1282区 PL-108	須恵器 椀	54住№2	器46 □(120) 台(76) 口縁部～高台部1/3	砂・白色胎物・赤色胎物 半還元 灰・明黄褐色	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 などで。
0280 第1282区	須恵器 蓋	55住№No.7・ 覆土、54住覆 土	器(21) □(196) 胴一 天井部～口縁部1/8	砂・白色胎物 酸化 橙	楕圓形。外：天井部上半回転蓋削り、天井部下 半回転などで。内：天井部～口縁部回転などで。内 外面一部油煙付着。
0281 第128区 PL-108	土師器 甕	54住№No.1・ 2・4・5	器(170) 口一 胴一 底一 胴部下～底部1/3	砂・白色胎物 酸化 にぶ い橙	砂・白色胎物 酸化 にぶ い橙
0282 第131区 PL-108	須恵器 杯	55住№No.55	器37 □125 底82 ほぼ丸形	砂・小石・白色胎物・赤 色胎物 半還元 灰・にぶ い黄橙	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～胴部回転 などで。
0283 第128区 PL-108	須恵器 杯	54住№No.3	器(46) □(170) 底(104) 口縁部～底部上端1/4	砂・白色胎物 還元 灰	楕圓形。外：口縁部～胴部回転などで、底部上端 回転削り。内：口縁部～底部上端回転などで。
0284 第131区 PL-108	須恵器 杯	55住№No.34・39、 掘	器46 □138 底72 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色胎物・赤 色胎物 酸化 にぶい橙	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転などで後後磨 き。内面横し。
0285 第132区 PL-108	須恵器 杯	55住№No.35・36	器35 □128 底80 ほぼ丸形	砂・小石・白色胎物・赤 色胎物 半還元 灰白・にぶ い黄橙	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転削り。内：口縁部～底部回転などで。
0287 第131区 PL-108	須恵器 杯	55住№No.25、掘 覆土	器(43) □(128) 底(86) 口縁部～底部1/4	砂・白色胎物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転糸切後、回転削り。内：口縁部～底部 回転などで。
0288 第131区 PL-108	須恵器 杯	55住№No.37	器(35) □(126) 底(74) 口縁部～底部1/4	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 削り。内：口縁部～底部回転などで。
0289 第131区	須恵器 杯	55住№No.17・ 覆土、掘	器(35) □(138) 底一 口縁部～胴部1/3	砂・白色胎物・赤色胎物 還元 灰黄	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転などで。
0290 第132区 PL-108	須恵器 蓋	55住№No.24・27	器(32) □(186) 胴一 天井部～口縁部1/4	砂・白色胎物 還元 灰	楕圓形。外：天井部上半回転削り、天井部下 半～口縁部回転などで。内：天井部～口縁部回転 などで。
0291 第132区 PL-108	須恵器 蓋	55住№No.13	器(23) □一 胴32 胴部～天井部上半2/3	砂・白色胎物 還元 灰	楕圓形。胴部貼付。外：天井部上半回転削り。 内：天井部上半回転などで。
0292 第132区 PL-108	須恵器 甕	55住№No.5・7 ・14・17・31、 覆覆土	器(93) □(280) 頸(264) 底一 口縁部～胴部上端2/5	砂・小石 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部回転などで、胴部回転などで。 内：口縁部回転などで、胴部上端回転などで、一部 巻上痕。内外面一部油煙付着。
0293 第131区	土師器 壺	55住№No.17 口縁部～胴部上端1/5	器(67) □(200) 頸(176) 底一 口縁部～胴部上端1/5	砂・白色胎物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横削り。内：口縁部横などで、胴部上端横などで。
0294 第131区	土師器 甕	55住№No.14・ 15	器(70) □(210) 頸(184) 底一 口縁部～胴部上端1/5	砂・白色胎物・雲母 酸化 明赤褐色	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横削り。内：口縁部横などで、頸部～胴部上端 横などで。
0296 第131区 PL-108	石製品	55住№No.3	長93 幅67 厚43 重357.8g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨かれている。
0296 第132区 PL-108	須恵器 杯	55住№No.30・覆 土、掘	器(25) □一 底80 胴部～底部3/5	砂・白色胎物 還元 灰白	楕圓形。外：胴部回転などで、底部回転削り。 内：胴部～底部回転などで。内面に漆付着。
0297 第135区	須恵器 杯	56住№No.1	器(31) □(120) 底一 口縁部～胴部1/8	砂・白色胎物 還元 灰	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転などで。
0298 第135区	須恵器 杯	56住覆土	器(25) □一 底(80) 胴部～底部1/6	砂・白色胎物 還元 灰白	楕圓形。外：胴部回転などで、底部回転削り。 内：胴部～底部回転などで。
0299 第136区	須恵器 杯	57住№No.4	器(27) □(120) 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色胎物 還元 灰白	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転などで。
0300 第144区	須恵器 杯	69住№No.3	器(39) □(138) 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色胎物 還元 灰	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転などで。



第三章 遺物観察表

遺物番号	土器類・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0301 第144回	羽 釜	60住No1	器(23) 口一底(50) 胴部下端～底部1/3	砂・白色鉱物 酸化 によい黄褐色	外：胴部下端縦突削り。内：胴部下端～底部貫通で。
0302 第135回	須恵器 蓋	56住覆土	器(25) 口(130) 胴一 天井部～口縁部1/6	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：天井部上半回転削り、天井部下半～口縁部回転で。内：天井部～口縁部回転で。内面磨し。
0303 第136回 PL-109	須恵器 杯	57住No1・覆土	器42 口120 底52 ほぼ正形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で。底部回転余切。内：口縁部～底部回転で。
0304 第146回 PL-109	須恵器 杯	61住No1	器(25) 口一底67 胴部～底部3/4	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：胴部回転で。底部回転余切。内：胴部～底部回転で。内面底部垂直準準上。
0305 第146回	須恵器 杯	61住覆土	器(32) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/8	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0306 第146回 PL-109	須恵器 皿	61住No7・覆土・覆土	器33 口138 台74 胴部～高台部2/3	砂・小石・白色鉱物 酸化 によい褐色	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で。底部回転余切後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
0307 第136回	土師器 白付壺	57住No5	器(40) 口一頸一 台一胴部下縁～台部 上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐色	台部貼付。外：胴部下端斜め削り。内：胴部下端～底部で。内外面一部油煙付着。
0308 第146回 PL-109	須恵器 皿	61住No5・覆土・覆土	器29 口(154) 台(76) 胴部～高台部2/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 によい赤褐色	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で。低部高台貼付後回転で。内：口縁部～底部回転で。内外面に油煙付着。
0309 第148回 PL-109	須恵器 杯	62住No1	器37 口(140) 底(90) 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色鉱物 半還元 灰白・によい褐色	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で。底部回転削り。内：口縁部～底部回転で。
0310 第148回	須恵器 蓋	62住No3	器(21) 口一胴(38) 胴部～天井部中央1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。胴部貼付。外：天井部上半回転削り、天井部中央回転で。内：天井部上半～天井部中央回転で。
0311 第148回	土師器 杯	62住No5	器(33) 口(120) 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色鉱物 酸化 によい褐色	外：口縁部横で。胴部横削り。内：口縁部横で。胴部で。
0312 第148回 PL-109	鉄 押	62住No	長(50) 幅(43) 厚(3) 重75.2g		鉄分が含まれる。
0313 第154回 PL-110	須恵器 碗	64住No1	器42 口(140) 台(98) 口縁部～高台部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 明青灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で。底部回転削り後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
0314 第154回 PL-110	土師器 杯	64住No3・覆土・覆覆土	器36 口116 底一 ほぼ正形	砂・白色鉱物・雲母 酸化 褐色	丸底。外：口縁部横で。胴部上半削り後で。胴部下半～底部貫通削り。内：口縁部横で。胴部～底部で。
0315 第154回 PL-110	土師器 壺	64住No1	器(127) 口(290) 頸(196) 底一 口縁部～胴部上半1/4	砂・小石・白色鉱物 酸化 によい褐色	外：口縁部横で。一部巻上指・指頭、胴部上半縦削り。内：口縁部横で。胴部上半で。内外面一部油煙付着。
0316 第154回 PL-110	石製品	64住No4	長82 幅53 厚51 重278.8g		粗粒輝石安山岩 周囲は磨れている。
0317 第138回 PL-109	須恵器 杯	58住No3・覆土	器32 口(130) 底68 口縁部～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 青灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で。底部回転余切。内：口縁部～底部回転で。
0318 第138回	須恵器 蓋	58住No11	器(14) 口(160) 胴一 天井部～口縁部1/8	砂・白色鉱物・赤色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。外：天井部上半回転削り、天井部下半～口縁部回転で。内：天井部～口縁部回転で。内面磨し。
0319 第138回 PL-109	土師器 壺	58住No3・7・8・10・覆土	器(137) 口(222) 頸(196) 底一 口縁部～胴部中央1/6	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐色	外：口縁部横で。一部巻上指・指頭、胴部上半縦削り、胴部中央縦削り。内：口縁部横で。胴部で。内外面油煙付着。
0320 第138回 PL-109	石製品	58住No8	長103 幅90 厚39 重491.3g		粗粒輝石安山岩 周囲は磨れている。

遺物番号	土器器種	遺物名称・遺積番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0321 第142回 PL-109	須恵器 杯	59住電覆土	器39 口130 底64 口縁部～底部5/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。内外 面口縁部横し、外面底部油埋付着。
0322 第142回 PL-109	須恵器 杯	59住野№3	器34 口119 底74 口縁部～底部5/6	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切後回転削り。内：口縁部～胴部回 転で。二次尖突、内外面油埋付着。
0323 第142回 PL-109	須恵器 杯	59住№5	器(40) 口(136) 底(76) 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物 還元 青灰	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。
0324 第142回 PL-109	須恵器 杯	59住№13、覆 覆土	器32 口113 底77 口縁部～底部3/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	楕圓形。右回転。外：口縁部～底部回転で、 底部回転糸切後回転削り。内：口縁部～底部回 転で。
0325 第142回 PL-109	須恵器 杯	59住№19	器(9) 口一 底77 口縁部～底部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	転用形態。胴部下端で丁寧に撃り欠き、内面底部 磨れ。(楕圓形。外：胴部下面回転で、底部回 転削り。内：底部回転で。)
0326 第142回 PL-109	須恵器 杯	59住№11・18、 覆土	器(33) 口(140) 底75 胴部下端～底部1/1	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい赤褐	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転で。
0327 第142回	須恵器 蓋	59住覆土	器(22) 口(156) 横一 天井部～口縁部1/6	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。内外面天井部～口縁部回転で。
0328 第142回 PL-109	土師器 壺	59住電№2・ 5・8・15・ 27・29、電器 №36・37	器(230) 口204 頸187 底一 口縁部～胴部3/4	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横溝削り、胴部下半縦削り。内：口縁部横 で、胴部横で、一部巻上痕。内外面油埋付着。
0329 第142回 PL-109	土師器 壺	59住電№24・ 覆土、覆土	器(78) 口(210) 頸(184) 底一 口縁部～胴部上端2/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横溝削り。内：口縁部横で、胴部上端横で、 内外面一部油埋付着。
0330 第142回	土師器 壺	59住№6・覆 土	器(63) 口(220) 頸(190) 底一 口縁部 下端～胴部上端1/5	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横溝削り。内：口縁部横で、胴部で。内面 一部油埋付着。
0331 第142回 PL-109	土師器 台付壺	59住電覆土	器(77) 口(120) 頸(110) 台一 口縁部下端～胴部1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上端横溝削 り、胴部縦削り。内：口縁部横で、胴部横 で。内外面多量の油埋付着。
0332 第29回 PL-92	須恵器 杯	13住№1	器42 口(132) 底61 口縁部～底部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。
0333 第29回 PL-92	須恵器 杯	13住№2	器(36) 口一 底60 胴部～底部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転で。
0334 第55回 PL-95	土師器 台付壺	26B住電覆土	器(68) 口(100) 頸(93) 台一 口縁部～胴部上端1/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部縦削り。内：口縁部横 で、一部巻上痕、胴部で。内外面一部油埋付着。
0335 第55回	須恵器 杯	26A住№25・ 覆土	器(64) 口(152) 台一 口縁部～胴部1/6	砂・小石・白色鉱物 半還 元 灰・灰黄	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転で。
0336 第151回 PL-110	須恵器 杯	63住№25・覆 土	器40 口(124) 底67 口縁部～底部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切後回転削り。内：口縁部～底部回 転で。
0337 第151回 PL-110	須恵器 杯	63住№6	器34 口(94) 底67 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転 糸切。内：口縁部～底部回転で。
0338 第152回	須恵器 杯	63住№7	器(37) 口(126) 底(64) 口縁部～底部1/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部で、 内：口縁部～底部回転で。
0339 第152回 PL-110	須恵器 壺	63住№9	器57 口(150) 台(94) 口縁部～高台部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台 貼付後回転で、内：口縁部～底部回転で。
0340 第151回 PL-110	須恵器 杯	63住№3	器(9) 口一 底77 胴部下端～底部1/1	砂・白色鉱物 還元 灰白	転用形態。胴部下端で丁寧に撃り欠き、内面底部 磨れ。(楕圓形。外：胴部下面回転で、底部回 転糸切。内：底部回転で。)

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺器名称・遺器番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0341 第151回	須恵 壺 杯	63住№11	器(27) 口一底(80) 胴部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。外：胴部回転で、底部回転後切戻り旋削。内：胴部～底部回転で。
0342 第152回	須恵 壺 壺	63住№5	器(31) 口一底(160) 胴部下端～底部1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	内外面胴部下端まで。
0343 第152回 PL-110	須恵 壺 杯	63住覆土	器(6) 口一底一 底部破片	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。内：底部回転で。外：底部回転旋削。外面底部に墨書「？」。
0344 第151回 PL-110	須恵 壺 鉢	63住堀	器(60) 口(200) 底一 口縁部～胴部上半破片	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。内外面口縁部～胴部上半回転で。
0345 第151回	須恵 壺 杯	63住№9	器(20) 口一底(92) 胴部下半～底部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部回転後切戻り旋削。内：胴部下半～底部回転で内外面旋削。
0346 第151回 PL-110	須恵 壺 短頸壺	63住№17	器80 口61 頸60 最大92 台60 ほぼ完形	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後切戻り高台貼付。内：口縁部～底部回転で。内面口縁部、外面口縁部～台部の一部に自然釉。
0347 第152回 PL-110	須恵 壺 杯 ?	63住№15	器(57) 口一底一 胴部破片	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。内外面胴部回転で。内面に添付着。
0348 第151回 PL-110	須恵 壺 杯	63住覆土	器(20) 口一底一 胴部破片	砂・白色鉱物 還元 灰黄	輪軸整形。内外面胴部回転で。内面に添付着。
0349 第151回	土師 壺 杯	63住掘土	器(30) 口(130) 底一 口縁部～胴部破片	砂・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部旋削。内：口縁部～胴部横で後旋削。
0350 第151回 PL-110	土師 壺 壺	63住電掘南東 隅・灰層、№26 ・覆土	器(180) 口196 頸166 底一 口縁部～胴部2/5	砂・小石・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上半旋削。内：胴部下半旋削。内：口縁部横で、胴部旋削で。内外面一部添付着。
0351 第151回	土師 壺 壺	63住覆土	器(47) 口(200) 頸(180) 底一 口縁部～胴部上端1/6	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上端旋削。外：口縁部横で、胴部上端まで。
0352 第151回	土師 壺 壺	63住№4・覆 土	器(160) 口一頸一 底(54) 胴部下半～底部1/8	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：胴部下半旋削。内：底部旋削。内：胴部下半～底部横で、一部巻上。内外面添付着、外面多量。
0353 第151回	土師 壺 台付壺	63住覆土	器(35) 口一頸一 台一 胴部下半～台部 上端3/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	台部貼付。外：胴部下半旋削。胴部下半～台部上端まで。内：胴部下半～底部まで、一部巻上。内外面添付着。
0354 第152回 PL-110	石製 品	63住№28	長157 幅130 厚57 重1892.3g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨かれている。
0355 第157回	須恵 壺 壺	65住№11	器(54) 口(150) 底一 口縁部～胴部1/8	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0356 第157回	須恵 壺 壺	65住№14	器(20) 口一 台7 胴部下端～高台部1/1	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転後切戻り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で。
0357 第157回	須恵 壺 鉢	65住№No 1	器(57) 口一底一 口縁部～胴部1/8	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0358 第157回	須恵 壺 壺	65住№7・13	器(43) 口一 台一 胴部下端～高台部上端 3/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。外：胴部下端回転で、底部回転後切戻り後高台貼付。内：胴部下端～底部まで。内外面旋削。
0359 第157回	須恵 壺 蓋	65住№1	器(31) 口一 縁(47)一 胴部～口縁部上半1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。横部貼付。外：天井部上半回転旋削。天井部下半～口縁部上半回転で。内：天井部～口縁部上半回転で。
0360 第157回 PL-110	土師 壺 杯	65住覆土	器35 口125 底一 ほぼ完形	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部上半旋削後名で、胴部下半～底部旋削。内：口縁部～胴部横で、底部まで。
0361 第157回	土師 壺 杯	65住№6	器(33) 口(140) 底一 口縁部～底部1/8	砂・小石・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部旋削後名で、底部旋削。内：口縁部横で、胴部～底部まで。外面厚肌しい。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0362 第361回	土器 器杯	5区表土	器(32) 口(140) 底一 口縁部～底部1/8	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部削り。内：口縁部～胴部横なで、底部なで。内面胴部～底部油埋付着。
0363 第157回 PL-110	土器 甕	65住№29・30 ・覆土、電線・ 覆土	器(270) 口(242) 頸200 底56 口縁部～胴部2/3	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物・雲母 酸化 にぶ い橙	外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部削鋭削り、一部巻上痕。内：口縁部横なで、胴部横なで、一部巻上痕。内外面油埋付着。
0364 第157回 PL-110	土器 器甕	65住№25・覆 土	器(180) 口一 頸一 底56 胴部下半～底部3/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：胴部下半斜め削り、胴部下端横削り。底部削り。内：胴部～底部横なで、一部巻上痕。内外面油埋付着。
0365 第157回	土器 器甕	65住№4・25 ・27・覆土、 電線	器(53) 口(218) 頸(174) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横削り。内：口縁部横なで、内外面一部油埋付着。
0366 第157回	土器 器甕	65住№28・覆 土	器(41) 口(230) 頸(190) 底一 口縁部～胴部上端1/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上端横削り。内：口縁部横なで、胴部上端なで。内面油埋付着。
0367 第157回 PL-110	石製品 品	65住№8	長(110) 幅(129) 厚57 重1168.8g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨かれている。
0368 第256回 PL-120	須恵器 器杯	2井№15	径36 口121 底53 口縁部～底部5/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0369 第256回 PL-120	須恵器 器杯	2井№7	径38 口(134) 底65 口縁部～底部3/5	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0370 第362回 PL-127	須恵器 器杯	2区表土	器(33) 口(118) 底(62) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで。内：口縁部～底部回転なで。外面口縁部～胴部に縁丸。
0371 第256回 PL-120	須恵器 空 ・覆土	2井№14・22 底一 口縁部～胴部上 端1/1 (口縁部欠)	器(100) 口一 頸68 底一 口縁部～胴部上 端1/1 (口縁部欠)	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。頸部貼付。内外面口縁部～胴部上端回転なで。内面口縁部～頸部、外面口縁部～胴部上端施釉。
0372 第256回 PL-120	須恵器 甕	2井№27	器(68) 口(280) 頸一 底一 口縁部1/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。内外面口縁部回転なで、一部自然釉。
0373 第256回 PL-120	土器 器甕	2井№3・覆 土	器(80) 口(210) 頸(196) 底一 口縁部～胴部上端1/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端横削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで。内外面一部油埋付着。
0374 第365回 PL-130	須恵器 横 瓶	5区表土	器(197) 口一 頸一 底一 胴部破片	砂・小石・白色鉱物 還元 灰・赤灰	外：叩き目。内：当て具痕。
0375 第345回 PL-125	須恵器 片口 杯	59ピット覆土	器42 口(132) 底56 口縁部～底部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0376 第345回 PL-125	須恵器 器杯	60ピット覆土	器36 口(120) 底58 口縁部～底部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0377 第256回 PL-120	陶器 椀	9溝覆土	器(24) 口一 台55 胴部下端～高台部1/1		高台端部を除き灰釉。細い貫入。素地は緻密。製作地不詳。江戸時代から近代。
0378 第345回	須恵器 甕	39ピット覆土	器(68) 口一 底(148) 胴部下端～底部1/8	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	外：胴部下端回転なで。内：胴部下端なで、一部当て具痕、底部なで。
0380 第345回	須恵器 甕	314ピット覆 土	器(30) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転なで。
0381 第345回 PL-125	須恵器 器杯	231ピット覆 土	器39 口(142) 底82 口縁部～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0382 第345回 PL-125	須恵器 椀	202ピット覆 土	器(36) 口一 台(66) 胴部～高台部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。内外面施釉。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種類・器種	通称名称・透視番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・構成・色調	器形・技法の特徴
0383 第259回 PL-120	軟質陶器 焙 塔	9溝覆土	器(60) □(400) 底(364) 口縁部～底部上端1/8	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	胎土中央から黒色、褐色を呈し、器表は黒灰色を呈する。耳は本体に貼付る。口縁部は幅広く、中央を窪ませる。16世紀後半から17世紀前半。
0384 第259回 PL-120	土製品 鉢	9溝覆土	長63 径23 孔5.5 重24.0g ほぼ完形	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい黄橙	中心部縦に径5.5mmの穿孔。
0385 第259回 PL-120	石製品 五輪 塔	9溝№1	長290 幅152 厚152 重8800g ほぼ完形	粗粒輝石安山岩	空風輪。
0386 第259回	須恵器 杯	11溝覆土	器(17) □ー 底75 胴部下端～底部3/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰・ぶい橙	楕圓整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転糸。内：胴部下端～底部回転で。
0387 第259回	須恵器 壺	11溝覆土	器(80) □ー 頸一 底一 口縁部下半～胴 部上端破片	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	頸部貼付。外：口縁部下半回転で、胴部上端叩き目。内：口縁部下半回転で、胴部上端当て具痕。
0388 第260回 PL-120	須恵器 杯	13溝覆土	器40 □(120) 底(70) 口縁部～底部1/4	砂・小石・白色鉱物 半還元 灰・浅黄	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。
0389 第260回 PL-120	須恵器 杯	13溝覆土	器34 □(120) 底(68) 口縁部～底部1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切後回転荒削り。内：口縁部～底部回転で。
0390 第261回	須恵器 杯	1個立ビット 9	器(31) □(130) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0391 第241回	土器 杯	16個立ビット 7・8	器(34) □(130) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部削削り。内：口縁部～胴部横で。
0392 第291回 PL-123	須恵器 盤	42坑覆土	器(30) □ー 台(118) 胴部下端～高台部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 青灰	楕圓整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転荒削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で。
0393 第292回 PL-123	須恵器 杯	104坑№2・4 ・覆土	器39 □(130) 底(80) 胴部～底部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。
0394 第292回	須恵器 皿	105坑№2・覆 土	器(20) □(130) 台一 口縁部～胴部1/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0395 第292回	須恵器 杯	111坑№3	器(21) □ー 底80 胴部下半～底部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部回転糸切後回転荒削り。内：胴部下半～底部回転で。
0396 第292回	須恵器 杯	115坑№1	器(25) □ー 底56 口縁部～底部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転糸切後回転荒削り。内：胴部～底部回転で。
0397 第235回 PL-120	須恵器 壺	8個立覆土	器(73) □(120) 頸(43) 底一 口縁部～頸部1/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 黄橙	楕圓整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0398 第291回	須恵器 杯	28坑№2	器(32) □(124) 底一 口縁部～胴部1/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0399 第291回	須恵器 椀	16坑覆土	器(20) □ー 台(80) 胴部下端～高台部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で。
0400 第291回 PL-123	須恵器 杯	29～41坑覆土	器(55) □(160) 台一 口縁部～胴部4/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0401 第291回 PL-123	須恵器 杯	29～41坑覆土	器36 □(130) 底(60) 口縁部～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰黄	楕圓整形。右回転。外：口縁部～底部回転で、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。
0402 第291回 PL-123	須恵器 杯	29～41坑覆土	器36 □(118) 底(58) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転荒削り。内：口縁部～底部回転で。
0403 第291回 PL-123	須恵器 椀	36坑№1・覆 土	器57 □(140) 台(86) 口縁部～高台部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色澤	器形・技法の特徴他
0404 第291区 PL-123	須志器 碗	29~41坑覆土	器(47) □(160) 台一 口縁部~胴部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。内外面口縁部~胴部回転で。
0405 第291区	須志器 壺	369坑No3	器(26) □一 頸一 台96 胴部下端~高台部1/1	砂・白色鉱物 還元 灰 白・淡黄	楕圓整形。外：胴部下端回転で、底部回転莖削り後高台貼付。内：胴部下端~底部回転で。内外面自然釉。
0406 第291区	土師器 壺	37坑覆土	器(45) □(180) 頸(156) 底一 口縁部~胴部上端1/6	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横莖削り。内：口縁部横で、胴部上端横で。内外面油煙付着。
0407 第291区 PL-123	土師器 壺	32坑覆土	器(81) □(220) 頸(196) 底一 口縁部~胴部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上端横莖削り。内：口縁部横で、胴部で。
0408 第291区 PL-123	土師器 壺	32坑覆土	器(62) □(184) 頸(164) 底一 口縁部~胴部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横莖削り。内：口縁部横で、胴部上端横で。
0409 第291区 PL-123	土師器 壺	29~41坑覆土	器(68) □(180) 頸106 台一 口縁部~胴部上端1/2	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上端横莖削り。内：口縁部横で、胴部上端横で。
0410 第291区	土師器 台付壺	29~41坑覆土	器(50) □(112) 頸(160) 底一 口縁部~胴部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上端横莖削り。内：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上端横で。内外面に油煙付着。
0411 第362区 PL-127	須志器 杯	5区表土	器(38) □一 底一 胴部破片	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい橙	楕圓整形。内外面胴部回転で。内面胴部に墨書「大」。
0412 第366区 PL-131	土製品 鉢	5区表土	長(52) 径21 孔3.5 重19.4g ほぼ完形	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい赤褐	中心部に径3.5mmの穿孔。
0413 第362区 PL-126	須志器 杯	5区表土	器(11) □一 底(71) 胴部下端~底部1/1	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい橙	転用形。胴部下端で丁寧に磨り欠き。内面底部磨れ。(楕圓整形。外：胴部下端回転で、底部回転莖削り。内：底部回転で。外面底部磨削「大」)
0414 第363区 PL-127	須志器 碗	5区表土	器(18) □一 台一 胴部下半~高台部上端 3/4	砂・小石 還元 灰白	楕圓整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転莖削り後高台貼付。内：胴部~底部回転で。内面底部胴部下端~墨書「奉」。
0415 第366区 PL-130	土製品 紡錘車	5区表土	直(52) 厚13 孔一 重12.8g 1/3	砂・白色鉱物 酸化 淡黄	焼成前に穿孔。表はなで。
0416 第366区 PL-131	土製品 鉢	5区表土	長46 径19 孔5 重13.6g ほぼ完形	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 橙	中心部に径5mmの穿孔。
0417 第366区 PL-130	土製品 鉢	5区表土	長(24) 径(22) 孔(4.5) 重5.8g 1/6	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 橙	中心部に径4.5mmの穿孔。
0418 第366区 PL-130	土製品 鉢	5区表土	長(25) 径(23) 孔5 重4.9g 1/4	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 橙	中心部に径5mmの穿孔。
0419 第366区 PL-130	土製品 鉢	5区表土	長(23) 径(18) 孔4.5 重3.6g 1/5	砂 酸化 ぶい褐	中心部に径4.5mmの穿孔。
0420 第364区 PL-129	緑釉陶器 皿	5区表土	器(17) □(120) 底一 口縁部~胴部破片	細砂 還元 灰オリーブ	楕圓整形。内外面口縁部~胴部回転で。内外面に施釉。
0421 第364区 PL-129	灰釉陶器 蓋	5区表土	器23 □(106) 頸16 胴部~口縁部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。胴部貼付。内外面天井部~口縁部回転で。外面全面施釉。
0422 第364区 PL-128	灰釉陶器 蓋	5区表土	器(34) □一 底(45) 胴部下半~底部2/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部回転莖削り。内：胴部下半~底部回転で。外面胴部の一部、内面底部に釉。
0423 第364区 PL-128	須志器 把手付碗	5区表土	器(12) □一 台一 把手部破片	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	把手部は貼付。表面は黄々で。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種 ・器種	遺器名・遺構 番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0424 第366回 PL-131	土 製品 鉢	5区表土	共(43) 径14 孔3.5 重6.5g 3/4	砂・白色磁物 酸化 橙	中心部に縦に3.5mmの穿孔。
0425 第364回 PL-128	緑釉陶器 椀	5区表土	器36 □(128) 台67 口縁部～高台部1/3	細砂・白色磁物 還元 灰白	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転 で後高台貼付。内：胴部下端に沈線一条、口縁 部～底部回転で、内外面全面に施釉。
0426 第361回 PL-126	須 志 器 杯	5区表土	器41 □112 底54 ほぼ完形	砂・小石・白色磁物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で、
0427 第362回 PL-126	須 志 器 杯	5区表土	器34 □(130) 底(78) 口縁部～底部2/5	砂・白色磁物・赤色磁物 半還元 灰白・ 濃い橙	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転 糸切。内：口縁部～底部回転で、内外面口縁 部～胴部縁刻？。
0428 第35回 PL-92	須 志 器 杯	17住№13	器34 □128 底84 ほぼ完形	砂・白色磁物・赤色磁物 酸化 濃い橙	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切後回転器用り。内：口縁部～底部回 転で、内外面に一部油漉付着。
0429 第35回 PL-92	須 志 器 杯	17住№12	器37 □(126) 底68 口縁部～底部1/2	砂・小石・白色磁物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で、
0430 第35回 PL-92	須 志 器 杯	17住№8、覆 土	器37 □(128) 底70 口縁部～底部1/3	砂・白色磁物 半還元 灰 黄・ 濃い黄橙	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転器用り。内：口縁部～底部回転で、外 面底部縁刻。内面油漉付着。
0431 第35回	須 志 器 杯	17住覆土、覆土	器(31) □(138) 底一 口縁部～胴部1/5	砂・小石・白色磁物 還元 灰白	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で、
0432 第35回 PL-92	土 師 器 杯	17住覆土	器(33) □(128) 底一 口縁部～底部上端1/3	砂・白色磁物・雲母 酸化 赤褐	外：口縁部横で、胴部～底部上端器用り。内： 口縁部横で、胴部～底部上端な。
0433 第35回 PL-92	須 志 器 短 頸 壺	17住№19	器(30) □(66) 底一 口縁部～胴部上平1/3	砂・白色磁物 還元 灰白	輪軸整形。内外面口縁部～胴部上平回転で、内 外面に一部自然釉。
0434 第35回 PL-92	須 志 器 升	17住№9	器(46) □一 底53 胴部下半～底部4/5	砂・白色磁物・赤色磁物 酸化 濃い橙	輪軸整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転で、内外面 全面施釉。
0435 第35回 PL-92	土 師 器 壺	17住№6・7 ・10、覆土	器(70) □(220) 頸(186) 底一 口 縁 部 半～胴部上端2/5	砂・白色磁物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部着上釉。胴部上端縁器 用り。内：口縁部横で、胴部横で、
0436 第35回 PL-92	土 師 器 壺	17住覆土、覆 土・銅	器(55) □(192) 頸(180) 底一 口 縁 部 半～胴部上端1/3	砂・白色磁物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、一部着上釉・指環痕、胴部上 端縁器用り。内：口縁部横で、胴部上端器用り。 内外面一部油漉付着。
0437 第37回 PL-93	須 志 器 杯	18住覆土	器(28) □(138) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色磁物 還元 灰	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で、
0438 第37回 PL-93	須 志 器 盤	18住№9	器(29) □一 台(116) 胴部下半～高台部3/4	砂・小石・白色磁物 還元 灰白	輪軸整形。外：胴部下半回転で、底部回転後高 台貼付。内：胴部下半～底部回転で、
0439 第37回 PL-93	須 志 器 壺	18住覆土	器(25) □一 台96 胴部下半～高台部3/4	砂・小石・白色磁物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部 回転後高台貼付。内：胴部下半～底部指な で、
0440 第37回 PL-93	須 志 器 杯	18住覆土	器(40) □一 底一 胴部1/5	砂・白色磁物 酸化 濃い 黄橙	輪軸整形。内外面胴部回転で後発磨き。内黒。 内外面油漉付着。
0441 第37回 PL-93	須 志 器 蓋	18住覆土	器25 □(150) 横51 胴部～口縁部2/5	砂・小石・白色磁物 還元 灰白	輪軸整形。胴部貼付。外：天井部上半回転器用り、 天井部下半～口縁部回転で、内：天井部～口縁 部回転で、
0442 第37回 PL-93	須 志 器 蓋	18住№3	器23 □(158) 横40 胴部～口縁部3/5	砂・白色磁物 還元 灰白	輪軸整形。胴部貼付。外：天井部上半回転器用り、 天井部下半～口縁部回転で、内：天井部～口縁 部回転で、
0443 第37回 PL-93	土 師 器 杯	18住覆土	器(34) □(140) 底一 口縁部～底部1/5	砂・赤色磁物 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部器用り。内： 口縁部～胴部横で、底部で、

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0444 第37回 PL-93	土 師 器 杯	18住№19	器(32) □(130) 底一 口縁部～底部上半1/6	砂・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部上半寛削り。 内：口縁部～胴部横なで、一部指頭状、底部上半 なで。
0445 第37回	土 師 器 甕	18住№5	器(50) □(220) 頸(176) 底一 口縁部～底部上端1/6	砂・白色鉱物 酸化 によい 橙	外：口縁部横なで、一部指頭状、胴部上端横削り。 内：口縁部横なで、胴部上端なで。
0446 第37回	土 師 器 甕	18住覆土	器(48) □(120) 頸(196) 底一 口縁部～底部上端1/6	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部上端横削り。内：口縁 部横なで、胴部上端なで。内外面油塗付着。
0447 第39回 PL-93	須 恵 器 椀	19住覆土	器40 □(148) 台(96) 口縁部～高台部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。外：口縁部～胴部回転なで、高台部貼 付。内：口縁部～底部回転なで。
0448 第39回 PL-93	土 師 器 杯	19住覆土	器(32) □(126) 底一 口縁部～底部上半1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部上半寛削り。 内：口縁部～胴部横なで、底部上半なで。外面一 部油塗付着。
0449 第39回 PL-93	土 師 器 杯	19住№5	器(39) □(130) 底一 口縁部～底部上半1/4	砂・白色鉱物 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部上半寛削り。 内：口縁部～胴部横なで、底部上半なで。内外面 油塗付着。
0450 第39回 PL-93	土 師 器 甕	19住№1・6	器(145) □(210) 頸(180) 底一 口縁部～底部上半1/3	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 によい 橙	外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上半横削り 。内：口縁部横なで、胴部上端横削り。
0451 第39回 PL-93	土 師 器 甕	19住掘	器(56) □(220) 頸(184) 底一 口縁部～底部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上端横削り 。内：口縁部横なで、胴部上端なで。内面油塗 付着。
0452 第41回	須 恵 器 杯	20住№4・覆 土	器(14) □一 底77 胴部下端～底部3/4	砂・小石・白色鉱物 半還 元 灰白・橙	楕圓整形。右回転。外：胴部下端～底部回転削り 。内：胴部下端～底部回転なで。
0453 第41回	須 恵 器 蓋	20住覆土	器(24) □(176) 胴一 天井部下半～口縁部 1/8	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。内外面天井部下半～口縁部回転なで。
0454 第41回 PL-93	土 師 器 杯	20住№17、覆 土	器35 □(130) 底一 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部寛削り。内： 口縁部～胴部横なで、底部なで。
0455 第41回 PL-93	土 師 器 杯	20住覆土、掘 杯	器(28) □(118)一 底一 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部寛削り。 内：口縁部～胴部横なで、底部なで。
0456 第41回	土 師 器 杯	20住覆土	器(27) □(120) 底一 口縁部～底部上半1/6	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部上半寛削り。 内：口縁部～胴部横なで、一部指頭状、底部上 半なで。
0457 第41回 PL-93	土 師 器 甕	20住覆土	器(50) □一 頸(140) 底一 口縁部～胴部上端1/8	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横なで、胴部上端横削り。内：口縁 部横なで、一部巻上痕、胴部上端横なで。内外面 油塗付着。
0458 第48回 PL-94	土 師 器 甕	24住№1・ 2・3・4・ 7・16・20・ 26・32・33	器(280) □224 頸173 底一 口縁部～胴部3/4	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部上端横削り。胴部縦削り。 内：口縁部横なで、胴部寛削りなで、一部巻上 痕。外側多量の油塗付着。
0459 第48回 PL-94	土 師 器 甕	24住№37・38 ・40・41・42、 1層、106覆 覆土	器(142) □(220) 頸(186) 底一 口縁部～胴部中央1/3	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部巻上痕・指頭状、胴部上 半横削り。胴部中央縦削り。内：口縁部横な で、胴部なで。内外面油塗付着。
0460 第48回 PL-94	土 師 器 杯	24住№14、 覆土、14覆 覆土	器(41) □114 底80 口縁部～底部3/4	砂・赤色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横なで、胴部～底部寛削り。内：口縁 部～底部なで後発着。
0461 第26回 PL-121	須 恵 器 杯	14覆覆土	器34 □(178) 底78 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 胴部下端回転削り。底部回転収束後回転削り。 内：口縁部～底部回転なで。
0462 第26回 PL-121	須 恵 器 椀	14洞№2	器(47) □138 台一 口縁部～高台部上端 1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転削り後高台部貼付。内：口縁部～底部回 転なで。



第III章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0463 第260回 PL-121	須恵器 杯	14溝覆土	器35 □(136) 底85 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦橢圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転箇所。内：口縁部～底部回転で。
0464 第260回 PL-121	須恵器 杯	14溝覆土	器24 □(142) 底(88) 口縁部～底部1/3	砂・小石・黒色鉱物 還元 灰	縦橢圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 胴部下部～底部回転箇所。内：口縁部～底部 回転で。外面に一部自然釉。
0465 第260回 PL-121	須恵器 椀	14溝№2	器(58) □(174) 台一 口縁部～高台部上端 1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦橢圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台 貼付。内：口縁部～底部上端回転で。
0466 第260回 PL-121	須恵器 蓋	14溝覆土	器(22) □一 柄44 胴部～天井部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 浅黄褐色	縦橢圓形。右回転。胴部貼付。外：天井部上半 回転箇所。天井部下半回転で。内：天井部 回転で。
0467 第260回 PL-121	須恵器 蓋	14溝覆土	器25 □(159) 柄48 胴部～口縁部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦橢圓形。右回転。胴部貼付。外：天井部上半 回転箇所。天井部下半～口縁部回転で。内：天 井部～口縁部回転で。
0468 第260回 PL-121	土師器 杯	14溝覆土	器33 □142 底一 ほぼ尖形	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。内： 口縁部～胴部横で、一部指頭痕、底部で。
0469 第260回 PL-121	土師器 杯	14溝覆土	器(35) □(130) 底一 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。内： 口縁部～胴部横で、一部指頭痕、底部で。
0470 第260回 PL-121	土師器 杯	14溝覆土	器(25) □129 底一 口縁部～底部上半3/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部で、底部上半削 り。内：口縁部～胴部横で、胴部上半で。
0471 第260回 PL-121	土師器 杯	14溝覆土	器(31) □(150) 底一 口縁部～底部1/4	砂 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。内： 口縁部～胴部横で、一部指頭痕、底部で。
0472 第260回 PL-121	土師器 杯	14溝覆土	器(32) □(120) 底一 口縁部～底部上半1/3	砂 酸化 明赤褐	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部上半削り。 内：口縁部～胴部横で、底部上半で。外面一 部油煙付着。
0473 第260回 PL-121	土師器 杯	14溝覆土	器(31) □(120) 底一 口縁部～底部上半1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部上半削り。 内：口縁部～胴部横で、底部上半で。外面一 部油煙付着。
0474 第260回 PL-121	土師器 杯	14溝覆土	器41 □(169) 底80 口縁部～底部1/2	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部～底部削り。内：口縁 部横で、胴部～底部で。
0475 第260回 PL-120	土師器 壺	14溝覆土	器(70) □232 頸200 口縁部～胴部上端1/1	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、一部巻上痕、胴部上端削り 箇所。内：口縁部横で、胴部上端削り箇所。
0476 第261回 PL-121	須恵器 壺	23溝覆土	器(84) □一 台一 胴部下半～高台部上端 1/8	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦橢圓形。外：胴部下半回転で、高台部貼付。 内：胴部下半～底部上端回転で。
0477 第291回 PL-123	須恵器 杯	44坑№1	器50 □142 底74 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦橢圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転永切後回転箇所。内：口縁部～底部 回転で。
0478 第263回 PL-120	土師器 壺	106溝1層№1 ・2・3・4・ 6、2層覆土	器(95) □156 頸128 口縁部～胴部中央2/3	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部横削り。 内：口縁部横で。胴部横で。外面油煙付着。
0479 第293回 PL-124	須恵器 椀	267坑覆土	器38 □(150) 台(104) 口縁部～高台部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦橢圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部 回転箇所後高台貼付。内：口縁部～底部 回転で。
0480 第68回 PL-89	須恵器 杯	1住部№54	器37 □(140) 底76 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色鉱物 半還 元 浅黄・にぶい橙	縦橢圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転永切後回転箇所。内：口縁部～底部 回転で。
0481 第68回 PL-89	須恵器 杯	1住部№36、覆 土	器32 □(142) 底96 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦橢圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転永切後回転箇所。内：口縁部～底部 回転で。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0482 第6区 PL-89	須恵器 杯	1住№41	器40 □(134) 底75 口縁部～底部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転未切。内：口縁部～底部回転で、内外 面滑し。
0483 第6区 PL-89	須恵器 碗	1住№34・覆土	器45 □(142) 底89 口縁部～高台部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転 で後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
0484 第6区 PL-89	須恵器 蓋	1住№30・31	器(23) □(138) 胴一 天井部～口縁部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。外：天井部上半回転削り、天井部下 半～口縁部回転で。内：天井部～口縁部回転で。
0485 第6区 PL-89	須恵器 蓋	1住№69	器(18) □(146) 胴一 天井部～口縁部1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：天井部上半回転削り、天井部下 半～口縁部回転で。内：天井部～口縁部回転で。
0486 第6区 PL-89	土師器 杯	1住№39・覆土	器38 □137 底一 ほぼ完形	砂 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。内： 口縁部～胴部横で、底部で。
0487 第6区 PL-89	土師器 杯	1住№70	器33 □(136) 底一 口縁部～底部2/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。内： 口縁部～胴部横で、一部指頭痕、底部で。内 面底部縁裂。
0488 第6区 PL-89	須恵器 杯	1住№25	器(29) □(150) 底一 口縁部～底部上端1/4	砂・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。 内：口縁部～胴部横で、底部上端で。外面一 部油泥付着。
0489 第6区 PL-89	土師器 杯	1住№21・26 ・覆土	器45 □(160) 底一 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。口縁部横で、胴部～底部削り。内：口 縁部横で、胴部～底部削り、一部指頭痕。外 面油泥付着。
0490 第6区 PL-89	土師器 杯	1住№22・覆土	器(35) □(140) 底一 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。内： 口縁部～胴部横で、底部で。内面一部油泥 付着。
0491 第6区 PL-89	土師器 罎	1住№2・4・ 覆土	器(76) □(210) 底(180) 底一 口縁部～胴部上端1/3	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部上端削り。内：口縁 部横で、胴部上端で、一部色上流。
0492 第6区 PL-89	石製品	1住№51	長99 幅71 厚37 重411.9g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。
0493 第6区 PL-89	石製品	1住№54	長99 幅70 厚33 重285.9g	溶結凝灰岩	周囲は磨れている。
0494 第6区 PL-89	石製品	1住№50	長100 幅72 厚34 重297.7g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。
0495 第6区 PL-89	石製品	1住№49	長109 幅70 厚30 重376.9g	実質安山岩	周囲は磨れている。
0496 第6区 PL-89	石製品	1住№48	長106 幅69 厚42 重507.8g	溶結凝灰岩	周囲は磨れている。
0497 第6区 PL-89	石製品	1住№53	長75 幅61 厚46 重278.1g	石英斑岩	周囲は磨れている。
0498 第11区 PL-90	須恵器 杯	4住№11・覆土	器40 □136 底75 口縁部～底部3/4	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。外側 底部曇書「土」。
0499 第11区 PL-90	須恵器 杯	4住覆土	器(32) □(140) 底(82) 口縁部～底部上端1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部上端 回転削り。内：口縁部～底部上端回転で。
0500 第11区 PL-90	須恵器 杯	4住覆土	器(30) □(130) 底一 口縁部～胴部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転で。内面口 縁部～胴部、外面口縁部滑し。
0501 第11区	須恵器 碗	4住№5	器(19) □一 台92 胴部下端～高台部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：胴部下端回転で、底部回転削り 後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0502 第118回	土器 甕	4住電線	器(65) 口(200) 頸(184) 底一 口縁部～胴部上端1/8	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部指面痕、胴部上端斜め貫り。外：口縁部横なで、胴部なで、一部指面痕、内外面一部油煙付着。
0503 第148回 PL-90	須恵 器 杯	5住№43	器40 口142 底76 口縁部～底部5/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、胴部下端～底部回転糸切後回転貫り。内：口縁部～底部回転なで。二次炎を受け、内外面に多量の油煙付着。
0504 第148回 PL-90	須恵 器 杯	5住№38	器45 口146 底80 ほぼ完形	砂・小石・白色鉱物 還元 淡黄	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、胴部下端～底部回転貫り。内：口縁部～底部回転なで。内外面一部油煙付着。
0505 第148回 PL-90	須恵 器 杯	5住№37	器42 口158 底115 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。左回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転貫り。内：口縁部～底部回転なで。外面底部油煙付着。
0506 第148回 PL-90	須恵 器 杯	5住№40	器41 口141 底92 ほぼ完形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後回転貫り。内：口縁部～底部回転なで、二次炎を受け、内外面に油煙付着。
0507 第148回 PL-90	土器 器 杯	5住№41	器30 口124 底一 ほぼ完形	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部なで、底部貫り。内：口縁部～胴部横なで、底部なで、一部指面痕、内外面口縁部～胴部油煙付着。
0508 第148回 PL-90	土器 器 杯	5住№42、覆 土	器34 口147 底一 ほぼ完形	砂・白色鉱物 酸化 にお い橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部貫り。内：口縁部～胴部横なで、底部なで、内外面一部油煙付着。
0509 第148回 PL-90	土器 器 鉢	5住№45・46 ・47	器51 口186 底一 口縁部～底部2/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部貫り。内面：口縁部～胴部横なで、底部なで。二次炎を受けている。内外面油煙付着。
0510 第148回 PL-90	土器 器 壺	5住№1・2	器(48) 口140 頸116 底一 口縁部～胴部上端1/2	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部上端横貫り。内：口縁部横なで、胴部上端、一部巻上痕。
0511 第148回 PL-90	土器 器 壺	5住№39、覆 土	器(135) 口一 底56 胴部下半～底部3/5	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：胴部下半横貫り、胴部下端横貫り、底部貫り。内：胴部下半～底部貫り。内外面に油煙付着。
0512 第148回 PL-90	土器 器 壺	5住№49	器96 口93 頸89 底68 ほぼ完形	砂・小石 酸化 浅黄橙	外：口縁部横なで、胴部横貫り。内：口縁部横なで、胴部～底部貫り。一部巻上痕・指面痕。外面底部縁線、口縁部～胴部油煙付着。
0513 第168回 PL-90	須恵 器 杯	6住覆土	器(26) 口(126) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓整形。内外面口縁部～胴部回転なで。
0514 第168回 PL-90	須恵 器 杯	6住覆土	器(25) 口一 底(76) 胴部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。外：胴部回転なで、底部回転貫り。内：胴部～底部回転なで。
0515 第101回 PL-103	須恵 器 壺	45住№1	器(86) 口一 底一 胴部～胴部1/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓整形。外：胴部上半回転なで、胴部下半叩き目。内：胴部上半回転なで、胴部下半なで。
0516 第101回 PL-103	土製 品 鉢	45住電線№4	長(46) 径14 孔3 重7.8g ほぼ完形	砂・白色鉱物 酸化 にお い橙	中心部縦に径3mmの穿孔。
0517 第101回 PL-103	土製 品 鉢	45住電線№5	長68 径15 孔3.5 重10.6g ほぼ完形	砂・白色鉱物 酸化 にお い黄橙	中心部縦に径3.5mmの穿孔。
0518 第101回 PL-103	土製 品 鉢	45住電線№1	長52 径14 孔3 重8.4g ほぼ完形	砂・白色鉱物 酸化 橙	中心部縦に径3mmの穿孔。
0519 第101回 PL-103	土製 品 鉢	45住電線№3	長48 径12 孔4 重5.7g ほぼ完形	砂・白色鉱物 酸化 にお い黄橙	中心部縦に径4mmの穿孔。
0520 第101回 PL-103	土製 品 鉢	45住電線№2	長65 径15 孔3.5 重10.5g ほぼ完形	砂・白色鉱物 酸化 橙	中心部縦に径3.5mmの穿孔。

## 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0521 第291回 PL-123	土師器 台付甕	2坑覆土	器(55) 口(116) 頸(108) 台一 口縁部～底部上半1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部指頭痕肩部上半横置削り。内：口縁部横なで、胴部上半なで。内外面油塗付着。
0522 第291回 PL-123	須恵器 鉢	7坑覆土	器(35) 口(138) 底(80) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。外面口縁部～胴部横し。
0523 第345回 PL-125	須恵器 鉢	352ピット№1	器(78) 口174 台114 完形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後回転削り。後高台貼付。内：口縁部～底部回転なで。
0524 第345回 PL-125	須恵器 蓋	352ピット№1	器36 口186 横63 ほぼ完形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	轆轤整形。右回転。換部貼付。外：天井部上半回転削り。天井部下半～口縁部回転なで。内：天井部～口縁部回転なで。
0525 第292回 PL-123	土師器 甕	121坑№1・2 3・4、覆 土	器(73) 口(226) 底一 口縁部～頸部3/4	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 ぶい黄橙	頸部貼付。外：口縁部横なで、頸部置削り。内：口縁部横なで。
0526 第292回 PL-123	土師器 高杯	121坑覆土	器(111) 口一 脚一 底部～脚部2/3	砂・小石・白色鉱物・雲 母 酸化 橙	脚部貼付。外：底部なで、脚部置なで後置削り。内：底部なで、脚部置なで。
0527 第261回 PL-121	土師器 高杯	45溝覆土	器(46) 口一 脚一 胴部下半～脚部上端 1/1	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 黄橙	脚部貼付。外：胴部下半割ハケ目なで後なで、底部ハケ目。内：胴部下半ハケ目。底部なで。内外面に一部油塗付着。
0528 第363回 PL-127	須恵器 耳皿	2区表土	器29 口(70) 台35 胴部下半～高台部4/5	砂・白色鉱物 還元 灰	轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部高台貼付後なで。内：口縁部～底部回転なで。
0529 第363回 PL-127	須恵器 鉢	2区表土	器(29) 口一 台68 胴部下半～高台部3/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転なで。内面脚部横し。外面底部塗付着。
0531 第261回 PL-121	須恵器 杯	50溝№1	器31 口(124) 底70 口縁部～底部3/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後回転削り。内：口縁部～底部回転なで。外面底部塗着「山田」。
0532 第44回 PL-93	須恵器 鉢	21住№23、覆 土	器62 口(130) 台(78) 頸部～高台部3/4	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 半還元 ぶい黄 橙	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転なで。内外面口縁部に油塗付着。
0533 第44回 PL-93	須恵器 杯	21住№4、覆 土	器(47) 口(124) 底(60) 口縁部～底部上端1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 ぶい黄橙	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0534 第44回 PL-93	須恵器 杯	21住№8、覆 土	器(39) 口(120) 底(50) 口縁部～底部上端1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。内外面に一部油塗付着。
0535 第44回 PL-93	土師器 杯	21住覆土	器41 口(119) 底72 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色鉱物・雲 母 酸化 ぶい橙	外：口縁部横なで、胴部～底部置削り。内：口縁部～胴部横なで、底部なで。
0536 第44回 PL-93	土師器 甕	21住№15・16、覆 土	器(102) 口(200) 頸(182) 底一 口縁部～胴部上半1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横なで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上半横置削り。内：口縁部横なで、胴部置なで。内面油塗付着。
0537 第44回 PL-93	須恵器 杯	21住№3、覆 土	器(27) 口(138) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・ぶい橙	轆轤整形。内外面口縁部～胴部回転なで。内面に一部油塗付着。
0538 第291回 PL-123	土師器 甕	74坑覆土	器(63) 口(200) 頸(186) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端横置削り。内：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上端なで。
0539 第364回 PL-129	灰釉陶器 皿	6区表土	器33 口(148) 台68 口縁部～高台部1/2	細砂 還元 灰白	轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転なで後高台貼付。内：口縁部～底部回転なで。外面口縁部～胴部無軸。
0540 第362回 PL-126	須恵器 杯	3区表土	器(52) 口(150) 底(86) 口縁部～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部置削り。内：口縁部～底部回転なで。
0541 第363回 PL-127	須恵器 蓋	3区表土	器(13) 口一 横45 横部～天井部上半2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	轆轤整形。換部貼付。外：天井部上半回転削り。内：天井部上半回転なで、内面天井部に割字「大」。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状況	計測値(m)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0542 第361図 PL-126	須恵器 杯	3区表土	器36 □148 底94 口縁部～底部4/5	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後削り。内：口縁部～底部回転で。
0543 第362図 PL-126	須恵器 杯	3区表土	器(11) □一 底(66) 胴部下端～底部2/5	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転後削り。内：胴部下端～底部回転で。外面底部磨き「四」。
0544 第362図 PL-126	須恵器 杯	3区表土	器(11) □一 底(70) 胴部下端～底部1/3	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。外：胴部下端回転で、底部回転後削り。内：胴部下端～底部回転で。内面底部磨き「直又は真直」。
0545 第362図 PL-127	須恵器 杯	3区表土	器(23) □一 底一 胴部～底部上段破片	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。内外面胴部～底部上端回転で。内面底部磨き「？」。
0546 第365図 PL-130	鉄製品	3区表土	長(39) 幅(21) 厚11		表面に工具で叩いた痕あり。
0547 第251図	須恵器 蓋	27区立覆土	器(20) □(150) 柄一 天井部～口縁部1/5	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。外：天井部上半回転削り、天井部下平～口縁部回転で。内：天井部～口縁部回転で。外面に塗泥付着。
0548 第250図 PL-120	須恵器 鉢	24区立ビット 4	器(63) □(240) 底一 口縁部～胴部上半破片	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。内外面口縁部～胴部上半回転で。
0549 第224図	土師器 甕	2区立ビット 4	器(70) □(200) 頸(170) 底一 口縁部～胴部上端1/8	砂・白色胎物 酸化 橙	外：口縁部横で、一部指頭痕・巻上痕、胴部上端横削り。内：口縁部横で、胴部上端横で。
0550 第226図	須恵器 甕	3区立ビット 3 №1	器(83) □一 台(170) 胴部下端～高台部1/3	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で。
0551 第364図 PL-128	須恵器 高杯	4区表土	器(83) □一 脚一 底部～脚部上半3/4	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。脚部貼付。内外面底部～脚部上半回転で。
0552 第364図	須恵器 高杯	4区表土	器(115) □一 脚一 脚部2/3	砂・小石・白色胎物 還元 赤灰	輪軸整形。脚部貼付。内外面脚部回転で。
0553 第364図 PL-128	須恵器 高杯	4区表土	器(72) □一 脚一 底部～脚部上半3/4	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。脚部貼付。外：底部～脚部上半回転で。内：底部～脚部上半回転で。
0554 第364図 PL-128	須恵器 高杯	4区表土	器(56) □一 脚一 底部～脚部上半4/5	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。脚部貼付。内外面底部～脚部上半回転で。
0555 第364図 PL-128	須恵器 瓶	4区表土	器(87) □(96) 頸51 底一 口縁部～底部4/5	砂・白色胎物 酸化 明赤褐	輪軸整形。頸部貼付。内外面口縁部～頸部回転で。
0556 第362図 PL-126	須恵器 杯	4区表土	器(36) □(122) 底(60) 口縁部～底部1/3	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。外：口縁部～底部回転で、底部回転削り。内：口縁部～底部回転で。
0557 第361図 PL-127	須恵器 杯	4区表土	器32 □(128) 底78 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色胎物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転削り後上端回転削り。内：口縁部～底部回転で。
0558 第362図 PL-126	須恵器 碗	4区表土	器57 □(144) 台64 口縁部～高台部1/4	砂・小石・白色胎物 半還元 灰白・ふいせ	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転削り後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
0559 第363図 PL-128	須恵器 甕	4区表土	器(164) □一 頸(165) 底一 頸部～胴部1/3	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。頸部貼付。外：頸部回転で、胴部叩き目。内：頸部～胴部回転で。
0560 第362図 PL-126	須恵器 碗	4区表土	器(22) □一 台82 胴部下端～高台部1/1	砂・小石・白色胎物 還元 灰	輪軸整形。外：胴部下端回転で、底部回転削り後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で。外面底部磨削。
0561 第366図 PL-130	須恵器 紡錘車	4区表土	直59 孔6 厚10 重42.8g	砂・白色胎物 還元 灰白	板底部転用。焼成後穿孔。

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0562 第364回 PL-128	須恵 器 把手付椀	4区表土	器(15) □ 台一 把手部破片	砂・白色胎物 還元 灰	把手部貼付、表面は篋削り。
0563 第364回 PL-128	須恵 器 把手付椀	4区表土	器(8) □ 台一 把手部破片	砂・白色胎物・赤色胎物 半還元 灰黄・にじい黄橙	表面は篋削り後磨きなど。
0564 第366回 PL-131	土製 品 鉢	4区表土	長41 径12 孔3.5 重5.5g ほぼ完形	砂・白色胎物 酸化 浅黄	中心部に径3.5mmの穿孔。
0565 第366回 PL-130	土製 品 鉢	4区表土	長(32) 径(15) 孔3 重6.0g 1/2	砂・白色胎物 酸化 にじい 橙	中心部に径3mmの穿孔。
0566 第364回 PL-128	青 磁 椀	4区表土	器(33) □(158) 底(68) 口縁部～胴部上半破片	細砂 還元 灰白	中国製。口縁部内面に凹線を施す。中皿。
0567 第221回	土 師 器 覆土	110住埋№1・ 覆土	器(78) □(200) 底(166) 底一 口縁部～胴部上端破片	砂・白色胎物 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕、胴部上端横篋削り。 内：口縁部横などで、胴部上端横なで。
0568 第7回 PL-89	須恵 器 杯	2住覆土	器(38) □(124) 底(68) 口縁部～底部上端1/4	砂・白色胎物 還元 灰白	縦篋整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転篋削り。内：口縁部～底部回転などで。
0569 第7回 PL-89	須恵 器 杯	2住覆土	器(59) □(158) 底(90) 口縁部～底部上端1/8	砂・白色胎物 還元 灰白	縦篋整形。外：口縁部～胴部回転などで、底部上端 回転篋削り。内：口縁部～底部上端回転などで。
0570 第7回 PL-89	須恵 器 皿	2住覆土	器(23) □ 台一(114) 胴部～高台部1/8	砂・白色胎物 還元 灰白	縦篋整形。外：胴部回転などで、底部高台貼付。内： 胴部～底部回転などで。
0571 第7回 PL-89	須恵 器 蓋	2住覆土	器(21) □ 一 横(48) 横部～天井部上半2/3	砂・小石・白色胎物 半還 元 灰黄・橙	縦篋整形。横部貼付。外：天井部上半回転篋削り。 内：天井部上半回転などで。
0572 第7回 PL-89	須恵 器 把手付椀	2住覆土	器(14) □ 台一 胴部～把手部破片	砂・白色胎物 半還元 灰 黄・にじい橙	縦篋整形。胴部中央回転などで。把手部貼付、表面 は篋削り後磨きなど。
0573 第29回 PL-124	石製 品 器	196坑№3	長129 幅79 厚45 重637.9g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨かれている。
0574 第263回 PL-120	磁 器 椀	84溝覆土	器54 □104 台40 口縁部～高台部2/3	還元 灰白	肥前、波佐見系。見込み蛇の目軸刺ぎ。外面残存 部に樹文。
0575 第263回 PL-120	磁 器 椀	84溝覆土	器(36) □(90) 台一 口縁部～胴部1/5	還元 灰白	肥前。外面に草花文。
0576 第263回 PL-120	磁 器 椀	84溝覆土	器(30) □(83) 台一 口縁部～胴部1/3	還元 灰白	肥前、波佐見系。コンニャク印判。
0577 第263回 PL-120	陶 器 香 炉	84溝№7	器39 □(74) 台一 口縁部～胴部1/3	酸化 淡黄	口縁部から体部外面筋輪。底部やや高い部を貼り 付ける。体部外面筋による施文が一部残る。
0578 第263回 PL-120	石製 品 器 石	84溝覆土	長(101) 幅26 厚27 重91.0g	砥沢石	使用面は4面。
0579 第162回 PL-111	須恵 器 杯	68住№1、電、 電掘	器39 □(140) 底86 口縁部～底部1/2	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	縦篋整形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 胴部下端回転篋削り、底部回転糸切後上半回転篋 削り。内：口縁部～底部回転などで。
0580 第162回	須恵 器 杯	68住№14	器(33) □(150) 台一 口縁部～胴部1/6	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 にじい黄橙	縦篋整形。内黒。内外面口縁部～胴部回転などで、 内面磨き。
0581 第162回	土 師 器 壺	68住電、掘	器(31) □ 一 頸一 底(48) 胴部下端～底部1/3	砂・白色胎物・雲母 酸化 橙	外：胴部下端斜め篋削り。内：胴部下端～底部磨 きなどで。外面油煙付着。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器名・器種	通称名称・通称番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0582 第166回 PL-111	須恵器 椀	69住遺No.18	器(41) 口一 台84 胴部～高台部3/4	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪轆整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 余切後高台貼付。内：胴部～底部回転で、内外面に 油煙付着。
0583 第166回 PL-111	須恵器 杯	69住遺No.8・ 11・19、電、 覆土	器39 口135 底80 口縁部～底部3/4	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 赤褐	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転余切。内：口縁部～底部回転で、内外面 に油煙付着。
0584 第165回 PL-112	須恵器 杯	69住遺土	器(31) 口一 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 によい赤褐	輪轆整形。内外面口縁部～胴部回転で、内面漆 付着。
0585 第165回 PL-112	須恵器 蓋	69住遺No.15、 電、覆土	器33 口(178) 柄(48) 柄部～口縁部1/4	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 によい橙	輪轆整形。外：柄部貼付、天井部上半回転削り、 天井部下半～口縁部回転で、内：天井部～口縁 部回転で。
0586 第165回	須恵器 罌	69住遺No.6	器(64) 口(190) 頸(162) 底一 口縁部～胴部上端破片	砂・白色胎物 酸化 橙	外：口縁部横で、一部巻上板・指頭痕、胴部上 端横削り。内：口縁部横で、胴部上端鋭で。
0587 第167回 PL-112	須恵器 杯	70住遺土	器(36) 口(120) 底(74) 口縁部～底部1/6	砂・白色胎物 還元 灰白	輪轆整形。外：口縁部～胴部回転で、底部上端 回転削り。内：口縁部～底部回転で。
0588 第189回 PL-115	須恵器 椀	83住遺土	器(35) 口(134) 台一 口縁部～胴部破片	砂・白色胎物 酸化 によい 橙	輪轆整形。外：口縁部～胴部回転で、内：口縁 部～胴部回転で後遺磨き。
0589 第192回 PL-115	須恵器 杯	84住遺No.3	器35 口(128) 底75 口縁部～底部2/3	砂・白色胎物 還元 灰	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転余切。内：口縁部～胴部回転で、内面 口縁部～胴部遺書「川」。
0590 第192回 PL-115	須恵器 杯	84住遺No.2	器37 口125 底67 完形	砂・白色胎物 還元 灰	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転余切。内：口縁部～胴部回転で、外面 胴部～遺書「西二」。
0591 第192回 PL-115	須恵器 杯	84住遺No.5	器38 口132 底65 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転余切。内：口縁部～底部回転で。
0592 第192回 PL-115	須恵器 蓋	84住遺No.4	器46 口(156) 柄(35) 柄部～口縁部3/4	砂・小石・白色胎物 還元 灰	輪轆整形。右回転。柄部貼付。外：天井部上半 回転削り、天井部下半～口縁部回転で、内：天 井部～口縁部回転で。
0593 第192回 PL-115	鉄 滓	84住遺土	長82 幅64 厚25 重152.9g		鉄分が含まれる。
0594 第192回 PL-115	石製品	84住遺土	長38 幅20 厚48 重11.6g	チャート	周縁は磨かれている。
0595 第192回 PL-115	土器 罌	84住遺No.1、覆 土	器287 口196 頸173 底(50) 最大228 口縁 部～底部上端9/10	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 によい橙	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上端横削り り、胴部破削り、底部上端削り。内：口縁部 横で、胴部～底部上端鋭で、内外面多量の油 煙付着。
0596 第187回 PL-115	須恵器 椀	82住遺No.14、床 下土塊No.30	器45 口109 台72 ほぼ完形	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 胴部下端回転削り、底部高台貼付後回転で。 内：口縁部～底部回転で、内外面一部油煙付 着。
0597 第187回 PL-114	須恵器 杯	82住遺No.15・16	器(31) 口一 底98 胴部～底部3/5	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪轆整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 余切後上半回転削り。内：胴部～底部回転で。
0598 第187回 PL-114	須恵器 杯	82住遺No.3	器42 口(140) 底(82) 口縁部～底部1/4	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 胴部下端回転削り、底部回転余切後上端回転削り り。内：口縁部～底部回転で。
0599 第187回 PL-115	須恵器 蓋	82住遺No.29	器33 口164 柄30 柄部～口縁部4/5	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪轆整形。右回転。柄部貼付。外：天井部上半 回転削り、天井部下半～口縁部回転で、内：口 縁部～天井部回転で。
0600 第187回 PL-115	須恵器 蓋	82住遺No.8、覆 土	器(32) 口(200) 柄一 天井部～口縁部1/4	砂・小石・白色胎物 半還 元 灰白・によい黄橙	輪轆整形。外：天井部上半回転削り、天井部下 半～口縁部回転で、内：天井部～口縁部回転で。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0601 第187図	須恵器 壺	82住覆土	器(16) □(110) 胴一底一 口縁部破片	砂・白色鉱物 還元 灰	橢圓形。内外面口縁部回転などで、一部に自然熱。
0602 第187図 PL-114	土師器 杯	82住No 5、覆土	器(27) □一 底75 胴部～底部3/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 明赤褐	内外面胴部～底部襷し、荒磨き。
0603 第187図 PL-114	土師器 杯	82住No 2・5、覆土	器(25) □一 底75 胴部～底部1/2	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	内外面胴部～底部襷し、荒磨き。
0604 第187図 PL-114	土師器 杯	82住No10	器38 □136 底一 口縁部～底部5/6	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部寛削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで、一部指頭痕。
0605 第187図 PL-115	土師器 杯	82住No 1	器45 □(168) 底一 口縁部～底部2/5	砂・小石・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部寛削り。内：口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部などで。
0606 第187図 PL-115	土師器 杯	82住No29、覆土	器51 □(178) 底一 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部寛削り。内：口縁部横などで、胴部～底部などで、一部指頭痕。外面底部油埋付着。
0607 第187図 PL-115	土師器 杯	82住No11・12・13、覆土	器39 □(136) 底一 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物 酸化 明赤褐	丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部寛削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで。
0608 第187図 PL-115	土師器 杯	82住No21・26	器37 □136 底一 口縁部～底部5/6	砂・小石・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部寛削り。内：口縁部横などで、胴部～底部などで、一部指頭痕。
0609 第187図	土師器 罎	82住No19、覆土	器(63) □(214) 頸(174) 底一 口縁部～胴部下端1/8	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横削り。内：口縁部横などで、胴部上端寛などで。
0610 第187図 PL-114	土師器 杯	82住No 7	器(100) □一 底一 脚一 脚部1/3	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：脚部上半段削り後荒磨き、脚部下半などで。内：脚部上半段削り、一部指頭痕、脚部下半などで、一部巻上痕。
0611 第194図 PL-115	土師器 杯	85住No 4、覆土	器(34) □(134) 底一 口縁部～底部2/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横などで、胴部～底部寛削り。内：口縁部～胴部横などで、一部指頭痕、底部などで。
0612 第194図 PL-115	土師器 杯	85住No 6、覆土	器(24) □(140) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、胴部寛削り。内：口縁部～胴部横などで。
0613 第194図 PL-115	土師器 罎	85住覆土	器(55) □(220) 頸(180) 底一 口縁部～胴部上端1/2	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 明赤褐	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横削り。内：口縁部横などで、胴部上端寛などで。
0614 第194図 PL-115	土師器 罎	85住No 3、覆土	器(52) □(220) 頸(178) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上端横削り。内：口縁部横などで、胴部上端寛などで。
0615 第194図	土師器 台付罎	85住No 1、覆土	器(42) □(136) 頸(122) 台一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 よい橙	外：口縁部横などで、胴部上端横削り。内：口縁部横などで、胴部上端寛などで。内外面油埋付着。
0617 第194図 PL-115	土師器 罎	85住No11	器(138) □154 頸136 底一 最大168 口縁部～胴部5/6	砂・小石・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横などで、胴部上端横削り、胴部縦削り。内：口縁部横などで、胴部縦などで、一部巻上痕。内面全面的に襷し。
0618 第196図 PL-116	土師器 杯	86住No 2	器35 □124 底一 口縁部～底部4/5	砂・白色鉱物・酸化 ぶ い橙	外：口縁部横などで、胴部～底部寛削り。内：口縁部～胴部横などで、底部などで、一部指頭痕。外面に油埋付着。
0619 第196図	土師器 罎	86住No 1	器(28) □一 頸一 底一 底48 胴部下端～底部4/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：胴部下端～底部削り。内：胴部下端～底部などで、外面一部油埋付着。
0620 第196図	土師器 罎	86住覆土	器(35) □(200) 頸一 底一 口縁部破片	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指頭痕。内：口縁部横などで。
0621 第203図 PL-116	須恵器 杯	90住No 2	器34 □140 底94 口縁部～底部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	橢圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、胴部下段回転削り、底部回転未切後回転削り。内：口縁部～底部回転などで。



第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(cm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0622 第203回 PL-116	須恵器 杯	90住№7、甕	器37 口138 底86 口縁部～底部3/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦軸整形。外：口縁部～胴部回転で、胴部下端回転削り、底部回転削り。内：口縁部～底部回転で。
0623 第203回 PL-116	須恵器 杯	90住№6、甕、 覆土	器38 口(140) 底86 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	縦軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切後上回転削り。内：口縁部～底部回転で。
0624 第203回 PL-116	須恵器 杯	90住覆土	器36 口(130) 底78 口縁部～底部2/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 明赤褐色	縦軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。
0625 第203回 PL-116	須恵器 杯	90住№1	器(25) 口一 底65 胴部～底部2/3	砂・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。内外面炭素吸着による黒色を呈し、胴部～底部は全面に炭素が施されている。
0626 第203回 PL-116	土師器 鉢	90住№8	器46 口(180) 底一 口縁部～底部3/5	砂・小石・白色鉱物・雲母 酸化 浅黄褐色	外：口縁部横で、胴部～底部削り。内：口縁部～胴部横で、底部で、胴部～底部削り。内外面に一部油埋付着。
0627 第203回 PL-116	土師器 杯	90住№10	器(30) 口130 底一 口縁部～底部1/1	砂・白色鉱物 酸化 橙	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。内：口縁部～胴部横で、一部指痕状、底部で。内面底部に線刻。
0628 第203回 PL-116	土師器 杯	90住№11、覆土	器40 口(132) 底一 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐色	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。内：口縁部～胴部横で、底部で、一部指痕状。
0629 第203回 PL-116	土師器 壺	90住№3・9、 覆土	器(115) 口199 頸177 底48 口縁部～胴部上半3/4	砂・小石・白色鉱物・赤色 鉱物 酸化 明赤褐色	外：口縁部横で、一部巻上痕、胴部上半横削り。内：口縁部横で、一部指痕状、胴部上半横で。内外面に油埋付着。
0630 第203回 PL-116	土師器 壺	90住№5、覆土	器(89) 口(204) 頸(181) 底一 口縁部～胴部上半1/2	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、一部巻上痕・指痕状、胴部上半横削り。内：口縁部横で、胴部上半横で。内外面に油埋付着。
0631 第203回 PL-116	石製品 碁石	90住№8	長17 幅15 厚4 重1.5g	チャート	周囲は磨かれている。
0632 第203回 PL-116	須恵器 杯	90住覆土	器(8) 口一 底(76) 胴部下～底部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 濃い橙	縦軸整形。外：胴部下端回転で、底部回転削り。内：胴部下～底部回転で。内面底部に線刻。
0633 第203回	土師器 壺	90住覆土、甕、 甕	器(49) 口一 頸一 底(40) 胴部下～底部1/2	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 橙	外：胴部下端削り。内：胴部下端削り、一部巻上痕。外面に油埋付着。
0634 第205回	土師器 杯	91住覆土	器(27) 口(146) 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部削り。内：口縁部～胴部横で。
0635 第205回	土師器 杯	91住覆土	器(21) 口(110) 底一 口縁部～底部破片	砂・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部～底部削り。内：口縁部～胴部横で、底部で。
0636 第205回	土師器 壺	91住№2	器(75) 口(260) 頸(230) 底一 口縁部～胴部上端破片	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、一部巻上痕、胴部上端横削り。内：口縁部横で、胴部上端削り。
0637 第205回	須恵器 杯	91住覆土	器(22) 口(130) 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色鉱物 還元 灰	縦軸整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0638 第205回	須恵器 壺	91住№1	器(92) 口一 頸(193) 底一 口縁部下～頸部1/6	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	頸部貼付。外：口縁部下半～頸部横で、口縁部波状文2段、沈線1条。内：口縁部下半～頸部横で。
0639 第209回 PL-117	土師器 杯	99住№7・8	器54 口84 底48 ほぼ球形	砂・雲母 酸化 濃い橙	外：口縁部横で、胴部で後削り、底部で。内：口縁部横で、胴部～底部横で後削り。
0640 第209回 PL-117	土師器 埴	99住№19	器(59) 口一 底26 口縁部下～底部3/4	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部下半削り、胴部～底部横で。内：口縁部下半削り、胴部～底部で。
0641 第209回 PL-117	土師器 埴	99住№10-18、 覆土	器80 口102 底50 口縁部～底部4/5	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で後削り、胴部横で後削り、底部で。内：口縁部上半横で、下半刷毛で後削り、胴部刷毛で、底部で。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0642 第209回 PL-117	土器 器 埴	99住№1・2 ・4・6・7・ 9・12・13・ 14・16・17・ 18・20	器208 □(158) 頸114 最大(188) 底一 口縁部～底部1/2	砂・小石 酸化 橙	丸底。外：口縁部～底部刷毛などで後処理。内： 口縁部～底部刷毛などで。外面一部油埋付着。
0643 第209回 PL-117	石製 品	99住№21	長96 幅79 厚41 重407.9g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。
0644 第211回 PL-117	土器 器 杯	101住№3、覆 土	器60 □157 底48 口縁部～底部5/6	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部縦削り、底部なで。内： 口縁部横なで、胴部～底部なで。外面油埋付着。
0645 第211回 PL-117	土器 器 高 杯	101住№5・ 6、覆土	器(62) □164 底67 脚一 口縁部～底部5/6	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部～底部刷毛などで後処理。内： 口縁部刷毛などで後横なで、胴部～底部刷毛な で後処理。内外面一部油埋付着。
0646 第211回 PL-117	土器 器 埴	101住№2	器48 □(80) 底45 口縁部～底部2/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い橙	外：口縁部横なで、胴部指なで、指頭底、胴部下 端～底部刷毛などで。内：口縁部横なで、胴部～底 部指なで、指頭底。
0647 第211回 PL-117	土器 器 高 杯	101住№7	器(92) □一 底一 脚一 脚部2/3	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：脚部上半縦削り、脚部下半横削り。内： 脚部上半縦削り、脚部下半横削り。
0648 第215回 PL-117	土器 器 壺	104住覆土	器(145) □(130) 頸(114) 底一 最大(178) 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 浅黄橙	頸部貼付。外：口縁部横なで、一部巻上成・指頭 底、胴部刷毛などで。内：口縁部刷毛などで後横なで、 胴部刷毛などで、上部一部指頭底・巻上成。
0649 第215回	土器 器 壺	104住覆土	器(30) □一 底一 底(55) 最大一 胴部下端～底部1/4	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：胴部下端刷毛などで、底部縦削り。内：胴部下 端～底部刷毛などで。
0650 第197回 PL-116	羽 蓋	87住№1、覆 土	器(67) □(230) 底一 最大一 口縁部～胴部上端破片	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 明赤褐	頸部貼付。内外面口縁部～胴部上端回転なで、一 部色鉱物 酸化 明赤褐。内外面油埋付着。
0651 第200回 PL-116	土器 器 杯	89住№6・7、 覆土	器37 □137 底一 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物・雲母 酸化 ぶい橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部指なで、胴部下 端～底部縦削り。内：口縁部～胴部横なで、底部指 なで、指頭底。
0652 第200回 PL-116	土器 器 杯	89住№4	器32 □(128) 底一 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部縦削り。内： 口縁部～胴部横なで、底部なで、内面胴部下端～底 部刷毛。内外面油埋付着。
0653 第200回	土器 器 壺	89住№2	器(56) □(217) 頸(196) 底一 最大一 口縁部～胴部下端1/8	砂・赤色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部巻上成、胴部上端横削り り。内：口縁部横なで、胴部上端縦なで。
0654 第200回 PL-116	須 恵 壺	89住№5	器(105) □(152) 頸167 底一 最大一 口縁部～胴部上端4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	頸部貼付。外：口縁部横なで後、沈泥2条、波状 文2段、胴部上端比輪3条。内：口縁部横なで、 一部巻上成、胴部上端縦なで。外面一部自然なで。
0655 第208回 PL-117	土器 器 壺	88住№1、覆 土	器183 □128 頸107 底52 最大184 ほぼ完全形	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い橙	頸部貼付。最大径は胴部中央。外：口縁部上端 で、胴部黄褐色後戻り。内：口縁部横なで、胴部指 なで、一部巻上成。内外面油埋付着。
0656 第208回	土器 器 高 杯	88住№3	器(47) □(150) 底一 脚一 口縁部～胴部1/8	砂・赤色鉱物 酸化 ぶ い黄橙	外：口縁部横なで後横なで、胴部指なで後処理。内： 口縁部～胴部刷毛などで後へら磨き。
0657 第208回	土器 器 壺	88住№2	器(32) □一 底一 底(64) 最大一 胴部下端～底部1/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い黄橙	外：胴部下端～底部へら削り。内：胴部下端～底 部縦なで。内外面油埋付着。
0658 第210回 PL-117	土器 器 壺	100住野№8・ 9	器(235) □177 頸120 底一 最大(283) 口縁部～胴部1/4	砂・赤色鉱物・雲母 酸化 ぶい橙	最大径は胴部中央。頸部貼付。外：口縁部上端 横なで、口縁部刷毛などで後処理。頸部刷毛などで、 胴部縦削り。内：刷毛などで後処理。胴部刷毛な で、巻上成・指頭底。内外面油埋付着。
0659 第210回 PL-117	土器 器 埴	100住№1・4 ・5、覆土	器68 □114 頸67 底一 口縁部～底部7/8	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい橙	丸底。頸部貼付。外：口縁部刷毛などで後処理。内： 胴部～底部縦削り後処理。内：口縁部横なで後 処理。胴部～底部指なで。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種 ・器種 番号・出土状態	通称名称・遺物 番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0660 第213図 PL-117	土師器 高 杯	102住№1	胴(58) □147 底一 脚一 口縁部～底部1/1	砂・白色鉱物 酸化 にお い橙	脚部貼付。外：口縁部横なで、一部巻上坂、胴部 ～底部刷毛なで。内：口縁部横なで、胴部～底部 刷毛なで、内外面油煙付着。
0661 第219図 PL-119	土師器 罌	106住№13・14 ・17・19・20・ 32・37・39・ 41・42、覆土	器245 □118 頸94 底75 最大248 ほぼ完形	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	最大径胴部下半。頸部貼付。外：横なで、胴部刷 毛なで後磨き、一部巻上坂。内：口縁部横なで、 胴部～底部刷毛なで、巻上直線着。外面一部油煙 付着。
0662 第219図 PL-119	土師器 罌	106住№47	器153 □128 頸168 底44 最大145 ほぼ完形	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 におい橙	最大径は胴部中央。頸部貼付。外：口縁部刷毛な で後横削り、胴部～胴部刷毛なで、底部磨り、 一部巻上坂。内：口縁部刷毛なで後横なで、胴部 ～底部磨りなで、一部巻上坂、指頭痕。内外面一部 油煙付着。
0663 第219図 PL-119	土師器 罌	106住№33、覆土	器133 □(119) 頸(168) 底45 最大137 胴部下端～底部3/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	頸部貼付。外：口縁部横なで、胴部上半刷毛なで、 胴部下半刷毛なで後磨り、一部巻上坂。内：口 縁部横なで、頸部指なで、指頭痕、胴部～底部磨 りなで。
0664 第219図 PL-119	土師器 罌	106住№28	器(97) □160 頸138 底一 最大一 口縁部～胴部上半3/4	砂・白色鉱物・青銅 酸化 橙	頸部貼付。外：横なで、一部指頭痕、胴部～胴部 上半磨りなで。内：口縁部刷毛なで後横なで、胴部 上半刷毛なで、巻上直線着。内外面油煙付着。
0665 第219図 PL-119	土師器 罌	106住№12、覆土	器(80) □128 頸111 底一 最大一 口縁部～胴部上半2/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 におい橙	頸部貼付。外：口縁部刷毛なで後横なで、一部巻 上坂、胴部上半磨りなで。内：口縁部刷毛なで、胴 部上半磨りなで、一部巻上坂、指頭痕。外面油煙付 着。
0666 第220図 PL-119	土師器 罌	106住№35・36 ・38、覆土	器(90) □(240) 頸一 底一 最大一 口縁部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 青銅 酸化 におい橙	外：口縁部上半刷毛なで後磨り、口縁部中央部 状工具による環状文、口縁部下半横なで後磨り。 内：口縁部刷毛なで後磨り。内外面一部油煙付 着。
0667 第219図 PL-119	土師器 罌	106住№23・24 ・30・31	器(120) □一 頸一 底60 最大一 胴部下半～底部2/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 におい橙	外：胴部下半刷毛なで後磨り、胴部下半刷毛 なで後横削り、底部磨り。内：胴部下半～底部 刷毛なで、巻上坂。
0668 第219図 PL-119	土師器 罌	106住№44・45 ・46、覆土	器(162) □(112) 頸(98) 底一 最大148 口縁部～胴部2/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 浅黄橙	最大径胴部中央。頸部貼付。外：口縁部刷毛な で後横なで、胴部刷毛なで後磨り。内：口縁部刷 毛なで後横なで、胴部刷毛なで後磨りなで、一部巻 上坂。
0669 第219図 PL-119	土師器 罌	106住炉、覆土	器(62) □一 頸一 底37 最大一 胴部下半～底部1/2	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：胴部下半刷毛なで後磨り、底部刷毛なで後 磨りなで。内：胴部下半～底部磨りなで。内面横し、 外面一部油煙付着。
0670 第220図 PL-119	土師器 罌	106住№25、覆土	器(40) □一 頸(81) 底一 口縁部～胴部1/3	砂・白色鉱物 酸化 にお い黄橙	外：口縁部横なで、胴部上半磨り後磨り、胴 部下半磨り。内：口縁部横なで、胴部横なで後 磨り。内外面一部油煙付着。
0671 第220図 PL-119	土師器 罌	106住№8、覆土	器(96) □一 頸(84) 底28 頸部～底部1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：胴部～底部磨り。内：胴部～底部なで。
0672 第220図 PL-119	土師器 高 杯	106住覆土	器(67) □(154) 底一 脚一 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	脚部貼付。外：口縁部～胴部刷毛なで後磨り、 底部なで。内：口縁部～胴部刷毛なで後磨り。
0673 第220図 PL-119	土師器 高 杯	106住№17	器(92) □一 底一 脚一 底部～脚部2/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 切赤褐	脚部貼付。外：脚部上半刷毛なで後磨り。内： 脚部上半磨りなで、脚部下半磨りなで。
0674 第220図 PL-119	土師器 高 杯	106住№22	器(105) □一 底一 脚一 底部～脚部2/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 青銅 酸化 橙	脚部貼付。外：脚部上半なで後磨り、脚部下半 磨りなで。内：脚部上半横り、指なで、脚部下半横 なで、一部巻上坂。
0675 第220図 PL-119	石製品	106住№60	長(93) 幅87 厚55 重511.2g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。先端に凹み状痕あり。
0676 第261図 PL-121	須恵器 杯	53溝覆土	器(32) □(136) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・小石 還元 灰白	輪郭整形。内外面口縁部～胴部回転なで。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺構番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0677 第261回 PL-121	須恵器 杯	53調No.2	器(25) □一底52 胴部下半～底部2/3	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・にぶい橙	轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部回転未切。内：胴部下半～底部回転で。
0678 第261回 PL-121	土器 壺	53調覆土	器(115) □(160) 頸(136) 底一 最大一 口縁部～胴部上半1/6	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、一部巻上痕・指面痕、胴部上端横直削り、胴部上半縦直削り。内：口縁部横で、胴部横で。
0679 第261回 PL-121	鉄 滓	53調No.5、覆 土	長86 幅57 厚29 重142.4g		鉄分が含まれている。
0680 第261回 PL-121	鉄 滓	53調No.4、覆 土	長71 幅64 厚34 重198.1g		鉄分が含まれている。
0681 第261回	土器 壺	57調覆土	器(65) □(180) 頸(164) 底一 口縁部～胴部上端破片	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、一部指面痕、胴部上端横直削り。内面口縁部横で、胴部上端横で。内外面油埋付着。
0682 第261回 PL-121	灰釉陶器 椀	58調覆土	器48 □(140) 台(82) 口縁部～高台部1/3	砂 還元 灰白	轆轤整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：口縁部～底部回転で。外表面口縁部～胴部上半、内表面口縁部～胴部回転。
0683 第262回 PL-122	須恵器 杯	58調覆土	器(17) □一底72 胴部下端～底部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰黄	轆轤整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転未切。内：胴部下半～底部回転で。
0684 第261回	須恵器 壺	58調No.13	器(55) □一底(100) 胴部下半～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。外：胴部下半回転で、胴部下端～底部縦削り。内：胴部下半回転で。
0685 第261回	須恵器 杯	58調No.11	器(21) □一底68 胴部下半～底部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	轆轤整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部回転未切。内：胴部下半回転で。外表面一部自然釉。
0686 第262回 PL-121	須恵器 杯	58調No.6	器35 □108 底50 先形	砂・小石・白色鉱物 酸化 黄橙	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。内外面一部油埋付着。
0688 第262回 PL-122	須恵器 椀	58調覆土	器(48) □(140) 台一 口縁部～胴部1/8	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 にぶい橙	轆轤整形。外：口縁部に沈線一条、口縁部～胴部回転で。内：口縁部～胴部回転で。後置磨き。内黒。外面胴部刻字「日下」。
0689 第262回 PL-122	須恵器 杯	58調覆土	器(22) □一底一 胴部破片	砂・白色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。内外面胴部回転で。内面墨書「？」。
0690 第261回 PL-122	須恵器 壺	58調No.8・11 ・12・17・21・ 22・23	器(175) □304 底(156) 口縁部～底部上端2/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。外：口縁部～胴部回転で、底部で。内：口縁部～底部回転で、一部巻上痕。
0691 第262回 PL-122	鉄 滓	59調覆土	長61 幅50 厚34 重115.3g		鉄分が含まれている。
0692 第263回 PL-122	土器 高杯	66調覆土	器(33) □一胴一 胴部～胴部上端5/6	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 にぶい橙	脚部貼付。外：胴部などで後置磨き、底部～脚部上端まで。内：胴部～底部などで後置磨き。内外面一部油埋付着。
0693 第263回	土器 台付壺	66調覆土	器(36) □一 台一 底部～台部上半4/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 にぶい橙	台部貼付。外：台部上半刷毛で。内：底部横で、台部上半刷毛で、一部巻上痕。内外面油埋付着。
0694 第262回 PL-122	須恵器 杯	59調No.12、覆 土	器(27) □一底64 胴部～底部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転未切。内：胴部～底部回転で。
0695 第262回 PL-122	須恵器 杯	59調No.2、覆 土	器37 □(140) 底(82) 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、胴部下端～底部回転削り。内：口縁部～底部回転で。
0696 第262回 PL-122	須恵器 皿	59調No.9	器24 □(136) 台110 胴部～高台部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転未切。後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・構成・色調	器形・技法の特徴
0697 第262回 PL-122	須恵器 碗	59測№19	器(40) 口一 台74 口縁部～高台部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：胴部～底部回転で。
0698 第262回 PL-122	須恵器 杯	59測№14	器37 口136 底78 口縁部～底部2/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、胴部下端～底部上端回転削り、底部回転で。内：口縁部～底部回転で。内外面に一部油煙付着。
0699 第262回 PL-122	須恵器 碗	59測№8	器(51) 口(170) 台一 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で後旋削り、底部回転後高台貼付。内：胴部～底部旋削り。内黒。
0700 第262回 PL-122	須恵器 杯	59測覆土	器(26) 口(125) 底一 口縁部～高台部上端 1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0701 第262回 PL-122	須恵器 杯	59測№18、覆 土	器31 口126 底73 口縁部～底部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後、上半回転削り。内：口縁部～底部回転で。外面黒し。
0702 第262回 PL-122	須恵器 杯	59測№6	器(30) 口一 底84 胴部～底部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転削り。内：胴部～底部回転で。
0703 第262回 PL-122	須恵器 碗	59測№29	器68 口156 台82 口縁部～高台部4/5	砂・小石・白色鉱物・雲 母 酸化 橙	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で、胴部下端回転削り、底部高台貼付後回転で。内：口縁部～底部旋削り。内外面一部油煙付着。
0704 第262回 PL-122	須恵器 杯	59測№3	器35 口114 底50 ほぼ完形	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい橙	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転削り。内：口縁部～底部回転で。
0705 第262回 PL-122	須恵器 杯	59測№7、覆 土	器34 口112 底46 口縁部～底部2/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後、口縁部～底部回転で。内外面油煙付着。
0706 第262回 PL-122	斐 器	59測№28	器(136) 口(210) 底(190) 底一 口縁部～胴部上半1/3	砂・小石・白色鉱物・雲 母 酸化 にぶい赤褐	輪軸整形。右回転。外：胴部横で、胴部上半で、一部巻上板。内：口縁部横で、胴部上半で。外面油煙付着。
0707 第262回 PL-122	須恵器 杯	59測覆土	器36 口(130) 底(65) 口縁部～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後、口縁部～底部回転で。内外面一部油煙付着。
0708 第262回 PL-122	須恵器 杯	58測覆土	器(29) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/4	砂 酸化 浅黄橙	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転で。
0709 第262回 PL-122	須恵器 杯	58測覆土	器(28) 口(110) 底(53) 一 口縁部～底部1/6	砂・小石 酸化 浅黄橙	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後、口縁部～底部回転で。
0710 第261回	須恵器 碗	58測覆土	器(26) 口一 台(92) 胴部～高台部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 にぶい橙	輪軸整形。外：胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：胴部～底部回転で。
0711 第292回 PL-123	羽 蓋	122坑№2・3・ 4・5・7・ 8・9・10・ 11・12・14・ 15・16・17・ 18・22	器(204) 口(210) 底(75) 最大(282) 口縁部～底部1/3	砂・小石・赤色鉱物・雲 母 酸化 橙	最大径は胴部上半、胴部貼付。外：口縁部回転で、一部巻上板、胴部削り。内：口縁部～胴部回転で、一部巻上板。内外面油煙付着。
0712 第293回 PL-124	須恵器 杯	162坑覆土	器38 口(132) 底(80) 一 口縁部～底部2/3	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・灰黄	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、胴部下端回転削り、底部回転後、上半回転削り。内：口縁部～底部回転で。内面底部刻字「日下」。
0713 第361回 PL-125	土師器 斐	18区黄土	器(158) 口(220) 底(202) 最大(230) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横で、一部指頭頂、胴部上半横削り、胴部下半旋削り。内：口縁部横で、一部指頭頂、胴部横で、一部巻上板。外面油煙付着。
0714 第361回 PL-125	土師器 斐	18区黄土	器(93) 口(235) 底(206) 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横で、一部指頭頂、胴部上端横削り。内：口縁部横で、胴部上端横削り。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(m)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0715 第217回 PL-118	土師器 高杯	105住№4・ 66、覆土	器(117) □146 脚一 口縁部～脚部上平5/6	砂・白色胎物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部～脚部刷毛なで後処理磨き。 内：口縁部横なで、胴部～脚部刷毛なで後処理磨き、 脚部横なで。内外面一部油煙付着。
0716 第217回 PL-119	土師器 高杯	105住№44	器(63) □156 脚一 口縁部～脚部上端1/1	砂・白色胎物 酸化 ぶい 橙	外：口縁部～脚部刷毛なで後処理磨き、底部なで後 処理磨き。内：口縁部～脚部刷毛なで後処理磨き。内 外面一部油煙付着。
0717 第217回 PL-118	土師器 高杯	105住№13、覆 土	器(118) □一 脚135 脚部5/6	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 ぶい橙	外：脚部なで後処理磨き。内：脚部上半横なで、脚 部下半刷毛なで。
0718 第217回 PL-119	土師器 高杯	105住№24・28 ・53・57、覆 土	器(69) □170 脚一 口縁部～脚部上端2/3	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 橙	脚部貼付。外：口縁部横なで、胴部～脚部上半な で。内：口縁部横なで、胴部～底部なで。
0719 第217回 PL-119	土師器 高杯	105住覆土	器(94) □一 脚一 底部～脚部3/4	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 橙	脚部貼付。外：底部～脚部上端なで、胴部なで後 処理磨き。内：底部なで、脚部横なで、巻上直が残 る。
0720 第217回 PL-119	土師器 高杯	105住№80	器(90) □一 脚一 底部～脚部3/4	砂・小石・白色胎物 酸化 橙	脚部貼付。外：脚部上半刷毛なで後処理磨き。内： 底部刷毛なで。内：脚部上半横なで、脚部下半刷毛な で。
0721 第217回	土師器 高杯	105住№43	器(72) □一 脚一 底部～脚部上半3/4	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 橙	脚部貼付。外：なで後処理磨き。内：底部なで、脚 部上半横なで。
0722 第217回	土師器 高杯	105住№40	器(56) □144 脚一 口縁部～底部1/4	砂・白色胎物 酸化 ぶい 黄橙	脚部貼付。外：口縁部横なで、胴部上半なで後 処理磨き。胴部下半～底部横置削り。内：口縁部横な で、胴部～底部なで。
0723 第217回 PL-118	土師器 高杯	105住№9・ 39、掘№87	器(50) □(142) 脚一 口縁部～底部1/3	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 橙	内外面刷毛なで後処理磨き。一部油煙付着。
0724 第217回	土師器 高杯	105住№81	器(80) □一 脚一 底部～脚部上半1/1	砂・赤色胎物 酸化 橙	脚部貼付。外：底部なで、脚部上半なで後処理磨き。 内：底部なで後処理磨き、脚部上半横なで。
0725 第217回	土師器 高杯	105住№21	器(43) □(170) 脚一 口縁部～底部1/8	砂・赤色胎物 酸化 明赤 褐	内外面口縁部～底部なで。その他は磨盤が充てて いるため観察不能。
0726 第217回 PL-118	土師器 埴	105住№2、覆 土	器54 □113 底35 口縁部～底部4/5	砂・白色胎物 酸化 明赤 褐	外：口縁部～胴部なで後処理磨き、口縁部下端～胴 部上端刷毛目、胴部下端～底部削り。内：口縁 部～底部刷毛なで後処理磨き。内外面一部油煙付着。
0727 第217回 PL-118	土師器 埴	105住№5	器(50) □123 底一 口縁部2/3	砂 酸化 ぶい橙	内外面口縁部刷毛なで後横なで。
0728 第217回 PL-118	土師器 埴	105住№64、覆 土	器(40) □122 底一 口縁部5/6	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 橙	内外面口縁部横なで後処理磨き。
0729 第217回 PL-118	土師器 埴	105住覆土	器(51) □(140) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色胎物 酸化 ぶい 橙	頸部貼付。外：口縁部刷毛なで後処理磨き、胴部上 端なで。内：刷毛なで後処理磨き、一部接合板。
0730 第217回 PL-118	土師器 壺	105住№42、覆 土	器174 □130 頸106 最大162 底45 ほぼ完形	砂・小石 酸化 明赤褐	外：口縁部上半横なで、口縁部下半～胴部上半刷 毛目、胴部下半削り。内：口縁部～底部刷毛な で。内外面に多量の油煙付着。
0731 第216回 PL-118	土師器 壺	105住№20・28 ・30・40・49・ 69、覆土	器(163) □151 頸135 底一 最大242 胴部～胴部上半3/4	砂・白色胎物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、頸部～胴部上端刷毛なで、胴 部上半横置削り。内：口縁部刷毛なで、胴部横な で・刷毛なで。内外面油煙付着。
0732 第217回 PL-118	土師器 壺	105住№33・34 ・35・39・41・ 43、覆土	器(180) □166 頸128 底一 最大194 口縁部～胴部5/6	砂・小石・赤色胎物 酸化 明赤褐	外：口縁部刷毛なで、胴部上半斜め削り、胴部 下半削り削り、一部刷毛目。内：口縁部刷毛なで、 胴部なで。外面一部油煙付着。
0733 第217回 PL-118	土師器 壺	105住№73、覆 土	器(45) □(156) 頸(125) 底一 最大一 口縁部～胴部上端1/2	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 橙	頸部貼付。外：口縁部刷毛なで後横なで、胴部上 端刷毛なで。内：口縁部刷毛なで、胴部上端なで。 内外面一部油煙付着。
0734 第216回	土師器 壺	105住№65、覆 土	器(43) □(120) 頸(102) 底一 最大一 口縁部～胴部上端1/3	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 橙	頸部貼付。外：口縁部刷毛なで後横なで、頸部～胴 部上端刷毛なで。内：口縁部横なで、一部巻上直、 胴部上端なで。内面油煙付着。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種類・器種	透視名称・透視番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0735 第216回	土師 罎	105往No.10	器(56) 口(128) 頸(108) 底一 最大一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 明赤褐色	外：口縁部横なで、胴部刷毛なで後横なで、胴部上端横削り。内：口縁部刷毛なで後横なで、胴部上端横なで。内外面油塗付着。
0736 第217回	土師 罎	105往No.90、覆土	器(46) 口(160) 頸(134) 底一 最大一 口縁部～胴部上端1/3	砂・白色鉱物・雲母 にぶい橙	外：口縁部刷毛なで後横なで、胴部上端刷毛なで、内：口縁部刷毛なで後横なで、内外面油塗付着。
0737 第216回 PL-118	土師 罎	105往No.16-18 ・23・39・48・ 50・51・52、 覆土	器(148) 口198 頸143 底一 最大(246) 口縁部～胴部上半3/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	頸部貼付。最大径は胴部上半。外：口縁部刷毛なで後横なで、頸部～胴部上端刷毛なで、胴部上半横削り。内：口縁部～胴部上半刷毛なで、胴部上半一部巻上痕・指頭痕。内外面一部油塗付着。
0738 第217回 PL-118	土師 罎	105往No.19-27 ・28・31・37・ 38・39・40・ 41・47・62・ 67・79・84・ 85、覆土	器278 口188 頸146 底52 底269 口縁部～底部3/4	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	頸部貼付。最大径は胴部下半。外：口縁部横なで、胴部横削り後刷毛なで、一部巻上痕。内：口縁部横なで、胴部横なで、一部巻上痕・指頭痕。内外面一部油塗付着。
0739 第217回 PL-118	土師 罎	105往No.70・ 72・76・77、 覆土	器217 口(118) 頸(102) 底(80) 底(225) 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 赤褐色	最大径胴部中央。外：口縁部刷毛なで後横なで、頸部貼付、胴部上半～胴部中央刷毛なで後横なで、巻上痕。胴部下半横削り。内：口縁部横なで、胴部横なで後横なで、巻上痕顯著、指頭痕。内外面一部油塗付着。
0740 第217回 PL-118	土師 罎	105往No.6、覆 土	器(61) 口(206) 頸一 底一 最大一 口縁部1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 にぶい橙	外：口縁部横なで、口縁部刷毛なで後横なで、胴部刷毛なで。内：口縁部上半横なで、口縁部下半刷毛なで後横なで、内外面一部油塗付着。
0741 第263回 PL-122	須 志 罎	60測No.1	器36 口128 底58 口縁部～底部5/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～胴部回転なで。
0742 第353回 PL-125	土師 罎	19区水田No.31 ・43・45	器(71) 口118 頸(76) 底一 最大一 口縁部～胴部上端2/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 にぶい黄橙	頸部貼付。外：口縁部上半横なで、口縁部下半刷毛なで、胴部上端刷毛なで後横なで。内：口縁部上半横なで、口縁部下半刷毛なで後横なで、胴部上端横なで、巻上痕。内外面油塗付着。
0743 第353回 PL-125	土師 罎	19区水田No.2 ・33・39	器(71) 口(134) 頸(114) 底一 最大一 口縁部～胴部上半1/3	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 橙	頸部貼付。外：口縁部横なで、胴部上端刷毛なで、胴部上半横削り。外：口縁部横なで、胴部横なで、一部巻上痕。
0744 第353回	土師 罎	19区水田No.16 ・23・28・35・ 42	器(145) 口一 頸(112) 底一 最大一 口縁部下半～胴部1/6	砂・小石・白色鉱物 酸化 にぶい橙	頸部貼付。外：口縁部下半横なで、胴部刷毛なで。内：口縁部横なで、胴部横なで。
0745 第293回 PL-124	石製 品 砥 石	192坑No.1	長(83) 幅59 厚23 重197.0g	雑質粘板岩	使用面は4面。
0746 第293回	須 志 罎	161坑覆土	器(38) 口(150) 台一 口縁部～胴部1/6	砂・白色鉱物 酸化 橙	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転なで後横削り。内面。
0747 第293回	須 志 罎	154坑No.1	器(32) 口一 台(74) 胴部～高台部2/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 にぶい橙	輪軸整形。外：胴部回転なで、底部高台貼付後回転なで。内：胴部～底部回転なで後横削り。内外面一部油塗付着。
0748 第293回	須 志 罎	159坑No.1	器(9) 口一 底(56) 胴部下端～底部2/5	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：胴部下端回転なで、底部回転糸切。内：胴部下端～底部回転なで。
0749 第361回 PL-126	土師 罎 高 杯	18区表土	器(70) 口(194) 胴一 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 明赤褐色	頸部貼付。外：口縁部横なで後横削り、胴部～底部なで後横削り。内：口縁部横なで後横削り、胴部～底部横削り。内外面一部油塗付着。
0750 第353回	土師 罎	19区水田No.1 ・11 胴部下端～底部4/5	器(31) 口一 頸一 底51 胴部下端～底部4/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 浅黄橙	外：胴部下端～底部上半刷毛なで。内：胴部下端～底部横なで。内面胴部下端～底部横なで。
0751 第361回 PL-125	土師 罎	18区表土	器(29) 口一 頸116 底一 最大一 口縁部～胴部上端3/5	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 にぶい黄橙	頸部貼付。外：口縁部刷毛なで後上半横なで、胴部上端刷毛なで。内：口縁部刷毛なで後横なで、胴部上端なで、巻上痕・指頭痕。
0752 第361回 PL-125	土師 罎	18区表土	器(125) 口一 頸110 底一 口縁部下半～胴部上半 3/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 にぶい橙	頸部貼付。外：口縁部下半、刷毛なで後横なで、胴部上半刷毛なで後横削り。内：口縁部下半刷毛なで後横なで、胴部上半刷毛なで後横なで、一部巻上痕・指頭痕。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0753 第361図 PL-125	土師器 杯	18区表土	器34 □141 底一 口縁部～底部3/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部寛削り。内：口縁部～胴部横なで、底部なで、一部指頭痕。内外面一部油懸付着。
0754 第361図 PL-125	土師器 杯	18区表土	器35 □(140) 底一 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	丸底。外：口縁部横なで、胴部なで、底部寛削り。内：口縁部～胴部横なで、一部指頭痕、底部なで。内外面油懸付着。
0755 第361図 PL-126	須恵器 杯	18区表土	器34 □(114) 底80 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転未切後上半回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0756 第366図 PL-130	土製品 羽口	18区表土	長(94) 径(70) 孔径(24)	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外面削削り後なで。
0757 第366図 PL-130	土製品 羽口	18区表土	長(40) 径(70) 孔径(25)	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	外面なで。
0758 第366図 PL-131	石製品 石臼	18区表土	径(300) 厚83 重297.6g	粗粒輝石安山岩	上臼。
0759 第64図 PL-97	須恵器 椀	30住No.12	器(37) □(130) 台一 口縁部～台部上端1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい橙	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転未切後高台貼付。内：口縁部～底部回転なで、内面油懸付着。
0760 第64図 PL-97	須恵器 椀	30住No.16	器(41) □一 台(82) 胴部～台部1/1	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 にぶい黄橙	轆轤整形。外：胴部回転なで、底部高台貼付後回転なで。内：胴部～底部回転なで、内面油懸付着。
0761 第64図	須恵器 盤	30住No.14	器(20) □一 台一 胴部下平～高台部上半 1/8	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰白にぶい黄橙	轆轤整形。外：胴部下平回転なで、底部高台貼付後なで。内：胴部下平～底部回転なで。
0762 第64図 PL-97	須恵器 椀	30住No.22、覆 土	器52 □(136) 台(92) 口縁部～高台部2/5	砂・白色鉱物 酸化 灰黄 褐	轆轤整形。外：口縁部～胴部回転なで後尻磨き、底部高台貼付後なで、内：口縁部～底部上端回転なで後尻磨き。全面焼し。
0763 第64図 PL-97	土師器 甕	30住No.21	器(160) □(280) 頸(275) 底一 口縁部～胴部上半1/4	砂・小石・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、口縁部横なで、胴部上端横削り。胴部上半削削り。内：口縁部横なで、胴部上半寛なで。内外面一部油懸付着。
0764 第64図	須恵器 壺	30住No.18・19 ・20	器(40) □一 頸一 底(160) 胴部下端～底部1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	内外面胴部下端削りなで、底部なで。
0765 第66図 PL-97	須恵器 杯	31住No.1	器37 □130 台76 口縁部～底部5/6	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 半還元 灰白に ぶい橙	轆轤整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで根底部回転削削り。内：口縁部～底部回転なで。外面口縁部～胴部に線刻。
0766 第66図	土師器 高杯	31住覆土	器(25) □一 脚(98) 脚部下平1/2	砂・白色鉱物 酸化 橙	内外面脚部下平横なで、一部油懸付着。
0767 第66図	須恵器 甕	31住覆土、電 線	器(60) □(162) 頸(142) 底一 口縁 部下平～胴部上端1/8	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部上端横削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで。内面一部油懸付着。
0768 第66図 PL-97	石製品	31住No.16	長139 幅132 厚34 重746.4g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。台石?
0769 第66図 PL-97	土師器 甕	32住No.12・30 ・36・38・53・ 56・76、覆土	器(228) □226 頸187 底一 口縁部～胴部4/5	砂・小石・白色鉱物・雲 母 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部巻上端、胴部上半横削り。胴部下半削削り。内：口縁部横なで、胴部寛なで。内外面油懸付着。
0770 第69図 PL-98	土師器 甕	32住No.83、覆 土、電No.3・ 5・7、覆電	器(130) □一 頸(166) 底一 口縁部下平～ 胴部上半1/3	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部下平横なで、胴部上半横削り。内：口縁部横なで、胴部上半寛なで。内外面一部油懸付着。
0771 第68図 PL-97	土師器 甕	32住No.52・68	器(60) □(200) 頸(160) 底一 口縁 部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端横削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで。
0772 第68図 PL-97	土師器 杯	32住No.39・41 ・73、覆土	器(35) □138 底一 口縁部～底部2/5	砂・白色鉱物 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部削削り。内：口縁部～胴部横なで、底部なで、一部指頭痕。



第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺構式名・遺構番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0773 第684図 PL-98	土師器 杯	32住№26、覆土	器(29) □(126) 底一 口縁部～底部1/5	砂・白色鉱物 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部鋭削り。内：口縁部～胴部横なで、底部なで、一部指頭状。
0774 第695図 PL-98	須恵器 杯	32住№32	器(35) □(140) 底(88) 口縁部～底部上端1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部上端回転削り。内：口縁部～底部上端回転なで。
0775 第684図 PL-97	土師器 杯	32住№18・50	器27 □(132) 底一 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にふい赤褐	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部鋭削り。内：口縁部横なで、胴部～底部なで、一部指頭状。内外面油煙付着。
0776 第695図	須恵器 杯	32住№5、覆土	器43 □(140) 底(86) 口縁部～底部1/5	砂・赤色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転なで、内：口縁部～底部回転なで。
0777 第684図	土師器 杯	32住№37	器(26) □(130) 底一 口縁部～底部上半1/6	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部～底部上半削り。内：口縁部横なで、胴部～底部上半なで、一部指頭状。
0778 第684図	土師器 杯	32住覆土	器(25) □(144) 底一 口縁部～胴部1/8	砂・雲母 酸化 にふい橙	外：口縁部横なで、胴部鋭削り。内：口縁部～胴部横なで。
0779 第695図 PL-98	土製品 鉢	32住№19	長44 径11 孔3 重4.7g 兎形	砂・白色鉱物 酸化 黒褐	全面磨し。中心部に径3mmの穿孔。
0780 第695図 PL-98	石製品 砥石	32住№22	長96 幅77 厚32 重468.5g	粗粒輝石安山岩	使用面は5面。
0781 第695図 PL-97	土師器 壺	32住№3・24 ・30・31・33・ 55、覆土	器(245) □209 頸169 底一 口縁部～胴部3/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部～頸部横なで、一部巻上痕、胴部上半横削り、胴部下半縦削り。内：口縁部横なで、胴部横なで、内外面一部油煙付着。
0782 第695図 PL-97	土師器 壺	32住№23・28 ・35・46・48・ 59・79・80、 覆土	器(252) □213 頸178 底一 口縁部～胴部3/4	砂・白色鉱物 酸化 赤褐	外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上半横削り、胴部下半縦削り。内：口縁部横なで、一部指頭状、胴部横なで、一部巻上痕、外面油煙付着。
0783 第695図 PL-98	土師器 壺	32住№1・3 ・9・78、覆土	器(193) □218 頸182 底一 口縁部～胴部3/5	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上半横削り、胴部下半縦削り。内：口縁部横なで、胴部横なで、一部巻上痕・指頭状。内外面油煙付着。
0784 第695図	須恵器 杯	32住№63	器35 □148 底106 ほぼ完形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0785 第695図 PL-98	須恵器 杯	32住№34	器36 □(132) 底78 口縁部～底部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り後上半回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0786 第695図 PL-98	須恵器 杯	32住№42・43、 覆土、電	器43 □(138) 底65 口縁部～底部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、胴部下半回転削り、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0787 第684図 PL-98	須恵器 蓋	32住№4、覆土	器(20) □(154) 横一 天井部～口縁部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰黄	輪軸整形。外：天井部上半回転削り、天井部下半～口縁部回転なで。内：天井部～口縁部回転なで。外面一部油煙付着。
0788 第695図 PL-98	須恵器 蓋	32住№11・14、 覆土	器32 □154 横44 天井部～口縁部4/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。横部貼付。外：天井部上半回転削り、天井部下半～口縁部回転なで。内：天井部～口縁部回転なで。
0789 第728図 PL-98	須恵器 杯	33住Ⅰ№1	器(33) □(154) 底(106) 口縁部～胴部1/3	砂・白色鉱物 半還元 灰 褐・にふい橙	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0790 第728図 PL-98	須恵器 杯	33住Ⅰ№1	器(37) □(150) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 酸化 灰褐	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転なで。
0791 第728図 PL-98	須恵器 杯	33住Ⅰ№41・46	器36 □98 底48 口縁部～胴部4/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転削り。内：口縁部～底部回転なで。
0792 第728図 PL-98	土師器 杯	33住Ⅰ№43・44、 覆土	器34 □(150) 底一 口縁部～底部1/4	砂・小石 酸化 にふい赤 褐	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部削り。内：口縁部～胴部横なで、一部指頭状、底部なで。外面底部磨削。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0793 第72図 PL-98	土器 器杯	33住No.46、覆土	器(25) 口(130) 底一 口縁部～底部1/4	砂・白色胎物 酸化 明赤 褐	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部直削り。内： 口縁部～胴部横なで、底部なで。
0794 第72図 PL-98	土器 器杯	33住No.42	器(51) 口(164) 底(165) 口縁部～底部1/4	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部～底部直削り。内：口縁 部～胴部横なで、底部なで。
0795 第72図 PL-98	土器 器杯	33住No.46、覆 土、竈	器(31) 口(140) 底一 口縁部～底部上端1/4	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部～底部上端削り。内： 口縁部横なで、胴部～底部上端なで。内：口縁部 ～胴部横なで、底部なで、一部指頭状。
0796 第72図	土器 器杯	33住No.2	器(31) 口(136) 底一 口縁部～胴部1/5	砂・白色胎物 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部直削り。口縁部～胴部横 なで。
0797 第72図 PL-99	石製品	33住No.1	長132 幅71 厚37 重534.4g	チャート	自然石。
0798 第72図 PL-99	石製品	33住No.28	長126 幅60 厚31 重363.3g	チャート	自然石。
0799 第72図 PL-99	石製品	33住No.30	長124 幅57 厚31 重369.7g	チャート	自然石。
0800 第72図 PL-99	石製品	33住No.2	長100 幅41 厚33 重235.5g	チャート	自然石。
0801 第72図 PL-99	石製品	33住No.25	長121 幅56 厚38 重378.8g	チャート	自然石。
0802 第72図 PL-99	石製品	33住No.32	長124 幅58 厚42 重361.6g	砂岩	自然石。
0803 第72図 PL-99	石製品	33住No.23	長138 幅65 厚63 重679.8g	溶結凝灰岩	自然石。
0804 第72図 PL-99	石製品	33住No.40	長134 幅63 厚41 重477.8g	チャート	自然石。
0805 第72図 PL-99	石製品	33住No.20	長100 幅51 厚36 重318.1g	チャート	自然石。
0806 第72図 PL-99	石製品	33住No.36	長106 幅71 厚36 重327.5g	溶結凝灰岩	自然石。
0807 第73図 PL-99	石製品	33住No.34	長121 幅61 厚51 重350.6g	チャート	自然石。
0808 第73図 PL-99	石製品	33住No.14	長134 幅47 厚32 重317.5g	チャート	自然石。
0809 第73図 PL-99	石製品	33住No.37	長111 幅64 厚47 重397.6g	チャート	自然石。
0810 第73図 PL-99	石製品	33住No.24	長105 幅64 厚28 重323.6g	チャート	自然石。
0811 第73図 PL-99	石製品	33住No.15	長104 幅51 厚31 重313.0g	チャート	自然石。
0812 第73図 PL-99	石製品	33住No.13	長110 幅58 厚43 重434.3g	チャート	自然石。

第III章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0813 第738回 PL-99	石製品	33住No.36	長138 幅50 厚51 重509.6g	チャート	自然石。
0814 第738回 PL-99	石製品	33住No.22	長140 幅59 厚50 重509.4g	チャート	自然石。
0815 第738回 PL-99	石製品	33住No.16	長146 幅72 厚31 重509.9g	チャート	自然石。
0816 第738回 PL-99	石製品	33住No.29	長121 幅61 厚38 重430.3g	チャート	自然石。
0817 第738回 PL-99	石製品	33住遺No.6	長128 幅50 厚38 重400.4g	ホルンフェルス	自然石。
0818 第738回 PL-99	石製品	33住No.4	長152 幅56 厚44 重531.5g	チャート	自然石。
0819 第738回 PL-99	石製品	33住No.9	長121 幅61 厚29 重310.9g	砂岩	自然石。
0820 第738回 PL-99	石製品	33住No.33	長109 幅54 厚30 重305.8g	チャート	自然石。
0821 第738回 PL-99	石製品	33住遺No.4	長94 幅46 厚43 重323.7g	溶結凝灰岩	自然石。
0822 第738回 PL-100	石製品	33住No.12	長123 幅70 厚37 重434.7g	砂岩	自然石。
0823 第738回 PL-100	石製品	33住No.10	長134 幅71 厚65 重965.1g	溶結凝灰岩	自然石。
0824 第738回 PL-100	石製品	33住No.26	長114 幅55 厚34 重301.8g	チャート	自然石。
0825 第738回 PL-100	石製品	33住遺No.3	長96 幅69 厚46 重446.7g	溶結凝灰岩	自然石。
0826 第738回 PL-100	石製品	33住遺No.5	長92 幅47 厚38 重254.7g	チャート	自然石。
0828 第74回 PL-100	石製品	33住No.21	長153 幅69 厚41 重550.9g	チャート	自然石。
0829 第74回 PL-100	石製品	33住No.19	長124 幅64 厚39 重552.2g	チャート	自然石。
0830 第74回 PL-100	石製品	33住No.38	長96 幅72 厚43 重417.2g	砂岩	自然石。
0831 第74回 PL-100	石製品	33住No.17	長113 幅64 厚48 重368.5g	チャート	自然石。
0832 第74回 PL-100	石製品	33住No.18	長110 幅63 厚46 重412.1g	チャート	自然石。
0833 第74回 PL-100	石製品	33住No.3	長(108)幅74 厚44 重432.3g	チャート	自然石。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺積番号・出土状態	計測値 (mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0834 第74回 PL-100	石製 品	33住No.29	長113 幅66 厚29 重367.5g	チャート	自然石。
0835 第74回 PL-100	石製 品	33住No.27	長99 幅54 厚17 重155.2g	輝緑凝灰岩	自然石。
0836 第74回 PL-100	石製 品	33住No.5	長85 幅53 厚41 重251.2g	チャート	自然石。
0837 第74回 PL-100	石製 品	33住No.35	長60 幅44 厚43 重171.5g	チャート	自然石。
0838 第74回 PL-100	石製 品	33住No.7	長77 幅43 厚40 重140.9g	溶結凝灰岩	自然石。
0839 第74回 PL-100	石製 品	33住No.11	長78 幅35 厚25 重119.6g	チャート	自然石。
0840 第74回 PL-100	石製 品	33住No.13	長98 幅33 厚23 重111.6g	チャート	自然石。
0841 第76回 PL-100	須恵器 椀	34住No.6・9 ・10・11・12、 覆土	器43 □134 台94 胴部下端～高台部4/5	砂・小石・白色鉱物 灰白	罐體整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部高台貼付後回転で。内：口縁部～底部回転 で。
0842 第76回 PL-100	須恵器 杯	34住No.5、覆、 33住No.45	器39 □(140) 底80 口縁部～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 半透 元 灰白・にぶい黄橙	罐體整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転後上端回転削り。内：口縁部～胴 部回転で。
0843 第76回 PL-100	須恵器 蓋	34住No.6・15 ・16・17、覆 土	器(30) □200 揃一 天井部～口縁部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	罐體整形。外：天井部上半回転削り、天井部下 半～口縁部回転で。内：天井部～口縁部回転 で。
0844 第76回 PL-100	須恵器 杯	34住覆土	器(33) □(110) 底(70) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	罐體整形。外：口縁部～胴部回転で後置磨き、 胴部下端～底部回転削り。内：口縁部～胴部 回転で後置磨き。内外面磨し。
0845 第76回 PL-100	土器 器	34住No.4・14	器(60) □(230) 頸(188) 底一 口縁部 下半～胴部上端1/6	砂・小石・白色鉱物 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上端横削り。 内：口縁部横で、胴部上端で、一部指頭 痕。外面油煙付着。
0846 第76回 PL-100	土器 器	34住覆土	器(25) □(120) 底一 口縁部～底部1/5	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部～底部削り。内：口縁 部～胴部横で、底部で。
0847 第69回 PL-98	土製 品	32住覆土	長(28) 径10 孔3 重3.0g 1/2	砂・白色鉱物 酸化 黒褐	全面磨し。中心部縦に径3mmの穿孔。
0848 第69回 PL-98	土製 品	32住覆土	長(38) 径10 孔3 重3.7g 2/3	砂・白色鉱物 酸化 黒褐	両端欠。全面磨し。中心部縦に径3mmの穿孔。
0849 第69回 PL-98	土製 品	32住覆土	長(38) 径12 孔2.5 重5.3g 3/4	砂・白色鉱物 酸化 黒褐	全面磨し。中心部縦に径2.5mmの穿孔。
0850 第69回 PL-98	土製 品	32住覆土	長39 径10 孔2.5 重3.9g 完形	砂・白色鉱物 酸化 にぶ い黄橙	中心部縦に径2.5mmの穿孔。
0851 第79回 PL-101	須恵器 蓋	35住No.25、覆 土	器(34) □一 揃一 胴部下端～天井部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	罐體整形。胴部貼付。外：天井部上半回転削り、 天井部下半回転で。内面：天井部回転で。
0852 第79回 PL-101	須恵器 椀	35住No.3	器56 □(180) 台(96) 口縁部～高台部1/6	砂・白色鉱物 還元 灰	罐體整形。外：口縁部～胴部上半回転で、胴部 下半回転削り、底部高台貼付後回転で。内： 口縁部～底部回転で。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0853 第798 PL-101	須恵 鉢 拵	35住№23	器(57) 口一 底41 胴部下平～底部4/5	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 未切。内：胴部～底部回転などで。
0854 第798 PL-101	土製 品 鉢	35住覆土	長(35) 径10 孔3 重2.9g 4/5	砂・白色胎物 酸化 っぽい黄褐色	片端欠。中心部縦に径3mmの穿孔。
0855 第798 PL-101	石製 品	35住№30	長187 幅177 厚63 重2893.1g	粗粒輝石安山岩	周囲は磨れている。
0856 第798 PL-101	石製 品 砥石	35住№26	長(82)幅43 厚32 重113.8g	砥沢石	使用面は6面。欠けた後、両端を使用している。
0857 第798 PL-101	石製 品	35住№2	長105 幅37 厚60 重162.4g	砂岩	自然石。
0858 第798 PL-101	石製 品	35住№1	長116 幅52 厚27 重259.2g	溶結凝灰岩	自然石。
0859 第798 PL-101	土器 器 甕	35住№66、覆 土	器(195) □220 頸186 底一 口縁部～胴部3/4	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指痕あり、胴部上 半横置削り、胴部下平置削り。内：口縁部横な で、胴部横などで、一部巻上痕。内外面油煙付着。
0860 第798 PL-101	土器 器 甕	35住№1・2 ・4・10・11・ 12・13・16・ 18・20、覆土	器(210) □(230) 頸(186) 底一 口縁部～胴部3/5	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指痕あり、胴部上 半横置削り、胴部中央～下半横置削り。内：口縁 部横などで、胴部横などで、一部巻上痕。内外面油煙 付着。外面胴部上端刻字「大」。
0861 第798 PL-100	土器 器 甕	35住№6、覆 土	器(66) □(232) 頸(193) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指痕あり、胴部上 端横置削り。内：口縁部横などで、胴部上端横な で、内外面油煙付着。
0862 第798 PL-101	土器 器 甕	35住№6・24	器(101) □(188) 頸(165) 底一 口縁部～胴部上半1/4	砂・白色胎物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指痕あり、胴部上 半横置削り。内：口縁部横などで、胴部上半平で、 一部指痕あり。
0863 第798 PL-100	土器 器 甕	35住覆土	器(71) □(194) 頸(164) 底一 口縁部～胴部上端1/5	砂・白色胎物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指痕あり、胴部上 端横置削り。内：口縁部横などで、胴部上端横な で、内外面一部油煙付着。
0864 第798 PL-101	土器 器 甕	35住覆土	器(67) □(200) 頸(162) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色胎物・酸化・雲 母 橙	外：口縁部横などで、一部巻上痕・指痕あり、胴部上 端横置削り。内：口縁部横などで、胴部上端横な で、一部指痕あり。内外面一部油煙付着。
0865 第798 PL-101	土器 器 甕	35住№6、覆 土	器(88) 口一 頸一 底53 胴部下平～底部2/3	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 明赤褐色	外：胴部下半横置削り、底部横削り。内：胴部下 平～底部横などで、内外面油煙付着。
0866 第798 PL-101	土器 器 甕	35住№3・8、 №5、覆土	器(226) □(208) 頸(176) 底一 口縁部～胴部1/3	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 明赤褐色	外：口縁部横などで、一部巻上痕・輪軸痕、胴部上 端横置削り、胴部中央斜め削り、胴部下半横置 削り。内：口縁部横などで、胴部横などで、一部巻上 痕、指痕あり。内外面油煙付着。
0867 第798 PL-101	土器 器 甕	35住№3・14 ・15・35、覆 土	器(220) 口一 頸一 底一 胴部～底部1/2	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 赤褐色	外：胴部斜め削り、一部巻上痕、底部横削り。 内：胴部～底部横などで、一部巻上痕。外面油煙付 着。
0868 第828 PL-102	須恵 器 杯	36住№8・9、 覆土	器56 □(170) 底(90) 口縁部～底部1/8	砂・赤色胎物 酸化 っぽい 赤褐色	輪軸整形。外：口縁部～底部回転などで、底部回転 削り。内：口縁部～底部回転などで後削り。内 底。
0869 第828 PL-102	須恵 器 杯	36住覆土	器(32) □(140) 底一 口縁部～胴部1/6	砂・白色胎物・赤色胎物 還元 灰白	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転などで、外面口 縁部～胴部側書「王」。
0870 第828	須恵 器 杯	36住覆土	器(18) 口一 底(80) 胴部下平～底部1/4	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 っぽい橙	輪軸整形。外：胴部下半回転などで、底部回転削 り。内：胴部下半～底部回転などで。
0871 第828	土器 器 杯	36住覆土	器(26) □(130) 底一 口縁部半～底部上端 1/6	砂・白色胎物・雲母 酸化 橙	外：口縁部横などで、胴部～底部上端削り。内： 口縁部横などで、胴部～底部上端などで。内面油煙付 着。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0872 第82回 PL-102	土師器 甕	36住No.4、別 No.5・6・8、 覆土、電	器(90) □(220) 頸(174) 底— 最大(231) 口縁部～胴部上半1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 橙	最大径は胴部上半。外：口縁部横なで、一部巻上 痕・指頭痕、胴部上半横削り。内：口縁部横な で、胴部上半横なで、一部指頭痕。内外面一部油 埋付着。
0873 第82回 PL-102	土師器 甕	36住No.4、覆 土、電	器(107) □(190) 頸(174) 底— 最大(209) 口縁部～胴部上半2/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	最大径は胴部上半。外：口縁部横なで、一部巻上 痕・指頭痕、胴部上半横削り。内：口縁部横な で、一部巻上痕、胴部上半横なで、一部指頭痕。 内外面油埋付着。
0874 第82回 PL-102	土師器 甕	36住No.3・5	器(60) □(220) 頸(183) 底— 最大— 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで、 内外面一部油埋付着。
0875 第82回 PL-102	土師器 甕	36住No.3・4、 覆土、電	器(65) □(190) 頸(175) 底— 最大— 口縁部～胴部上端1/8	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部上端横削り 。内：口縁部横なで、胴部上端横なで、一部指 頭痕。
0876 第82回 PL-102	石製品	36住No.10	長115 幅66 厚29 重223.6g	滑結凝灰岩	周囲は磨れている。
0877 第86回 PL-102	土師器 鉢	37住No.15	器90 □190 底— 口縁部～底部7/8	砂・小石・白色鉱物・雲 母 酸化	丸底。外：口縁部横なで、一部巻上痕、胴部～底 部寛削り。内：口縁部～胴部横なで、一部丸磨き 、底部なで。内面線削り、内外面一部油埋付着。
0878 第86回 PL-102	須恵器 杯	37住No.5	器(13) □— 底86 胴部下端～底部1/1	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	成形粗。周囲は打ち欠いた後磨っている。輪軸 整形、右回転。外：胴部下端回転なで、底部回転 削り。内：胴部下端～底部回転なで。
0879 第86回 PL-102	土師器 甕	37住No.14	器(69) □(180) 頸(143) 底— 最大— 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 橙	外：口縁部横なで、巻上痕・指頭痕、胴部上端 横削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで。
0880 第86回 PL-102	土師器 杯	37住覆土、電	器35 □(136) 底— 口縁部～底部3/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 により橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部寛削り。内： 口縁部～胴部横なで、一部指頭痕、底部なで。内 外面一部油埋付着。
0881 第86回 PL-102	土師器 杯	37住No.2・6	器(33) □(130) 底— 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部寛削り。内： 口縁部～胴部横なで、指頭痕、底部なで。外面油 埋付着。
0882 第86回 PL-102	須恵器 杯	37住No.1、覆 土	器38 □(144) 底88 口縁部～底部1/3	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 胴部下端～底部回転削り。内：口縁部～底部回 転なで。
0883 第86回 PL-102	須恵器 杯	37住No.2、覆 土	器40 □(126) 底(70) 口縁部～底部1/4	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 半還元 灰・にぶ い濁	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 胴部下端～底部回転削り。内：口縁部～底部回 転なで。
0884 第86回	土師器 杯	37住覆土	器25 □(106) 底— 口縁部～底部1/6	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部横なで、胴部～底部寛削り。内： 口縁部～胴部横なで、一部指頭痕、底部なで。内 面一部油埋付着。
0885 第86回 PL-102	石製品	37住No.13	長117 幅40 厚31 重219.1g	砂岩	周囲は磨れている。
0886 第86回 PL-102	石製品	37住No.12	長114 幅63 厚45 重400.3g	チャート	周囲は磨れている。
0887 第88回 PL-102	灰釉陶器 壺	38住No.3	器(123) □— 頸— 底— 最大(174) 胴部半1/6	細砂・白色鉱物 還元 灰 白	輪軸整形。内外面胴部回転なで。外面施釉。
0888 第88回 PL-102	土師器 甕	38住No.7・14 ・22・26	器(102) □(200) 頸(192) 底— 最大156 口縁部～胴部上半1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横なで、一部巻上痕・指頭痕、胴部上 端横削り、胴部中央部横削り。内：口縁部横な で、胴部横なで。内外面油埋付着。
0889 第88回	須恵器 椀	38住No.6	器(22) □— 台— 胴部下端～高台部上半 2/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	輪軸整形。外：胴部下端回転なで、底部高台貼付 後回転なで。内：胴部下端～底部回転なで。
0890 第88回 PL-102	石製品	38住No.11	長123 幅110 厚52 重809.7g	粗粒輝石安山岩	表面は磨れている。側面に叩いた痕あり。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	通称名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	彫形・技法の特徴他
0891 第91回 PL-103	土師器 壺	39住№1・11 ・12、覆土	器(115) 口(196) 頸(178) 底一 口縁部～胴部上半1/3	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 明赤褐色	外：口縁部横なで、一部巻上飯・指頭痕、胴部上半横置削り。内：口縁部横なで、胴部上半横なで、内外面油埋付着。
0892 第91回	土師器 壺	39住№6・7、 覆土	器(69) 口(216) 頸(169) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色胎物・雲母 酸化 赤褐色	外：口縁部横なで、一部巻上飯・指頭痕、胴部上端横置削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで、内外面油埋付着。
0893 第91回	土師器 壺	39住№1、電	器(41) 口(200) 頸(0182) 底一 口縁部1/5	砂・白色胎物・雲母 酸化 明赤褐色	外：口縁部横なで、一部巻上飯。内：口縁部横なで。
0894 第91回	土師器 壺	39住№1、覆 土	器(57) 口(180) 頸(158) 底一 口縁部～胴部上端1/6	砂・白色胎物・雲母 酸化 赤褐色	外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上端横置削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで。
0895 第91回 PL-103	土師器 杯	39住覆土	器(37) 口(120) 底一 口縁部～胴部1/6	砂・白色胎物 酸化 によ い黄褐色	外：口縁部横なで、巻上飯、胴部削置削り。内：口縁部横なで、胴部横なで後明文状残置。
0896 第91回	須恵器 杯	39住№2、覆 土	器(18) 口一 底(70) 胴部下半～底部1/3	砂・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部回転糸切。内：胴部下半～底部回転なで、内面一部油埋付着。
0897 第91回	須恵器 椀	39住電	器(17) 口一 台(80) 胴部下端～高台部1/6	砂・白色胎物・還元 灰	輪軸整形。外：胴部下端回転なで、底部高台貼付後回転なで。内：胴部下端～底部回転なで。
0898 第93回 PL-103	土師器 壺	40住№8・9、 覆土、電	器(133) 口134 底122 高一最大156 口縁部～胴部2/3	砂・白色胎物・雲母 酸化 明赤褐色	外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上半横置削り。胴部下半横置削り。内：口縁部横なで、胴部横なで、内外面油埋付着。
0899 第93回 PL-103	須恵器 壺	40住№7、覆 土	器(83) 口一 頸(90) 底一 頸部～胴部上半1/4	砂・小石・白色胎物・赤 色胎物 酸化 によい橙	輪軸整形。頸部貼付。内外面頸部～胴部上半回転なで。
0900 第91回 PL-102	土師器 壺	39住№1・9 ・10・14・20、 覆土	器(230) 口(180) 頸(163) 底一 最大162 口縁部～胴部1/3	砂・小石・白色胎物・赤 色胎物 酸化 赤褐色	外：口縁部横なで、一部指頭痕、胴部上半横置削り。胴部下半横置削り。内：口縁部横なで、一部巻上飯、胴部横なで。内外面油埋付着。
0901 第93回 PL-103	須恵器 杯	40住№5	器36 口126 底56 宛形	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0902 第93回	須恵器 杯	40住№11	器(16) 口一 底(60) 胴部下半～底部2/5	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部回転糸切。内：胴部下半～底部回転なで、内外面一部油埋付着。
0903 第93回	土師器 台付壺	40住№6、覆 土	器(53) 口(106) 頸(98) 台一 口縁部～胴部上端1/4	砂・白色胎物・雲母 酸化 明赤褐色	外：口縁部横なで、胴部上端横置削り。内：口縁部横なで、胴部上端横なで。外面油埋付着。
0904 第94回 PL-103	土師器 杯	41住№2、覆 土	器27 口(110) 底(53) 口縁部～底部1/3	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 によい褐色	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転なで。内：口縁部～底部回転なで。
0905 第94回 PL-103	須恵器 壺	42住№6、覆 土	器37 口166 脚43 ほぼ宛形	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。横部貼付。外：天井部上半回転置削り、天井部下半～口縁部回転なで。内：天井部～口縁部回転なで。
0906 第97回 PL-103	須恵器 杯	43住№8	器35 口136 底83 口縁部～底部3/4	砂・白色胎物・赤色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。内外面横し。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転糸切後胴部下端～底部上半回転置削り。内：口縁部～底部回転なで。内面底部・外面胴部刻字「目下」、「目上」。
0907 第97回 PL-103	須恵器 杯	43住№5	器52 口140 底72 口縁部～底部2/3	砂・小石・白色胎物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、胴部下端置削り、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。
0908 第97回	土師器 壺	43住壺	器(50) 口(200) 頸(178) 底一 口縁部～胴部上端1/6	砂・白色胎物・雲母 酸化 明赤褐色	外：口縁部横なで、胴部上端横置削り。内：口縁部横なで。内面油埋付着。
0909 第97回 PL-103	石製品 砥石	43住覆土	長(64) 幅38 厚19 重68.5g	砥沢石	使用面は4面。穿孔あり。
0910 第99回 PL-103	須恵器 杯	44住№16	器55 口(160) 底114 口縁部～底部3/4	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転置削り。内：口縁部～底部回転なで。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺構番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
0911 第996回 PL-103	須志器杯	44住№22	器41 □130 底67 完形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転余切。内：口縁部～底部回転で、外面一部油煙付着。
0912 第996回 PL-103	須志器杯	44住№14・31	器(45) □(140) 底(80) 口縁部～底部1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部静止余切。内：口縁部～底部回転で、外面赤色顔料付着。
0913 第996回 PL-103	須志器杯	44住№30	器(34) □(140) 底(86) 口縁部～底部上端1/6	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰白・橙	楕圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部上半回転差削り。内：口縁部～底部上半回転で。
0914 第996回 PL-103	土師器壺	44住№11・12 ・18・19・28・ 33	器(81) □206 頸(182) 底— 口縁部～胴部上端2/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい黄橙	外：口縁部横で、一部指頭状、胴部上端横削り。内：口縁部横で、胴部上端寛で、内外面一部油煙付着。
0915 第996回	須志器杯	44住覆土	器(21) □— 底80 胴部下半～底部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。右回転。外：胴部下半回転で、底部回転余切後上半回転差削り。内：胴部下半～底部回転で。
0916 第996回	須志器杯	44住覆土	器(32) □(120) 底(88) 口縁部～底部上端1/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転で、底部上端回転差削り。内：口縁部～底部上端回転で。
0917 第996回	須志器杯	44住覆土	器(26) □— 底(66) 胴部下半～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部下半回転で、底部回転余切。内：胴部下半～底部回転で、内外面一部油煙付着。
0918 第996回 PL-103	石製品 砥石	44住№ 8	長(46)幅33 厚18 重40.1g	砥沢石	使用面は4面。
0919 第158回 PL-111	土師器 壺	66住№ 4	器210 □181 頸146 最大224 底40 ほぼ完形	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部上端横で、口縁部下半～胴部上半刷毛で、胴部中央削り、胴部下端刷毛で。内：口縁部上端横で、口縁部中央～胴部上端刷毛で、胴部で、胴部下端～底部刷毛で、一部巻上痕が残る。
0920 第158回 PL-111	土師器 高杯	66住№ 3	器146 □154 底73 脚120 完形	砂・白色鉱物 酸化 橙	胴部貼付。外：口縁部刷毛で後挽で、胴部～胴部上半刷毛で、胴部下半刷毛で後挽で。内：口縁部～底部刷毛で、胴部上半指で、股り痕、胴部下半刷毛で。
0921 第158回 PL-111	土師器 埴	66住№ 1	器149 □134 頸94 底35 完形	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい黄橙	外：口縁部横で後挽磨き、頸部～底部刷毛で後挽磨き。内：口縁部横で後挽磨き、胴部～底部刷毛で、一部指頭状。内外面油煙付着。
0922 第158回 PL-111	土師器 壺	66住№ 2	器213 □171 頸139 最大204 底45 完形	砂・赤色鉱物・雲母 酸化 橙	最大径は胴部中央。外：口縁部横で、胴部斜め削り。内：口縁部横で、胴部～底部横で、一部、巻上痕・指頭状。内外面油煙付着。
0923 第160回 PL-111	土師器 查	67住№ 1	器359 □225 頸88 最大284 底78 ほぼ完形	砂・白色鉱物 酸化 にぶ い黄橙	胴部に貼付。最大径は胴部中央。外：口縁部横で、口縁部後挽磨き、頸部刷毛で横で、胴部刷毛で後挽磨き。内：口縁部横で、胴部刷毛で、刷毛で後挽で、胴部上端巻上痕、指頭痕が明確に残る。外面油煙付着。
0924 第159回 PL-111	土師器 埴	67住覆土	器61 □106 底68 底— 口縁部～胴部3/4	砂・赤色鉱物 酸化 浅黄 橙	胴部に貼付。外：口縁部横で、口縁部寛磨き、胴部上半削り後で。胴部下半～底部置削り。内：口縁部横で、胴部～底部寛で。
0925 第160回 PL-111	土師器 高杯	67住№ 5・6 ・30・33・43	器(40) □(156) 脚— 口縁部～胴部1/3	砂・赤色鉱物 酸化 浅黄 橙	外：口縁部～胴部刷毛で後挽磨き。内：口縁部～胴部刷毛で。
0926 第160回 PL-111	土師器 壺	67住№ 2	器(202) □141 頸108 最大191 底— 口縁部～胴部3/4	砂・白色鉱物 酸化 にぶ い黄橙	最大径は胴部中央。胴部貼付。外：口縁部横で、口縁部～胴部上半寛で、胴部下半寛削り。内：口縁部刷毛で後挽磨き。胴部寛で、一部巻上痕・指頭痕が残る。内外面油煙付着。
0927 第159回 PL-111	土師器 壺	67住№ 3	器114 □102 頸85 最大109 底30 ほぼ完形	砂・白色鉱物 酸化 浅黄 橙	最大径は胴部中央。胴部貼付。外：口縁部横で、頸部～胴部上半刷毛で、胴部下半削り。内：口縁部横で、胴部寛で、一部指頭状。外面油煙付着。



第III章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴値
0928 第1598回 PL-111	土師器 高杯	67住No.7	器(36) 口一 脚一 胴部下平4/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 土ぶい黄橙	外：胴部下平煎ぎ。内：胴部下平上部横削り、 脚部下平部まで。
0929 第1598回 PL-111	土師器 高杯	67住No.4・9 ・10・11・12・ 13・14・15・ 16・17・20・ 21・22・25・ 26・27・28・ 29・32・35・ 36	器(70) 口(180) 脚一 口縁部～胴部1/4	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横まで後直磨き、胴部煎削り後直磨き。 内：口縁部～胴部横まで後直磨き。
0930 第260回 PL-121	須恵器 鉢	23溝No.1・4 ・5・6・7・ 10、覆土	器(177) 口(295) 底一 口縁部～胴部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。外：口縁部回転で、胴部上半で、 胴部下平回転で。内：口縁部～胴部回転で、 一部巻上煎。
0931 第260回 PL-121	須恵器 杯	23溝No.3	器35 口(124) 底(80) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転で、底部回転 削り。内：口縁部～底部回転で。
0932 第261回 PL-121	須恵器 蓋	23溝No.2	器32 口(146) 柄27 胴部～口縁部1/2	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰・橙	摘部貼付。外：天井部上半回転削り、天井部下 半～口縁部回転で。内：天井部～口縁部回転で。 内面油煙付着。
0933 第260回 PL-121	須恵器 杯	23溝覆土	器(25) 口一 底82 胴部～底部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 余切後上半回転削り。内：胴部～底部回転で。
0934 第261回 PL-121	須恵器 杯	23溝No.9	器(11) 口一 底66 胴部下端～底部1/1	砂・白色鉱物 還元 灰	転用形態。輪軸整形。右回転。外：胴部下端回転 削り。内：胴部回転余切後上半回転削り。内：胴部 下端～底部回転で。
0935 第292回	土師器 壺	86坑No.1	器(52) 口(200) 頸(182) 底一 口縁部～胴部上端1/8	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横まで、一部巻上煎。胴部上端横削り。 内：口縁部横まで、胴部上端煎で。内外面 油煙付着。
0936 第292回	須恵器 杯	86坑覆土	器(26) 口(130) 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・土ぶい橙	輪軸整形。内外口縁部～胴部回転で。
0937 第292回	須恵器 杯	89坑覆土	器(14) 口一 底50 胴部下平～底部4/5	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・土ぶい黄橙	輪軸整形。右回転。外：胴部下平回転削り、底部 回転余切。内：胴部下平～底部回転で。
0938 第292回	土師器 杯	96坑No.1	器(20) 口一 底(58) 胴部下平～底部1/3	砂・白色鉱物 酸化 土ぶ い橙	外：胴部下平煎ぎ、底部まで。内：胴部下平～底 部まで。
0939 第292回 PL-123	須恵器 壺	96坑No.2	器(25) 口一 台123 胴部下端～高台部4/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：胴部下端回転削り、底部 高台貼付後回転削り。内：胴部下端～底部回転削 り。外面底部刻字「廿」。
0940 第363回 PL-128	須恵器 蓋	19区表土	器33 口(122) 柄一 天井部～口縁部3/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：天井部上半回転削り、 天井部下平～口縁部回転削り。内：天井部～口縁 部回転削り。
0941 第361回 PL-126	須恵器 杯	19区表土	器40 口(135) 底74 口縁部～底部1/3	砂・小石・赤色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転削り、 底部回転余切。内：口縁部～底部回転削り。
0942 第361回	土師器 高杯	19区表土	器(85) 口一 脚一 口縁部～底部1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：脚部上半で、脚部下平煎まで。内：脚部 まで。
0943 第361回 PL-125	土師器 杯	19区表土	器36 口(136) 底一 口縁部～底部2/3	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	丸底。外：口縁部横で、胴部～底部削り。内： 口縁部横で、胴部～底部で、一部指頭煎。
0944 第362回 PL-126	須恵器 杯	19区表土	器40 口120 底64 口縁部～底部3/4	砂・赤色鉱物 酸化 橙	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転削り、 底部回転余切。内：口縁部～底部回転削り。二次 炎を受けている。内外面に一部油煙付着。
0945 第368回 PL-131	石製品	19区表土	長(73) 幅(56) 厚30 1/10 重109.9g		表面は磨かれている。中央部に径10mmの穿孔。
0946 第368回 PL-127	須恵器 杯	18区表土	器(22) 口一 底58 胴部下平～底部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：胴部下平回転削り、底部 回転余切。内：胴部下平～底部回転削り。外面底 部刻字「京」。

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0947 第362遺 PL-128	須恵器 甕	20区表土	器(45) □一 頸一 底206 胴部下端～底部 上端4/5	砂・小石・白色鉱物 半還元 灰・灰黄褐色	外：胴部下端まで。内：胴部下端～底部まで。
0948 第362遺 PL-127	須恵器 鉢	20区表土	器70 □(174) 台(104) 口縁部～高台部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰白・にぶい橙	楕圓形。外：口縁部～胴部回転まで、胴部下端 回転拡がり、底部高台貼付回転まで。内：口縁 部～底部回転まで。
0949 第362遺 PL-127	須恵器 鉢	20区表土	器(27) □一 台(70) 胴部～高台部1/3	砂 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部回転まで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転まで。 外面底部僅し。外面油煙付着。
0950 第180遺 PL-113	土師器 甕	78住№5・10 ・14・22、電	器(195) □(203) 頸(178) 底一 口縁部～胴部1/2	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物・雲母 酸化 浅黄 橙	最大径は胴部上半。外：口縁部横まで、胴部上半 横置削り、胴部下半縦置削り。内：口縁部横まで、 胴部縦まで。内外面油煙付着。
0951 第180遺 PL-113	羽 釜	78住№8・12 ・15	器(206) □(220) 最大(250) 底一 口縁部～胴部1/3	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物・雲母 酸化 橙	楕圓形。最大径胴部上半。胴部貼付。外：口縁 部回転まで、胴部回転まで後置まで。内：口縁部 ～胴部回転まで。内外面一部油煙付着。
0952 第180遺 PL-113	羽 釜	78住№18・19、 電	器(158) □(190) 最大(223) 底一 口縁部～胴部上半1/6	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 明赤褐	最大径胴部。胴部貼付。外：口縁部横まで、一部 巻上底、胴部上半まで。内：口縁部横まで、胴 部上半まで。
0953 第180遺 PL-113	羽 釜	78住№13・15、 電	器(40) □一 最大一 底95 胴部下端～底部7/8	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 にぶい橙	外：胴部下端置削り。内：胴部下端～底部までで。 内外面一部油煙付着。
0954 第180遺 PL-113	羽 釜	78住№9	器(120) □(230) 最大(246) 底一 口縁部～胴部上半1/6	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	最大径胴部。胴部貼付。外：口縁部回転まで、胴 部上半縦置削り。内：口縁部～胴部上半回転まで。
0955 第180遺 PL-113	須恵器 杯	78住№21	器(27) □一 底(60) 胴部～底部1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 還元 灰	楕圓形。右回転。外：胴部回転まで、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転まで。
0956 第180遺 PL-113	須恵器 鉢	78住覆土	器(40) □(130) 台一 口縁部～胴部1/8	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい黄橙	楕圓形。内皿。外：口縁部～胴部回転まで。内： 口縁部～胴部回転まで後置。
0957 第180遺 PL-113	須恵器 杯	78住№26	器(27) □(100) 底(50) 口縁部～底部1/4	砂 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転まで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転まで。
0958 第180遺 PL-113	須恵器 鉢	78住覆土	器(26) □一 台(80) 胴部下端～高台部4/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 明赤褐	楕圓形。外：胴部下端回転まで、底部高台貼付 後回転まで。内：胴部下端～底部回転まで。内面 一部油煙付着。
0959 第168遺	須恵器 鉢	71住№1	器(17) □一 台(72) 胴部下端～高台部1/2	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・にぶい橙	楕圓形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転 まで。
0960 第169遺 PL-112	須恵器 杯	72住覆土	器(17) □一 底(50) 胴部下半～底部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部下半回転まで、底部 回転糸切。内：胴部下半～底部回転まで。
0961 第169遺 PL-112	須恵器 杯	72住№2・3	器(35) □一 底(58) 胴部～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部回転まで、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転まで。
0962 第171遺 PL-112	須恵器 鉢	73住№10・11	器(41) □一 台(65) 胴部～高台部1/2	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：胴部回転まで、底部高台貼付後 回転まで。内：胴部～底部回転まで。
0963 第171遺	須恵器 杯	73住№27	器(13) □一 底82 胴部下端～底部4/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部下端回転まで、底部 回転糸切後上端回転削り。内：胴部下端～底部 回転まで。
0964 第171遺 PL-112	土師器 付合甕	73住№1、掘 №17・18・19、 覆土	器(97) □(100) 頸(92) 台一 口縁部～台部上端1/2	砂・白色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横まで、巻上底・指頭、胴部上半横 置削り、胴部下半縦置削り、胴部下端横置削り、 台部貼付。内：口縁部横まで、一部指頭、胴部 ～底部まで、一部指頭。内外面油煙多量付着。
0965 第171遺 PL-112	須恵器 鉢	73住№20	器(46) □(140) 台一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	楕圓形。外：口縁部～胴部回転まで、底部高台 貼付。内：口縁部～胴部回転まで。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0966 第171回 PL-112	土器 台付壺	73住№6・16、 73住№24・25・ 26、蓋置	器(65) 口一頸一 台(95) 胴部下半～台 部1/2	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 明赤褐	外：胴部下半縦溝削り、胴部下端横なで、台部貼付、台部横なで。内：胴部下半～底部横なで、台部横なで、内外面油埋付着。
0967 第171回 PL-112	瓦 平瓦	73住№7	長(75) 幅(57) 厚11 側端部破片	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	凹面布目肌 凸面ナデ 面取りなし。
0968 第171回 PL-112	瓦 平瓦	73住覆土	長(83) 幅(67) 厚12 端部破片	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	凹面布目肌 凸面ナデ 凹面端部にこくわずかな面取りか
0969 第171回 PL-112	須恵器 椀	73住覆土	器(46) 口(126) 台一 口縁部～高台部上端 1/6	砂・白色胎物 半還元 灰 白・にぶい黄橙	輪縁整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部高台貼付。内：口縁部～胴部回転なで。
0970 第171回 PL-112	須恵器 杯	73住№5	器(26) 口一底(60) 胴部～底部1/3	砂・小石・白色胎物 還元 灰白	輪縁整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切。内：胴部～底部回転なで。
0971 第171回 PL-112	石製品	73住№13	長(117) 幅(123) 厚(57)重1157.8g	石英斑岩	欠損部以外の表面は、滑らかに磨かれている。
0972 第171回 PL-112	石製品	73住№12	長110 幅95 厚34 重479.4g	精粒輝石安山岩	周囲は磨かれている。
0973 第173回 PL-112	須恵器 椀	74住№10	器57 口(146) 台(66) 口縁部～高台部2/5	砂・白色胎物 半還元 灰 白・にぶい橙	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：口縁部～底部回転なで。
0974 第173回 PL-112	土器 壺	74住№13	器(85) 口(240) 頸(187) 底一 口縁部～胴部上半1/6	砂・小石・白色胎物 酸化 橙	外：口縁部横なで、胴部上半横溝削り、一部巻上痕。内：口縁部横なで、胴部上半横なで。
0975 第173回 PL-112	羽 蓋	74住№2	器(75) 口(230) 最大(360) 底一 口縁部～胴部上半破片	砂・白色胎物 酸化 橙	胴部貼付。最大径胴部。外：口縁部横なで、胴部上半縦溝削り。内：口縁部上端横なで、口縁部～胴部上端横なで。外面油埋付着。
0976 第173回 PL-112	須恵器 杯	74住覆土	器(26) 口一底(52) 胴部～底部1/3	砂・白色胎物 還元 灰白	輪縁整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転余切。内：胴部～底部回転なで。
0977 第173回 PL-112	須恵器 杯	74住№32	器(29) 口一底(56) 胴部～底部1/2	砂・白色胎物 酸化 ぶい 褐	輪縁整形。外：胴部回転なで、底部なで。内：胴部～底部回転なで。内面油埋付着。
0978 第173回 PL-112	須恵器 杯	74住№36	器(44) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/6	砂・白色胎物・赤色胎物 酸化 橙	輪縁整形。内外面口縁部～胴部回転なで。内外面一部油埋付着。
0979 第171回 PL-112	須恵器 杯	73住貯覆土	器(20) 口一底54 胴部下半～底部3/4	砂・小石・白色胎物 酸化 灰黄	輪縁整形。右回転。外：胴部下半回転なで、底部回転余切。内：胴部下半～底部回転なで。
0980 第173回 PL-112	須恵器 椀	74住覆土	器(35) 口一 台一 胴部下半～高台部上半 1/4	砂・白色胎物・赤色胎物・ 雲母 酸化 橙	輪縁整形。外：胴部下半回転なで、底部回転余切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転なで。内外面油埋付着。
0981 第173回 PL-112	土製品 埴	74住№51	長(111) 幅(68) 厚(54)	砂・小石・白色胎物・雲 酸化 赤褐	型造りか。
0982 第175回 PL-112	羽 蓋	75住№12	器(93) 口(220) 最大(270) 底一 口縁部～胴部上半1/4	砂・白色胎物・雲母 酸化 橙	胴部貼付。最大径胴部上半。外：口縁部～胴部上端横なで、胴部上半なで。内：口縁部横なで、胴部横なで。外面油埋付着。
0983 第175回 PL-113	須恵器 椀	75住№1	器62 口154 台82 ほぼ円形	砂・小石・白色胎物 酸化 明赤褐	輪縁整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部高台貼付後回転なで。内：口縁部～底部回転なで。
0984 第175回 PL-113	須恵器 杯	75住№5、電 58(52)	器(29) 口(120) 底(52) 口縁部～底部1/3	砂・白色胎物 酸化 明赤 褐	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転余切。内：口縁部～底部回転なで。
0985 第175回 PL-112	須恵器 杯	75住電	器30 口(100) 底(54) 口縁部～底部1/4	砂・小石・赤色胎物 酸化 橙	輪縁整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転余切。内：口縁部～底部回転なで。内面一部油埋付着。

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状態	計測値(m)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
0986 第175回 PL-113	須恵器 椀	75住№8、竪	器59 □(110) 台(74) 口縁部～高台部1/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 黄橙	楕圓形。内黒。外：口縁部～胴部上端磨き、 胴部回転で、底部高台貼付後など。内：口縁部 ～底部回転で。
0987 第175回 PL-112	須恵器 杯	75住№17	器33 □112 底43 完形	砂・赤色鉱物 酸化 淡黄 橙	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転未切。内：口縁部～底部回転で。外面 胴部下半～底部に塗埋付着。
0988 第175回 PL-112	土師器 壺	75住№2	器(90) □(220) 頸(218) 底一 口縁部～胴部上半1/6	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、胴部上半縦削り、一部巻上 肌。内：口縁部横で、胴部上半横で、一部巻 上肌。
0989 第175回 PL-112	羽 釜	75住№7、電	器(160) □一 底(80) 胴部下半～底部1/3	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 橙	外：胴部下半斜の削り、一部巻上肌。内：なで、 巻上肌。内外面に塗埋付着。
0990 第175回	須恵器 椀	75住電、覆土	器(40) □(120) 台一 口縁部～胴部1/6	砂・白色鉱物 酸化 橙	楕圓形。内黒。内外面口縁部～胴部回転で後 発磨き。
0991 第175回	須恵器 椀	75住№4	器(43) □(146) 台一 口縁部～高台部上端 1/8	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 黄橙	楕圓形。内黒。外：口縁部～胴部回転で、底 部高台貼付。内：口縁部回転で、胴部～底部回 転で後発磨き。
0992 第175回	須恵器 杯	75住覆土	器(21) □(100) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 黄橙	楕圓形。内外面横。内外面口縁部～胴部回転 で。
0993 第175回 PL-113	灰釉陶器 椀	75住№16	器(28) □(160) 台一 口縁部～胴部1/5	細砂 還元 灰白	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転で、施釉。
0994 第175回 PL-112	灰釉陶器 椀	75住№14	器(28) □一 台(70) 胴部～高台部1/8	細砂・白色鉱物 還元 灰 白	楕圓形。外：胴部回転で、底部高台貼付後回 転で。内：胴部～底部回転で、内面胴部施釉。
0995 第175回 PL-113	灰釉陶器 椀	75住電	器(14) □一 台(68) 胴部下端～高台部1/3	細砂 還元 灰白	楕圓形。外：胴部下端回転で、底部高台貼付 後回転で。内：胴部下端～底部回転で、内面に 赤色顔料付着。
0996 第175回	須恵器 椀	75住№11	器(36) □(130) 台一 口縁部～胴部1/6	砂・白色鉱物 酸化 ぶい 黄橙	楕圓形。内黒。外：口縁部～胴部回転で。内： 口縁部～底部回転で後発磨き。
0997 第175回 PL-113	土師器 杯	76住電№11・ 12、覆埋	器(33) □(130) 底一 口縁部～底部1/4	砂・赤色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部～胴部横で、底部削り。内： 口縁部～胴部回転で、底部で、一部指頭痕。
0998 第177回	土師器 杯	76住№6	器(30) □(130) 底一 口縁部～底部上端1/8	砂・白色鉱物・雲母 酸化 橙	丸底。外：口縁部～胴部回転で、底部削り。 内：胴部～底部上端回転で。
0999 第177回 PL-113	須恵器 椀	76住№2・ 4・5、覆土	器48 □(120) 台(86) 口縁部～高台部1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	楕圓形。口縁部～胴部回転で、高台貼付後回 転で。内：口縁部～底部回転で。
1000 第177回 PL-113	土師器 壺	76住№1	器(67) □(200) 頸(158) 底一 口縁部～胴部上端1/4	砂・小石・白色鉱物 酸化 ぶい黄橙	外：口縁部横で、一部指頭痕、胴部上端削り。 内：口縁部横で。
1001 第177回	土師器 壺	76住掘	器(65) □(190) 頸(158) 底一 口縁部～胴部上端1/8	砂・白色鉱物・雲母 酸化 明赤褐	外：口縁部横で、一部巻上肌、胴部上端横削り。 内：口縁部横で。内外面一部塗埋付着。
1002 第177回 PL-113	石製品	76住覆土	長64 幅60 厚38 重87.3g	二ツ岳軽石	周囲は磨かれている。
1003 第182回 PL-114	須恵器 椀	79住№6・7 ・8・11	器69 □168 台70 口縁部～高台部5/6	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転未切後高台貼付。内：口縁部～底部回 転で。
1004 第182回 PL-113	須恵器 椀	79住№24	器39 □135 底56 口縁部～底部5/6	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転未切。内：口縁部～胴部回転で。
1005 第182回 PL-114	須恵器 皿	79住№25	器30 □(134) 台57 口縁部～高台部1/3	砂・白色鉱物 半還元 灰 白 ぶい黄橙	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転未切後高台貼付。内：口縁部～底部回 転で。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種 ・器種	遺器名称・遺構 番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
1006 第182回 PL-114	須恵器 甕	79住No.9・10、 覆土	器(53) 口144 台一 口縁部～高台部上端 4/5	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	縦輪整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 で。内面胴部下半～底部油煙付着。
1007 第182回 PL-114	須恵器 甕	79住電	器(35) 口(130) 台一 口縁部～胴部2/5	砂・白色鉱物 酸化 灰 白	縦輪整形。内外面口縁部～胴部回転で。
1008 第182回 PL-113	須恵器 甕	79住電No.42、 電覆	器53 口(140) 台60 口縁部～高台部2/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	縦輪整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 で。外面胴部集書「得」。内外面一部油煙付着。
1009 第182回 PL-114	須恵器 甕	79住電	器58 口(140) 台(68) 口縁部～高台部1/3	砂・白色鉱物・雲母 半還 元 褐灰・灰白	縦輪整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 で。
1010 第182回 PL-114	須恵器 甕	79住No.14、覆 土	器(35) 口一 台(64) 胴部～高台部2/5	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・灰白・黄緑	縦輪整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転で。
1011 第182回 PL-113	須恵器 杯	79住電	器(41) 口(120) 底(60) 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰 白	縦輪整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。内外 面一部油煙付着。
1012 第182回 PL-114	須恵器 杯	79住覆土	器(23) 口一 底(58) 胴部～底部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	縦輪整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転で。外面胴部集書 「?」。
1013 第182回 PL-113	須恵器 杯	79住電	器(28) 口57 底(58) 胴部～底部4/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 灰白	縦輪整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 糸切。内：胴部～底部回転で。
1014 第182回 PL-114	須恵器 甕	79住No.2、覆 土	器(51) 口(140) 台一 口縁部～底部1/4	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・灰白	縦輪整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台 貼付後回転で。内：口縁部～底部回転で、内 外面一部油煙付着。
1015 第182回 PL-113	須恵器 甕	79住No.20	器(25) 口一 台62 胴部下半～高台部1/1	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰白・灰白	縦輪整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転 で。内外面油煙付着。
1016 第182回 PL-113	須恵器 甕	79住電No.33・ 38	器(33) 口一 台62 胴部～高台部2/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 灰白	縦輪整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転で。外 面油煙付着。
1017 第182回 PL-113	須恵器 杯	79住覆土	器(40) 口(120) 底(63) 口縁部～底部1/5	砂・白色鉱物 還元 灰 白	縦輪整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。
1018 第182回 PL-114	須恵器 壺	79住No.3・4、 覆土	器(50) 口一 頸一 台(127) 胴部下端～高台部3/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	縦輪整形。外：胴部下端回転で、底部高台貼 付後回転で。内：胴部下端～底部上端回転で、 底部で。外面胴部一部自然熱。
1019 第182回 PL-114	灰胎陶器 甕	79住電	器(29) 口一 台82 胴部下半～高台部1/2	細砂・白色鉱物 還元 灰 白	縦輪整形。外：胴部下半回転で、底部高台貼 付後回転で。内：胴部下半～底部回転で、内 外面胴部集書。
1020 第182回 PL-114	須恵器 甕	79住電	器(41) 口(130) 台一 口縁部～高台部上端1/ 6	砂・白色鉱物 酸化 灰 白	縦輪整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台 貼付。内：口縁部～底部回転で。
1021 第182回 PL-114	土師器 甕	79住電No.34・ 35・39・40・ 41・43・44・ 45、電覆	器(222) 口(200) 頸(182) 底一 口縁部～胴部1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 赤褐	外：口縁部横で、一部唇頭痕、胴部上半横段削 り、胴部下半縦段削り。内：口縁部横で、唇上 痕・指面痕。内外面油煙付着。
1022 第182回 PL-114	土師器 甕	79住No.22、電 No.46・47	器(211) 口(190) 頸(173) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 酸化 明赤 褐	外：口縁部横で、一部唇頭痕、胴部上半横段削 り、胴部下半縦段削り。内：口縁部横で、唇上 痕・指面痕、胴部横で、一部唇上痕。内外面油 煙付着。
1023 第182回 PL-114	土師器 甕	79電No.30、覆 土、電覆	器(71) 口(230) 頸(213) 底一 口縁部～胴部上端1/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 灰白	外：口縁部横で、一部唇上痕、胴部上半横段削 り。内：口縁部横で、胴部上端集書で。内面一 部油煙付着。
1024 第182回	土師器 甕	79住No.21	器(90) 口(152) 頸(135) 底一 口縁部～胴部上半1/6	砂・白色鉱物 酸化 赤褐	外：口縁部横で、一部唇上痕、胴部上半横段削 り。内：口縁部横で、胴部上半平で。内面油煙 付着。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1025 第183図 PL-114	須恵器 杯	80住No.6、 覆土	器40 □112 底72 ほぼ完形	砂・赤色鉱物 還元 灰	外口縁部～胴部・内口縁部～底部傾し。外：口縁部～胴部回転などで後攪拌き、底部などで、内：口縁部～底部回転などで後攪拌き。
1026 第183図 PL-114	須恵器 椀	80住No.3、 覆土	器53 □(140) 台(60) 口縁部～高台部上端1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰白・橙	楕圓形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 未切後高台貼付。内：口縁部～底部回転などで、内 外面油埋付着。内面胴部斜め「下」。
1027 第183図	須恵器 杯	80住No.2・3 ・6	器(42) □(130) 底(60) 口縁部～底部上端1/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転などで、底部回転 未切。内：口縁部～底部上端回転などで。
1028 第183図	須恵器 杯	80住No.10・11	器(31) □(150) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 酸化 明褐色	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転などで、内外面 一部油埋付着。
1029 第183図	須恵器 椀	80住No.8	器(23) □一 台(60) 胴部下半～高台部1/2	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい黄橙	楕圓形。外：胴部下半回転などで、底部高台貼付 後回転などで。内：胴部下半～底部回転などで。
1030 第183図	須恵器 椀	80住No.7	器(24) □一 台58 胴部下半～高台部2/3	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・ぶい橙	楕圓形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転未切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転な で、内外面一部油埋付着。
1031 第183図	須恵器 椀	80住No.17	器(19) □一 台61 胴部下端～高台部4/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物・ 雲母 酸化 にぶい赤褐	楕圓形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転未切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転な で、内外面一部油埋付着。
1032 第183図	須恵器 杯	80住No.22、掘 No.5	器(40) □(140) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 酸化 にぶ い橙	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転などで、内外面 油埋付着。
1033 第183図	須恵器 杯	80住No.9	器(15) □一 底60 胴部下半～底部3/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転未切後上端回転削り。内：胴部下半～底部 回転などで。
1034 第183図 PL-114	土師器 壺	80住No.16、掘	器(85) □(170) 底(160) 底一 口縁部～胴部上1/6	砂・白色鉱物 酸化 黄	楕圓形。内外面口縁部～胴部回転などで、内外面 一部油埋付着。
1035 第198図 PL-116	須恵器 杯	88住No.9	器40 □128 底58 完形	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転未切。内：口縁部～底部回転などで。
1036 第198図 PL-116	須恵器 椀	88住No.11	器56 □152 台67 口縁部～高台部3/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台 貼付後などで。内：口縁部～底部回転などで。
1037 第198図 PL-116	須恵器 杯	88住No.1	器36 □(134) 底57 口縁部～底部2/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転未切。内：口縁部～底部回転などで。
1038 第198図 PL-116	須恵器 椀	88住No.14	器(35) □一 台一 胴部～高台部上端1/3	砂・白色鉱物・雲母 酸化 にぶい黄橙	楕圓形。外：胴部回転などで、底部回転未切後高 台貼付。内：胴部～底部回転などで、内外面傾し。 外面底部縁削。
1039 第198図	須恵器 杯	88住No.13	器(37) □一 台一 胴部～高台部上端1/4	砂・白色鉱物 酸化 にぶ い黄橙	楕圓形。右回転。外：胴部回転などで、底部回転 未切後高台貼付。内：胴部～底部回転などで。
1040 第183図 PL-114	須恵器 椀	80住覆土	器53 □(140) 台(60) 口縁部～高台部1/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	楕圓形。右回転。外：口縁部～胴部回転などで、 底部回転未切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 などで、内外面油埋付着。
1041 第198図	須恵器 椀	88住No.3	器(22) □一 台一 胴部下半～高台部上端 1/3	砂・小石・白色鉱物・雲 母 酸化 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転未切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転な で、内外面傾し。
1042 第198図	須恵器 杯	88住No.4	器(26) □一 底(50) 胴部下半～底部2/5	砂・白色鉱物・雲母 酸化 浅黄	楕圓形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転未切。内：胴部下半～底部回転などで。
1043 第198図 PL-116	土師器 台付壺	88住No.10、覆 土	器112 □(87) 頸(84) 底42 台71 口縁部～台部3/4	砂・小石・赤色鉱物・雲 母 酸化 にぶい橙	外：口縁部傾などで、胴部斜め寛削り、台部貼付、 底部下端～台部傾などで。内：口縁部傾などで、胴部 ～底部傾などで、台部傾などで、内外面油埋付着。
1044 第198図 PL-116	緑釉陶器 皿	88住No.5	器25 □(148) 台(82) 口縁部～高台部1/3	細砂 還元 灰白	楕圓形。外：口縁部～胴部回転などで、底部高台 貼付後回転などで。内：口縁部～底部回転などで。全 面に施釉。
1045 第184図	須恵器 椀	81住No.2・13、 覆土	器(16) □一 台一 胴部下半～高台部上端 2/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	楕圓形。右回転。外：胴部下半回転などで、底部 回転未切後高台貼付。内：胴部下半～底部回転な で。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種 ・器種	遺物名称・遺物 番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1046 第184回	須恵器 椀	81住覆土	器(16) □一 台(70) 胴部下端～高台部1/6	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰白・にぶい黄橙	輪軸整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部 回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転 なで。
1047 第293回	須恵器 杯	134坑覆土	器(34) □(146) 底一 口縁部～胴部1/6	砂・白色鉱物 半還元 灰 白・にぶい黄橙	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転なで。
1048 第292回	須恵器 杯	1269坑No.1	器(30) □(124) 底 (50) 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部回転 糸切。内：口縁部～底部回転なで。
1049 第293回 PL-124	須恵器 椀	164坑No.2・3 ・5・7・8、 覆土	器59 □146 台65 口縁部～高台部4/5	砂・小石・白色鉱物・赤 色鉱物 酸化 橙	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 なで。内外面一部油懸付着。
1050 第293回 PL-124	須恵器 杯	164坑No.1	器43 □(130) 底52 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物 酸化 明黄 褐	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。内面 油懸付着。
1051 第292回 PL-123	瓦 平瓦	1269坑No.4	長(56) 幅(71) 厚10 隅部破片	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	四面布目紋 凸面ナデ 面取りなし。
1052 第364回 PL-128	須恵器 壺	21区表土	器(77) □106 頸52 底一 口縁部～頸部1/1	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。頸部貼付。内外面口縁部～頸部回転 なで。
1053 第292回 PL-123	須恵器 椀	1259坑No.2	器(33) □一 台64 胴部～高台部4/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。
1054 第292回	須恵器 椀	1259坑No.1	器(25) □一 台61 胴部～高台部2/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。外：胴部回転なで、底部高台貼付後回 転なで。内：胴部～底部回転なで。
1055 第293回 PL-123	須恵器 椀	1309坑No.4、覆 土	器51 □141 台64 口縁部～高台部4/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 灰黄	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 なで。
1056 第293回 PL-123	須恵器 椀	130坑No.1・ 7、覆土	器(46) □一 台63 胴部～高台部2/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 半還元 灰白・浅黄橙	輪軸整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。
1057 第293回	須恵器 椀	1309坑No.5	器(40) □(140) 台一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 酸化 にぶ い黄橙	輪軸整形。内外面口縁部～胴部回転なで。
1058 第363回 PL-127	須恵器 椀	旧河道覆土	器(25) □一 台61 胴部～高台部2/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：胴部回転なで、底部回転 糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転なで。
1059 第363回 PL-128	須恵器 壺	旧河道覆土	器(75) □一 頸一 底(136) 胴部下半～底 部上端1/4	砂・小石・白色鉱物 半還 元 灰・にぶい黄橙	一部巻上尻。内外面平ら後回転なで。
1060 第363回 PL-128	須恵器 椀	旧河道No.7	器(51) □146 台一 口縁部～高台部上端 4/5	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 なで。
1061 第362回 PL-127	須恵器 椀	東斜面No.16	器60 □(146) 台(68) 口縁部～高台部2/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。外：口縁部～胴部回転なで、底部高台 貼付後なで。内：口縁部～底部回転なで。
1062 第361回 PL-126	須恵器 杯	東斜面No.8	器41 □(136) 底62 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切。内：口縁部～底部回転なで。内外 面に油懸付着。
1063 第363回 PL-127	須恵器 椀	東斜面No.6、 覆土	器56 □(124) 台(54) 口縁部～高台部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪軸整形。右回転。外：口縁部～胴部回転なで、 底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転 なで。
1064 第363回 PL-128	須恵器 杯	東斜面No.10、 覆土	器(50) □(164) 底(98) 口縁部～底部上端1/4	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪軸整形。内外面口縁部～底部上端回転なで。
1065 第363回 PL-127	灰胎陶器 椀	東斜面No.1、 覆土	器(25) □一 台(80) 胴部～高台部3/5	細砂・白色鉱物 還元 灰 白	輪軸整形。外：胴部回転なで、底部高台貼付後回 転なで。内：胴部～底部回転なで。内外面陶器 胎。

遺物番号	土器種 ・器種	遺構名称・遺構 番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
1066 第363回 PL-128	須志器 壺	東斜面覆土	器(75) □(240) 頸(22) 底一 口縁部～底部上半1/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	罐體整形。内外面口縁部～胴部上半回転で。
1067 第363回 PL-130	鉄 滓	東斜面覆土	長49 幅29 厚25 重47.6g		鉄分が含まれる。
1068 第364回 PL-129	灰釉陶器 椀	21区表土	器(25) □一 台78 胴部～高台部3/4	細砂・白色鉱物 還元 灰 白	罐體整形。外：胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：胴部～底部回転で。
1069 第365回 PL-131	石製品 砥石	21区表土	長(87) 幅29 厚19 重71.8g	アイサイト	使用面は4面。
1070 第365回 PL-126	須志器 椀	21区表土	器(40) □(130) 台一 口縁部～底部2/5	砂・赤色鉱物 酸化 橙	罐體整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
1071 第206回 PL-117	須志器 椀	94住№3、覆 土	器(43) □126 台一 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐體整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
1072 第206回 PL-117	須志器 杯	94住№4・5、 覆土	器(36) □(128) 底54 口縁部～底部2/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐體整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
1073 第206回 PL-117	須志器 椀	94住№8・9	器(48) □(132) 台一 口縁部～高台部上端 1/4	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐體整形。外：口縁部～胴部回転で、高台部貼付。内：口縁部～胴部回転で。外面胴部墨書「吉」。
1074 第206回 PL-117	須志器 椀	94住№6	器(38) □一 台(70) 胴部～高台部1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	罐體整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転後高台貼付。内：胴部～底部回転で。外面一部油煙付着。
1075 第206回 PL-117	須志器 椀	94住№5、覆 土	器(60) □(148) 台(76) 胴部～高台部1/3	砂 還元 灰白	罐體整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台貼付。内：口縁部～底部上半回転で。内面漆付着。
1076 第293回 PL-124	灰釉陶器 皿	172坑№1・ 2・3	器(30) □(133) 台68 口縁部～高台部1/2	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐體整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：口縁部～底部回転で。内外面口縁部～胴部回転。
1077 第293回 PL-124	須志器 杯	184坑№1	器(44) □(124) 底(50) 口縁部～底部1/6	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い橙	罐體整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。内外面口縁部～胴部油煙付着。
1078 第293回 PL-124	須志器 椀	184坑№6・ 7、覆土	器(55) □(146) 台(70) 口縁部～高台部1/4	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い橙	罐體整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：口縁部～底部回転で。内外面に油煙付着。
1079 第293回 PL-124	須志器 杯	184坑№3・ 5、覆土	器(28) □(154) 底一 口縁部～胴部1/4	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い橙	罐體整形。内外面口縁部～胴部回転で。内外面口縁部～底部墨書「？」。
1080 第293回 PL-124	須志器 杯	170坑№1	器(36) □一 底(51) 胴部下半～高台部1/4	砂・白色鉱物 酸化 濁	罐體整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転後高台貼付。内：胴部～底部回転で。内外面口縁部～胴部墨書「？」。
1081 第366回 PL-131	土製品 鉢	22区表土	長(44) 径27 孔11 重21.8g	砂・白色鉱物 酸化 ぶ い濁	中心部に径1mmの穿孔。
1082 第263回 PL-122	須志器 杯	70溝№1	器(25) □(100) 底56 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物・雪母 酸化 ぶい黄橙	罐體整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転後高台貼付。内：口縁部～胴部回転で。内外面一部油煙付着。
1083 第263回 PL-122	須志器 椀	70溝№3	器(35) □一 台(76) 胴部～高台部1/6	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい橙	罐體整形。外：胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：胴部～底部回転で。
1084 第263回 PL-122	須志器 椀	72溝覆土	器(24) □一 台(56) 胴部下半～高台部1/3	砂・白色鉱物 還元 灰白	罐體整形。右回転。外：胴部下半回転で、底部回転後高台貼付。内：胴部下半～底部回転で。
1085 第263回 PL-122	須志器 蓋	72溝覆土	器(20) □一 径34 換部～天井部上半2/3	砂・白色鉱物 還元 灰	換部貼付。外：天井部上半回転後削り。内：天井部上半回転で。



第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1086 第263回	須恵器 椀	73調№1	器(16) 口一 台68 胴部下端～高台部1/1	砂・小石・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい・黄橙	輪轆整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で。
1087 第263回	須恵器 杯	73調覆土	器(20) 口一 底(80) 胴部下～底部1/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪轆整形。胴部下半回転で、胴部下端～底部回転付。内：胴部下～底部回転で。
1088 第263回 PL-122	須恵器 壺	69調№1	器(53) 口一 頸一 底一 把手部1/1	砂・白色鉱物 酸化 灰黄褐	把手部貼付。把手部蓋で。
1089 第263回	須恵器 椀	69調覆土	器(27) 口一 台70 胴部下端～高台部4/5	砂・小石・白色鉱物 酸化 橙	輪轆整形。右回転。外：胴部下端回転で、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部下端～底部回転で。
1090 第263回 PL-122	須恵器 杯	75調№1・2、 覆土	器43 口132 底60 口縁部～底部3/5	砂・白色鉱物 酸化 ぶい・黄橙	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。内外面磨し。
1091 第363回 PL-128	須恵器 椀	斜面覆土	器54 口142 台64 口縁部～高台部2/3	砂・小石・白色鉱物 還元 灰	輪轆整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台貼付後で。内：口縁部～底部回転で。
1092 第363回 PL-128	須恵器 椀	斜面覆土	器54 口(140) 台52 口縁部～高台部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切後高台貼付。内：口縁部～底部回転で。
1093 第362回 PL-126	須恵器 杯	斜面№118	器37 口129 底57 口縁部～底部3/5	砂・小石・白色鉱物 還元 灰白	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。
1094 第363回 PL-128	須恵器 椀	斜面№12・36 ・48	器(43) 口一 台65 胴部～高台部2/3	砂・白色鉱物 酸化 ぶい・黄橙・橙	輪轆整形。右回転。外：胴部回転で、底部回転糸切後高台貼付。内：胴部～底部回転で。内外面油煙付着。
1095 第362回 PL-127	須恵器 椀	斜面覆土	器57 口(140) 台(65) 胴部～高台部1/4	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい・橙	輪轆整形。外：口縁部～胴部回転で、底部高台貼付後回転で。内：口縁部～底部回転で。外周胴部墨書「吉」。
1096 第361回 PL-126	須恵器 杯	斜面№13・14 ・15・16、覆土	器39 口132 底58 口縁部～底部4/5	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 ぶい・黄橙	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。内外面一部油煙付着。
1097 第361回 PL-126	須恵器 杯	斜面№94・95 ・98	器45 口(126) 底60 口縁部～底部1/2	砂・白色鉱物 酸化 灰黄褐	輪轆整形。右回転。外：口縁部～胴部回転で、底部回転糸切。内：口縁部～底部回転で。
1098 第364回 PL-128	灰胎陶器 壺	斜面№72、覆土	器(75) 口一 頸54 底一 口縁部～胴部上端1/2	粗砂 還元 灰白	輪轆整形。頸部貼付。内外面口縁部～胴部上端回転で。外面口縁部～胴部上端・内面口縁部～頸部磨し。
1099 第362回 PL-127	須恵器 杯	斜面№56	器(35) 口(130) 底一 口縁部～胴部1/6	砂・白色鉱物 還元 灰白	輪轆整形。内外面口縁部～胴部回転で。内面胴部墨書「得」。
1100 第361回 PL-125	土器類 壺	斜面№83・85 ・86、覆土	器(91) 口(206) 頸(190) 底一 口縁部～胴部上半1/3	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 橙	外：口縁部横で、一部指痕。胴部上半横溝あり。内：口縁部横で、胴部上半へ蓋で。内外面一部油煙付着。
1101 第366回 PL-131	石製品 管玉	2区表土	長38 径10 孔2 重6.1g 完形	瑠璃質岩	孔は中心よりずれている。孔径2mm。
1102 第263回 PL-120	鉄製品	84調覆土	長(38)幅3 厚3		棒状鉄製品。
1103 第215回 PL-117	鉄製品	104住覆土	長(52)幅13 厚1.5		鍛造。板状鉄製品。
1104 第217回 PL-118	石製品 管玉	105住№1	長32 径6 孔2 重2.3g 完形	安質玄武岩	孔は中心よりややずれている。孔径2mm。
1105 第217回 PL-118	石製品 管玉	105住№8	長18 径3.5 孔1.5 重0.4g 完形	安質玄武岩	中心部に径1.5mmの孔。

遺物番号	土器種 ・器種	遺物名称・遺物 番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1106 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№1	径4.5 厚3.0 孔1.3 重0.1g 宛形		中心部よりややずれた位置に径1.3mmの孔。
1107 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№2	径5.5 厚2.7 孔1.2 重0.1g 宛形		中心部よりややずれた位置に径1.2mmの孔。
1108 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№3	径4.7 厚6.1 孔2.0 重0.1g 宛形		中心部に径2mmの孔。
1109 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№4	径5.0 厚2.8 孔1.9 重0.1g 宛形		中心部に径1.9mmの孔。
1110 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№5	径5.1 厚4.3 孔1.7 重0.1g 宛形		中心部に径1.7mmの孔。
1111 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№6	径4.4 厚4.1 孔1.8 重0.1g 宛形		中心部に径1.8mmの孔。
1112 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№7	径4.5 厚3.7 孔1.5 重0.05g 宛形		中心部に径1.5mmの孔。
1113 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№8	径5.6 厚3.7 孔1.8 重0.1g 宛形		中心部に径1.8mmの孔。
1114 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№9	径5.7 厚3.3 孔1.6 重0.2g 宛形		中心部に径1.6mmの孔。
1115 第220回 PL-120	小 玉 ガラス	106住№10	径4.3 厚3.3 孔1.2 重0.1g 宛形		中心部に径1.2mmの孔。
1116 第220回 PL-119	石 製 品 勾 玉	106住№11	長(41) 厚13.5 孔1.7 重6.1g 宛形	琥珀	孔径1.7mm。
1117 第220回 PL-119	石 製 品 管 玉	106住№59	長42 径11 孔2 重9.1g 宛形	珪質頁岩	孔は中心よりややずれている。孔径2mm。
1118 第366回 PL-131	土 製 品 鉢	18区表土	長29 径22 孔3 重16.3g ほぼ宛形	砂・黄母 酸化 浅黄橙	孔は中心よりずれている。孔径3mm。
1119 第366回 PL-131	石 製 品 刺 模 造 品	18区表土	長(34) 径17 孔2 重1.8g 4/5	珪質単片岩	孔径2mm。先端部欠。
1121 第366回 PL-131	石 製 品 刺 模 造 品	21区表土	長(29) 径14.5 孔1.5 重1.6g ほぼ宛形	蛇紋岩質単片岩	孔径1.5mm。先端部欠。
1122 第364回 PL-129	軟質陶器 鉢	21区表土	器(58) 口(370) 底一 口縁部～胴部1/6	砂・小石・白色鉱物 半選 元 灰白・浅黄橙	口縁部玉縁状をなし、内面窪む。口縁部外面凹縁状に窪む。13世紀後半。断面の色調はサンドイッチ状を呈する。内外面一部油塗付着。
1123 第366回 PL-130	軟質陶器	22区表土	器(55) 口(380) 底一 口縁部～胴部破片	砂・白色鉱物・赤色鉱物 酸化 白・黄	口縁部上面はほぼ水平で、輪部はシャープ。断面の色調はサンドイッチ状を呈する。器壁やや厚い。16世紀中から後半か。
1124 第364回 PL-129	陶 器 壺 子	22区表土	器(39) 口一 台一 胴部破片	白色鉱物 還元 灰白	古瀬戸瓶子体部下位片。外面細かい買入の入る灰釉。外面下部に蓮弁状の文様。上部にも文様が認められる。古瀬戸中期であろう。
1125 第364回 PL-129	陶 器 碗	22区表土	器(26) 口一 台一 胴部破片	白色鉱物 還元 灰白	外面無釉。内面灰釉。内面底部と体部間に目取一箇所。古瀬戸平碗の胴部下位片であろう。

第III章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
1126 第364回 PL-129	陶器 椀	22区表土	器(30) 口一 台一 胴部破片	白色胎土 還元 灰白	外蓋上半から内面灰釉。外面上半は磨目、下半は回転刷り。古瀬戸平釉の胴部片であろう。
1127 第364回 PL-129	陶器 皿	22区表土	器(11) 口一 台一 胴部破片	還元 灰白	中国製胎印B1群であろう。
1128 第364回 PL-129	軟質陶器 鉢	22区表土	器(45) 口(340) 底一 口縁部～胴部上半破片	砂・白色胎土 酸化 ぶい黄橙	口縁部内面窪む。13世紀後半から14世紀前半。
1129 第364回 PL-129	軟質陶器 鉢	22区表土	器(58) 口(300) 底一 口縁部～胴部上半破片	砂・白色胎土 酸化 ぶい黄橙	瀬戸・美濃。磨釉。口縁部外反し、胴部は小さい玉縁状をなす。17世紀中頃。
1130 第364回 PL-129	陶器 皿	22区表土	器25 口119 台64 口縁部～高台部3/5	白色胎土 還元 灰白	美濃。内面から口縁部外面灰釉。見込みに鍍金鉄絵具による摺り絵。
1131 第364回 PL-129	陶器 香炉	22区表土	器43 口(80) 底76 口縁部～脚部1/2	砂・白色胎土 還元 淡黄	瀬戸・美濃。口縁部内面から体部外面胎釉。
1132 第364回 PL-129	陶器 皿	22区表土	器23 口(110) 台(62) 口縁部～高台部1/2	砂・白色胎土 還元 灰白	瀬戸・美濃。内面から高台胎灰釉。見込み重ね焼き時の高台板残る。美濃であろう。
1133 第364回 PL-128	陶器 椀	22区表土	器(45) 口一 台45 胴部～高台部1/2	白色胎土 還元 灰白	肥前、陶胎染付。内面と高台縁以下無釉。体部外面から高台外面に白化粧を施した後に無釉。外面は唐草文。
1134 第364回 PL-129	陶器 椀	22区表土	器54 口(104) 台45 口縁部～高台部2/5	還元 灰白	肥前、波佐見系。コンニャク印判。
1135 第364回 PL-129	陶器 灯明皿	22区表土	器27 口(138) 底(78) 口縁部～底部2/5	砂・白色胎土 酸化 ぶい黄橙	志戸品。内外面鉄絵をかけるが、底部の一部は無釉。アーチ状をなすと思われる意の殆どは欠損するが、一對設けられていたことは確認できる。
1136 第364回 PL-129	陶器 香炉	22区表土	器56 口(98) 底(94) 口縁部～脚部1/3	白色胎土 還元 灰白	瀬戸・美濃。口縁部から体部外面に胎釉。口縁部は内積し、上面は窪む。
1137 第364回 PL-129	陶器 椀	22区表土	器52 口(113) 台45 胴部～高台部2/3	還元 灰白	京・信楽系。見込み目痕三箇所。口縁部から体部に鉄絵。内面から高台外面に灰釉。貫入入る。
1138 第364回 PL-129	陶器 椀	22区表土	器78 口(92) 台36 口縁部～高台部1/2	還元 灰白	肥前、波佐見系。簡略化した雪輪模樹文。
1139 第364回 PL-129	白磁	22区表土	器(10) 口(44) 台一 口縁部～胴部1/3	還元 灰白	肥前。内面から口縁部に透明釉。貝殻状を呈する。口縁部平坦面縮狭。
1140 第364回 PL-128	磁器 椀	22区表土	器58 口(82) 台(58) 口縁部～高台部1/4	還元 灰白	肥前系。口頸。外面山水文。やや焼成不良。
1141 第366回 PL-130	軟質陶器 焙烙	22区表土	器(53) 口(340) 台(31) 口縁部～底部上端破片	酸化 灰黄	断面の色調はサンドイッチ状を呈する。体部内面の段差は僅かに残る。
1142 第365回 PL-130	銅製品 キセル型 首	22区表土	長(44) 幅11 厚1.2		羅字を差し込む部分は断面6角形を呈する。扉首は直線的で短い。
1143 第226回 PL-120	石製品 紡錘車	3掘立ピット 4	直38 孔7.5 厚20 重34.3g	蛇紋岩	周囲は磨れている。刻書「貞盛」。
1144 第6回 PL-89	石製品 紡錘車	1住置土	直44 孔6 厚16 重53.1g	蛇紋岩	糸で固定したと考えられる刻みあり。

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
1145 第298回 PL-92	石製品 紡錘車	13住No.3	直41 孔7.5 厚17.5 重38.9g	蛇紋岩	周囲は磨れている。
1146 第628回 PL-96	須恵器 肥手付椀	29住覆土	器(25) □一 台一 胴部～底部上端1/6	砂・白色灰物 還元 灰白	輪軸整形。把手部貼付。内外面胴部～底部上端回転などで、把手部磨削り後磨きなど。
1147 第296回 PL-125	土製品 鉢	283号No.14	長48 径18 孔3 重12.5g ほぼ完形	砂・白色灰物・赤色灰物 酸化 橙	中心部に径3mmの穿孔。
1148 第119回 PL-107	土製品 鉢	50住No.74	長48 径17 孔3 重14.5g ほぼ完形	砂・白色灰物・雲母 酸化 黒褐	中心部に径3mmの穿孔。
1149 第119回 PL-107	土製品 鉢	50住No.69	長43 径20 孔2.5 重17.1g ほぼ完形	砂 酸化 ぶい黄橙	中心部に径3mmの穿孔。両端は面取り。赤色顔料塗布。
1150 第119回 PL-107	土製品 鉢	50住No.68	長(51)径18 孔4 重13.7g ほぼ完形	砂・白色灰物・雲母 酸化 ぶい黄褐	中心部に径4mmの穿孔。
1151 第366回 PL-131	土製品 鉢	5区表土	長42 径10 孔3 重4.5g 完形	砂・白色灰物 酸化 黒褐	中心部に径3mmの穿孔。
1152 第366回 PL-130	須恵器 紡錘車	5区表土	直(54)孔8 厚13 重35.7g	砂・白色灰物 還元 灰白	外面は全面磨し。上面に刻字「倭」。
1153 第366回 PL-130	土製品 紡錘車	5区表土	直57 孔11 厚16 重43.7g	砂・白色灰物 酸化 明赤 褐	焼成前穿孔。表面は磨きで、面取り有り。
1154 第44回 PL-93	須恵器 紡錘車	21住No.1	直62 孔8 厚7 重30.4g	砂・白色灰物 還元 灰白	焼成前穿孔。表面は磨かれている。回転糸切痕有り。
1155 第69回 PL-98	土製品 鉢	32住No.64	長52 径21 孔4 重17.1g ほぼ完形	砂・白色灰物 酸化 ぶい 黄橙	中心部に径4mmの穿孔。
1156 第69回 PL-98	土製品 鉢	32住No.47	長39 径13 孔3 重5.4g 完形	砂・白色灰物 酸化 橙	中心部に径3mmの穿孔。
1157 第365回 PL-129	瓦 平瓦	21区表土	長(88) 幅(72) 厚11 中央部破片	砂・小石・白色灰物 還元 灰白	凹面布目痕 凸面ナメナメ
1159 第152回 PL-110	漆 漆紙文書	63住No.24	長(114) 幅(96) 厚1 胴部下半相当～ 底部相当4/5		杯ないしは柄の底部に付着していた漆紙が、割かれた物。
1160 第372回 PL-136	縄文石器 尖頭器	17区低地 No.43	長(39) 幅11 厚4.5 重2.4g	チャート	
1161 第372回 PL-136	縄文石器 尖頭器	4区表土	長(39) 幅16.5 厚5.5 重2.6g	チャート	
1162 第372回 PL-136	縄文石器 石 鏃	18区縄文包含 層No.24	長(23.5) 幅13.5 厚4.0 重0.7g	チャート	
1163 第372回 PL-136	縄文石器 石 鏃	50住層No.29	長27.5 幅13.5 厚4.5 重1.2g	チャート	
1164 第372回 PL-136	縄文石器 石 鏃	4区表土	長25.5 幅18.0 厚4.5 重1.5g	チャート	

## 第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺構名称・遺構番号・出土状況	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1165 第372図 PL-136	縄文石器 石 鉢	48住居跡覆土	長17.0 幅(17.5) 厚4.0 重0.5g	黒曜石	
1166 第372図 PL-136	縄文石器 石 鉢	22区表土	長23.0 幅13.5 厚5.0 重1.0g	チャート	
1167 第372図 PL-136	縄文石器 石 鉢	389ビット覆土	長21.0 幅15.0 厚3.0 重0.9g	チャート	
1168 第372図 PL-136	縄文石器 石 鉢	18区縄文包含層No88	長26.0 幅16.0 厚3.5 重1.2g	チャート	
1169 第372図 PL-136	縄文石器 石 鉢	3竪立ビット8覆土	長(25.0) 幅18.5 厚3.5 重0.9g	チャート	
1170 第372図 PL-136	縄文石器 石 鉢	5区表土	長(29.0) 幅18.0 厚3.5 重1.3g	チャート	
1171 第372図 PL-136	縄文石器 石 鉢	19区179ビットNo 1	長33.0 幅20.0 厚4.0 重2.0g	チャート	
1172 第372図 PL-136	縄文石器 石 鉢	4区表土	長29.0 幅20.0 厚7.0 重3.3g	チャート	
1173 第372図 PL-136	縄文石器 スクレイ パ ー	5区表土	長61.5 幅36.5 厚11.0 重19.6g	チャート	
1174 第372図 PL-136	縄文石器 スクレイ パ ー	5区表土	長60.0 幅55.5 厚15.0 重52.4g	チャート	
1175 第372図 PL-136	縄文石器 石 核	22区表土	長24.0 幅28.0 厚13.5 重11.3g	黒曜石	
1176 第372図 PL-136	縄文石器 石 核	5区表土	長38.0 幅52.5 厚26.5 重46.9g	チャート	
1177 第372図 PL-137	縄文石器 打製石斧	5区表土	長(70.0) 幅70.0 厚18.0 重100.1g	砂質頁岩	
1178 第372図 PL-137	縄文石器 打製石斧	54住居跡No 7	長(71.0) 幅70.0 厚16.5 重109.2g	ホルンフェルス	
1179 第373図 PL-137	縄文石器 打製石斧	3区表土	長(81.5) 幅97.5 厚25.0 重274.7g	ホルンフェルス	
1180 第373図 PL-137	縄文石器 打製石斧	63住居跡No18	長(93.5) 幅92.0 厚14.5 重184.4g	ホルンフェルス	
1181 第373図 PL-137	縄文石器 打製石斧	5区表土	長158.5 幅92.0 厚24.5 重477.2g	ホルンフェルス	
1182 第373図 PL-137	縄文石器 打製石斧	53溝	長183.0 幅70.5 厚28.0 重353.3g	ホルンフェルス	
1183 第373図 PL-137	縄文石器 打製石斧	18区縄文包含層	長(170.5) 幅79.5 厚42.5 重608.8g	ホルンフェルス	

遺物番号	土器種 ・器類	遺物名称・遺物 番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1184 第373回 PL-137	縄文石器 打製石斧	2区	長113.0 幅55.5 厚16.5 重131.6g	ホルンフェルス	
1185 第373回 PL-137	縄文石器 打製石斧	50住居跡No70	長(132.5) 幅72.5 厚14.5 重211.0g	ホルンフェルス	
1186 第373回 PL-137	縄文石器 打製石斧	84溝	長143.0 幅78.0 厚22.0 重246.1g	ホルンフェルス	
1187 第374回 PL-137	縄文石器 打製石斧	19区43溝No2	長155.5 幅81.5 厚21.5 重311.2g	ホルンフェルス	
1188 第374回 PL-137	縄文石器 打製石斧	59住居跡No20	長176.5 幅110.0 厚33.0 重798.0g	ホルンフェルス	
1189 第374回 PL-138	縄文石器 磨製石斧	35住居跡掘り 方No5	長67.0 幅33.0 厚13.0 重52.9g	変玄武岩	
1190 第374回 PL-138	縄文石器 スタンプ 形石器		長111.0 幅63.5 厚53.5 重592.0g	溶結凝灰岩	
1191 第374回 PL-138	縄文石器 石 皿	54住居跡No9	長(134.5) 幅152.0 厚65.0 重1456.7g	粗粒輝石安山岩	
1192 第374回 PL-138	縄文石器 くぼみ石	5区表土	長118.0 幅85.5 厚63.0 重488.2g	粗粒輝石安山岩	
1193 第374回 PL-138	縄文石器 くぼみ石	53住居跡No1	長129.5 幅78.5 厚40.0 重587.6g	粗粒輝石安山岩	
1194 第367回 PL-131	縄文土器 深 鉢	121土坑覆土	胴部片	織織・ふつう・明赤褐	半截竹管によるC字状爪形紋。有尾式。
1195 第367回 PL-132	縄文土器 深 鉢	121土坑覆土	胴部片	織織・ふつう・暗赤褐	付加条縄文。踏織式。
1196 第367回 PL-132	縄文土器 深 鉢	196土坑No1	口縁部片	細織・良・明赤褐	無彫LRを横位施紋。踏織式。
1197 第367回 PL-131	縄文土器 深 鉢	198土坑No3	口縁部片	織織・ふつう・赤黒	地紋に単筋LRを横位施紋。半截竹管による押引 紋。黒浜式。
1198 第367回 PL-132	縄文土器 深 鉢	198土坑No6	口縁部片	細織・良・明赤褐	付加条縄文。踏織式。
1199 第367回 PL-131	縄文土器 深 鉢	198土坑No1	胴部片	織織・ふつう・にふい橙	単筋RLを横位施紋。黒浜式。
1200 第367回 PL-131	縄文土器 深 鉢	16区199土坑 覆土	胴部片	織織・ふつう・にふい橙	単筋LRを横位施紋。黒浜式。
1201 第367回 PL-131	縄文土器 深 鉢	201土坑No17	胴部片	織織・ふつう・橙	単筋LR、RLを横位施紋。半截竹管によるC字状 爪形紋。黒浜式。
1202 第367回 PL-132	縄文土器 深 鉢	201土坑No3 ・4	胴部片	細織・ふつう・赤黒	単筋RLを横位施紋。踏織式。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴
1203 第367図 PL-131	縄文土器 深鉢	5区51住居跡 No.7	胴部片	黒色粒・ふつ・明赤褐	山形押型紋を縦位施紋。横沢式か。
1204 第367図 PL-131	縄文土器 深鉢	18区表土	胴部片	織漉、白色粒・ふつ・赤黒	地紋に単節 RL を横位施紋。半縦竹管によるC字状爪形紋。円形刺突。黒沢式。
1205 第367図 PL-131	縄文土器 深鉢	100住居跡 No.7	口縁部片	織漉・ふつ・橙	半縦竹管によるコンパス紋を横位多段に施紋。黒沢式。
1206 第367図 PL-131	縄文土器 深鉢	84溝覆土	口縁部片	織漉・良・ふい橙	単節 LR を横位施紋。黒沢式。
1207 第367図 PL-131	縄文土器 深鉢	21区縄文包含層	胴部片	織漉・ふつ・橙	単節 RL を横位施紋。黒沢式。
1208 第367図 PL-132	縄文土器 深鉢	18区表土	胴部片	白色粒、黒色粒・良・暗赤褐	単節 RL を横位施紋。半縦竹管によるC字状爪形紋。清磯a式。
1209 第367図 PL-132	縄文土器 深鉢	21区縄文包含層	口縁部片	白色粒・良・明赤褐	結節 RL を横位施紋。口唇部にキズミ。円形の孔を穿つ。清磯a式。
1210 第368図 PL-132	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	白色粒・ふつ・ふい橙	単節 RL を横位施紋。浮線紋を3条貼付。清磯b式。
1211 第368図 PL-132	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	白色粒・ふつ・ふい橙	C字状爪形紋を付した浮線紋を多段に貼付。清磯b式。
1212 第368図 PL-132	縄文土器 深鉢	19区43溝No.5	胴部片	細漉、白色粒・良・ふい橙	付加条縄文。清磯式。
1213 第368図 PL-132	縄文土器 深鉢	5区ビット 292覆土	口縁部片	白色粒、石英・ふつ・ふい黄橙	押引紋。口唇部に刺突列。浮島式。
1214 第368図 PL-132	縄文土器 深鉢	4区表土	口縁部～胴部	白色粒・良・ふい橙	口唇下縦位沈線。斜位の刺突列やロッキングを横位にめぐらせて区画し、区画内は半縦竹管による押し引きで横位変形状のモチーフを描く。浮島式。
1215 第368図 PL-133	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	金雲母、石英・ふつ・明赤褐	直線と波状の沈線を並行施紋。刺突列。勝坂式。
1216 第368図 PL-133	縄文土器 深鉢	49住居跡 No.135	口縁部片	細漉、白色粒・ふつ・ふい橙	波状口縁の波頂部。隆帯によるモチーフ。RL施紋。加曾利E 3式。
1217 第368図 PL-133	縄文土器 深鉢	5区54住居跡 No.8	口縁部片	細漉、白色粒・ふつ・ふい橙	波状口縁。波頂部に透かし孔の痕跡あり。沈線区画内にRL縄文充填。加曾利E 3式。
1218 第368図 PL-133	縄文土器 深鉢	5区表土	口縁部片	細漉、白色粒・ふつ・ふい橙	隆帯と沈線による櫛目状区画。単節 RL を充填。加曾利E 3式。
1219 第368図 PL-133	縄文土器 深鉢	5区表土	口縁部片	白色粒・ふつ・ふい橙	隆帯と沈線による櫛目状区画。単節 RL を充填。加曾利E 3式。
1220 第368図 PL-133	縄文土器 深鉢	58住居跡 No.7	口縁部片	白色粒・ふつ・ふい橙	波状口縁。波頂下に隆帯によるJ字状の貼付。隆帯により口縁部と胴部の紋線帯を隔す。胴部には沈線による縦位櫛目状区画と垂下沈線を施し、RL縦位充填。加曾利E 3式。
1221 第368図 PL-133	縄文土器 深鉢	5区表土	口縁部片	白色粒・ふつ・橙	波状口縁。口縁部に隆帯による櫛目状の区画を配し、RLを充填。胴部は垂下沈線とRL縦位施紋。加曾利E 3式。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1222 第369回 PL-133	縄文土器 深鉢	5区表土	口縁部片	細礫、白色粒・ふつう・ によい橙	垂下沈線と横位楕円状区画。RL充填。加管利E4式。
1223 第369回 PL-133	縄文土器 深鉢	5区表土	口縁部片	細礫、白色粒・ふつう・ によい橙	2条の沈線による縦位楕円状区画。RLを縦位施紋。加管利E4式。
1224 第369回 PL-133	縄文土器 深鉢	4区表土	口縁部片	白色粒・ふつう・によい 橙	横位隆帯により口縁部を区画し、無紋帯を形成。 以下RL施紋。加管利E4式。
1225 第369回 PL-133	縄文土器 深鉢	58住居跡覆土	胴部片	白色粒・ふつう・によい 橙	沈線による横位楕円状区画にRL横位充填。垂下 沈線と縦位RL施紋。加管利E3式。
1226 第368回 PL-131	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐	垂下沈線と縦位RL施紋。加管利E3式。
1227 第369回 PL-134	縄文土器 深鉢	6区表土	胴部片	白色粒・ふつう・によい 橙	垂下沈線と縦位RL施紋。加管利E5式。
1228 第369回 PL-134	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ によい橙	垂下沈線と縦位RL施紋。加管利E5式。
1229 第369回 PL-134	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ によい橙	垂下沈線と縦位RL施紋。加管利E5式。
1230 第369回 PL-134	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ によい橙	垂下沈線と縦位RL施紋。加管利E5式。
1231 第369回 PL-133	縄文土器 深鉢	4区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐	隆帯による曲線状区画。縦位RL施紋。加管利E4 式。
1232 第369回 PL-133	縄文土器 深鉢	4区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ によい橙	2条並行隆帯による曲線状区画。縦位LR施紋。加 管利E4式。
1233 第369回 PL-133	縄文土器 深鉢	57住居跡 №7	胴部片	細礫、白色粒・良・橙	沈線による縦位楕円状区画に縦位RL充填。加管 利E4式。
1234 第369回 PL-133	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐	垂下沈線と縦位楕円状区画。縦位RL施紋。加管利 E4式。
1235 第369回 PL-133	縄文土器 深鉢	4区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐	隆帯による縦位楕円状区画。斜位RL充填。加管利 E4式。
1236 第369回 PL-134	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	細礫、白色粒・良・橙	横位隆帯。RL横位施紋。加管利E5式。
1237 第369回 PL-134	縄文土器 深鉢	4区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ 明赤褐	円形凹突を挟んだ沈線により横位区画。垂下沈線 と縦位条線。加管利E5式。
1238 第369回 PL-134	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	細礫、白色粒・ふつう・ によい橙	縦位条線。加管利E5式。
1239 第369回 PL-134	縄文土器 深鉢	5区表土	胴部片	白色粒・ふつう・浅黄橙	垂下沈線と縦位条線。加管利E5式。
1240 第370回 PL-134	縄文土器 深鉢	29住居跡 №116	口縁部片	細礫、白色粒・ふつう・ 黒褐	突起部。沈線区画とRL施紋。称名寺1式。



第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種 ・器種	透写名号・透写 番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1241 第370図 PL-134	縄文土器 深 鉢	22区表土	口縁部片	白色粒・ふつう・にぶい 粒	横状突起。称名寺Ⅰ式。
1242 第370図 PL-134	縄文土器 深 鉢	53溝覆土	胴部片	細織、白色粒・ふつう・ 明赤褐色	沈線によるモチーフにLR充填。称名寺Ⅰ式。
1243 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	2区表土	口縁部片	白色粒・ふつう・明赤褐色	沈線によるモチーフ。称名寺Ⅱ式。
1244 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	18区縄文包含 層	胴部片	白色粒・ふつう・浅黄褐色	沈線によるモチーフと列点。称名寺Ⅱ式。
1245 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	91住覆土	胴部片	白色粒・ふつう・黒褐色	沈線によるモチーフと列点。称名寺Ⅱ式。
1246 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	18区表土	胴部片	白色粒・ふつう・にぶい 粒	J字状沈線と列点。称名寺Ⅱ式。
1247 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	22区表土	胴部片	白色粒・ふつう・にぶい 粒	沈線によるモチーフと列点。称名寺Ⅱ式。
1248 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	22区表土	胴部片	白色粒・やや不良・黒褐色	沈線によるモチーフと列点。称名寺Ⅱ式。
1249 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	18区表土	胴部片	白色粒・ふつう・にぶい 粒	刺突を施した隆帯により横位区画。沈線によるモ チーフと列点。称名寺Ⅱ式。
1250 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	19区表土	胴部片	白色粒・ふつう・にぶい 粒	沈線によるモチーフ。称名寺Ⅱ式。
1251 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	2区・18区表 土	胴部片	白色粒・ふつう・にぶい 粒	沈線によるモチーフ。称名寺Ⅱ式。
1252 第370図 PL-135	縄文土器 深 鉢	18区	胴部片	白色粒・ふつう・にぶい 黄褐色	沈線によるモチーフと列点。称名寺Ⅱ式。
1253 第370図 PL-135	縄文土器 注口土器	26住№7	胴部片	細織、白色粒・ふつう・ にぶい粒	沈線によるJ字状区画。称名寺Ⅱ式。
1254 第370図 PL-134	縄文土器 深 鉢	43溝№1	底部片	白色粒・ふつう・浅黄褐色	紋様下の無紋部。称名寺Ⅱ式。
1255 第370図 PL-134	縄文土器 深 鉢	4区表土	口縁部片	白色粒・やや不良・にぶ い粒	刺突と口縁に沿う沈線。堀之内Ⅰ式。
1256 第370図 PL-134	縄文土器 深 鉢	16区表土	胴部片	細織、白色粒・ふつう・ にぶい粒	渦巻状沈線と縦位LR施紋。堀之内Ⅰ式。
1257 第371図 PL-134	縄文土器 深 鉢	4区表土	胴部片	細織、白色粒、石英・ふ つう・にぶい粒	集合沈線による縦位区画。区画内も集合沈線を斜位 に充填。堀之内Ⅰ式。
1258 第371図 PL-134	縄文土器 深 鉢	4区表土	胴部片	細織、白色粒・ふつう・ 浅黄褐色	キザミを付した隆帯による横位区画。深い沈線に よる弧線紋を充填。堀之内Ⅰ式。
1259 第371図 PL-135	縄文土器 深 鉢	7坑覆土	口縁~胴部片	細織、白色粒・良・明赤 褐色	波状口縁。横位隆帯により紋様帯を区画。さらに キザミを付した縦位隆帯で分割。紋様帯内は縦位 斜位状沈線により充填。紋様帯下は無紋。堀之内 Ⅰ式。

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1260 第371回 PL-134	縄文土器 深鉢	4区表土	口縁部片	細粒、白色粒・ふつう・橙	口縁部にキザミを付した隆線を横位にめぐらし、以下は沈線によるモチーフ。堀之内2式。
1261 第371回 PL-134	縄文土器 深鉢	6区表土	胴部片	細粒、白色粒・ふつう・よい黄橙	沈線による横位、斜位のモチーフ。LR充塞。堀之内2式。
1262 第371回 PL-136	縄文土器 深鉢	21区縄文包含層	口縁部片	細粒、白色粒・良・明赤褐	沈線によるモチーフ。加曾利B式。
1263 第371回 PL-136	縄文土器 深鉢	49住居跡№50	口縁部片	細粒、白色粒・ふつう・よい橙	内湾する器形。3条の凹線を横位にめぐらし、以下LR横位施紋。加曾利B式。
1264 第371回 PL-136	縄文土器 深鉢	49住居跡覆土	胴部片	白色粒、石英・ふつう・橙	LR地紋。横位凹線。加曾利B式。
1265 第371回 PL-136	縄文土器 深鉢	19住居跡覆土	口縁部片	細粒、白色粒・ふつう・浅黄橙	口唇直下にキザミ。沈線による入組状のモチーフ。晩期。
1266 第371回 PL-136	縄文土器 深鉢	19住居跡覆土	口縁部片		1265、1267、1268と同一個体。
1267 第371回 PL-136	縄文土器 深鉢	19住居跡覆土	胴部片		1265、1266、1268と同一個体。
1268 第371回 PL-136	縄文土器 深鉢	19住居跡覆土	胴部片		1265、1266、1267と同一個体。
1269 第365回 PL-129	鉄製品 刀子	22区表土	長(102) 幅(16) 厚5 身～茎の一部		鍛造品。
1270 第365回 PL-130	鉄製品 釘?	22区表土	長(102) 幅4.5 厚4 頭部欠		角棒状品。釘の一部か。
1271 第365回 PL-130	鉄製品	22区表土	長(37) 径4.5		丸棒状品。
1272 第365回 PL-130	鉄製品	22区表土	長(32) 幅4.5 厚4		角棒状品。
1273 第365回 PL-129	鉄製品 刀子	22区表土	長(42) 幅(13.5) 厚4.5 身の一部		鍛造品。
1274 第365回 PL-130	鉄製品	22区表土	長37 幅14 厚4.5		板状品が曲げられている形態。
1275 第365回 PL-130	鉄製品	22区表土	長23 幅22 厚4		板状品。
1276 第69回 PL-98	鉄製品	32住居№84	長55 幅19 厚3.5		板状品。先端は曲げられている。
1277 第69回 PL-98	鉄製品 刀子	32住居№52	長(96) 幅(14) 厚5 身の一部～茎		鍛造品。茎の回りには柄の一部が残っている。留め金具も残存。
1278 第182回 PL-114	鉄製品	79住居№1	長(35) 幅5.5 厚4		角棒状。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	透視名称・透視番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴値
1279 第72回 PL-98	鉄製品	33住居覆土	長(15) 幅22 厚15		釘の頭か。
1280 第72回 PL-98	鉄製品	33住居覆土	長(15) 幅12 厚13		釘の頭か。
1281 第365回 PL-129	鉄製品 同 鉄	21区表土	長113 幅115 厚6		近代以降か。
1282 第64回 PL-97	鉄製品 釘	30住居覆土	長(25) 幅5.5 厚3 頭端部・先端部欠		釘の一部。
1283 第68回 PL-98	鉄製品 鏝	32住居覆土	長(57) 幅28 厚4.5 先端部欠		鏝の刃部～基部。
1284 第91回 PL-103	鉄製品	39住居No15	長(57) 幅14 厚1.5		板状品。先端に孔あり。
1285 第263回 PL-122	鉄製品 鏝 ?	69洞覆土	長(31) 幅(29) 厚5.5		角棒状品が曲げられた形。鏝の一部か。
1286 第365回 PL-129	鉄製品 鏝 ?	22区表土	長(49) 幅(29) 厚4		板状品。鏝の一部か。
1287 第365回 PL-130	鉄製品	22区表土	長(21) 幅5 厚2		角棒状品。
1288 第69回 PL-98	鉄製品 鏝	32住居No65	長(44) 幅24 厚2.5		板状品。鏝か。
1289 第365回 PL-130	鉄製品	22区表土	長(41) 幅5.5 厚2.0		板状品。刀子の基か。
1290 第366回 PL-130	鉄製品 釘	22区表土	長(25) 幅5.0 厚4.5		棒状品。釘の一部か。
1291 第365回 PL-130	鉄製品 釘	16区表土	長(30) 幅4.5 厚2.0		棒状品。釘の一部か。
1292 第365回 PL-130	鉄 押	22区表土	長86 幅61 厚24 重		椀型押の一部。
1293 第366回 PL-130	鉄製品	22区表土	長(31) 幅7.0 厚4.5		棒状品。
1294 第365回 PL-129	鉄製品 刀 子	5区表土	長(115) 幅15.5 厚4.0 身の先端部欠		刀子の身～茎。
1295 第365回 PL-130	鉄製品 釘	5区表土	長66 幅10.5 厚8.0		釘の中央部から先端部が曲げられている。
1296 第365回 PL-130	鉄製品	5区表土	径30 幅6.0 厚3.0		リング状。一箇所突起。
1297 第20回 PL-91	鉄製品 釘	8住居覆土	長(70) 幅6.5 厚6.0 頭部欠		角棒状。釘の頭部が欠けたものか。

遺物番号	土器種類	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1298 第62回 PL-96	鉄製品 釘	29住居№1	長44 幅8.5 厚4.0 ほぼ完形		釘の先端部が一部欠。
1299 第152回 PL-110	鉄製品 刀子	63住居№1	長(79) 幅7.5 厚3.0 身の先端・茎の端部欠		刀子の身の先端部と茎の端部が欠けたもの。
1300 第152回 PL-110	鉄製品 釘	63住居南東隅	長(71) 幅12.5 厚5.5 頭部欠		角棒状。釘の頭部が欠けたものか。
1301 第139回 PL-106	鉄製品 鎌先	58住居覆土	長(112) 幅33 厚5.0 鎌先1/2		鎌先。
1302 第9回 PL-90	鉄製品	3住居№25	長37 幅12.5 厚12.0 完形		両端に凹みあり。
1303 第9回 PL-90	鉄製品 鎌?	3住居№47	長(82) 幅9.0 厚4.5 一部欠		鎌の一部か。
1304 第9回 PL-90	鉄製品 釘	3住居覆土	長(82) 幅6.5 厚5.0 頭部～身上半欠		釘の一部か。
1305 第9回 PL-90	鉄製品	3住居覆土	長(23) 幅7.0 厚4.0		刀子の茎か。
1306 第109回 PL-105	鉄製品 刀子?	48住居№73	長(103) 幅23.0 厚5.0 身上半～茎		刀子の身上半～茎か。
1307 第114回 PL-105	鉄製品 刀子	49住居№123	長(63) 幅8.0 厚3.5 身下端～茎		刀子の身上端～茎か。
1308 第62回 PL-96	鉄製品 刀子	29住居掘り方	長(63) 幅13.0 厚6.0 身～茎上端		刀子の身～茎上端か。
1309 第9回 PL-90	鉄製品 釘	3住居№14	長(82) 幅8.0 厚7.5 身の先端欠		釘の頭～身。
1311 第365回 PL-130	鉄製品 釘	5区表土	長(33) 幅6.0 厚4.5 身の先端欠		釘の頭～身。
1312 第365回 PL-130	鉄製品	5区表土	径30 厚10.0		鎌?
1313 第365回 PL-130	鉄製品 釘	5区表土	長(39.5) 幅7.5 厚5.5 中央部～先端部		釘身の中央部～先端部。
1314 第365回 PL-129	鉄製品 刀子?	5区表土	長(26.5) 幅9.0 厚4.0 身の一部		刀子の身の一部か。
1315 第125回 PL-108	鉄製品 鎌	51住居№7	長166 幅42.5 厚2.5 ほぼ完形		鎌の完形品。
1316 第62回 PL-97	鉄製品 刀子	29住居№2	長(143) 幅12.5 厚4.0 身～茎上半		刀子の身～茎上半。茎に柄の木部残る。
1317 第50回 PL-94	鉄製品 鎌	25住居№23	長205 幅43.0 厚4.5 ほぼ完形		鎌の完形品。

第三章 遺物観察表

遺物番号	土器種・器種	遺物名称・遺物番号・出土状態	計測値(mm)・遺存状態	胎土・焼成・色調	器形・技法の特徴他
1318 第139回 PL-109	鉄製品 紡錘車	58住居覆土	長(273) 径55.0 幅7.5 厚6.5 ほぼ完形		紡錘車のほぼ完形品。軸部の両端が一部欠。
1319 第358回 PL-92	鉄製品 馬具	17住居№3	長92 幅58.0 厚11.0~3.5 ほぼ完形		轡の銜部か。
1320 第365回 PL-129	鉄製品 刀子	3区表土	長(71) 幅10.5 厚2.5 身~茎の一部		刀子の身~茎の一部。
1321 第101回 PL-103	鉄製品 刀子	45住居№2	長(47) 幅14.5 厚1.5 身の一部		刀子の身の一部か。
1322 第365回 PL-129	鉄製品 押	4区表土	長68 幅36 厚4.0 ほぼ完形		押の頭部の完形品。
1323 第365回 PL-129	鉄製品 刀子	4区表土	長(46) 幅14.0 厚3.0 身基部~茎の一部		刀子の身基部~茎の一部か。
1324 第365回 PL-130	鉄製品 火打金?	18区表土	長(55) 幅(41) 厚3.5		板状品。火打金か。
1325 第118回 PL-90	鉄製品 刀子	4住居№10	長(127) 幅11.0 厚2.5 ほぼ完形		刀子のほぼ完形品。身の先端・茎の端欠。茎に柄の基部一部残。
1326 第203回 PL-116	鉄製品 馬具	90住居№12	長(97) 幅48 厚4.5~7.5 一部欠		鞍留め金具か。
1327 第365回 PL-129	鉄製品 鏝	5区表土	長(92) 幅18.0 厚3.5		鏝殻の鏝の一部か。
1328 第365回 PL-129	鉄製品 刀子	22区表土	長(132) 幅12.5 厚5.0 身~茎の一部		刀子の身上半~茎。
1329 第69回 PL-98	鉄 押	32住居№57	長40 幅37 厚23 重39.7g		鉄分が含まれている。
1330 第88回 PL-102	鉄 押	38住居№2	長92 幅57 厚41 重224.1g		鉄分が含まれている。
1331 第182回 PL-114	鉄 押	79住居№26	長51 幅55 厚47 重104.5g		鉄分が含まれている。
1332 第262回 PL-122	鉄 押	59溝№26	長67 幅37 厚47 重180.5g		鉄分が含まれている。
1333 第365回 PL-130	鉄 押	5区表土	長55 幅70 厚26 重89.9g		鉄分が含まれている。
1334 第365回 PL-130	鉄 押	5区表土	長50 幅62 厚18 重57.6g		鞍型押の一部か。

## 第IV章 発掘調査の成果と問題点

### 第1節 東今泉鹿島遺跡における自然科学分析

#### 1. 東今泉鹿島遺跡におけるテフラ分析

##### 1. はじめに

群馬県域とその周辺に分布する後期更新世以降に形成された地層の中には、赤城、榛名、浅間など北関東地方とその周辺の火山、中部地方や中国地方さらには九州地方などの火山に由来するテフラ（火山砕屑物、いわゆる火山灰）が多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。

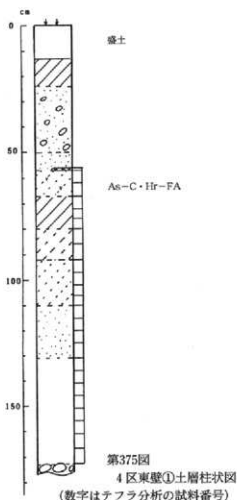
そこで、層位や年代が不明なテフラや土層が検出された東今泉鹿島遺跡においても、地質調査を行って土層の層序を記載するとともに、テフラ検出分析、火山ガラス比分析、屈折率測定を行って指標テフラとの同定を行い、土層の層位や年代に関する資料を収集することになった。調査分析の対象となった地点は、4区東壁①、X=130-Y=350グリッド、4区南壁、7区、4区東壁②、3区4号トレンチ、3区西壁、19区東壁、19区西壁、YB区（1区深掘1T西壁）、17区東壁、18区西壁南地点、18区西壁北地点の13地点である

#### 2. 土層の層序

##### (1) 4区東壁①

4区東壁①では、礫層の上位に、下位より褐色土（層厚42cm）、砂混じり黄灰色土（層厚13cm）、緑灰色砂質土（層厚12cm）、灰褐色土（層厚25cm）、灰色がかった褐色土（層厚21cm）、灰褐色土（層厚18cm）、灰色がかった暗褐色土（層厚12cm）、黒褐色土（層厚13cm）、白色軽石混じりで若干色調が暗い灰色土（層厚11cm、軽石の最大径7mm）、褐色シルト層（層厚1cm）、灰色砂層（層厚7cm）、亜円礫混じり灰色砂礫

株式会社 古澤塚研究所



第IV章 発掘調査の成果と問題点

層(層厚25cm、礫の最大径37mm)、黒灰褐色土(層厚11cm)、盛土(層厚13cm)が認められる(図375)。発掘調査では、褐色シルト層の直下から水田跡が検出されている。

(2)  $X=130-Y=350$ グリッド

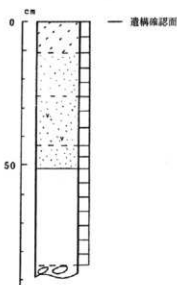
$X=130-Y=350$ グリッドでは、亜円礫層(礫の最大径213mm)の上位に、下位より褐色土(層厚34cm)、成層した灰色砂層(層厚25cm)、柔らかい灰色砂層(層厚15cm)、若干色調が暗い灰色砂質土(層厚11cm)、が認められる(図376)。これらのうち成層した砂層は、下部の灰色砂層(層厚8cm)と、上部の黄色軽石混じり灰色砂層(層厚17cm)からなる(図376)。

(3) 4区南壁

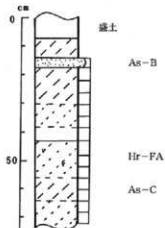
4区南壁では、下位より灰色砂質土(層厚8cm以上)、暗灰褐色土(層厚8cm)、白色軽石混じり灰色土(層厚13cm、軽石の最大径4mm)、黄灰色砂層(層厚5cm)、灰色砂質土(層厚8cm)、砂混じり暗灰色土(層厚13cm)、黄灰色粗粒火山灰層(層厚3cm)、砂混じり暗灰色土(層厚8cm)、盛土(層厚57cm)が認められる(図377)。

(4) 7区

7区では、下位より黒灰褐色土(層厚3cm以上)、褐色土(層厚3cm)、成層したテフラ層(層厚7.3cm)、青灰色粗粒火山灰層(層厚0.2cm)、砂混じり暗灰色土(層厚0.8cm)、桃灰色砂層(層厚0.6cm)、砂混じり暗灰色土(層厚3cm)、灰褐色砂質土(層厚5cm以上)が認められる。成層したテフラ層は、下位より灰色粗粒火山灰層(層厚1.8cm)、桃色粗粒火山灰層(層厚1.5cm)、黄灰色粗粒火山灰層(層厚2cm)、桃色砂質細粒火山灰層(層厚2cm)からなる。このテフラ層は、層相から1108(天仁元)年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B、荒牧, 1968、新井, 1979)に同定される。発掘調査では、このテフラ層の直下から水田跡が検出されている。またその直上の青灰色粗粒火山灰層については、その層相から



第376図  $X=36.130 \cdot Y=-39.350$ グリッドの土層柱状図



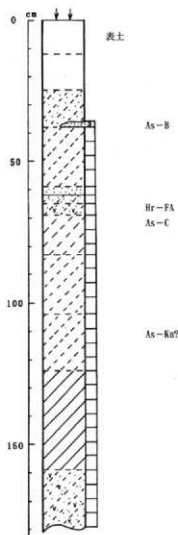
第377図 4区南壁土層柱状図



第378図 7区土層柱状図(向矢部遺跡)







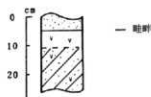
第381図 3区西壁土層柱状図

(8) 19区東壁

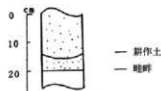
19区東壁では、下位より白色軽石（最大径4mm）および黄灰色粗粒火山灰混じり黒灰褐色土（層厚15cm）、白色軽石混じり灰色土（層厚6cm、軽石の最大径5mm）、黄灰色砂層（層厚5cm以上）が認められる（図382）。これらのうち、黄灰色砂層の直下から畦畔が検出されている。

(9) 19区西壁

19区西壁では、下位より褐色がかかった灰色土（層厚6cm）、黄灰色砂層（層厚5cm）が認められる（図383）。黄灰色砂層の上位には耕作痕が認められ、灰



第382図 19区東壁土層柱状図



第383図 19区西壁土層柱状図

褐色砂質土により埋没している。

(10) YB区（1区深掘1T西壁）

(11) 17区東壁

17区東壁では、下位より灰色砂層（層厚11cm以上）、黒泥層（層厚13cm）、灰色粗粒火山灰層（層厚2cm）、暗灰色泥層（層厚0.8cm）、灰色泥層（層厚2cm）、暗灰色泥層（層厚0.7cm）、灰色泥層（層厚1cm）、白色軽石混じり桃色粗粒火山灰層（層厚2cm、軽石の最大径7mm）、暗灰色泥層（層厚3cm）、若干黄色がかかった灰色粘質土（層厚16cm）、灰色粘質土（層厚5cm）、

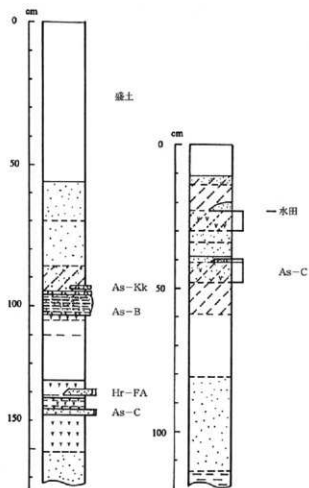
黒泥層(層厚2cm)、成層したテフラ層(層厚4.6cm)、砂混じり暗灰色土(層厚0.2cm)、灰色細粒火山灰層(層厚0.3cm)、砂混じり暗灰色土(層厚7cm)、砂混じり灰色土(層厚16cm)、砂混じりで若干黄色がかった灰色土(層厚14cm)、盛土(層厚56cm)が認められる(図384)。

これらのうち成層したテフラ層は、下位より灰色砂質細粒火山灰層(層厚0.2cm)、黄褐色粗粒火山灰層(層厚0.5cm)、暗灰色粗粒火山灰層(層厚0.2cm)、桃色粗粒火山灰層(層厚1cm)、暗灰色粗粒火山灰層(層厚0.3cm)、黄色粗粒火山灰層(層厚0.7cm)、暗灰色粗粒火山灰層(層厚0.4cm)、桃色細粒火山灰層(層厚1.3cm)からなる。このテフラ層は、層相から1108(天仁元)年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B、荒牧, 1968、新井, 1979)に同定される。また、その上位の灰色細粒火山灰層については、層位や層相などから、1128(大治3)年に浅間火山から噴出したと考えられている浅間粕川テフラ(As-Kk, 1128年、早田, 1991、1995、1996、2004)に同定される。

## ② 18区西壁南地点

18区西壁南地点では、下位より黄色シルト層(層厚5cm)、黄色砂質土(層厚33cm)、灰色土(層厚22cm)、暗灰褐色土(層厚11cm)、黄灰色粗粒火山灰や白色細粒軽石混じり暗褐色土(層厚7cm、軽石の最大径3mm)、桃色細粒砂層(層厚0.6cm、レンズ状)、灰色砂質土(層厚1cm)、黄灰色砂層(層厚5cm)、黄色砂層(層厚4cm)、白色軽石を多く含む灰褐色土(層厚7cm、軽石の最大径5mm)、灰色砂層(層厚3cm)、暗灰褐色土(層厚6cm)、黄色粗粒火山灰を多く含む暗灰褐色土(層厚3cm)、灰色表土(層厚11cm)が認められる。

これらのうち灰色砂層の直下からは水田遺構が検出されている。また暗灰褐色土中に含まれる黄色粗粒火山灰については、その層位や岩相などからAs-Bに由来する可能性が考えられる。

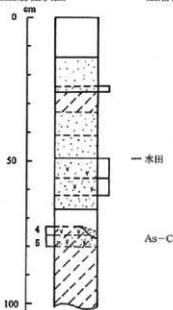


第384図

17区東壁土層柱状図

第385図

18区西壁南地点土層柱状図



第386図

18区西壁北地点土層柱状図

⑬ 18区西壁北地点

18区西壁北地点では、下位より暗灰褐色土（層厚21cm以上）、白色細粒軽石に富む暗灰褐色土（層厚4cm、軽石の最大径3mm）、白色軽石混じり暗灰褐色土（層厚3cm、軽石の最大径3mm）、溝状遺構を埋める黄白色砂層（最大層厚3cm）、灰色土（層厚6cm）、黄色砂層（層厚5cm）、白色軽石混じり灰褐色土（層厚6cm）、白色軽石混じり灰色土（層厚7cm）、黄灰色砂層（層厚8cm）、灰色砂質土（層厚8cm）、暗灰褐色土（層厚7cm）、黄色砂層（層厚2cm）、砂混じり灰色土（層厚10cm）、盛土（層厚14cm）が認められる（図386）。

これらのうち、下位の黄色砂層の直下から比較的大きい溝状遺構、黄灰色砂層の直下から水田遺構が検出されている。また上位の黄色砂層のすぐ下位にある暗灰褐色土基底が、9世紀の住居址の確認面とされているらしい。

3. 火山ガラス比分析

(1) 分析試料と分析方法

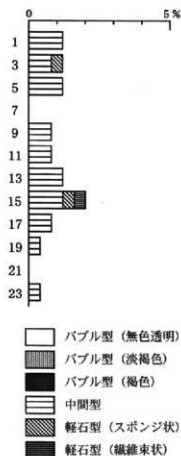
火山ガラス質の指標テフラの層位を明らかにするために、4区東壁①において採取された試料のうち12点を対象に火山ガラス比分析を行った。分析の手順は次の通りである。

- 1) 試料12gを秤量。
- 2) 超音波洗浄により泥分を除去。

第8表 4区東壁①における火山ガラス比分析結果

地点	試料	bw(cl)	bw(pb)	bw(br)	md	pm(sp)	pm(fb)	その他	合計
4区東壁①	1	0	0	0	3	0	0	247	250
	3	0	0	0	2	1	0	247	250
	5	0	0	0	3	0	0	247	250
	7	0	0	0	0	0	0	250	250
	9	0	0	0	2	0	0	248	250
	11	0	0	0	2	0	0	248	250
	13	0	0	0	3	0	0	247	250
	15	0	0	0	3	1	1	245	250
	17	0	0	0	2	0	0	248	250
	19	0	0	0	1	0	0	249	250
	21	0	0	0	0	0	0	250	250
	23	0	0	0	1	0	0	249	250

数字は粒子数。bw：バブル型、md：中間型、pm：軽石型、cl：透明、pb：淡褐色、br：褐色、sp：スポンジ状、fb：繊維束状。



第387図 4区東壁火山ガラス比ダイアグラム

- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 分析篩により1/4-1/8の粒子を篩別。
- 5) 偏光顕微鏡下で250粒子を観察し、火山ガラスの色調形態別比率を把握。

#### (2) 分析結果

火山ガラス比分析の結果をダイアグラムにして図387に、その内訳を表8に示す。分析では、試料21と試料7を除くいずれの試料からも分厚い中間型ガラスを検出することができた(0.4~1.2%)。ほかに試料によっては(試料15および試料3)、スポンジ状に発泡した軽石型や、繊維束状に発泡した軽石型がごく少量含まれている。ただし、とくに顕著なテフラ粒子の濃集層は認められなかった。

### 4. テフラ検出分析

#### (1) 分析試料と分析方法

究新世の指標テフラの層位を明らかにするために、4区東壁①、X=130-Y=350グリッド、4区南壁、7区、4区東壁②、3区4号トレンチ、3区西壁、17区東壁、18区西壁南地点、18区西壁北地点において採取された試料のうち、63点を対象にテフラ検出分析を行った。分析の手順は次の通りである。

- 1) 試料10gを秤量。
- 2) 超音波洗浄により泥分を除却。
- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 実態顕微鏡下で観察し、テフラ粒子の量や特徴を把握。

#### (2) 分析結果

4区東壁①、X=130-Y=350グリッド、4区南壁、7区のテフラ検出分析の結果を表9に、4区東壁②、3区4号トレンチ、3区西壁テフラ検出分析の結果を表10に、17区東壁、18区西壁南地点、18区西壁北地点のテフラ検出分析の結果を表11に示す。

4区東壁の試料2には、さほど発泡の良くない白色軽石(最大径2.1mm)や、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石(最大径2.3mm)が比較的多く含まれて

いる。前者と後者の班品には、各々角閃石と斜方輝石、斜方輝石と単斜輝石が認められる。火山ガラスとしては、これらの細粒物が認められる。試料1には、火山ガラスとして、灰白色や白色の軽石型ガラスが少量含まれている。

X=130-Y=350グリッドでは、試料9、試料8、試料6・7、試料3・4に軽石型の火山ガラスが少量ずつ含まれている。火山ガラスの色調は白色や無色透明である。4区南壁では、いずれの試料からも軽石を検出することができた。試料17から試料12にかけては、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石(最大径2.1mm)や、さほど発泡の良くない白色軽石(最大径4.1mm)が含まれている。前者と後者の班品には、各々斜方輝石と単斜輝石、角閃石と斜方輝石が認められる。また試料11には、比較的良く発泡した淡褐色軽石(最大径2.3mm)がとくに多く含まれている。この軽石の班品には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスとしては、その試料に含まれている軽石の細粒物が認められる。7区の試料18にも、比較的良く発泡した淡褐色軽石(最大径2.2mm)がとくに多く含まれている。この軽石の班品には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスとしては、軽石の細粒物が多く認められる。

4区東壁②では、試料20および試料19に、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石(最大径2.1mm)が少量含まれている。この軽石の班品には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。また試料19には、さほど発泡が良くない白色軽石(最大径1.9mm)が比較的多く含まれている。この軽石の班品には、角閃石や斜方輝石が認められる。

3区4号トレンチでは、軽石やスコリアは検出されなかった。一方、火山ガラスは、試料30、試料29、試料27、試料24を除くいずれの試料からも検出された。とくに特徴的な火山ガラスや顕著な濃集層は認められないものの、試料32や試料28には、無色透明のバブル型ガラスが比較的多く含まれている。

3区西壁では、試料54および試料52に白色の細粒軽石(最大径2.0mm)が少量含まれている。試料45か

ら試料40にかけては、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径3mm）が含まれている。とくに試料44により多く含まれている。この軽石の斑晶には、斜方輝石や単斜輝石が認められる。試料44から試料40にかけては、さほど発泡が良くない白色軽石（最大径1.9mm）が比較的多く含まれている。この軽石の斑晶には、角閃石や斜方輝石が認められる。さらに試料39のテフラ層には、比較的良好に発泡した淡褐色軽石（軽石の最大径2.8mm）がとくに多く含まれている。

火山ガラスとしては、試料中に軽石粒子が含まれているものについては、その細粒物の軽石型ガラスが比較的多く認められる。そのほかにも火山ガラスが認められるが、試料49には、白色や灰色の軽石型ガラスが比較的多く含まれる傾向にある。また試料50や試料49には、バブル型ガラスも少量含まれている。

17区東壁では、試料57にスポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径4mm）が多く含まれている。軽石の斑晶には、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物であるスポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスがとくに多く含まれている。試料56には、さほど発泡の良くない白色軽石（最大径5.4mm）が多く含まれている。この軽石の斑晶には、重鉱物として角閃石や斜方輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物である白色軽石型ガラスがとくに多く含まれている。

18区西壁南地点では、試料60にスポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径2.8mm）が比較的多く含まれている。斑晶には、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物であるスポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスが多く含まれている。試料59には、スポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスが少量含まれている。試料58には、さほど発泡の良くない白色軽石（最大径4.1mm）のほか、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径1.8mm）が比較的多く含まれている。

前者の斑晶には重鉱物として角閃石や斜方輝石、後者の斑晶には重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、これらの軽石の細粒物である軽石型ガラスが多く含まれている。

18区西壁北地点では、試料63にスポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径3.2mm）が比較的多く含まれている。斑晶には、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物であるスポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスが多く含まれている。またこの試料では、スポンジ状に発泡した白色の軽石型ガラスもごく少量ながら認めることができる。試料62にも、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石（最大径3.0mm）が比較的多く含まれている。斑晶には、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物であるスポンジ状に発泡した灰白色軽石型ガラスが多く含まれている。試料61には、さほど発泡の良くない白色軽石（最大径3.2mm）が少量含まれている。この軽石の斑晶には、重鉱物として角閃石や斜方輝石が認められる。火山ガラスには、この軽石の細粒物である白色軽石型ガラスや、試料63に含まれる灰白色軽石の細粒物である灰白色軽石型ガラスが比較的多く含まれている。

第9表 テフラ検出分析結果①

地点	試料	軽石・スコリア			火山ガラス			
		量	色調	最大径	量	形態	色調	
4区東壁①	1	-	-	-	+	pm	灰白、白	
	2	++	白、灰白	2.1, 2.3	++	pm	灰白、白	
X130-Y350	3	-	-	-	+	pm	白	
	4	-	-	-	+	pm	透明	
	5	-	-	-	-	-	-	
	6	-	-	-	+	pm	白、透明	
	7	-	-	-	+	pm	透明	
	8	-	-	-	-	-	-	
	9	-	-	-	+	pm	白	
	10	-	-	-	-	-	-	
	4区南壁	11	+++	灰濁	2.3	+++	pm	灰濁
		12	+	白、灰白	2.1, 1.2	++	pm	白、灰白
13		++	白、灰白	2.1, 1.5	++	pm	白、灰白	
14		++	白、灰白	2.2, 1.3	++	pm	白、灰白	
15		+++	白>灰白	4.1, 1.4	++	pm	白、灰白	
16		+++	灰白、白	2.1, 2.0	++	pm	灰白、白	
17		+	灰白、白	1.1, 1.2	+	pm	灰白、白	
7区	18	++++	灰濁	2.2	++++	pm	灰濁	

++++:とくに多い, ++++:多い, ++:中程度, +:少ない, -:認められない, 最大径の単位は, mm, bw:バブル型, pm:軽石型。

第11表 テフラ検出分析結果③

地点	試料	軽石・スコリア			火山ガラス		
		量	色調	最大径	量	形態	色調
17区東壁	56	+++	白	5.4	+++	pm	白
	57	+++	灰白	4.0	+++	pm	灰白
18区西壁南	58	++	白>灰白	4.1, 1.8	+++	pm	白>灰白
地点	59	-	-	-	+	pm	灰白
	60	++	灰白	3.8	+++	pm	灰白
	61	+	白	3.2	++	pm	白、灰白
18区西壁北	62	++	灰白	3.0	+++	pm	灰白
	63	++	灰白	3.2	+++	pm	灰白>白

++++:とくに多い, ++++:多い, ++:中程度, +:少ない, -:認められない, 最大径の単位は, mm, bw:バブル型, pm:軽石型。

第10表 テフラ検出分析結果②

地点	試料	軽石・スコリア			火山ガラス		
		量	色調	最大径	量	形態	色調
4区東壁②	19	++	白、灰白	1.9, 2.1	++	pm	白、灰白
	20	+	灰白	1.9	++	pm	灰白、白
	21	-	-	-	+	pm	灰
3区4号トレンチ	22	-	-	-	+	pm	透明
	23	-	-	-	+	pm	白
	24	-	-	-	-	-	-
	25	-	-	-	+	pm	透明
	26	-	-	-	+	pm	透明
	27	-	-	-	-	-	-
	28	-	-	-	+	pm, bw	透明
	29	-	-	-	-	-	-
	30	-	-	-	-	-	-
	31	-	-	-	+	pm	透明
	32	-	-	-	+	pm>bw	透明
	33	-	-	-	+	pm	透明
	34	-	-	-	+	pm	透明
	35	-	-	-	+	pm	透明
	36	-	-	-	+	pm	透明
	37	-	-	-	+	pm	透明
	38	-	-	-	+	pm	透明
3区西壁	39	++++	灰濁	2.8	++++	pm	灰濁
	40	++	白、灰白	3.1, 1.8	++	pm	白、灰白
	41	++	白、灰白	3.1, 2.2	++	pm	白、灰白
	42	++	灰白、白	2.1, 2.0	++	pm	灰白、白
	43	++	灰白、白	3.0, 2.3	++	pm	灰白、白
	44	+++	灰白>白	3.0, 1.9	+++	pm	灰白、白
	45	++	灰白	2.1	++	pm	灰白
	46	-	-	-	+	pm	透明
	47	-	-	-	+	pm	白
	48	-	-	-	+	pm	白
	49	-	-	-	++	pm>bw	白、透明
50	-	-	-	+	pm>bw	透明	
51	-	-	-	+	pm	白	
52	+	白	2.0	+	pm	白、透明	
53	-	-	-	+	pm	透明	
54	+	白	1.8	+	pm	白	
55	-	-	-	+	pm	白	

++++:とくに多い, ++++:多い, ++:中程度, +:少ない, -:認められない, 最大径の単位は, mm, bw:バブル型, pm:軽石型。

## 5. 屈折率測定

## (1) 測定試料と測定方法

土層の観察や火山ガラス比分析さらにテフラ検出分析の結果、特徴的なテフラ粒子が認められた試料などのうち、4区東壁①の試料3、試料2、試料1、X=130-Y=350グリッドの試料4、3区4号トレンチの試料6と5(軽石)、3区西壁の試料7、YB区(1区深掘1T西壁)の試料10、試料9、試料8の10点について、日本列島のテフラ・カタログ(町田・新井、1992、2003)の作成にも利用された温度一定型屈折率測定法(新井、1972、1993)により屈折率測定を行った。

## (2) 測定結果

4区東壁①の試料3、試料2、試料1、X=130-Y=350グリッドの試料4の屈折率測定の結果を表12に、3区4号トレンチの試料6と5(軽石)、3区西壁の試料7、YB区(1区深掘1T西壁)の試料10、試料9、試料8の測定結果を表13に示す。4区東壁①の試料3に含まれる重鉱物は、黒雲母のほか、ごく少量の斜方輝石である。斜方輝石の屈折率( $\gamma$ )は、1.707-1.711である。試料2に含まれる火山ガラス屈折率( $n$ )は、1.514-1.519である。重厚物としては、斜方輝石や角閃石のほか、ごく少量の単斜輝石が認められる。斜方輝石と角閃石の屈折率( $\gamma$ ,  $n_2$ )は、各々1.707-1.711および1.672-1.677である。さらに試料1に含まれる重鉱物としては、斜方輝石や角閃

石がある。斜方輝石と角閃石の屈折率 ( $\gamma$ ,  $n_z$ ) は、各々 1.707-1.711 と 1.672-1.676 である。X = 130-Y = 350 グリッドの試料 4 には、重鉱物として、黒雲母のほか、ごく少量の斜方輝石、単斜輝石、角閃石が含まれている。斜方輝石の屈折率 ( $\gamma$ ) は、1.706-1.710 である。

3区4号トレンチの試料 6 に含まれる火山ガラスの屈折率 ( $n$ ) は、1.499-1.504 である。試料 5 の軽石に含まれる斜方輝石の屈折率 ( $\gamma$ ) は、1.703-1.711 である。3区西壁の試料 7 に含まれる火山ガラスの屈折率 ( $n$ ) は、1.502-1.504 である。YB 区 (1区深掘 1 T 西壁) の試料 10 および試料 9 に含まれる斜方輝石の屈折率 ( $\gamma$ ) は、各々 1.703-1.711 と 1.707-1.712 である。YB 区 (1区深掘 1 T 西壁) の試料 8 に含まれる火山ガラスの屈折率 ( $n$ ) は bimodal で、1.500-1.503 と 1.506-1.508 のものが認められる。

第12表 屈折率測定結果①

地点	試料	火山ガラス(n)	重鉱物	斜方輝石( $\gamma$ )	角閃石( $n_z$ )
4区東壁①	1	-	opx,ho	1.707-1.711	1.672-1.676
4区東壁②	2	1.514-1.519	opx>ho,cpm	1.707-1.711	1.672-1.677
4区東壁③	3	-	bl,opx	1.707-1.711	-
X130-Y350	4	-	bl,opx,opx,ho	1.706-1.710	-

屈折率の測定は、温度一定型測定法(新井, 1972, 1993)による。opx: 斜方輝石, cpm: 単斜輝石, ho: 角閃石, bl: 黒雲母, 重鉱物の( ) は、量が少ないことを示す。

第13表 屈折率測定結果②

地点	試料	火山ガラス(n)	斜方輝石( $\gamma$ )
3区4号トレンチ	5	-	1.703-1.711
	6	1.499-1.504	-
3区西壁	7	1.502-1.504	-
YB区(1区深掘1T西壁)	8	1.500-1.503, 1.506-1.508	-
YB区(1区深掘1T西壁)	9	-	1.707-1.712
YB区(1区深掘1T西壁)	10	-	1.703-1.711

温度変化型屈折率測定法による。

## 6. 考察

テフラ検出分析により検出されたテフラ粒子のうち、スポンジ状に良く発泡した灰白色軽石と、さほど発泡が良くない白色軽石については、その岩相から、順に 3 世紀終末～4 世紀初頭に浅間火山から噴出した浅間 C 軽石 (As-C、荒牧, 1968、新井, 1979、友廣, 1988、若狭, 2000) と、6 世紀初頭に標名火山から噴出した標名二ツ岳浅川テフラ (Hr-FA、新

井, 1979、坂口, 1986、早田, 1989、町田・新井, 1992) や 6 世紀中葉に標名火山から噴出した標名二ツ岳伊香保テフラ (Hr-FP、新井, 1962、坂口, 1986、早田, 1989、町田・新井, 1992) に由来すると思われる。標名系のテフラについては、本遺跡の位置とテフラの分布関係から前者に由来する可能性がより高いと思われる。また淡褐色の軽石で特徴づけられるテフラについては、その特徴から、1108 (天明 3) 年に浅間火山から噴出した浅間 B テフラ (As-B、荒牧, 1968、新井, 1979) に同定される。

4 区東壁①の試料 15 および X = 130 - Y = 350 グリッドの試料 8 に含まれるテフラ粒子については、斜方輝石の屈折率から赤城系あるいは浅間火山系のテフラに由来する可能性が考えられる。X = 130 - Y = 350 グリッドの試料 4 に含まれる軽石の粒径が比較的粗粒なことを考慮すると、後者の可能性がより高いと考えられる。

4 区東壁①の試料 2 に含まれるテフラ粒子のうち、灰白色軽石については、その岩相や火山ガラスさらに斜方輝石の屈折率などから、3 世紀終末～4 世紀初頭に浅間火山から噴出した浅間 C 軽石 (As-C、荒牧, 1968、新井, 1979、友廣, 1988、若狭, 2000) に由来すると思われる。また白色軽石については、その岩相や斜方輝石および角閃石の屈折率などから、6 世紀初頭に標名火山から噴出した標名二ツ岳浅川テフラ (Hr-FA、新井, 1979、坂口, 1986、早田, 1989、町田・新井, 1992) あるいは 6 世紀中葉に標名火山から噴出した標名二ツ岳伊香保テフラ (Hr-FP、新井, 1962、坂口, 1986、早田, 1989、町田・新井, 1992) に由来すると思われる。テフラの分布と本遺跡の位置関係からは、前者の可能性がより高いと考えられる。試料 1 に含まれるテフラ粒子についても、重鉱物の組み合わせや斜方輝石および角閃石の屈折率などから、前述の標名系テフラに由来すると思われるものの、その層相や火山ガラスが非常に少ないことなどから、テフラの一次堆積層の可能性は低いように思われる。

7 区の試料 18 に含まれる軽石は、その岩相から As

-Bに由来すると考えられる。このことは、層相によるAs-Bへの同定を支持する。また、4区南壁の試料11の黄灰色粗粒火山灰層についても、軽石の特徴などからAs-Bに同定される。なお4区南壁においては、軽石の岩相や量などから、試料16付近にAs-Cの、また試料15付近にHr-FAの各々の堆積層準があると考えられる。したがって、本地点で認められる洪水性堆積物の層位は、Hr-FAより上位で、As-Bより下位にあると考えられる。以上のことから、本遺跡において検出された水田遺構は、少なくともHr-FAより上位(As-Bより下位)と、As-Bの直下の2層準であると推定される。

4区東壁②においては、試料20付近にAs-C、試料19付近にHr-FAの降灰層準があると考えられる。このことから発掘調査で検出された畦畔については、少なくともHr-FAより上位にあると推定される。また3区西壁においては、試料44付近にAs-C、試料43付近にHr-FAの降灰層準があると考えられる。さらに試料39のテフラ層については、As-Bに同定される。

3区4号トレンチにおいて検出された火山ガラスについては、その形態、粒径、色調、屈折率などから、約2.4~2.5万年前<sup>\*)</sup>に南九州の始良カルデラから噴出した始良Tn火山灰(AT、町田・新井、1976、松本ほか、1987、村山ほか、1993、池田ほか、1995)や、約1.3~1.4万年前<sup>\*)</sup>に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石(As-YP、新井、1962、町田・新井、1992)に由来すると考えられる。より下位にAs-YPの一次堆積層が認められないことを合わせて考慮すると、本地点で認められた土層についてはAs-YPより上位にあると推定される。試料24の軽石については、その岩相や屈折率などから、約3.1~3.2万年前<sup>\*)</sup>に赤城火山から噴出した赤城鹿沼テフラ(Ag-KP、新井、1962、町田・新井、2003)や、その下位にある赤城行川テフラ群(Ag-Nm1・Nm2、鈴木、1990、町田・新井、1992)や赤城湯の口軽石(Ag-UP、新井、1962、町田・新井、1992)などに由来する可能性が考えられる。

3区西壁の試料50に含まれる火山ガラスの多くは、その屈折率からAs-YPに由来するものと思われる。しかしながら、その試料に比較的多く含まれる火山ガラスについては、軽石型で白色や灰色を呈することから、約5,400年前<sup>\*)</sup>に浅間火山から噴出した浅間六合軽石(早田、1991、1996)あるいはそれに関係するテフラに由来する可能性がある。今回は測定できなかったものの、試料50付近には、約6,300年前<sup>\*)</sup>に南九州の鬼界カルデラから噴出した鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah、町田・新井、1978)の降灰層準のある可能性が考えられる。

YB区(1区深掘1T西壁)の試料10に含まれるテフラについては、斜方輝石の屈折率からAg-Nm1・Nm2、Ag-UP、Ag-KP、As-YP、さらに約1.1万年前<sup>\*)</sup>に浅間火山から噴出した浅間総社軽石(As-Sj、早田、1990、1991、1996)に由来する可能性が考えられる。また試料9に含まれるテフラについては、斜方輝石の屈折率からAg-KPのほか、As-YPやAs-Sjに由来する可能性が考えられる。試料8に含まれる火山ガラスのうち、屈折率(n)が1.500~1.503のものについては、Hr-FAに由来すると考えられる。

17区東壁の試料57が採取されたテフラ層は、層相や軽石の特徴などからAs-Cに同定される。また試料56が採取されたテフラ層については、Hr-FPに同定される可能性がまったくない訳ではないが、伊勢崎市域を含めた周辺の遺跡でのテフラの産状との比較をするとHr-FAの可能性がより高いように考えられる。したがって、本遺跡の土層に含まれるこの種の軽石については、少なくともHr-FAに由来するものが含まれていると考えて良いと思われる。

18区西壁南地点の試料60および試料59に含まれる軽石や火山ガラスについては、As-Cに由来すると考えられる。また試料58に含まれるテフラ粒子については、Hr-FA(かHr-FP)とAs-Cに由来すると考えられる。したがって、この地点で検出されている水田遺構については、Hr-FAより上位にあると考えられる。



また、18区西壁北地点の試料63に含まれる軽石や火山ガラスについては、その大部分がAs-Cに由来すると考えられる。ごくわずかに含まれる白色軽石型ガラスについては、5世紀に榛名火山から噴出した榛名有馬テフラ(Hr-AA、町田ほか、1984)に由来する可能性があるが、細粒で量も少ないことから現段階においてその詳細は不明である。試料62に含まれる軽石や火山ガラスについても、As-Cに由来すると考えられる。試料61に含まれるテフラ粒子については、Hr-FA(か Hr-FP)とAs-Cに由来すると考えられる。これらのことから、2層準から検出されている溝状遺構については、いずれもAs-Cより上位でHr-FAの下位にある可能性がある。さらに本地点で検出されている水田遺構については、Hr-FAより上位と考えられる。

## 7. 小結

東今泉鹿島遺跡において、地質調査、火山ガラス比分析、テフラ検出分析、屈折率測定を行った。その結果、少なくとも下位より浅間C軽石(As-C、3世紀末～4世紀初頭)、榛名二ツ岳浅川テフラ(Hr-FA、6世紀初頭)あるいは榛名二ツ岳伊香保テフラ(Hr-FP、6世紀中葉)、浅間Bテフラ(As-B、1108年)、浅間柏川テフラ(As-Kk、1128年)など多くのテフラ層やそれらに由来するテフラ粒子を検出することができた。本遺跡で検出された水田遺構の層位については、少なくともHr-FAより上位(As-Bより下位)と、As-Bの直下と考えられる。

\*1 放射性炭素(<sup>14</sup>C)年代。

\*2 約4.5万年前以前とする説もある(町田・新井, 2003)。

## 文献(2003)

- 新井 勇夫(1962) 関東盆地北西部の第四紀編年。群馬大学紀要自然学編, 10, p.1-79.
- 新井 勇夫(1972) 斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフラクロノロジーの基礎研究。第四紀研究, 11, p.254-269.
- 新井 勇夫(1979) 関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層。考古学ジャーナル, no.157, p.41-52.
- 新井 勇夫(1993) 温度一定屈折率測定法。日本第四紀学会編「第四紀試料分析法—研究対象別分析法」, p.138-148.
- 荒牧重雄(1968) 浅間火山の地質。地質研報, no.45, 65p.
- 町田 洋・新井 勇夫(1992) 火山灰アトラス。東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井 勇夫(2003) 新編火山灰アトラス。東京大学出版会, 336p.
- 坂口 一(1986) 榛名二ツ岳起源FA・FP層下の土器と須恵器。群馬県教育委員会編「瓦葺北原遺跡・今井神社古墳群・茨城青柳遺跡」, p.103-119.
- 早田 勉(1989) 6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害。第四紀研究, 27, p.297-312.
- 早田 勉(1991) 浅間火山の生い立ち。佐久考古通信, no.53, p.2-7.
- 早田 勉(1995) テフラからさぐる浅間山の活動史。御代田町誌自然編, p.22-43.
- 早田 勉(1996) 関東地方～東北地方南部の示標テフラの諸特徴—とくに御岳第1テフラより上位のテフラについて—。名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, 7, p.256-267.
- 友廣哲也(1988) 古式土器出現期の榛名と浅間山C軽石。群馬県埋蔵文化財調査事業部編「群馬の考古学」, p.325-336.
- 若狭 徹(2000) 群馬の発生土器が終るとき。かみつけの星博物館「人が動く・土器も動く—古墳が成立する頃の土器の交流」, p.41-43.
- 池田晃子・奥野 充・中村俊夫・筒井正明・小林哲夫(1995) 南九州。始良カルデア起源の大隅降下軽石と入戸火砕流中の炭化樹木の加速器質量分析法による<sup>14</sup>C年代。第四紀研究, 34, p.377-379.
- 町田 洋・新井 勇夫(1976) 広域に分布する火山灰—始良Tn火山灰の発見とその意義—。科学, 46, p.339-347.
- 松本英二・前田保夫・竹村憲二・西田史朗(1987) 始良Tn火山灰(AT)の<sup>14</sup>C年代。第四紀研究, 26, p.79-83.
- 村山雅史・松本英二・中村俊夫・岡村 真・安田尚登・平 朝彦(1993) 西国沖ビストンコア試料を用いたAT火山灰噴出年代の再検討—タンダロン加速器質量分析計による揮発性有孔虫の<sup>14</sup>C年代。地質報, 99, p.787-798.
- 中沢英俊・新井 勇夫・遠藤邦彦(1984) 浅間火山。風塵—前編期のテフラ層序。第四紀学会講演要旨集, no.14, p.69-70.
- 鈴木俊彦(1990) テフラクロノロジーからみた赤城火山最近20万年間の噴火史。地学雑, 99, p.60-75.
- 町田 洋・新井 勇夫・小田勝夫・遠藤邦彦・杉原重夫(1984) テフラと日本考古学—考古学研究と関係するテフラのメタグループ。古文化財編集委員会編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」, p.865-928.
- 早田 勉(1993) 古墳時代におこった榛名二ツ岳の噴火。新井 勇夫編「火山灰考古学」, 古今書院, p.128-150.
- 早田 勉(1995) テフラからさぐる浅間山の活動史。御代田町誌自然編, p.22-43.
- 早田 勉(2004) 火山灰編年学からみた浅間火山の活動史—とくに平安時代の噴火について—かみつけの星博物館編「1108—浅間山噴火—中世への胎動」, p.45-56.

## II. 東今泉鹿島遺跡における植物珪酸体（プラント・オパール）分析

### 1. はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸（ $\text{SiO}_2$ ）が蓄積したものであり、植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント・オパール）となって土壤中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山, 2000）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山, 1984）。

### 2. 試料 (2003)

分析試料は、4区東壁①、4区南壁、7区、4区東壁②、19区東壁、19区西壁、17区東壁、18区西壁南、18区西壁北から採取された計19点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

### 3. 分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスビーズ法（藤原, 1976）を用いて、次の手順で行った。

- 1) 試料を105°Cで24時間乾燥（絶乾）
- 2) 試料1gに対し直径約40μmのガラスビーズを約0.02g添加（電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量）
- 3) 電気炉灰化法（550°C・6時間）による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射（300W・42kHz・10分間）による分散
- 5) 沈底法による20μm以下の微粒子除却
- 6) 封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、400倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査

に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計算された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重と各植物の換算計数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位10-5g）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる。イネ（赤米）の換算係数は2.94（種実重は1.03）、ヒエ属（ヒエ）は8.40、ヨシ属（ヨシ）は6.31、ススキ属（ススキ）は1.24、メダケ節は1.16、ネザサ節は0.48、クマザサ属（チシマザサ節・チマキザサ節）は0.75、ミヤコザサ節は0.30である（杉山, 2000）。タケ亜科については、植物体生産量の推定値から各分類群の比率を求めた。

### 4. 分析結果

分析試料から検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を表14～表16および図388～図396に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

### 5. 考察

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネの植物珪酸体（プラント・オパール）が試料1gあたり5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している（杉山, 2000）。ただし、密度が3,000/g程度でも水田遺構が検出される事例があることから、ここでは判断の基準を3,000個/gとして検討を行った。

#### (1) 4区東壁①（図388）

As-Bより下位の水田跡（試料1）からAs-Cの下位層（試料3）までの層準について分析を行った。その結果、As-Bより下位の水田跡（試料1）からイ

ネが検出された。密度は1,400個/gと比較的低い値である。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われていた期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、洪水などによって耕作土が流出したこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったことなどが考えられる。

(2) 4区南壁(図389)

As-B直下層(試料1)とその下層(試料2)について分析を行った。その結果、As-B直下層(試料1)からイネが検出された。密度は3,500個/gと比較的高い値である。したがって、同層で稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

(3) 7区(図390)

As-B直下の水田跡(試料1)について分析を行った。その結果、イネが検出されたが、密度は1,300個/gと低い値である。ただし、同層は直上をテフラ層で覆われていることから、上層から後代のものが混入したことは考えにくい。したがって、同層の時期に調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が考えられる。イネの密度が低い原因としては、前述のようなことが考えられる。

(4) 4区東壁②(図391)

畦畔が検出されたHr-FA混層(試料1)およびその下位のAs-C混層(試料2)について分析を行った。その結果、Hr-FA混層(試料1)からイネが検出された。密度は3,000個/gと比較的高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

(5) 19区東壁(図392)

畦畔が検出された白色軽石混じり灰色土(試料1)およびその下層(試料2)について分析を行った。その結果、白色軽石混じり灰色土(試料1)からイネが検出されたが、密度は800個/gと低い値である。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われてい

た期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、洪水などによって耕作土が流出したこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったこと、および上層や他所からの混入などが考えられる。

(6) 19区西壁(図393)

耕作痕が認められた灰褐色砂質土(試料1)について分析を行った。その結果、イネは検出されなかった。

(7) 17区東壁(図394)

As-B直下の黒泥層(試料1)およびその下位の灰色粘質土(試料2、3)について分析を行った。その結果、灰色粘質土(試料2、3)からイネが検出された。イネの密度は、4,500~5,300個/gと比較的高い値である。したがって、同層準では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

As-B直下の黒泥層(試料1)では、ヨシ属が23,200個/gと多量に検出され、イネはまったく検出されなかった。おもな分類群の推定生産量によると、ヨシ属が圧倒的に卓越していることが分かる。これらのことから、As-Bの降灰直前には何らかの原因によって水田が放棄され、ヨシ属が繁茂する湿地の環境になっていたと推定される。このような状況は、前橋市周辺などでも一般に認められており、比較的大い範囲に及ぶ現象として注目される(杉山, 2004)。

(8) 18区西壁南(図395)

灰色砂層直下の水田層(試料1)、As-C上層(試料2)、As-C混層(試料3)について分析を行った。その結果、水田層(試料1)からイネが検出された。密度は4,500個/gと比較的高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

(9) 18区西壁北(図396)

黄灰色砂層直下の水田層(試料1)、As-C上層(試料2)、As-C混層(試料3)について分析を行った。

その結果、水田層(試料1)からイネが検出された。密度は3,800個/gと比較的高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

## 6. まとめ

植物珪酸体(プラント・オパール)分析の結果、水田跡が検出された浅間Bテフラ(As-B、1108年)直下層およびその下位層では、すべての試料からイネが検出され、各層の時期に稲作が行われていたことが分析的に検証された。

畦畔が検出された4区東壁の榛名二ツ岳淡川テフラ(Hr-FA、6世紀初頭)混層では、イネが多量に検出され、同層で稲作が行われていたことが分析的に検証された。また、畦畔が検出された19区東壁の白色軽石混じり灰色土でも、少量のイネが検出され、稲作が行われていた可能性が認められた。

18区西壁(南地点、北地点)では、水田遺構が検

出された層準からイネが比較的多量に検出され、同遺構で稲作が行われていたことが分析的に検証された。

17区東壁では、As-Bより下位の灰色粘質土からイネが多量に検出され、稲作が行われていた可能性が高いと判断された。As-B直下の黒泥層では、イネがまったく検出されず、ヨシ属が圧倒的に卓越していることから、As-Bの降灰直前には何らかの原因によって水田が放棄され、ヨシ属が繁茂する湿地の環境になっていたと推定される。

## 文献

- 杉山真二(2000)植物珪酸体(プラント・オパール)、考古学と植物学、同成社、p.189-213。  
 藤原宏志(1976)プラント・オパール分析法の基礎的研究①—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—、考古学と自然科学、9、p.15-29。  
 藤原宏志・杉山真二(1984)プラント・オパール分析法の基礎的研究③—プラント・オパール分析による水田址の探査—、考古学と自然科学、17、p.73-85。

第14表 植物珪酸体(プラント・オパール)分析結果①  
 検出密度(単位:×100個/g)

分類群	学名	4区東壁②		19区東壁		19区西壁
		1	2	1	2	1
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	30		8		
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	7		8		
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	90	60	60	53	22
タケ亜科	<i>Bambusoideae</i> (Bamboo)	75	83	53	137	82

推定生産量(単位:kg/m<sup>2</sup>・cm)

イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	0.88		0.22		
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	0.47		0.48		
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	1.11	0.74	0.75	0.66	0.28
タケ亜科	<i>Bambusoideae</i> (Bamboo)	0.36	0.40	0.25	0.66	0.40

※試料の仮比重を1.0と仮定して算出。

第IV章 発掘調査の成果と問題点

第15表 植物珪酸体 (プラント・オパール) 分析結果(2)  
検出密度 (単位: ×100個/g)

分類群	学名	17区東壁			18区西壁南地点			18区西壁北地点		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3
イネ	<i>Oryza sativa</i>		53	45						38
ヨシ属	<i>Phragmites</i>	232	8	53	15	30	52		8	15
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	15	15	15	22	53	82		8	45
タケ類科	Bambusoideae	30	45	30	67	75	37		61	60

推定生産量 (単位: kg/m<sup>2</sup>・cm) : 試料の仮比重を1.0と仮定して算出

イネ	<i>Oryza sativa</i>	1.55	1.33	1.32			1.12			
ヨシ属	<i>Phragmites</i>	14.66	0.48	3.33	0.94	1.89	3.30	0.48	0.95	0.48
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	0.19	0.19	0.19	0.28	0.65	1.02	0.09	0.56	0.75
タケ類科	Bambusoideae	0.14	0.22	0.14	0.32	0.36	0.18	0.29	0.29	0.40

第16表 植物珪酸体 (プラント・オパール) 分析結果(3)  
検出密度 (単位: ×100個/g)

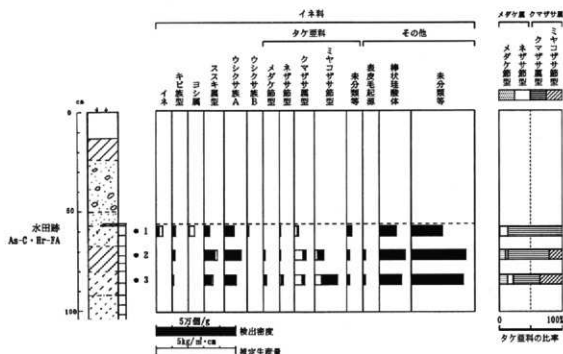
分類群	学名	7区			4区南壁		4区東壁		
		1	1	2	1	2	3		
イネ科	Gramineae (Grasses)								
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	14		35			13		
キビ属型	Panicaceae type	7		7			19	15	
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	20					6		
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	68		71	22		26	66	
ウシクサ属 A	Andropogoneae A type	34		99	22		58	102	
ウシクサ属 B	Andropogoneae B type						6		
タケ類科	Bambusoideae (Bamboo)								
メダケ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Medake</i>	27		35	7			7	
ネザサ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i>	95		35	22		6	7	
クマガヤシ属型	<i>Sasa</i> (except <i>Miyukozasa</i> )	7		7	7		26	73	
ミヤマコザサ節型	<i>Sasa</i> sect. <i>Miyukozasa</i>			21	15			58	
未分類等	Others	7		21	44		26	15	
その他のイネ科	Others								
表皮毛起源	Husk hair origin	41		14	7			15	
棒状珪酸体	Rod-shaped	176		99	29		103	160	
茎部起源	Stem origin			7					
未分類等	Others	285		212	124		193	342	
植物珪酸体総数	Total	780		665	300		481	860	

おもな分類群の推定生産量 (単位: kg/m<sup>2</sup>・cm)

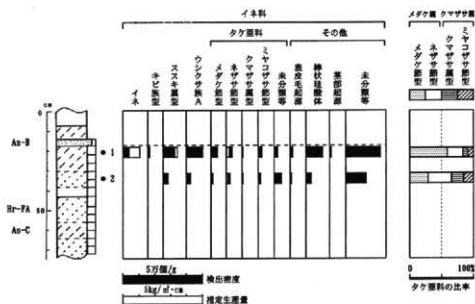
イネ	<i>Oryza sativa</i> (domestic rice)	0.40	1.04		0.38
ヨシ属	<i>Phragmites</i> (reed)	1.28			0.40
ススキ属型	<i>Miscanthus</i> type	0.84	0.88	0.27	0.32
メダケ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Medake</i>	0.31	0.41	0.08	0.08
ネザサ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i>	0.46	0.17	0.11	0.03
クマガヤシ属型	<i>Sasa</i> (except <i>Miyukozasa</i> )	0.05	0.05	0.05	0.19
ミヤマコザサ節型	<i>Sasa</i> sect. <i>Miyukozasa</i>		0.06	0.04	0.17

タケ類科の比率 (%)

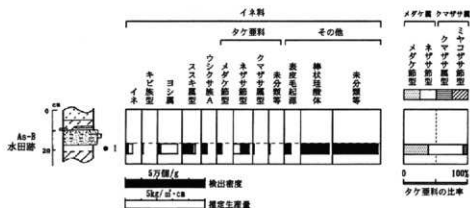
メダケ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Medake</i>	38	59	29		10	14
ネザサ節型	<i>Pleioblastus</i> sect. <i>Nezasa</i>	55	24	36	14	4	9
クマガヤシ属型	<i>Sasa</i> (except <i>Miyukozasa</i> )	6	8	19	86	65	41
ミヤマコザサ節型	<i>Sasa</i> sect. <i>Miyukozasa</i>		9	15		21	36



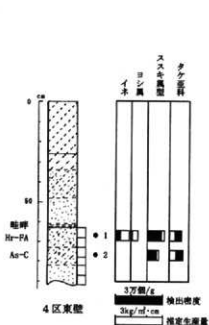
第388図 4区東壁①植物珪酸体分析結果



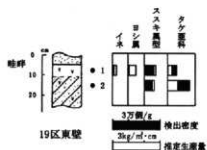
第389図 4区南壁植物珪酸体分析結果



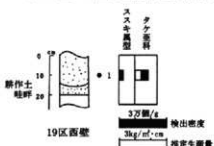
第390図 7区植物珪酸体分析結果



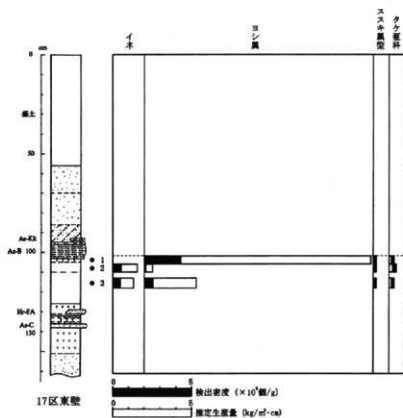
第391図 4区東壁②植物珪酸体分析結果



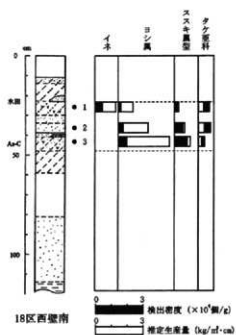
第392図 19区東壁植物珪酸体分析結果



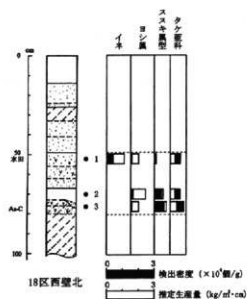
第393図 19区西壁植物珪酸体分析結果



第394図 17区東壁植物珪酸体分析結果



第395図 18区西壁南植物珪酸体分析結果



第396図 18区西壁北植物珪酸体分析結果



### III. 群馬県、東今泉鹿島遺跡における炭化種実同定

株式会社 古環境研究所

#### 1. はじめに

植物の種子や果実は比較的強靱なものが多く、堆積物や遺構内に残存している場合がある。堆積物などから種実を検出し、その種類や構成を調べることで、過去の植生や栽培植物を明らかにすることができる。

#### 2. 試料

試料は、8世紀の住居跡から出土した計23点の炭化種実である。試料の詳細を表17に示す。

#### 3. 方法

肉眼及び双眼実体顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行った。結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示した。

#### 4. 結果

##### (1) 分類群

分析の結果、樹木2、草本11の計13分類群が同定された。学名、和名および粒数を表17に示し、主要な分類群を写真に示す。以下に同定根拠となる形態的特徴を記す。

##### 〔樹木〕

オニグルミ *Juglans ailanthifolia* Carr. 核 クルミ科

黒褐色で円形～楕円形を呈し、一端がとがる。側面には縦に走る一本の縫合線がめぐる。表面全体に不規則な隆起がある。

ブドウ属 *Vitis* 種子 ブドウ科

黒褐色で卵形を呈し、先端がとがる。腹面には二つの孔があり、背面には先端が楕円形のへそがある。

##### 〔草本〕

イネ *Oryza sativa* L. 果実 イネ科

炭化しているため黒色である。長楕円形を呈し、

胚の部分がかくぼむ。表面には数本の筋が走る。

アワ *Setaria italica* Beauv. 果実 イネ科

黒褐色で楕円形を呈す。表面には横方向の微細な隆起がある。

コムギ *Triticum aestivum* L. 果実 イネ科

炭化しているため黒色で、楕円形を呈する。腹部の端には胚がある。背面には縦に一本の溝がある。比較的角い形を呈し、短い。

ムギ類 (オオムギ-コムギ) *Hordeum-Triticum* 果実 イネ科

コムギもしくはオオムギと思われるが、発泡しているためムギ類とした。

イネ科 Gramineae 果実

黒褐色で楕円形を呈す。胚の部分は取れて凹んでいる。炭化が著しく発泡しているためイネ科とした。

カヤツリグサ科 Cyperaceae 果実

黄褐色で倒卵形を呈す。断面は三角形である。基部に針状の付属物を持つ。

ササゲ属 *Vigna* 子葉 マメ科

黒色で楕円形を呈す。へそは縦に細長い。ササゲ属にはリョクトウ、アズキ、ササゲなどの栽培植物が含まれるが、現状の研究では識別は困難である。マメ科 Leguminosae 子葉 マメ科

黒色で楕円形を呈し、縦に一本の溝状の筋が走る。炭化が著しく発泡しているため、マメ科とした。

ノブドウ *Ampelopsis brevipedunculata* Trautv.

var. *Heterophylla* Hara 種子 ブドウ科

黒褐色で広卵形を呈す。腹面に「ハ」字状の孔が2つあり、背面のカラザは長く伸びる。

##### (2) 種実群集の特徴

##### 1) 26住居カマド

イネ1、ササゲ属1が同定された。

##### 2) 26b住居カマド

種実は検出されなかった。

##### 3) 29住居

種実を検出されなかった。

- 4) 29住居  
イネ1、ムギ類1、ムギ類?2、イネ科2が同定された。
- 5) 29住居カマド床下土坑  
種実を検出されなかった。
- 6) 45住居カマド  
種実を検出されなかった。
- 7) 48住居カマド  
オニグルミ1、ムギ類2が同定された。
- 8) 49住居カマド  
ブドウ属1、イネ2、ササゲ属4、ノブドウ13が同定された。
- 9) 50住居カマド  
種実を検出されなかった。
- 10) 52住居カマド  
イネ3が同定された。
- 11) 53住居カマド  
イネ1、ササゲ属4が同定された。
- 12) 54住居カマド  
イネ1が同定された。
- 13) 55住居カマド  
イネ?1が同定された。
- 14) 56住居カマド  
種実を検出されなかった。
- 15) 59住居カマド  
イネ2が同定された。
- 16) 63住居土坑  
イネ40、アワ1、コムギ22、イネ科1、カヤツリグサ科1が同定された。
- 17) 63住居カマド  
種実を検出されなかった。
- 18) 63住居床下土坑  
イネ11、コムギ8が同定された。
- 19) 63住居  
コムギ1が同定された。
- 20) 65住居カマド  
コムギ1が同定された。

- 21) 76土坑  
イネ15、コムギ2が同定された。
- 22) 78土坑  
イネ63、ササゲ属1が同定された。
- 24) 103土坑  
イネ1が同定された。

## 5. 考察

分析の結果、イネ141、コムギ34、ノブドウ13、ササゲ属10、ムギ類3、イネ科2、オニグルミ1、ブドウ属1、アワ1、カヤツリグサ科1、マメ科1が同定された。このうち、イネ、アワ、コムギ、ムギ類、ササゲ属は栽培植物であり、オニグルミ、ブドウ属は食用となる樹木の種実である。イネ（米）が最も多いことから、当時の栽培植物の中心であったと考えられる。なお、栽培植物については火を受けて発泡したものが多く、カマドを主とする遺構からの検出であることから、調理途中で飛散したものとみられる。

## 文献

- 笠原安夫 (1985) 日本雑草図説, 興賢堂, 494p.  
 笠原安夫 (1988) 作物および田畑雑草種類, 弥生文化の研究第2巻生業, 雄山閣出版株式会社, p.131-139.  
 南木睦彦 (1991) 栽培植物, 古墳時代の研究第4巻生業と流通1, 雄山閣出版株式会社, p.165-174.  
 吉崎昌一 (1992) 古代雑穀の検出, 月刊考古学ジャーナルNo.355, ニューサイエンス社, p.2-14.

表1表 炭化種子同定結果

学 名	科 名	部位																								
		25位層		45位層		50位層		52位層		54位層		56位層		58位層		60位層										
		カヤブ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	24	
<i>Aster</i>	Asteraceae																									
<i>Asplenium platyneuron</i>	Asplenaceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus scaberrimus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus maximiliani</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									
<i>Helianthus annuus</i>	Asteraceae																									

## 第2節 東今泉鹿島遺跡出土文字資料について

国道122号線の改良事業にともなって発掘調査が行われた東今泉鹿島遺跡からは、漆紙文書1点、墨書・刻書土器31点、刻書紡錘車2点の、計34点の古代の文字資料が出土している。

特に漆紙文書は、1点のみの出土ながらも、わが国におけるこれまでの出土事例には見られない特異な内容を有するものであり、本遺跡とその周辺の歴史的環境を考える上で、重要な史料である。

土中から出土。漆紙文書そのものの形状からみれば、杯型の土器の底部内面に付着していた可能性が高いが、埋土から単独で出土した。

本来、杯型土器の底部内面に付着していたものが剝落して、たまたま漆紙文書が単独で出土したものと考えられる。

## 2. 年代

伴出土器から九世紀前半と考えられる。

## 1. 漆紙文書

## 1. 出土状況

平成15年度の調査時に検出された63号住居跡の埋

## 3. 釈文

・表 (欠損) 解 申 (欠損)  
 (欠損) 米カ壹斗 (欠損)  
 (欠損) 右件物依本 (欠損)  
 (欠損) □器所以旬 (欠損)

・裏 (欠損) 「御 許」 (欠損)

『了』 (欠損)

・表面復元案 謹解 申請 (借) 事

米カ壹斗

右件物依本利共 . . . . .

雑器所以旬日 . . . . .

. . . . .

. . . . .

乃録状以解

年 月 日 氏 姓 名

- ・復元案読み下し 誼んで解し申す 請う（借りる）の事。

米カ壹斗  
 右件の物、本利共に・・・・・・・・・・  
 雑器所に旬日を以て・・・・・・・・・・  
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
 乃って状に録して以て解す。

年 月 日 氏 姓 名

- ・復元案解釈 誼んでお願い申し上げます。（左の物を）お借りすることについて。

米カ壹斗。  
 右の物を、元手と利息の割合いくらで、お借りしたく・・・・  
 雑器所（役所の中で宴会・給食用の食器を管理する部署）に、10日を限度に・・・・  
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
 よって、本書に記した通りをお願い申し上げます。

\*ゴシック体で表記した箇所が、現存する文字

#### 4. 内容

**表記の特徴** 表記は、表裏2面。17文字分を確認、うち解読可能な文字は16字である（表面13、裏面3）。

**表面** 表面冒頭の「解 申」の語は、公式令公文衆に規定された律令制下の公文書書式による解式であり、直接の統属関係にある下位の人物・機関から上位の人物・機関に宛てて上申された公文書の書式に則っている。

表面の記載内容は、下位の人物ないし機関から上位の人物ないし機関に宛てて、何かを「壹斗」を請求したものである。請求した物を示す文字の判読は難しいが、残面の縦線及び左右両払いと「壹斗」という数量から、請求した物は米とみて間違いない。文書の題名としては「米壹斗申請解文（こめいっとしんせいげぶみ）」が妥当であろう。

「(米) 壹斗」を請求した理由としては、判明している限りの内容・書式や裏面の内容からみて、正倉院文書に類例が多く見られるような、貸借の願い出である可能性が高い。「斗」という量単位からみれば

出挙とは考えにくい。すなわち、下級官人が上司に宛てて提出した、役所への借米(金)、給与の前借りなどを申込んださいの申込書であり、貸借期間中は、いわゆる「借金証文」として機能した文書である可能性が考えられる。

**裏面** 表面とは別筆で記された「御許」の語は、文書の宛先を示す「おんもと」という意味ではなく、この文書を差し出した者が、表面にて「米壹斗」の申請したことに対して上司がこれを承認したという「決裁」を示す「おんゆるし」という意味と考えられる。言うなれば、起案に対する処分を記したものである。

決裁の文言に「御」の字を使用されていることから、この文書の申請に対して決裁したものは長官クラス、具体的には郡大領のような地方社会における高位者と考えられる。

「御許」の語の脇に、さらに別筆・草書体で記された「了」の語は、表面の「米壹斗」の申請に対して処分を行い、その結果が完了したことを示す文言と

解釈できる。

「了」の文字が、草書体で、あたかもなぐりがきのような粗い筆致で記されていることや、表書き本文とも裏書きの「御許」なども更に別筆で記されている点は、本文書に関する最終的な処分に関わる書き込みであることを裏付ける。この文言が記入されることによって、本文書の文書としての機能は完了したわけであり、それ以降、この文書はいつでも廃棄可能な状態にあったことになる。本文書が「米壹斗」の貸借を申請したものとみればよいならば、借主による返済の完了・完納を意味する。すなわち、本文書も「借用書」としての機能を無事終えたことをあらわしている。

##### 5. 本文書の歴史的意義

実質的な租税の一部としての強制的な額の貸し付けである出挙関係の漆紙文書や木簡は類例があるが、正倉院文書に見られる「出挙銭解」や「月借錢解」に類するような、いわゆる借金あるいは給与の前借りの申し込み書は、漆紙文書としての出土は、全国で初めてである。

ところで、日本古代の借金制度には、出挙（すいこ）と月借（げっしやく）がある。

出挙は、一般民衆を対象として含み、元来は福祉目的が理念であるが、実質的には強制的な貸し付けによる租税の一環で、貸借物は稲であったが、先述したように銭出挙も行われていた。

出挙は令に規定され、法定利率にて、60日計算。1月当たり6.3%。返済せずに480日が過ぎると利息の合計が元本と同じになるが、それ以降の利息はかかってはならなかった。家財が尽きて返済が滞るようなことがあれば、労働によって返済に代え、利息額が元本を超えても返済されない場合は、官司が買物を売却し、返済に充て、債務者が逃亡するようなことがあれば、保証人が返済の責を負うべきことが、令に定められている（雑令）。

一方、「月借」は、官人の生活救済目的であり、借用を必要な官人が願ひ出る申請方式であり、令には

規定が無い。官人にとっては生活維持のための特権の一つとも言える。貸借物は、基本的に銭であり、正倉院文書中に多数残っている月借錢の申請書である「月借錢解」によれば、買物としては宅地、農地、給与などが充てられ、利率は相対で決められた。上下限法定制限は無いが、言わば官人間の信用取引的な側面も存在していたようである（中村順昭「奉写一切経所の月借錢について」〔『日本歴史』526 1992〕、吉川敏子「借金証文」平川南・沖森卓也・栄原永遠男・山中 章編「文字と古代日本3—流通と文字」吉川弘文館 2005）。

都においては、当時すでに貨幣流通経済が機能していたため、正倉院文書からうかがえる当時の都における下級官人たちの借金や給与前借りは「銭」によってなされているが、本資料では、「米」が貸借の対象となっている。貨幣流通経済が実質的に行き渡っていなかった地方社会に即したものとみられ、地方における実情を直接に示すものとしても意義が高い。

また、正倉院文書にみられるような、都の下級官人が勤務先の役所から借金、あるいは給与を前借りするというようなシステムが、地方の役所とそこに勤務する下級官人との間にもなされていたことを具体的に示す初めての史料である。

形態の点からみれば、本文書は、上下左右両端が欠損しており、文書として完形を保つものではないが、文言からみて、文書の冒頭部分が漆紙として残存したものであることがわかる。想定復元してみても、通常、役所間で取り交わされた公文書のサイズに比べてかなり小さなサイズの用紙が使用されている。正倉院文書中の月借錢解・出挙銭解などの実例でも、官人個人に関わる文書であるために、正式な公文書用紙の余り紙である「切紙」が使用されているケースが多く、本文書もそれに類して、規格外の切紙が使用された可能性が考えられる。

また、本文書の用紙サイズが通常の公文書よりかなり小さく、規格外と考えられる点が、本文書の内容を想定する上での有力な判断材料の一つであるこ

とも事実である。

裏面に余白が多いにもかかわらず、習書などに二次利用されていない点は、切紙を使用したため、紙のサイズがイレギュラーであり、使い勝手が悪かったという点も考えられるが、「御許」や「了」などの施行処分を意味する語が記されていたため、処分後の悪用や誤用を避けるために、文書としての二次利用が意図的に控えられた可能性も想定できる。

本遺跡の西方約1.5kmの位置にあたる太田市緑町古水地区に山田郡家の存在が想定されているが、本文書の内容や、本遺跡との位置関係からみて、本文書は郡家から払い下げられ、本遺跡の地において漆塗り作業に伴い、漆液の容器の蓋紙として使用され

たものと考えるのが妥当であろう。

そのような意味においては、本遺跡と郡家との密接な関係を示唆させる資料であり、本遺跡の性格を考える上でも重要な資料と位置づけることが出来る。

現状で記されている文字の数は決して多くはないが、上述したように、非常に多くの情報量に富んだ史料であり、これまでのわが国における漆紙文書の出土例には無い部類の史料でもある。地方社会における下級官人の生活の一端を直接に窺わせる第一級の史料と位置づけることができる。

## II. 墨書・刻書土器

第18表 墨書・刻書土器一覧

器物番号	出土遺構	器種	文字記入部位・方向	種別	釈文	備考
153	48住No.23・24、覆土	須恵器・杯	底部外面	墨書	子	
235	46住No.8、覆土	須恵器・杯	体部外面・正位	墨書	得	
239	46住No.21	須恵器・杯	底部外面	墨書	丁カ	
248	46住No.37	須恵器・皿	底部外面	墨書	本	「奉」の省画か？
304	61住No.1	須恵器・杯	底部内面	墨書	□	判読不能
343	63住、覆土	須恵器・杯	底部外面	墨書	□	読み合わせ文字
411	5区表土	須恵器・杯	体部内面・正位	墨書	大	判読不能
413	5区表土	須恵器・杯	底部外面	墨書	大	
414	5区表土	須恵器・碗	底部内面	墨書	大	
498	4住No.11、覆土	須恵器・杯	底部外面	墨書	山田	郡名か？
531	50埋No.1	須恵器・杯	底部外面	墨書	大	焼成前
541	3区表土	須恵器・蓋	天井部内面	刻書	四	
543	3区表土	須恵器・杯	底部外面	墨書	四	
544	3区表土	須恵器・杯	底部内面	墨書	直々真□	下方欠損のため判読不能
545	3区表土	須恵器・杯	体部内面	墨書	□	小片のため判読不能
590	84住No.2	須恵器・杯	体部外面・横位	墨書	西二	
688	58溝、覆土	須恵器・碗	体部外面・正位	刻書	日下カ	焼成後
689	58溝、覆土	須恵器・杯	体部内面	墨書	□	判読不能
712	162土坑、覆土	須恵器・杯	底部内面	刻書	日下カ	焼成前
860	35住No.1・2・4・10~13・16・18・20	土師器・壺	体部外面・正位	刻書	大	焼成後
969	36住、覆土	須恵器・杯	体部内面・正位	墨書	五	
906	43住No.8	須恵器・杯	体部外面・正位	刻書	日	焼成前
939	96土坑No.2	須恵器・蓋	底部内面	刻書	日下カ	焼成後
946	19区表土	須恵器・杯	底部外面	刻書	廿	焼成前、記号か？
1008	79住・電No.42	須恵器・杯	底部外面	刻書	寛	焼成前
1012	79住、覆土	須恵器・碗	体部内面・正位	墨書	□	
1026	80住掘方No.3、覆土	須恵器・杯	体部外面	墨書	□	欠損により判読不能
1073	94住No.8・9	須恵器・碗	体部内面・横位	刻書	日下カ	焼成後。記入後傷を付けて抹消。
1079	184土坑No.3・5、覆土	須恵器・碗	体部外面・正位	墨書	吉	
1085	斜掘、覆土	須恵器・杯	体部外面	墨書	□	欠損により判読不能
1089	斜掘No.36	須恵器・碗	体部内面・正位	墨書	吉	

### 1. 全般的傾向

東今泉鹿島遺跡からは31点の墨書・刻書土器が出土している。うち、墨書土器が23点、刻書土器が8点である。

墨書土器235には体部と底部のそれぞれ外面に、ま

た刻書土器906にも体部外面と底部内面に一箇所ずつ、それぞれ異なる文字が記入されている。906の刻書は、体部外面に土器焼成前の刻書が、また底部内面には土器焼成後の刻書が各一件ずつ記入されている。235と906以外には、同一個体に2箇所以上の文

字が記入されている例はない。

出土状況の点からみると、46号住居跡から235・239・248の3点の墨書土器が出土しているものの、同じ遺構から出土した3点に記された文字はそれぞれ異なっている。他の例では墨書・刻書土器の出土が、特定の遺構に集中しているというような傾向は全く見られない。これは各出土遺構についても、墨書・刻書土器出土遺構が特定のエリアに集中が見られるというわけではなく、また各々の資料の、それぞれ出土した各遺構内における出土状況を検討しても、特に共通したり、あるいは際立った特色を指摘できるものはなかった。

集落遺跡から出土する墨書土器は、集落内における各種集団が、祭祀・儀礼等の行為に際して、集団の標識として特定の文字を記したものと考えられているが（平川 南・天野 努・黒田正典「古代集落と墨書土器」『国立歴史民俗博物館研究報告』22 1989、のち同氏著『墨書土器の研究』吉川弘文館2000に収録、関 和彦「古代村落の再検討と村落首長」『歴史学研究』626 1991、のち同氏著『日本古代社会生活史の研究』校倉書房 1994に収録）、同じ文字が記された複数の土器が、ある程度特定のエリアに集中して出土するような傾向が無いことからみれば、本遺跡においては、墨書された文字から集落内の小集団の動向を窺い知ることは困難である。

文字が記入されている部位に関して言えば、底部に記入されたものが圧倒的に多く、15点と全体の約5割を占める。さらにその中の10点の底部の外面に文字が記されている。一般的に、関東地方における集落遺跡出土の墨書土器では、体部に記入される例が多いのに対し、官衙遺跡出土の墨書土器では底部外面に記されるものが多いという傾向がある。本遺跡出土の事例で言えば、出土した墨書・刻書土器の傾向としては、明らかに官衙遺跡出土の墨書土器の傾向に近いと言えることになる。

本遺跡における遺構の検出状況や遺構の配置から見れば、本遺跡に営まれた建物群を官衙ないしその関連遺跡とみることは到底考えにくい。しかしなが

ら本遺跡の地において漆塗りの作業が営まれ、約1.5 km西方の太田市緑町古水地区に所在が想定される山田邸家から払い下げられたと考えられる文書の反故が出土していることからみても、邸家などの官衙と本遺跡との密接な関連が伺える。本遺跡出土の墨書・刻書土器にみられるそのような傾向も、そうした官衙との関連を補強する材料と言えるかもしれない。

器種の点で言えば、本遺跡出土の墨書・刻書土器資料は、刻書の860以外のすべてが須恵器である。この点も、墨書・刻書土器の傾向としては異例であり、墨書・刻書土器の出土が特に顕著な関東地方の奈良・平安時代集落遺跡出土資料の全般的な傾向では、概して土師器の方が多いという特色がある。ただし、文字が記された土器の器種は、その遺跡出土土器全体の傾向と同様なのであり、特に、須恵器ないし土師器のどちらかが選ばれて、文字が記入されたというような事例は全く見受けられない。本遺跡においては金山丘陵の須恵器生産地を至近にした環境もあって須恵器の流通・消費の頻度が一般に比べて格段に高かったために、文字が記入された土器のほとんどが須恵器で占められたというだけのことであろう。

実際、須恵器窯が多い遠江西部、尾張、美濃、出雲西部などの地域においては、奈良・平安時代集落遺跡出土土器の中での須恵器の占める割合の高さに比例して、墨書・刻書土器にも須恵器が多い傾向が指摘できる（藤田憲宏「墨書・刻書土器の出土傾向とその背景」吉村武彦編『古代文字資料のデータベースの構築と地域社会の研究—平成11～13年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書』2002、高島英之「墨書・刻書土器からみた古代の出雲地域」『出雲古代史研究』15 2005、のち高島英之『古代東国地域史と出土文字資料』東京堂出版2006に収録）。

## 2. 墨書土器

墨書土器は23点である。先述したように、235の須



恵草杯に、体部・底部各外面計二箇所に文字が記されている他は、いずれも一文字のみの記載である。

一文字のみ記載されたものには、「得」の文字が記されたものが3点(235・1008・1099)、「奉」が省面の異体字と考えられるものを含めて3点(239・304・414)、「大」が2点(411・413)、「吉」が2点(1073・1095)あるが、「得」「奉」「大」「吉」等の文字は元来が吉祥句的な文字であり、全国的な墨書・刻書土器の傾向の中で見ても平均的に多く見られる文字である。これら複数点に記された文字のほかにも吉祥句的な文字はいくつも存在している。また、吉祥句的な文字は、氏族名・人名・地名いずれにも頻繁に使用されるため、一文字のみの記載であれば、解釈はいかようにも可能なわけであって、これらの資料に記された文字の意味や内容を解釈することは難しい。出土状況や、文字の記載内容から、本遺跡出土の資料を特徴づけられるような傾向を指摘することはできないので、今回は資料の表示にとどめ、記された文字からみた特筆すべき2～3の事項について言及する。

記された文字内容からみて、最も注目されるものは531の「山田」である。本遺跡が所在するのは古代の山田郡内にあたり、「山田」の記載は郡名を示すものと考えられる。もちろん、郡名となった地名を負う在地豪族の氏名(うじな)として記された可能性もあるが、いずれにせよ「山田」の語のもとになったのは郡名と言えよう。先述したように、本遺跡の西約1.5kmの位置には、古代の山田郡家の想定地があり、上述した漆紙文書も、山田郡家からもたらされた反故紙と考えられ、本遺跡地と山田郡家との密接な関係が想定できる。531の「山田」の記載も、そのような山田郡家との関連を示唆する資料と位置づけられよう。

ほかに記された文字で、特徴的なものは、304の「華奉」である。二文字を組み合わせてあたかも一文字のようにつくるが、組み合わせ文字の字形が墨書・刻書土器に多く見られるという点は、早くから指摘されている通りである(平川 南「墨書土器とその

字形—古代村落における文字の奥相—」[国立歴史民俗博物館研究報告]35 1991、のち同氏著『墨書土器の研究』吉川弘文館 2000に収録)。また、このような二文字を組み合わせてあたかも一文字のように作る組み合わせ文字は、異体字の一種として古文書等にも散見でき、必ずしも墨書・刻書土器にのみ限定されるわけではない。このような組み合わせ文字は、かなり後代まで使用されており、古代～中世社会においては必ずしも特異なことではなかったようである。文言からは、仏教的信仰に関わる儀礼等の行為の存在が想定できる。

その他、一文字のみの記載なので、いかようにも解釈可能であり、断定することは出来ないのであるが、498の「土」と869の「壬」は、ともに土師氏ないし土師部氏、壬生氏などの氏族名とも通じる文字であり、あくまでも可能性の一つではあるが、関連が想定できる。

周知のように壬生氏は「乳部」・「生王」とも表記し、東国に所在して自然な氏族である。また土師氏・土師部氏については、本遺跡の北に近接する太田市只上町の矢部遺跡から出土した8世紀後半以降の漆紙文書に「土部小麻呂」の人名がみえ(朝野馬東埋蔵文化財調査事業団「平成18年度調査遺跡発表会」2006)、郡内に土師部氏の存在が明らかになった。本遺跡出土の498の墨書土器に記された「土」も、土師氏・土師部氏の氏族名との関連も可能性の一つであろう。

その他、413には、底部外面に「大」の文字が墨書されているが、底部内面には墨痕が多数付着し、器面の摩耗が著しい。体部が欠失して底部のみ残存した状態において硯として使用されたものと考えられる。また、墨書土器ではないが、須恵器碗の底部外面の後代の内側に墨痕が明瞭に残る資料が2区の表土中から出土している(529)。この資料には墨痕が残る部分の擦痕は全く見出すことはできないので、いわゆる転用硯ではなく、墨液のバレットとして使用されたものと考えられよう。これらの資料の存在は、本遺跡出土の墨書土器が、本遺跡の地にお

いて記入された可能性を示唆する資料としても重要である。

### 3. 刻書土器

刻書土器は8点である。先述したように、906の須恵器杯に、体部外面と底部内面の計二箇所文字が記されている他は、いずれも一文字のみの記載である。

本遺跡出土の刻書土器で特筆すべきは、土器焼成前の生乾きの状態で宛書きされた文字と、土器焼成後に硬質な用具で記入された文字とが共通していることである。688・712・906・1026の4点は、ともに「日下」と記され、草壁氏・日下部氏などの氏族名との関連も想定でき、墨書された「土」(498)=土師・土師部氏や「壬」(869)=壬生氏などの事例とともに当該地域一帯に居住した氏族名を想定する手がかりともなるであろうが、文字の記入状況の点からみると、712では底部内面に、土器焼成前に記されているが、688では体部内面に正位で、906では底部内面に、1026では体部内面に横位で、それぞれ土器の焼成後に先端が鋭利な硬質の素材で記入されている。

一般的に、土器焼成前の刻書は土器の生産段階で記入され、土器焼成後の刻書は墨書と同様、土器の流通・消費先で記入され、それぞれは本来全く関連しないものであり、分別して検討されなければならないと考えられてきた。しかも須恵器であれば、土器の流通・消費先から離れた窯で、専門的な工人集団によって作られるため、土器生産段階で記入された文字は、消費地において記入されたとみられる墨書あるいは焼成後刻書の文字とは全く関連しないと考えるのが自然である。

しかしながら、前橋市二之宮町の二之宮宮下東遺跡から出土した資料には、則天文字という特異な字形で記された「天」という文字を、方や、須恵器の焼成前に刻書し、また、一方では土器に墨書したものが、合計25点にのぼっている(動群馬県埋蔵文化財調査事業団「二之宮宮下東遺跡一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」

1994)。須恵器の焼成前に則天文字の「天」という文字を刻書した例が3点であり、同じ文字を土器に墨書したものが22点であることから考えれば、この事例では、墨書されたものが、焼成前に刻書されたものと同様、土器生産段階で記入されたとは考えにくい。言うなれば、土器の生産段階で記された文字と、土器の流通・消費先で記入された文字とが一致する事例と考えられ、土器の消費先から生産段階に対して、則天文字の字形の「天」という文字を記入するよう発注されていたとしか考えにくい(高島英之「古代東国の村落と文字」関和彦編「古代王権と交流 2 古代東国の民衆と社会」名著出版 1994)。

このような事例を前提として考えるならば、土器焼成前の記入と焼成後の記入とは、必ずしも無関係とは言いつれないのであり、密接な関連を想定せざるを得ない場合も存在するわけである。事実、近年では、全国的に見ても、土器生産段階で刻書された文字と、土器消費段階である当該遺跡の地で墨書されたとみられる文字とが一致する事例が増加してきている。

本遺跡出土の資料に立ち返って考えるならば、前述した前橋市二之宮宮下東遺跡出土の資料とは異なり、本遺跡出土資料では、土器の焼成前と焼成後にそれぞれ記入された文字が同一であるとはいえ、共に刻書であり、また、点数も合計4点と少ない。「日下」という文字が土器焼成前に記入されたのは、4点の内、712の1点のみである。総点数が4点であれば、土器焼成後の刻書が土器消費地である本遺跡で記入されたのか、あるいは土器生産段階で記入されたのか、判断が難しいところではある。

土器生産段階であれば、焼成前の生地が生乾きの状態に、篋状の工具で文字を記入することはいくらかでも可能な状況なのであるから、その点からみれば、土器焼成後に刻書されたものは、墨書土器一般と同様、土器の消費先、すなわち本遺跡の地において記入されたと想定するのが自然であるように思われる。そのように考えるならば、本遺跡出土の、土器焼成前刻書の「日下」(712)は、土器消費地から、

土器の生産者に対して記入が「発注」されたものとみるのが妥当であり、本遺跡の集落と須恵器の生産

段階との密接な関係を裏付ける資料と解釈することも可能であろう。

### III. 刻書紡錘車

第19表 刻書紡錘車一覧

	出土遺構	形状	上径	下径	厚さ	孔径	重さ	形状	文字記入位置	材質	釈文
1143	3号掘立№4	厚台形	3.8cm	2.8cm	2.0cm	0.75cm	34.3g	完形	上面	陶製	真銀
1152	5区表土	薄台形	5.4cm	2.7cm	1.3cm	0.8cm	35.7g	完形	上面	石製	×俊マ

本遺跡では刻書紡錘車が2点出土している。2点とも氏族名と考えられる記載であり、先に掲げた本遺跡出土の刻書土器 688・712・906・1026の「日下」=草壁氏・日下部氏、墨書された「土」(498)=土師・土師部氏や「壬」(869)=壬生氏などの事例とともに、当該地域一帯に居住した氏族名を想定する手がかりともなる。

文字が記された古代の紡錘車は、群馬県で初めて確認された資料である。

2006年10月末段階までに出土が把握できた、群馬県内出土の墨書・刻書紡錘車の資料数は、管見の限り58点である。県内で現在までに出土したところはいずれも刻書紡錘車であり、文字が墨書されたものは今のところ存在しない。

文字が記載された紡錘車の割合は、県内出土の奈良・平安時代の全紡錘車の約1割強にのぼる。同時代の土器全体に占める墨書・刻書土器の割合がおおよそ数パーセントに過ぎない点からみれば、文字が記されたものの率は土器に比べて高いと言えるだろう。これは、古代の刻書紡錘車の出土が多い当該地域に特徴的な現象である。

出土状況を見ると、およそ9割以上の事例が、竪穴建物跡の埋土中からの出土であり、出土状況については特に顕著な特色を見出すことはできなかった。それらは、集落の中における何らかの祭祀・儀礼等の行為にかかわるものとの見方が有力であるが、出土状況から見れば、祭祀や儀礼等の行為に使用されたことが明確に判明するような例は、現在までのところ見あたらない(高島英之・宮瀧文二「群馬県出土の刻書紡錘車に関する基礎的研究」[群馬県

立歴史博物館紀要] 23 2002、高島英之「古代の墨書・刻書紡錘車—上野国域内出土資料を中心に—」[古代東国地域史と出土文字資料] 東京堂出版 2006)。

県内出土資料の年代をみると、8世紀後半から9世紀代にかけての資料が圧倒的多数であり、中心は9世紀代と考えられる。

形態的には、薄台形のものが多いが、これも県内出土の奈良・平安時代の紡錘車全体の、形態についての一般的な傾向と一致している。

紡錘車の重量は、紡錘車の機能に関わる重要な意味を有するが、上野国域内出土の墨書・刻書紡錘車はおおむね40～70gの間に収まり、なかでも50g以上のものが大半を占める。県内出土の奈良・平安時代の紡錘車全体の傾向からみると、やや重いものが多いと言えるが、刻書紡錘車の資料数は平安時代になって増加してくるので、この点でも県内出土紡錘車全体的な傾向の通りである。

また、材質の点では、これまででは、高崎市大八木屋敷遺跡出土のものと同田市稲荷宮遺跡出土のもの2点以外すべて石製であった。今回出土した1152は陶製であり、県内出土の刻書紡錘車の例としては稀有な資料である。

県内出土の奈良・平安時代の紡錘車全体では、約7割強が石製であるが、茨城県内出土の刻書紡錘車の事例では、約半数を土製のものが占めている。文字が記される紡錘車の材質は、あくまでもその地域において盛行した紡錘車の材質に左右されるとみてよいだろう。